

平成 30 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金
(老人保健健康増進等事業分)

『リハビリテーションを行う通所事業所における
栄養管理のあり方に関する調査研究事業』

報告書

平成 31 年 3 月

一般社団法人 日本健康・栄養システム学会

ご挨拶

日本健康・栄養システム学会は平成30年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）の交付を受け、「リハビリテーションを行う通所事業所における栄養管理のあり方に関する調査研究事業」に取り組んで参りました。

回復期医療においては、管理栄養士がリハ計画の作成段階から参画し、栄養管理を実施した場合に9割の患者において低栄養が改善し、低栄養の改善者では有意な日常生活活動（ADL）の改善が認められたとの報告があります（Nishioka S, 2016）。平成30年4月の診療報酬改定では、回復期リハビリテーション病棟入院料1に管理栄養士のリハビリテーション実施計画等への参加等、栄養管理に係わる取り組みが要件化されました。また、介護報酬改定では通所系サービスでの自立支援や生活支援を目的に、通所リハビリテーションにおいてはリハビリテーション・マネジメント加算、通所介護においては個別機能評価加算によって、サービスの質の向上が図られ、ADLや手段的日常生活動作（IADL）が定期的に評価されています。一方、低栄養改善のための管理栄養士による栄養相談（栄養改善加算、介護予防を含めて）の実施は低迷し、認知機能の低下や摂食・嚥下機能の低下に伴う多職種による食事時の観察（ミールラウンド）や在宅での食生活状況の把握も殆どされていません。平成30年4月から、栄養改善加算の推進のため、外部管理栄養士による算定が認められ、介護職等が利用者の低栄養をスクリーニングし、栄養状態に係わる情報を介護支援専門員と文書で共有することが評価されました（栄養スクリーニング加算）。しかし、通所系サービス利用高齢者（介護予防を含めて）における低栄養や摂食・嚥下障害の発生頻度や管理栄養士の関わりの実態は把握されていませんでした。

本研究においては、通所サービス事業所において、在宅高齢者の低栄養や摂食・嚥下障害の発生状況やその対応の実態を把握し、今後の在宅での食べることの支援を多職種によって推進する体制や取り組みについての問題をはじめて検討し、次期の介護保険制度の見直しに資することを目的としました。

今後も日本健康・栄養システム学会が育成した臨床栄養師と協働して、施設入所高齢者のみならず在宅高齢者の「口から食べる楽しみの支援の充実」のため栄養ケア・マネジメントの推進に貢献できるよう研究・教育活動に取り組んで参ります。

平成30年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）

「リハビリテーションを行う通所介護事業所における栄養管理のあり方に関する調査研究事業」

委員長 杉山みち子

平成 30 年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）

「リハビリテーションを行う通所事業所における栄養管理のあり方に関する調査研究事業」

○委員長 杉山みち子 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部栄養学科教授(大学院兼任)

統括・運営委員会（○は統括・運営委員長）

○小山 秀夫 兵庫県立大学大学院 名誉教授

杉山みち子 前述（委員長、調査実施・分析小委員会小委員長）

井上 崇 医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院
介護老人保健施設 伸寿苑 施設長代理

宇田 淳 滋慶医療科学大学院大学 医療管理学研究科 教授

榎 裕美 愛知淑徳大学 健康医療科学部 教授

（訪問インタビュー調査小委員会小委員長）

大原 里子 大原歯科医院

加藤 昌彦 椋山女学園大学 生活科学部 教授／医師

苅部 康子 社会福祉法人親善福祉協会 介護老人保健施設 リハパーク舞岡 栄養課
管理栄養士／臨床栄養師

高田 和子 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所
栄養・代謝研究部 栄養ガイドライン研究室 室長

高田 健人 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部栄養学科 助教

田中 和美 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部栄養学科 教授

堤 亮介 平成医療福祉グループ 栄養部 管理栄養士／臨床栄養師

遠又 靖丈 東北大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学分野 講師／臨床栄養師

長瀬 香織 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部栄養学科 助教／臨床栄養師

中村 春基 一般社団法人 日本作業療法士協会 会長

野地 有子 千葉大学 看護学研究科 看護実践研究指導センター ケア開発研究部 教授

光山 誠 医療法人敬英会 社会福祉法人敬英福祉会 理事長

横内 俊弘 医療法人 健康会 リハビリテーション部門統括科長
介護老人保健施設 アイリス

顧問

齊藤 正身 一般社団法人 全国デイ・ケア協会 会長 霞ヶ関南病院

福島 梢 社会福祉法人若竹大寿会

介護老人保健施設 リハリゾートわかたけ 管理栄養士／臨床栄養師

谷中 景子 医療法人社団 千春会 千春会病院 管理栄養士／臨床栄養師

星野 和子 社会福祉法人 溪仁会 手稲溪仁会 デイサービスつむぎ 管理栄養士

訪問インタビュー調査小委員会（○は小委員長）

○榎 裕美 前述
高田 和子 前述
田中 和美 前述
小山 秀夫 前述
苅部 康子 前述
堤 亮介 前述
長瀬 香織 前述

訪問インタビュー調査への協力

杉山みち子 前述
宇田 淳 前述
長瀬 香織 前述
浅見 桃子 神奈川県立保健福祉大学大学院

調査実施・分析小委員会（○は小委員長）

○杉山みち子 前述
高田 健人 前述
田中 和美 前述
遠又 靖丈 前述
長瀬 香織 前述
堤 亮介 前述
浅見 桃子 前述

教材作成

苅部 康子 前述
堤 亮介 前述
田中 和美 前述

研究補助

浅見 桃子 前述
藤川亜沙美 神奈川県立保健福祉大学

研究事務

加納亜紀子 神奈川県立保健福祉大学 栄養ケア・マネジメント研究室

経理担当

駒形 公大 日本健康・栄養システム学会事務局

目 次

研究概要	1
I. 通所リハビリテーション事業所及び通所介護事業所における栄養・食事の実態調査 ：事業所実態調査	7
II. 通所リハビリテーション事業所及び通所介護事業所における栄養管理のあり方に 関する調査：利用者個別調査	121
III. 通所リハビリテーション事業所及び通所介護事業所の栄養管理のあり方に関する 事業所訪問インタビュー調査	247
IV. 提言	285
V. 研修教材	287
資料（調査票一式） 施設調査票（事業所実態調査） 個別調査票	

研究概要

本研究の目的は、通所系サービス利用高齢者が在宅生活を継続するための自立支援や生活支援に寄与する栄養管理（低栄養、摂食嚥下機能低下の問題に対応する栄養ケア・マネジメント）の体制やあり方を検討し、介護サービスの質的な向上に資することである。本研究は「Ⅰ. 事業所実態調査」「Ⅱ. 利用者個別調査（6 か月間の後ろ向き調査）」「Ⅲ. 訪問インタビュー調査」からなり、全国の通所系サービス事業所における栄養管理の実態および利用者の低栄養や摂食嚥下機能低下の問題を把握した初の調査である。

Ⅰ. 事業所実態調査

全国の通所リハビリテーション事業所（以下、通所リハ）及び通所介護事業所（以下、通所介護）を都道府県別に層化無作為抽出し、事業所管理者対象に無記名調査用紙を郵送留め置きした。通所リハ 740 事業所（回収率 24.5%）及び通所介護 683 事業所（回収率 22.6%）の回答から以下の結果を得た。

- ① 低栄養（BMI18.5kg/m²未満）の者の割合が1日の利用者の20%以上の事業所は通所リハ 24.6%、通所介護 25.0%であった。一方、摂食嚥下機能低下の問題のある者の割合が1日の利用者の20%以上の事業所は通所リハ 10.1%、通所介護 11.2%であった。
- ② 低栄養（BMI18.5kg/m²未満）の利用者が20%以上の事業所の特徴として、通所リハでは「栄養スクリーニング加算非算定」「リハビリテーション・マネジメント加算非算定」、通所介護では「個別機能訓練加算非算定」があげられた（図1）。

これらの結果から、通所系サービス事業所における高齢者の低栄養や摂食嚥下機能低下に対し、栄養ケア・マネジメントおよび多職種連携の体制が必要であると考えられた。

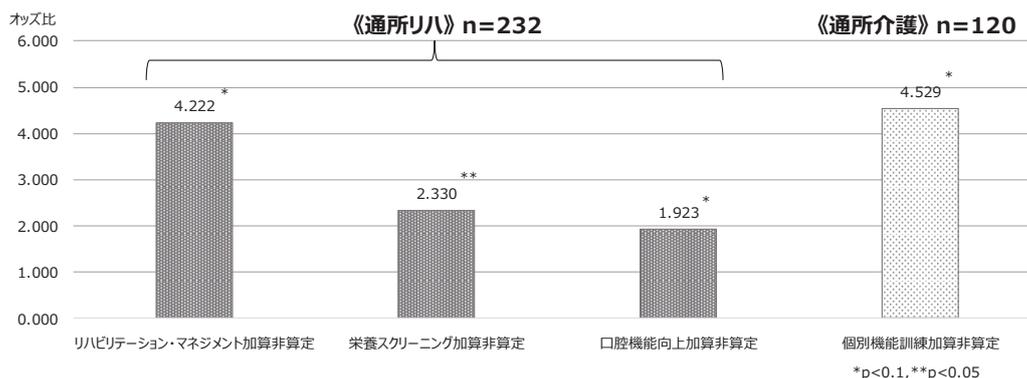


図1：低栄養者（BMI18.5kg/m²未満）20%以上の事業所特性

「非算定事業所」の「算定あり」事業所に対するオッズ比（表I-5参照）

Ⅱ. 利用者個別調査（6 か月間の後ろ向き調査）

事業所実態調査協力事業所のうち、通所リハ 23 事業所の利用者 1,410 名、通所介護 23 事業所の利用者 780 名を対象に、既存帳票に基づく横断調査データ及び要介護度、ADL 及

び IADL 等 6 か月間の追跡調査データから、以下の結果を得た。

- ① 低栄養（BMI18.5kg/m²未満）は、通所リハ利用者では 6 か月後のバーサルインデックス不良維持・悪化（55 点以下）のリスクと関連し、通所介護利用者では 6 か月後の IADL 得点不良維持・悪化（5 点以下）および要介護度重度化のリスクと関連していた（追跡データの多変量ロジスティック回帰分析より）（図 2）。

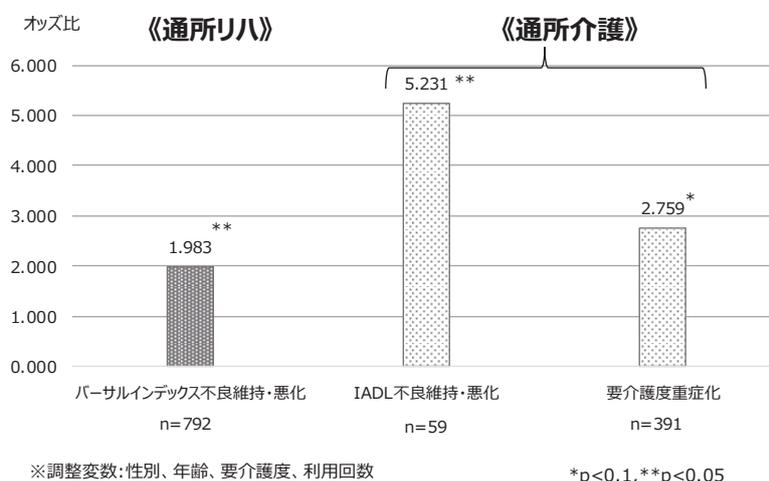


図 2 : ADL, IADL 不良維持・悪化、要介護度の重症化に対する低栄養の影響
「低栄養」の「非低栄養」に対するオッズ比 （表 II-8a, 8b 参照）

- ② 低栄養（BMI18.5kg/m²未満）は、通所リハ及び通所介護利用者ともに、「とろみ剤を使用している」「きざみ食／軟菜食、嚥下調整食を食べている」等にみられる摂食嚥下機能低下の問題があることが関連要因であった。また、通所リハ利用者では「バーサルインデックス 55 点以下」「IADL7 点以下」「自分で買い物へ出かけていない（概ね週 1 回以上）」「自宅等では食事を自分で作っていない（概ね週 1 回以上）」等にみられる ADL・IADL の低下が関連し、通所介護では「独居」が有意に関連していた（横断データの多変量ロジスティック回帰分析より）（表 1）。

表1 低栄養（BMI 18.5kg/m²未満）に関連が見られた調査項目

		通所リハ(n=1,291)		通所介護(n=487)	
		オッズ比	P値	オッズ比	P値
同居家族 独居	はい=1	—	—	1.759 **	
普通食	いいえ=1	2.591 ***		3.443 ***	
きざみ/軟菜食	はい=1	2.287 ***		1.911 *	
えんげ調整食	はい=1	2.609 *		6.247 ***	
食事摂取量	6割以下・わからない=1	2.097 *		—	—
とろみ剤使用	あり=1	3.579 ***		3.962 ***	
食事の際に奥歯（義歯でも可）で噛みしめている	いいえ・わからない=1	—	—	2.134 *	
食事介助	全面介助=1	6.994 ***		—	—
体重減少6か月で2kg以上	あり=1	1.951 **		—	—
体重減少6か月で5%以上	あり=1	3.534 ***		2.187 *	
バーサルインデックス	55点以下=1	2.486 **		—	—
IADL（通所リハ7点以下、通所介護5点以下）	7点/5点以下=1	1.790 **		—	—
自分で買い物へ出かけている（概ね週1回以上）	いいえ・わからない=1	1.755 *		—	—
自宅等では食事を自分で作っている（概ね週1回以上）	いいえ・わからない=1	2.113 **		—	—
自宅等では一緒に食事を食べる人がいる（概ね週1回以上）	はい=1	—	—	2.078 **	

—：有意差がでなかった項目 ***：p<0.001、**：p<0.01、*：p<0.05

※調整変数：性別、年齢、要介護度

(表II-9参照)

- ③ 低栄養（BMI18.5kg/m²未満）の利用者に見られる特徴的なパターンを主成分分析で分類した（因子負荷量の絶対値 0.5 以上の項目より）。通所リハと通所介護で概ね共通した関連要因として、第 1 主成分では「要介護度が重度」「ADL が低下している」「とろみ剤やえんげ調整食、食事のむせ込みなどの摂食嚥下の問題」「食事介助」といった身体的要因が抽出され、第 2 主成分では「同居家族あり」「自分で買い物に出かけている」「自宅等では食事を自分で作っている」「自宅等では一緒に食事を食べる人がいる」といった生活要因が抽出された。

これらの結果から、効果的なリハビリテーション・機能訓練のために管理栄養士が栄養・食生活支援に関わるうえで、摂食嚥下機能低下などの個別の身体状況とともに、同居家族や買い物・調理担当の有無など在宅での生活状況を考慮した食生活支援のあり方を検討することが求められると考えられた（表 2）。

表2:主成分分析 BM II8.5未満の人の特徴パターン

	通所リハ (n=117)		通所介護 (n=42)	
	第1主成分	第2主成分	第1主成分	第2主成分
性別【男性】	0.22	-0.08	0.38	-0.01
年齢	-0.12	-0.22	-0.07	0.34
独居	-0.25	0.27	0.58	-0.74
要介護度カテゴリ 【要支援1,2・要介護1,2・要介護3,4,5】	0.67	-0.26	0.63	0.42
バーサルインデックスカットオフ値 【55点以下】	0.69	-0.09	0.79	0.04
自分で買い物へ出かけている (概ね週1回以上)【はい】	-0.35	0.74	-0.38	-0.56
自宅等では食事を自分で作っている (概ね週1回以上)【はい】	-0.34	0.74	-0.46	-0.48
自宅等では一緒に食事を食べる人がいる (概ね週1回以上)【はい】	0.27	-0.26	-0.58	0.74
えんげ調整食【提供あり】	0.50	0.24	0.87	-0.17
食事摂取量【6割以下】	0.19	0.02	0.04	0.53
とろみ剤使用【あり】	0.74	0.29	0.83	0.03
食事の際に奥歯で(義歯でも可) 噛みしめている【いいえ】	0.45	0.43	0.13	0.02
食事中にむせたり咳き込んだり することがある【はい】	0.66	0.31	0.58	0.46
食事介助【全面介助】	0.60	0.23	0.58	-0.04
初期の固有値 合計	3.20	1.84	4.34	2.46
分散の%	22.87	13.12	30.98	17.55
累積寄与率%	22.87	35.99	30.98	48.52

〈表Ⅱ-11a、表Ⅱ-11b参照〉

Ⅲ. 訪問インタビュー調査

8市9か所の通所リハ及び通所介護事業所の事業所管理者および従事者に対する訪問インタビュー調査から次の結果を得た。

- ① 併設介護保険施設(管理栄養士の常勤配置2名)や併設病院から管理栄養士が訪問している事業所においては、管理栄養士によるスタッフへのコンサルテーション、食事時のミールラウンド、利用者・家族への相談、必要に応じて在宅訪問がおこなわれていた。
- ② ①の管理栄養士の関わりによって、利用者の食欲の回復、食事量の増大、リハビリテーションへの意欲の増大がみられるとのことであった。
- ③ 栄養スクリーニング加算の取得の有無に関わらず、管理栄養士が関係していない場合には、相談員が介護支援専門員に情報提供しても認識が薄いとされ、リハビリテーション

職による自宅への訪問時に食事のチェック、看護師への食形態に関する相談やかかりつけ医に対する食形態や栄養補助食品の提供の指示の依頼等に留まるということであった。

- ④ 事業所スタッフによって通所リハビリテーション計画に栄養ケア計画が位置付けられることやその計画の作成にあたっては、必要に応じて在宅訪問が求められた。

以上の結果から、以下の提言を行うものである。

通所系サービス利用者の低栄養はADLやIADLへのリハビリテーション効果に関連することから、管理栄養士による栄養ケア・マネジメント体制とともに、その背景にある摂食嚥下機能低下に対応したミールラウンド（多職種による食事観察を通じた問題把握）・カンファレンスによる経口維持の取り組みが必要と考えられる。さらに、低栄養の背景には個別の家族背景や買い物や食事準備の個別の生活パターンが考えられることから、必要に応じての管理栄養士による在宅訪問が求められる。そこで、通所系サービス利用者に対応したこのような栄養管理(栄養ケア・マネジメント)の体制やあり方について、前向きな介入研究によって、その実施可能性、持続性、成果の観点から検証することが求められる。

I. 通所リハビリテーション事業所及び通所介護事業所における栄養・食事の実態調査 ：事業所実態調査

1. 目的

回復期医療においては、管理栄養士がリハビリテーション計画の作成段階から参画して栄養管理を実施した場合に 9 割の患者で低栄養が改善し、さらに低栄養が改善した者では有意な日常生活活動（ADL）の改善が認められたとの報告がある（Nishioka S, 2016）。平成 30 年 4 月の診療報酬改定では、回復期リハビリテーション病棟入院料 1 に管理栄養士のリハビリテーション実施計画等への参加等、栄養管理に係わる取り組みが要件化された。一方、介護報酬改定においては、通所系サービスでの自立支援や生活支援を目的とし、通所リハビリテーション（以下、通所リハという）においてはリハビリテーション・マネジメント加算、通所介護においては個別機能評価加算によって、サービスの質の向上が図られ、ADL や手段的日常生活動作（IADL）が定期的に評価されている。しかしながら、通所サービスにおける低栄養改善のための管理栄養士による栄養相談（栄養改善加算、介護予防を含めて）の実施率は低く、摂食・嚥下機能や認知機能の低下に対応する栄養食事支援のための多職種による食事時の観察（ミールラウンド）ならびに在宅での食生活状況の把握も殆ど推進されていないことが課題となっている。平成 30 年 4 月の介護報酬改定から、通所サービス事業所では外部の管理栄養士との連携による栄養改善加算の算定が認められ、さらに介護職等が利用者の低栄養状態をスクリーニングし、介護支援専門員と文書で情報共有することで算定できる栄養スクリーニング加算が新設された。しかし、通所系サービス利用高齢者における低栄養や摂食・嚥下障害の発生頻度、食事状況、アウトカムとの関連、ならびに管理栄養士の関わりの実態については把握されていない。

そこで、本研究は、通所サービス事業所において、在宅高齢者の低栄養や摂食・嚥下障害の発生状況や事業所としてのその対応の実態を把握し、在宅での食べることの支援を多職種によって推進する体制や取り組みの実態について把握し、本事業における利用者個別調査やインタビュー調査からの結果とともに次期の介護保険制度の見直しに資することを目的とした。

2. 方法

(1) 対象事業所

厚生労働省介護サービス情報検索システムに掲載された全国の通所リハ 7,508 か所及び

通所介護 26,755 か所（2018 年 8 月調査時）から、研究代表者らの過去の全国実態調査から回収率 3~4 割と推定し、通所リハ及び通所介護よりそれぞれ都道府県ごとの割合で層化無作為抽出し、通所リハビリ 3,024 か所、通所介護 3,027 か所を対象とした。調査票への回答者は管理職あるいは管理職が依頼したスタッフとした。葉書による督促も行った。

（2）調査方法

無記名の調査票を対象事業所の管理者宛に郵送した。調査項目は、Ⅰ.概要、Ⅱ.サービス提供状況、Ⅲ.通所サービス利用者の栄養状態の把握について、Ⅳ.通所サービス利用者への食事提供について、Ⅴ.管理栄養士・栄養士との関わりや相談者についてから構成され、詳細は以下の通りとした（詳細は巻末の調査票を参照）。

記入日、記入者（管理者または管理者以外の職員とする）の記載。

- ・概要：通所サービスの種別、事業主体、併設施設、一日当たりの定員数、記入日の利用者数、記入日の利用者のうちの要介護度区分別人数、記入日の利用者のうちの認知症日常生活自立度別人数、職員配置
- ・サービス提供状況について：通所リハ；リハビリテーション・マネジメント加算（Ⅰ）（Ⅱ）（Ⅲ）（Ⅳ）の算定の有無、通所介護；個別機能訓練加算（Ⅰ）（Ⅱ）の算定の有無、共通；栄養スクリーニング加算、栄養改善加算、口腔機能向上加算の有無
- ・利用者の栄養状態の把握について（記入日の利用者について）：体重の1か月毎の記録の有無、身長記録の有無、BMI18.5kg/m²未満（やせ）の者の人数、6か月に2~3kgの体重減少がみられる者の人数、摂食・嚥下機能に問題のある者の人数
- ・通所サービス利用者への食事提供について（記入日の利用者について）：食事提供の有無、利用者ごとに栄養状態を考慮した量（エネルギー量）の食事提供、食事摂取量（何割程度摂取したか）を毎食分の記録をしているか、食事の個別対応（食形態の調整（ミキサー、とろみづけ）、食事の個別対応をしている場合の食形態を調整した者の人数、食事の個別対応として栄養素の調整（タンパク質・炭水化物・脂質・塩分のいずれかの制限）といる場合には人数記載、食事介助が毎食必要となる者がいるかいる場合は人数記載、職員が食事介助に不安を抱えているか否か
- ・管理栄養士・栄養士との関わりや相談者について：管理栄養士・栄養士との関わりとその内容、栄養・食事（摂食・嚥下を含む）に関する相談者

（3）解析方法

回収した調査票から匿名化されたデータベース（Excel シート）への入力、日本健康・栄養システム学会が個人情報保護管理の規定に基づいて委託契約をした日本ヘルスケアテクノ（株）が行い、その後、データベースはパスワード付き CD-R に保管され、委員長宛に書留送付された。当該データベースに基づき、委員の高田、浅見の大学内の個別 PC に分譲し、施設種（通所リハ、通所介護）別に平均要介護度区分、食事提供の有無及び管理栄養士の関わりの有無別に集計を行った。さらに、低栄養（BMI18.5kg/m²未満）の利用者が20%以上の事業所の特徴について20%未満の事業所と比較検討するために、サービス提供状況との関連をロジスティック回帰分析により分析した。

（4）研究倫理

神奈川県立保健福祉大学研究倫理審査委員会の承認を得た。

3. 結果

結果の詳細は、I 章 図表参照のこと。

（1）回収状況

通所リハ発送数 3,024 のうち回収数 740(24.5%)、通所介護 3,027 のうち回収数 683 (22.6%)、合計 1,423(23.5%)であった。記入者は、通所リハが管理者 30.7%、管理者以外の職員 68.2%、通所介護が管理者 71.9%、管理者以外の職員 26.2%であった（表 I -1-①）。

（2）事業所概要

通所リハ 740 事業所、通所介護 683 事業所の事業主体は、通所リハで医療法人 75.5%、社会福祉法人 9.6%、通所介護で営利法人 38.2%、社会福祉法人 37.5%であった（図 1,表 I -1-①）。

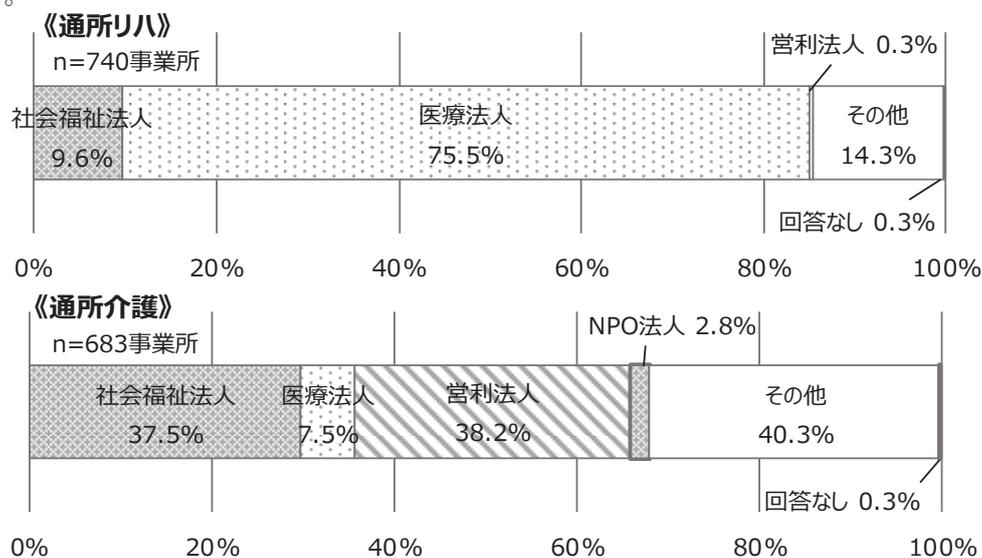


図 1：事業所主体

併設施設は、通所リハ病院・診療所 62.4%、介護老人保健施設 40.5%、通所介護その他 40.3%、なし 31.0%、介護老人福祉施設 26.4%であった（表 I-1-①）。

平均定員数(標準偏差)は通所リハ 37.1(20.0)人、通所介護 29.9(11.8)人、1日の平均利用者数は通所リハ 26.3(16.1)人、通所介護 23.4(11.4)人であった（表 I-1-①）。なお、定員数は通所リハ 40-49人(25.8%)、20-29人(24.3%)、30-39人(18.2%)、通所介護 20-29人(31.4%)、30-39人(30.8%)、40-49人(13.0%)（図 I-1-①）、利用者数は通所リハ 20-29人(29.5%)、10-19人(26.2%)、通所介護 20-29人(36.8%)、10-19人(27.3%)であった（図 I-2-①）。

平均要介護度について、回答された通所リハ 640 事業所の平均要介護度(標準偏差)は 1.74(0.56)、通所介護 543 事業所の平均要介護度は 1.98(0.65)であった（表 I-1-①）。

なお、通所リハにおいて平均要介護度が 1 未満の事業所は 55 か所(8.6%)、1 以上 2 未満は 377 事業所(58.9%)、2 以上 3 未満は 199 事業所(31.1%)、3 以上 4 未満は 8 事業所(1.3%)、4 以上 5 未満の事業所は 1 事業所(0.2%)であった。一方、通所介護において平均要介護度が 1 未満の事業所は 24 か所(4.4%)、1 以上 2 未満は 278 事業所(51.2%)、2 以上 3 未満は 195 事業所(35.9%)、3 以上 4 未満は 44 事業所(8.1%)、4 以上 5 未満の事業所は 2 事業所(0.4%)であった（図 2,表 I-2a-①,表 I-2b-①）。

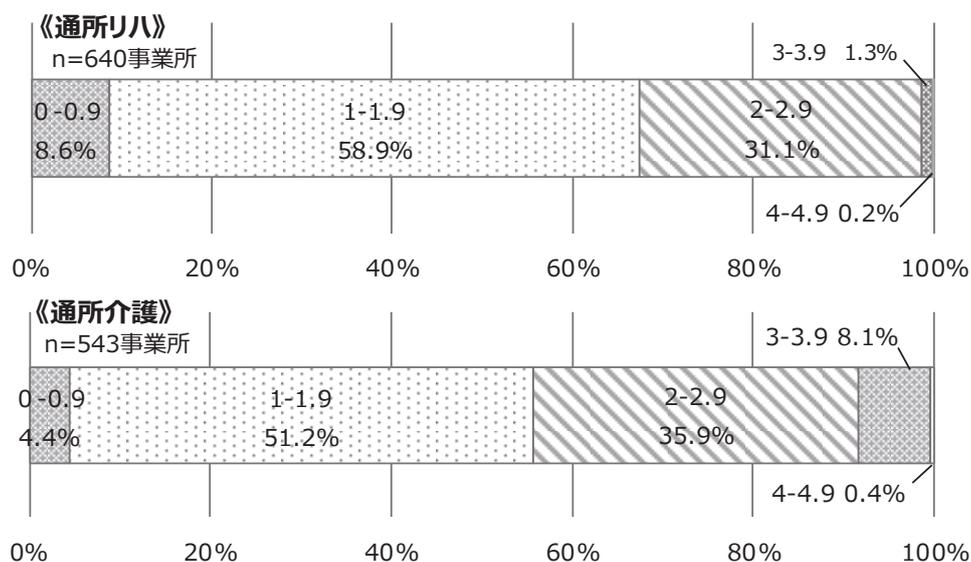


図 2 : 利用者の平均要介護度割合

平均常勤スタッフ数(標準偏差)は、通所リハで介護福祉士 4.29(3.38)人、理学療法士 2.39(1.88)人、作業療法士 1.22(1.23)人、医師 1.09(0.88)人、看護師 0.89(0.88)人、准看護師 0.55(0.79)人、管理栄養士 0.52(0.60)人、栄養士 0.14(0.45)人、摂食・嚥下の専門職である言語聴覚士 0.36(0.63)人、歯科衛生士 0.07(0.29)人、歯科医師 0.02(0.31)人、その他 1.76(2.56)人であった。一方、通所介護は介護福祉士 3.88(2.76)人、看護師 1.05(1.02)人、准看護師 0.89(0.94)人、理学療法士 0.33(0.67)人、作業療法士 0.16(0.44)人、管理栄養士 0.14(0.52)人、栄養士 0.14(0.37)人、言語聴覚士 0.02(0.15)人、歯科衛生士 0.03(0.16)人、歯科医師 0.00(0.00)人、医師 0.00(0.00)人、その他 2.03(5.22)人であった(図3,表I-1-③)。

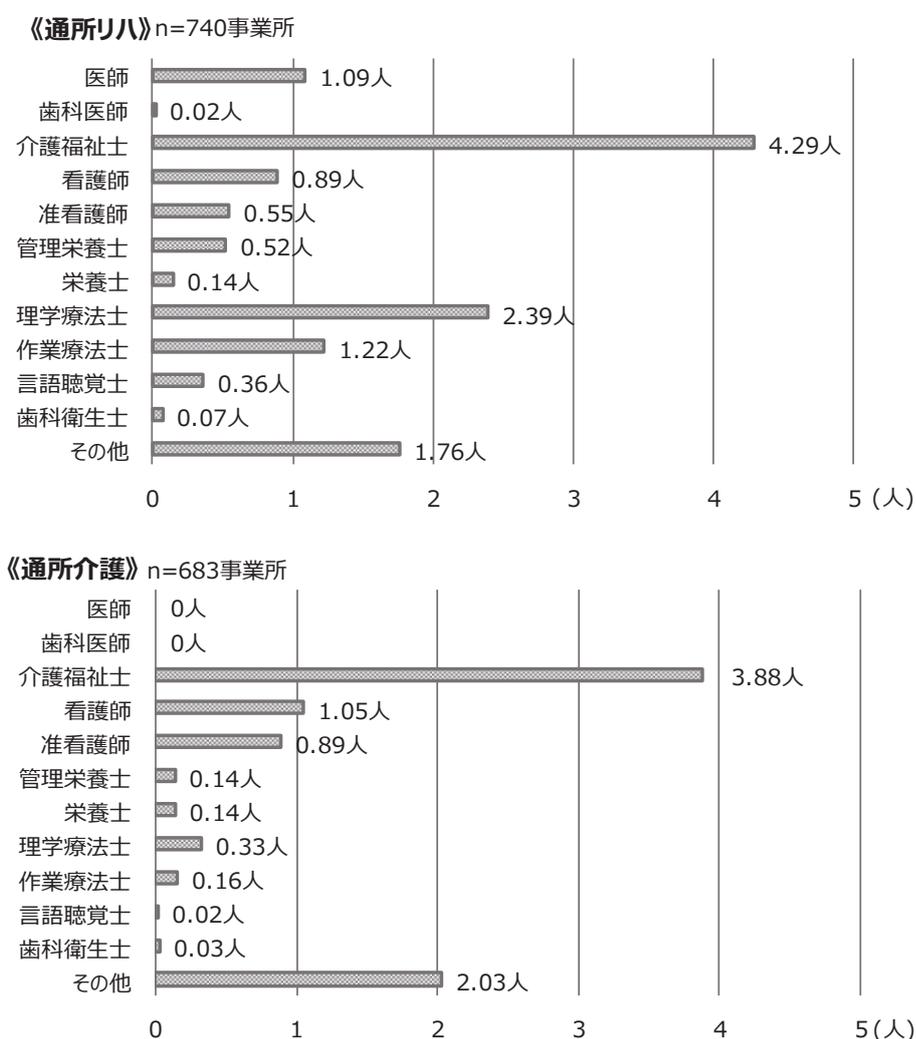


図3：専門職の平均配置人数

(3) 加算取得状況

通所リハにおいてはリハビリテーション・マネジメント加算(Ⅰ)75.9%、(Ⅱ)14.7%、(Ⅲ)28.4%、(Ⅳ)2.4%、通所介護においては個別機能訓練加算(Ⅰ)14.8%、(Ⅱ)21.8%の事業所が算定していた(図4,5,表I-1-③)。

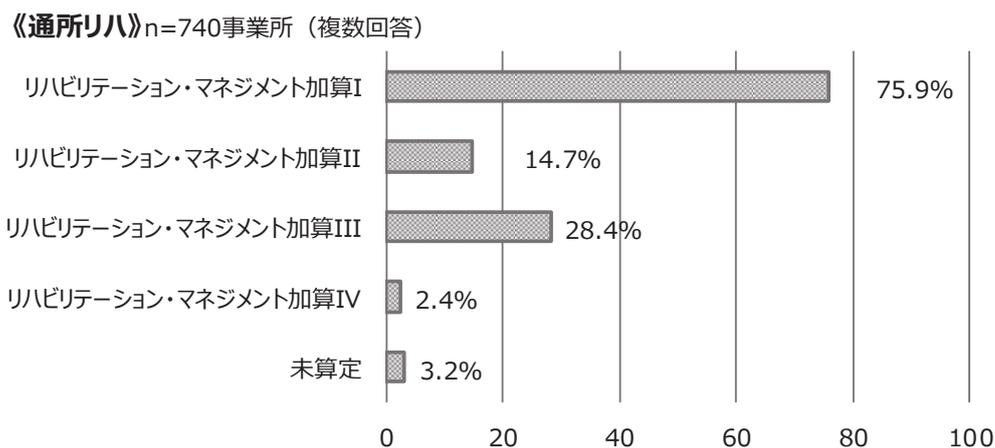


図4：リハビリテーション・マネジメント加算の算定状況

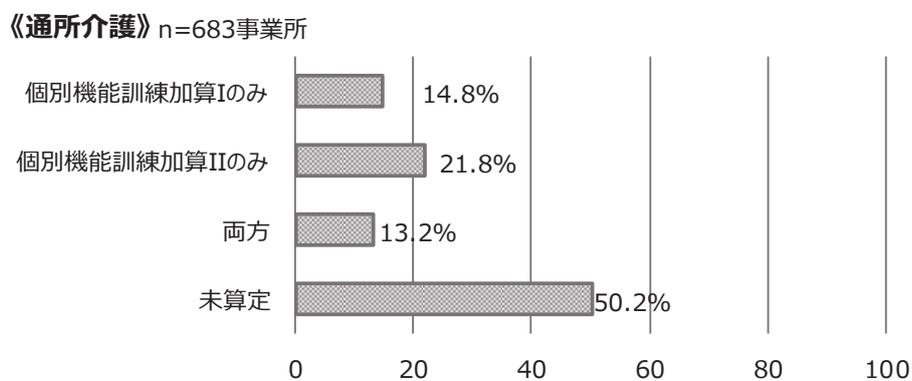


図5：個別機能訓練加算の算定状況

栄養スクリーニング加算は通所リハ 15.0%、通所介護 2.9%、栄養改善加算は通所リハ 10.3%、通所介護 1.0%、口腔機能向上加算は通所リハ 21.8%、通所介護 8.3%の事業所が算定していた（図 6,表 I-1-③）。

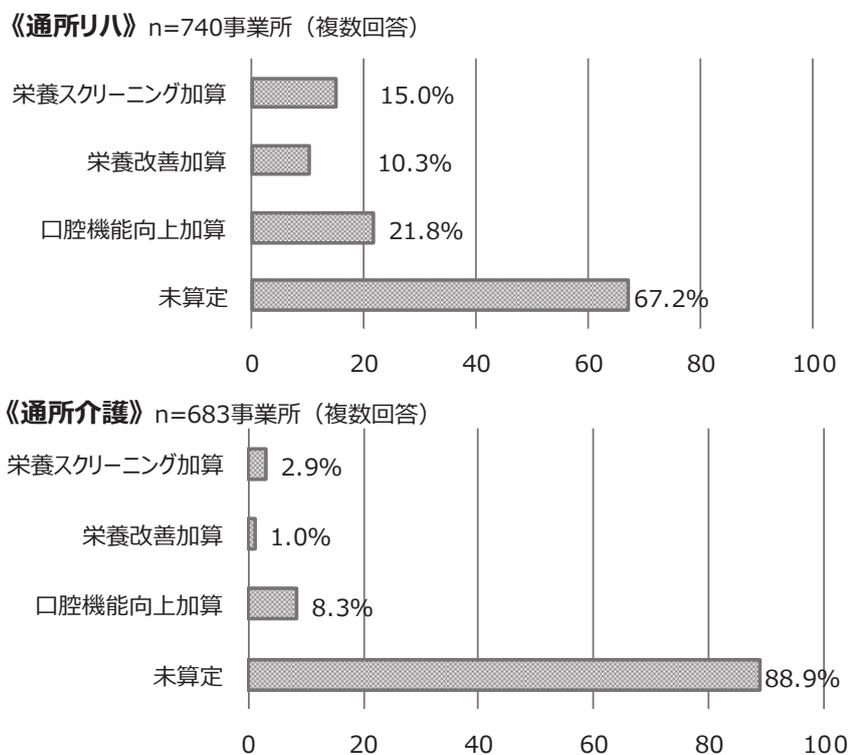


図 6：栄養・口腔関連加算の算定状況

（4）栄養状態（体重、身長）の把握

体重の記録（月に1回以上）があると回答した事業所は、通所リハ 76.9%、通所介護 83.2%であった（図 7,表 I-1-④）。

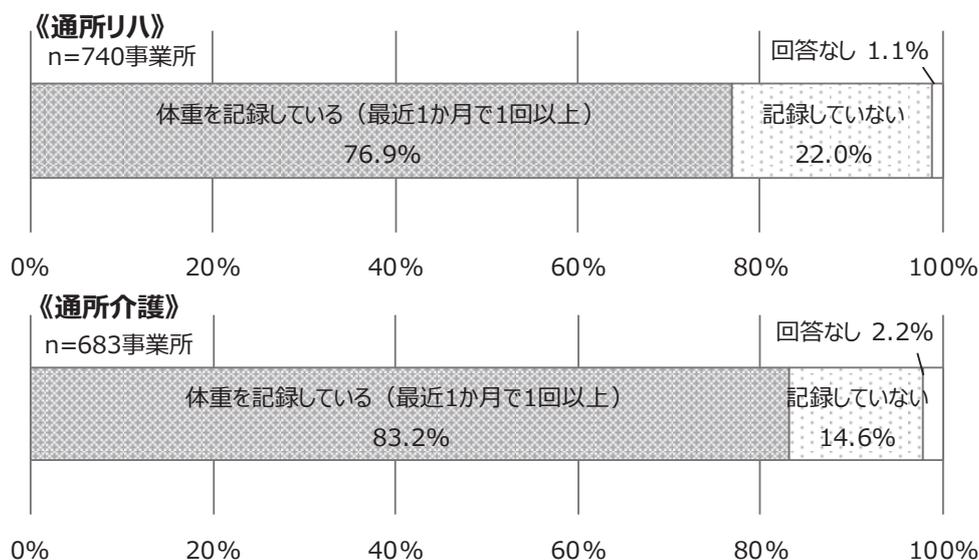


図 7：体重の記録の有無

身長記録のある事業所は、通所リハ 51.1%、通所介護 26.4%であった(図 8,表 I-1-④)。

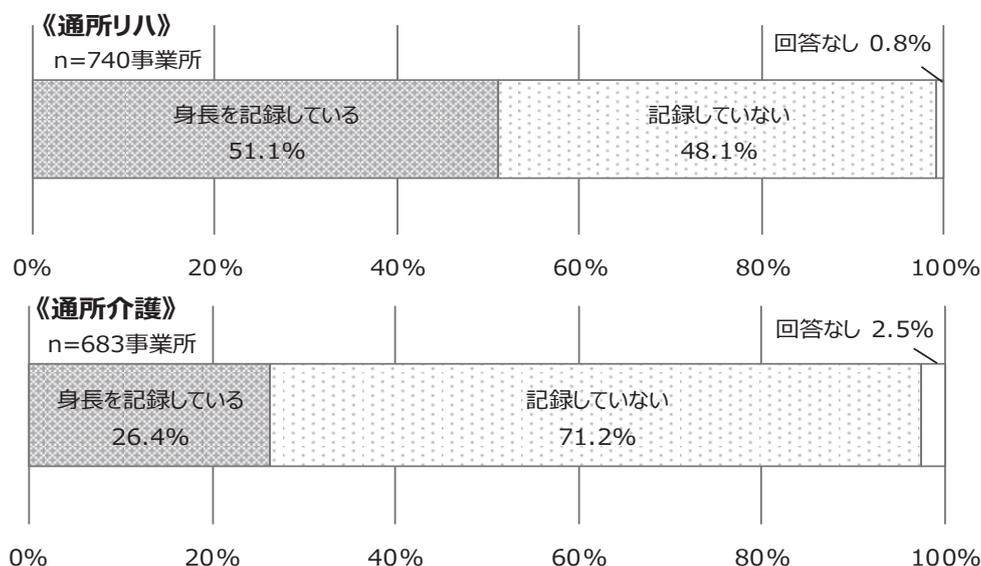


図 8 : 身長記録の有無

(5) 低栄養の状況

BMI18.5kg/m²未満の者がいると回答した事業所は、通所リハ 33.9%、通所介護 18.9%であり、BMIを把握していないと回答した事業所は、通所リハ 52.0%、通所介護 66.3%であった(図 9,表 I-1-④)。

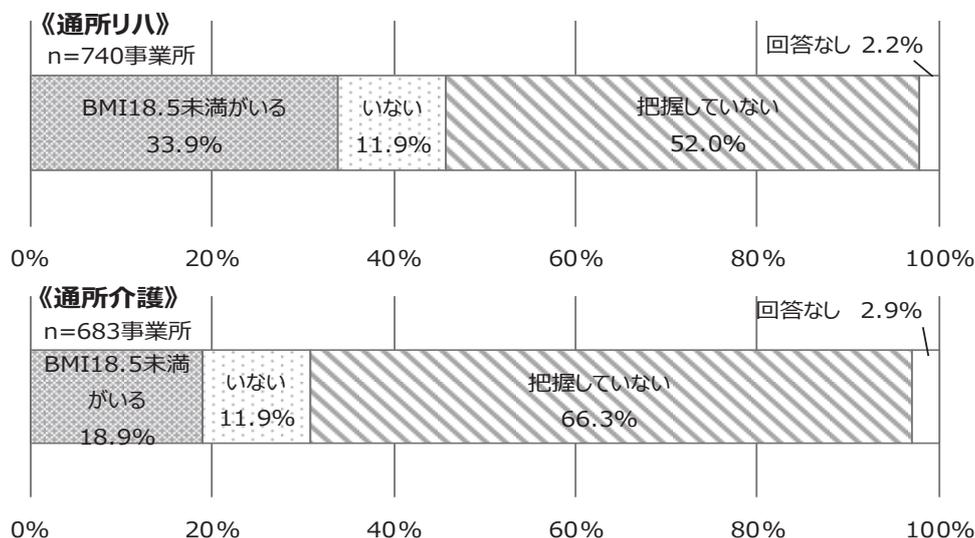


図 9 : BMI18.5kg/m²未満の者の有無

BMIを把握していると回答した事業所において、BMI18.5 kg/m²未満の者の1日の利用者に対する割合が20%以上の事業所は通所リハ 231事業所のうち24.6%、通所介護 120事業所のうち25.0%、同様に10%以上の事業所は通所リハ 52.3%、通所介護 60.0%であった(図 I-4-①)。さらに、低栄養(BMI18.5kg/m²未満)の利用者が20%以上の事業所の特徴

を検討するために行ったロジスティック回帰分析の結果、通所リハでは「栄養スクリーニング加算非算定」「リハビリテーション・マネジメント加算非算定」、通所介護では「個別機能訓練加算非算定」が特徴としてあげられた（図10,表I-5）。

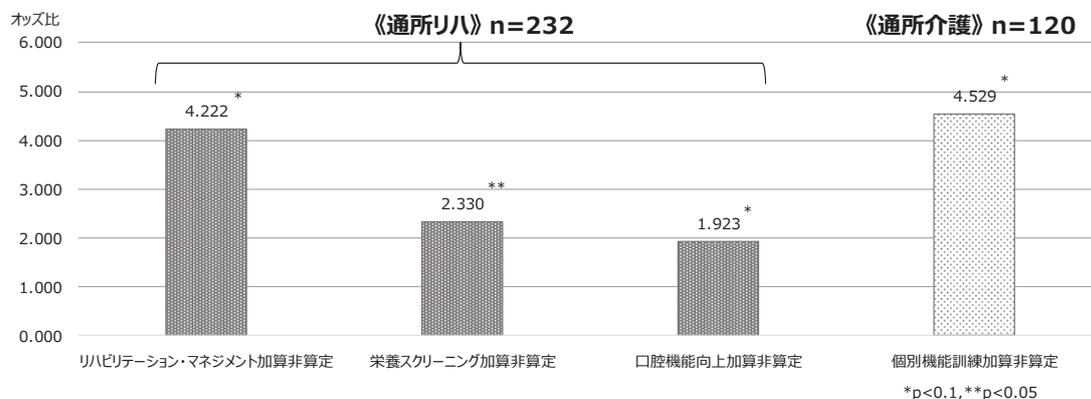


図10：低栄養者(BMI18.5kg/m²未満)20%以上の事業所特性
「非算定事業所」の「算定あり」事業所に対するオッズ比

平均要介護度別の BMI18.5kg/m² 未満の者がいる事業所割合は、通所リハでは、いずれの平均要介護度によっても殆ど変わらなかったが、通所介護では、平均要介護度 2 以上 3 未満の事業所では 20%台が 28.9%とわずかに多かった（図I-4-②）。

体重減少が 6 か月間に 2~3kg の者がいると回答した事業所は、通所リハ 47.6%、通所介護 46.6%であり、体重減少を把握していない事業所は、通所リハ 15.9%、通所介護 8.5%であった（図11,表I-1-④）。

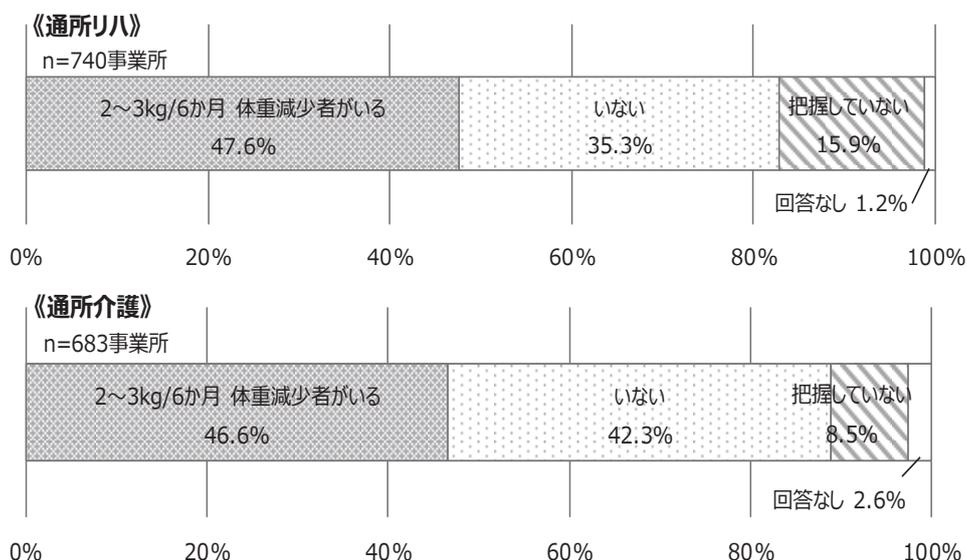


図11：6 か月間に 2~3kg の体重減少があった者の有無

事業所の平均要介護度別の体重減少が 6 か月間に 2~3kg の者がいると回答した事業所は、通所リハでは 1 未満 40.0%、1 以上 2 未満 45.1%、2 以上 3 未満 55.3%、3 以上 4 未満 62.5%、

4以上5未満 100%と増大し、通所介護では1未満 37.5%、1以上2未満 43.9%、2以上3未満 47.7%、3以上4未満 38.6%、4以上5未満 50.0%と増大した（表 I-2a-③、表 I-2a-④）。

体重減少を把握していると回答した事業所において体重減少が6か月間に2～3kgの者の1日の利用者に対する割合が20%以上の事業所は、通所リハ 329 事業所のうち 20.9%、通所介護 293 事業所のうち 17.4%、同様に 10%以上の事業者は通所リハ 50.7%、通所介護 44.4%であった（図 I-5-①）。

（6）摂食・嚥下機能の問題

摂食・嚥下機能に問題がある者がいる事業所は、通所リハ 62.0%、通所介護 61.2%であり、把握していない事業所は通所リハ 3.4%、通所介護 2.0%であった（図 12、表 I-1-⑤）。

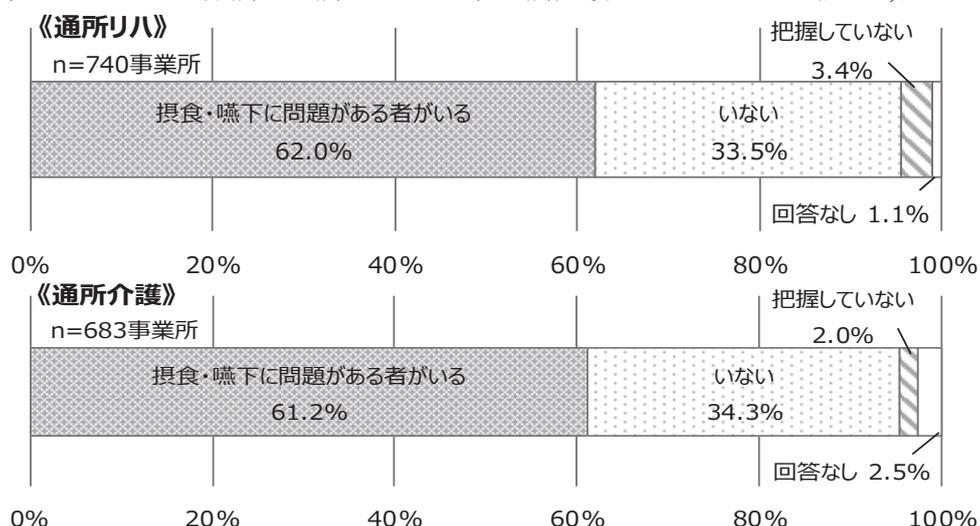


図 12：摂食・嚥下に問題のある者の有無

事業所の平均要介護度別の摂食・嚥下機能に問題があると回答した事業所の割合は、通所リハでは1未満 21.8%、1以上2未満 60.7%、2以上3未満 76.9%、3以上4未満 75.0%、4以上5未満 100%と増大し、通所介護では1未満 37.5%、1以上2未満 52.5%、2以上3未満 69.7%、3以上4未満 75.0%、4以上5未満 50.0%と増大した（表 I-2a-③、表 I-2b-④）。

摂食・嚥下の問題を把握していると回答した事業所において、摂食・嚥下の問題のある者の1日の利用者に対する割合が20%以上の事業所は、通所リハ 436 事業所のうち 10.1%、通所介護事業所 365 事業所のうち 11.2%、同様に 10%以上の事業所は通所リハ 42.4%、通所介護 44.1%であった（図 I-6-①）。

(7) 食事摂取量の記録・食事の調整・食事介助の状況

食事提供をしている事業所は、通所リハ 82.7%、通所介護 94.9%であった（図 13,表 I-1-⑥）。

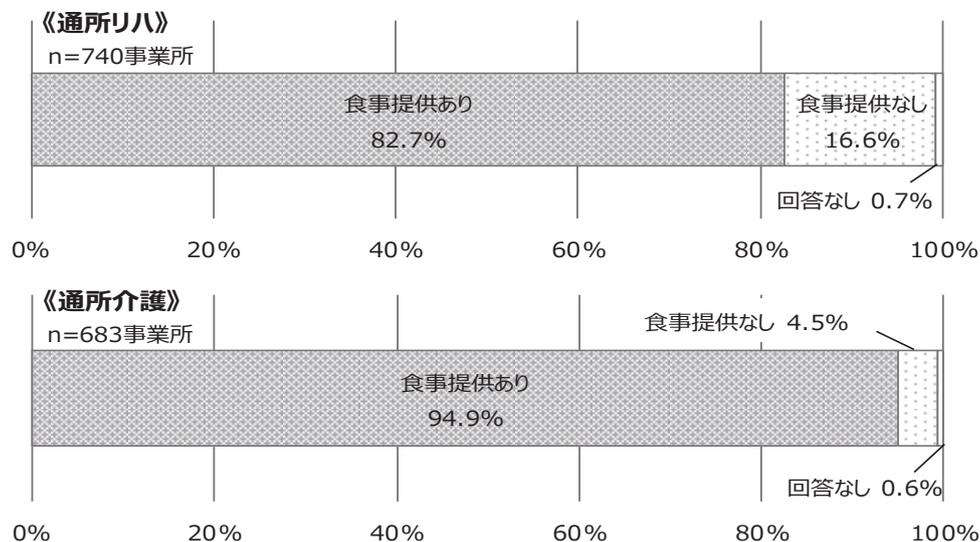


図 13：食事提供の有無

食事提供をしている通所リハ 612 事業所、通所介護 648 事業所において次の結果を得た。栄養状態を考慮した量(エネルギー量)の食事の提供は、通所リハ 79.1%、通所介護 74.1%、であった（図 14,表 I-1-⑥）。

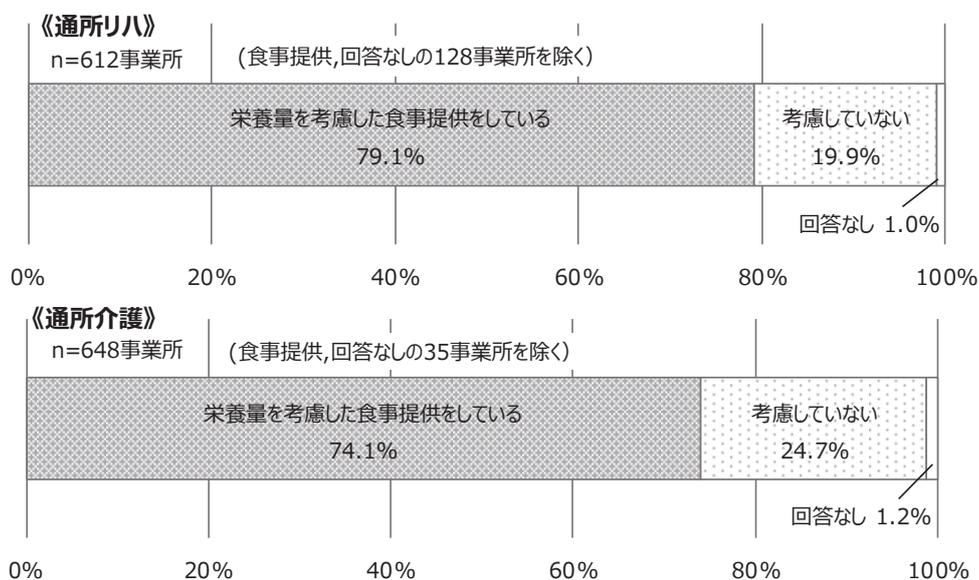


図 14：個人の栄養量を考慮した食事提供の有無

食事の摂取量の記録をしていると回答した事業所は、通所リハ 90.8%、通所介護 94.0%であった（表 I-1-⑥）。

食形態の調整（ミキサー、とろみづけ）が必要な者がいると回答した事業所は、食事提供をしている通所リハ 612 事業所、通所介護 648 事業所のうち通所リハ 71.9%、通所介護 69.1%であった（図 15,表 I-1-⑥）。

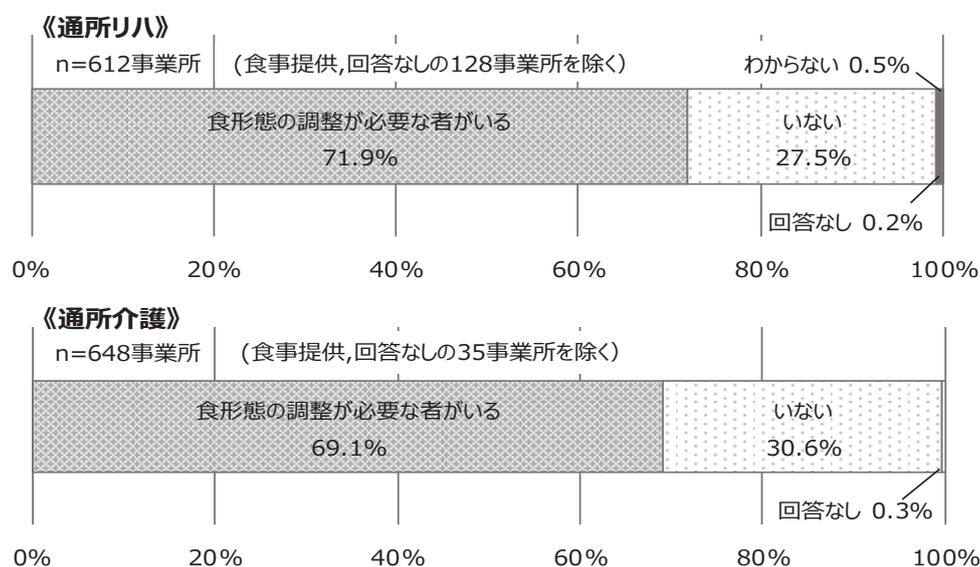


図 15：食形態の調整が必要な者の有無

事業所の平均要介護度別の食形態の調整（ミキサー、とろみづけ）が必要な者がいると回答した事業所の割合は、通所リハでは平均要介護度 1 未満の事業所では 55.6%、1 以上 2 未満 64.7%、2 以上 3 未満 84.3%、3 以上 4 未満 71.4%、4 以上 5 未満 100%と増大し、通所介護では 1 未満 16.7%、1 以上 2 未満 60.7%、2 以上 3 未満 77.8%、3 以上 4 未満 86.0%、4 以上 5 未満 50.0%と増大した（表 I-2a-④、表 I-2b-⑤）。

1 日の利用者のうち食形態の調整している者が 20%以上の事業所は、通所リハ 14.8%、通所介護 17.8%、同様に、10%以上の事業所は通所リハ 40.2%、通所介護 48.5%であった（図 I-7-①）。

食事の個別対応として栄養素の調整（タンパク質・炭水化物・脂質・塩分のいずれかの制限）が必要な者がいると回答した事業所は、通所リハ 64.7%、通所介護 44.8%であった（図 16,表 I-1-⑦）。

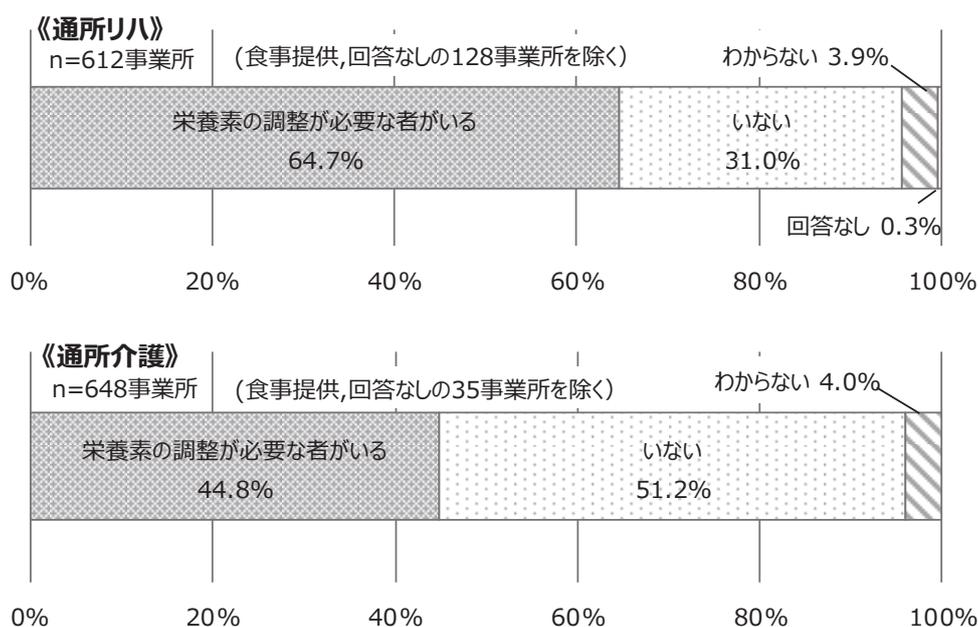


図 16 : 栄養素の調整が必要な者の有無

1 日の利用者のうち、このような栄養素の調整（エネルギー量）をしている者が 20%以上の事業所は、通所リハ 34.2%、通所介護 13.2%、同様に 10%以上の事業所は通所リハ 61.2%、通所介護 39.5%であった（図 I-8-①）。

食事介助が必要となる者がいると回答した事業所は、通所リハ 56.2%、通所介護 65.1%であった（図 17, 表 I-1-⑦）。

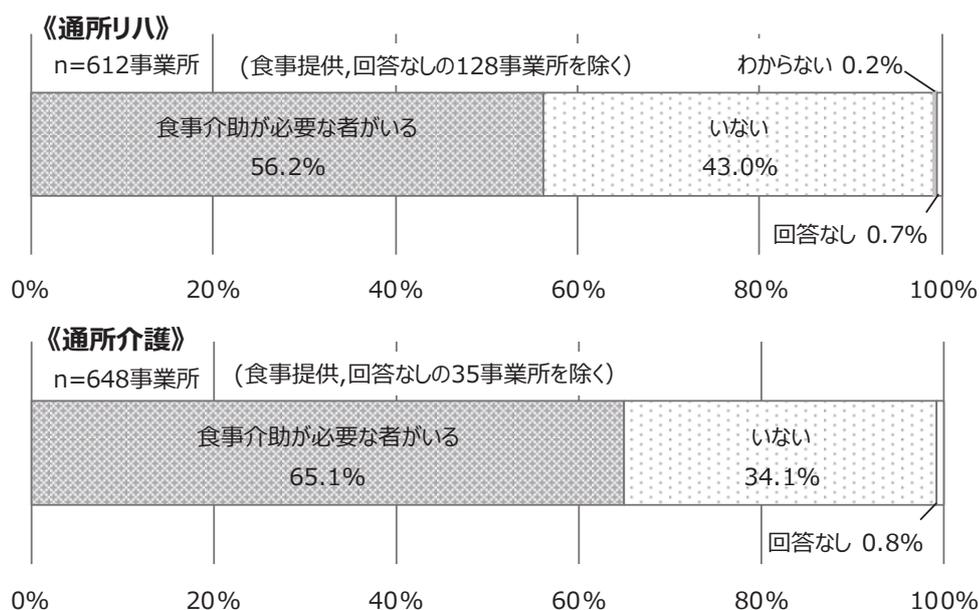


図 17 : 食事介助が必要な者の有無

1日の利用者のうち食事介助が必要な者が20%以上の事業所は、通所リハ3.6%、通所介護8.7%、同様に10%以上の事業所は、通所リハ20.2%、通所介護37.9%であった(図I-9-①)。食事介助が必要な者がいると回答した事業所のうち食事介助に不安に思うことがあるという回答は、通所リハ16.3%、通所介護12.1%であった(表I-7-①)。

(8) 食事の提供について

食事提供をしている通所リハ612事業所は、食事提供をしていない123事業所に対して、以下の特徴がみられた。

・主な事業所主体は医療法人75.0%(vs.78.0%) (有(vs.無))であったが、併設施設は介護老人保健施設46.7%(vs.9.8%)、病院・診療所56.0%(vs.94.3%)であった。平均定員数38.4人(vs.30.7人)、平均利用者数27.7人(vs.19.1人)であった(表I-3a-①)。

一方、通所介護においては、食事提供している648事業所は、していない31事業所に対して以下の特徴がみられた。

・主な事業主体は、社会福祉法人39.4%(vs.3.2%)、営利法人35.8%(vs.83.9%)であり、併設施設は、介護老人福祉施設27.6%(vs.3.2%)、平均定員数29.5人(vs.37.7人)、平均利用者数23.2人(vs.29.1人)、平均要介護度2.02(vs.0.87)であった(表I-3b-①)。

・食事提供をしていない事業所においては(vs.提供している事業所)、通所リハ及び通所介護のいずれにおいても、体重を記録していない(通所リハ60.2%vs.14.4%、通所介護54.8%vs.12.8%)、体重減少を把握していない(通所リハ32.5%vs.12.6%、通所介護16.1%vs.8.2%)、摂食・嚥下の問題がある者を把握していない(通所リハ13.0%vs.1.5%、通所介護16.1%vs.1.4%)と回答した事業所が極めて多かった(表I-3a-③④,表I-3b-③④)。さらに、このような食事提供をしていない事業所においては、管理栄養士との関わりのある事業所(通所リハ16.3%vs.73.9%、通所介護6.5%vs.35.2%)が少なく、食事の個別調整(通所リハ20.0%vs.75.9%、通所介護0.0%vs.63.6%)や食事時の観察(通所リハ5.0%vs.48.7%、通所介護0.0%vs.36.0%)等が実施されていなかった(表I-3a-⑥、表I-3b-⑥)。

(9) 管理栄養士・栄養士の関わり

1) 関わりの内容

管理栄養士との関わりがあると回答した事業所は通所リハ64.2%、通所介護33.7%であった(図18,表I-1-⑧)。

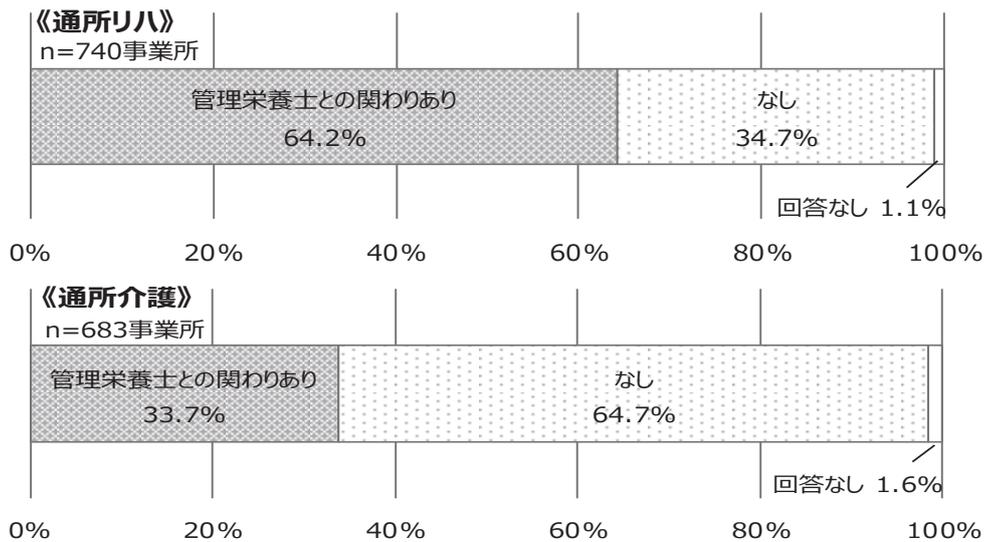


図 18：管理栄養士との関わり

関わりがあった事業所において、その内容は、通所リハ 475 か所のうち食事の個別調整 73.3%、食事時の観察（ミールラウンド）46.7%、栄養相談 45.3%、自宅訪問 2.7%、通所介護 230 事業所のうち食事の個別調整 63.0%、栄養相談 40.4%、食事時の観察 35.7%、自宅訪問 2.2%であった（表 I-1-⑧）。

栄養士との関わりがあると回答した事業所は通所リハ 208 か所(28.1%)、通所介護 200 か所(29.3%)であり、関わりがあった事業所において、その内容は、通所リハ 208 か所のうち食事の個別調整 74.5%、食事時の観察（ミールラウンド）36.1%、栄養相談 33.7%、自宅訪問 1.0%、通所介護 200 か所のうち食事の個別調整 70.0%、栄養相談 32.0%、食事時の観察（ミールラウンド）32.5%、自宅訪問 0.5%であった（表 I-1-⑧）。

栄養・食事の問題（摂食・嚥下も含む）に関して、専門職に相談したことがあると回答した事業所は、通所リハ 77.6%、通所介護 62.5%であった（図 19,表 I-1-⑨）。

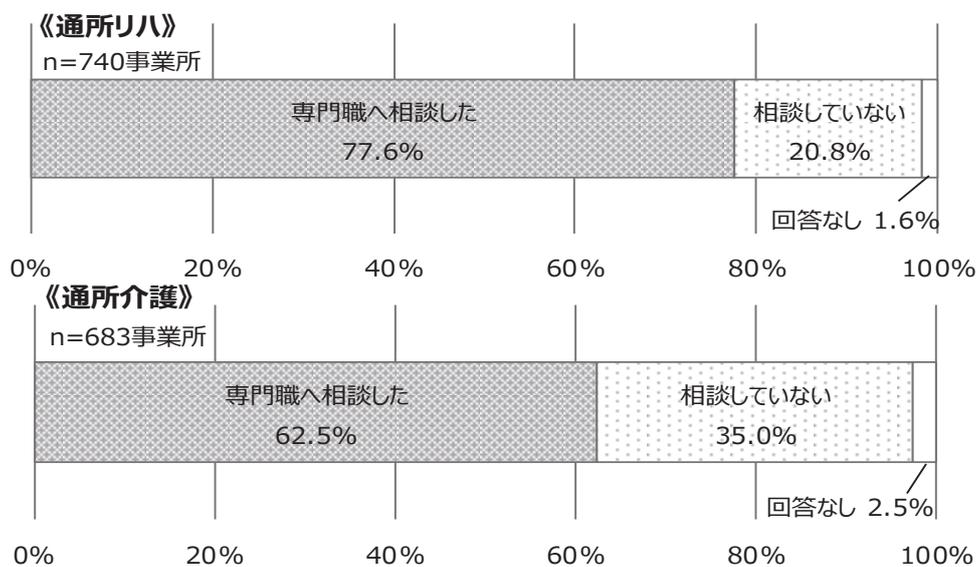


図 19：専門職への相談

相談した主な職種は、通所リハでは管理栄養士 63.6%、看護師 41.6%、言語聴覚士 39.4%、医師 36.2%、通所介護では看護師 50.6%、管理栄養士 35.1%、医師 26.9%、介護福祉士 18.5%であった（表 I-1-⑨）。

2) 管理栄養士の関わりがある場合の特徴

通所リハにおいては、管理栄養士の関わり有 475 事業所は無 257 事業所に対して次のような特徴がみられた。

- ・ 併設施設は介護老人保健施設が多い(54.5%vs.16.0%)（表 I-4a-①）。
- ・ リハビリテーション・マネジメント加算(Ⅲ)(34.3%vs.18.3%)、栄養スクリーニング加算(21.9%vs.2.7%)、栄養改善加算(15.4%vs.1.2%)、口腔機能向上加算(24.2%vs.16.7%)の算定をしている事業所が多くみられた（表 I-4a-③）。
- ・ 体重の記録(84.6%vs.62.6%)、身長(56.6%vs.41.6%)がある事業所が多い（表 I-4a-③）。
- ・ BMI の把握をしていない(49.3%vs.57.2%)、体重減少の把握をしていない(13.1%vs.21.8%)事業所が少なかった（表 I-4a-④）。
- ・ 食事の提供をしている(95.2%vs.59.5%)事業所が多くみられ、食事提供をしている 452 事業所は、栄養状態を考慮した量（エネルギー）の食事の提供(83.0%vs.68.0%)、食事摂取量の記録(97.9%vs.86.9%)、食形態の調整(79.1% vs.65.4%)、栄養素の調整が必要な者(73.2%vs.52.3%)が多かった（表 I-4a-⑤⑥）。
- ・ 管理栄養士の関わりの内容は、食事の個別調整 73.3%、食事時観察（ミールラウンド）46.7%、栄養相談 45.3%、自宅訪問 2.7%であった（表 I-4a-⑦）。
- ・ 専門職に相談した(90.1% vs. 54.9%)事業所において、主な専門職は、管理栄養士(79.9% vs.16.3%)、言語聴覚士(41.6% vs.32.6%)、看護師(43.9%vs.34.0%)、医師(32.7%vs.47.5%)であった（表 I-4a-⑧）。

一方、通所介護においては、管理栄養士の関わり有 230 事業所は無 442 事業所に対して、次のような特徴がみられた。

- ・ 事業主体は社会福祉法人(63.9%vs.24.0%)が多くみられた（表 I-4b-①）。
- ・ 併設施設は介護老人福祉施設が多かった(50.4%vs.14.0%)（表 I-4b-①）。
- ・ 食事の提供をしている 228 事業所 は、していない 411 事業所に対して、栄養状態を考慮した量の食事の提供(82.9%vs.69.1%)、食形態の調整(72.8%vs.67.2%)、栄養素の調整が必要な者がいる(61.4%vs.35.0%)、食事介助が必要な者がいる(70.6%vs.62.3%)がいずれも多くみられた（表 I-4b-⑤⑥）。
- ・ 管理栄養士の関わりの内容は、食事の個別調整 63.0%、栄養相談 40.4%、食事時の観察（ミールラウンド）35.7%、自宅訪問 2.2%であった（表 I-4b-⑦）。
- ・ 専門職に相談した(83.9%vs.51.6%)事業所は多く、主な専門職は、管理栄養士

(68.9%vs.6.6%)、看護師(51.8%vs.49.6%)、介護福祉士(22.8%vs.14.9%)、医師(17.6%vs.34.2%)であった(表I-4b-⑧)。

4. 考察

回収された事業所数は通所リハ及び通所介護ともに実態調査としての必要サンプル数を満たしており、その事業主体や利用者数等の特性も全国を代表していると思われた。

利用者の平均要介護度(標準偏差)は、通所リハが1.74(0.56)、通所介護が1.98(0.64)であったが(表I-1-①)、通所リハの事業所の68%近くは、の平均要介護度が1未満を含めて、要介護度2未満の事業所であり、また、通所介護もこのような平均要介護度の低い事業所が56%近くみられたことから、介護予防の範疇にある利用者が未だ多くを占めていることが明らかになった。

また、リハビリテーション・マネジメント加算(Ⅲ)(Ⅳ)や、個別機能訓練加算を算定している事業所は、平成30年4月の新設であったこともあり多いとは言えない状況であった。また、栄養スクリーニング加算、栄養改善加算及び口腔機能向上加算の算定も低迷していた。

このような中で、今回の事業所実態調査により、大きな問題として把握されたのは、体重の記録をしてない、6か月間の体重減少を把握していない、BMIを把握していないという栄養スクリーニングの基本が実施されていない事業所が相当な割合存在することであった。栄養スクリーニング加算の算定の有無に関わらず、体重の定期的(1か月ごと)なモニタリングは高齢者の栄養管理にとっての基本であると考えられた。そこで、本事業では、巻末に掲載したリハ職、介護職に体重の定期的測定の重要性の認識を醸成するための教材を作成することにした(巻末参照)。

さらに、当該調査結果から低栄養のリスク(BMI18.5kg/m²未満)の者や摂食・嚥下機能低下の問題がある者は各事業所に一定数存在することが初めて明らかにされた。しかし、食事提供が行われている事業所は通所リハの8割以上、通所介護の9割以上であったが、管理栄養士との関係がある事業所は、通所リハの6割、通所介護の3割にすぎなかった。また、低栄養の利用者が20%以上の事業所は、通所リハでは「栄養スクリーニング加算非算定」「リハビリテーション・マネジメント加算非算定」、通所介護では「個別機能訓練加算非算定」といった特徴が見られた。これらの結果から、通所系サービス事業所における低栄養や摂食嚥下機能低下に対する栄養ケア・マネジメントおよび多職種連携の体制が必要であると考えられた。

今後、管理栄養士による居宅療養管理指導が重度化した高齢者を対象にしながらも、地域において担う管理栄養士という人材資源が十分では状況に対応し、通所リハ及び通所介護が在宅高齢者の栄養管理の拠点として機能することが求められていくことから、具体的には以下のことが求められると考えられた。

1. 通所リハ及び通所介護のいずれにおいても、利用者全員に体重のモニタリングが実施されるよう、体重の記録をリハビリテーション計画書等に入れる必要があった。
2. 食事を提供している事業所においては、管理栄養士との関わりがある事業所が 7 割以上あることから、これらの事業所においては、管理栄養士の連携体制を強化し、栄養ケア計画をリハビリテーション計画に位置づけ、効果的なアセスメント・モニタリング及び栄養ケア計画のあり方をさらに検証する必要があった。
3. 食事を提供していない事業所においては、管理栄養士との関わりがない事業所が多いことから、管理栄養士が連携できない場合の方途や、近隣の管理栄養士による訪問やコンサルテーション等の体制の具体的なあり方をさらに検討していく必要があると考えられた。

表 1-1-1-① 通所リハ・通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査

通所リハビリテーション(n=740)		通所介護(n=683)		n	(%)	n	(%)
記入者							
管理者	227	(30.7)	管理者	491	(71.9)		
管理者以外の職員	505	(68.2)	管理者以外の職員	179	(26.2)		
欠損値	8	(1.1)	欠損値	13	(1.9)		
合計	740	(100.0)	合計	683	(100.0)		
I.問2 事業主体							
社会福祉法人	71	(9.6)	社会福祉法人	256	(37.5)		
医療法人	559	(75.5)	医療法人	51	(7.5)		
営利法人	2	(0.3)	営利法人	261	(38.2)		
NPO法人	0	(0.0)	NPO法人	19	(2.8)		
その他	106	(14.3)	その他	275	(40.3)		
欠損値	2	(0.3)	欠損値	2	(0.3)		
合計	740	(100.0)	合計	683	(100.0)		
I.問3 併設施設 (複数回答可)							
介護老人福祉施設	14	(1.9)	併設施設 (複数回答可)	180	(26.4)		
介護老人保健施設	300	(40.5)	介護老人福祉施設	12	(1.8)		
病院・診療所	462	(62.4)	介護老人保健施設	42	(6.1)		
その他	50	(6.8)	病院・診療所	275	(40.3)		
なし	8	(1.1)	その他	212	(31.0)		
平均値	37.1	20.0	なし			平均値	標準偏差
標準偏差	26.3	16.1	平均定員数	29.9	11.8		
I.問4			平均利用者数	23.4	11.4		
平均定員数			平均利用者数			平均値	標準偏差
平均利用者数						1.98	0.64
I.問5			平均要介護度				
平均要介護度							

表 1-1-② 通所リハ・通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査

通所リハビリテーション(n=740)	n		(%) 通所介護(n=683)		n		(%)	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
1.問6 認知症高齢者の日常生活自立度 (1施設あたりの割合)			1.問6：認知症高齢者の日常生活自立度 (1施設あたりの割合)					
自立割合 (%)	30.21	27.49	自立割合 (%)		16.14	21.43		
I割合 (%)	22.98	18.29	I割合 (%)		15.81	15.02		
IIa割合 (%)	13.56	12.90	IIa割合 (%)		15.23	14.22		
IIb割合 (%)	11.76	12.59	IIb割合 (%)		15.29	14.26		
IIIa割合 (%)	6.09	8.79	IIIa割合 (%)		9.94	11.87		
IIIb割合 (%)	1.83	4.23	IIIb割合 (%)		3.73	6.61		
IV割合 (%)	1.69	4.85	IV割合 (%)		3.36	6.27		
M割合 (%)	0.36	1.89	M割合 (%)		0.72	2.80		
不明割合 (%)	11.51	28.50	不明割合 (%)		19.77	32.68		

表 1-1-③ 通所リハ・通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査

通所リハビリテーション(n=740)		通所介護(n=683)	
平均値	n	標準偏差 (%)	n
I.問7：専門職			
医師 (人)	1.09	0.88	医師 (人)
歯科医師 (人)	0.02	0.31	歯科医師 (人)
介護福祉士 (人)	4.29	3.38	介護福祉士 (人)
看護師 (人)	0.89	0.88	看護師 (人)
准看護師 (人)	0.55	0.79	准看護師 (人)
管理栄養士 (人)	0.52	0.60	管理栄養士 (人)
栄養士 (人)	0.14	0.45	栄養士 (人)
理学療法士 (人)	2.39	1.88	理学療法士 (人)
作業療法士 (人)	1.22	1.23	作業療法士 (人)
言語聴覚士 (人)	0.36	0.63	言語聴覚士 (人)
歯科衛生士 (人)	0.07	0.29	歯科衛生士 (人)
その他 (人)	1.76	2.56	その他 (人)
II.問1 リハビリテーション・マネジメント加算 (複数回答)			
リハビリテーション・マネジメント加算I	562	(75.9)	個別機能訓練加算I
リハビリテーション・マネジメント加算II	109	(14.7)	個別機能訓練加算II
リハビリテーション・マネジメント加算III	210	(28.4)	両方
リハビリテーション・マネジメント加算IV	18	(2.4)	未算定
未算定	24	(3.2)	
II.問3 栄養・口腔関連加算			
栄養スクリーニング加算	111	(15.0)	II.問3 栄養・口腔関連加算
栄養改善加算	76	(10.3)	栄養スクリーニング加算
口腔機能向上加算	161	(21.8)	栄養改善加算
未算定	497	(67.2)	口腔機能向上加算
			未算定
平均値			平均値
			標準偏差
			標準偏差 (%)
			n
			(%)

表 1-1-④ 通所リハ・通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査

通所リハビリテーション (n=740)		通所介護 (n=683)	
	n	(%)	n
III.問1 体重の記録			
記録している (最近1か月で1回以上)	569	(76.9)	568
記録していない	163	(22.0)	100
欠損値	8	(1.1)	15
合計	740	(100.0)	683
III.問2 身長記録			
記録がある	378	(51.1)	180
記録はない	356	(48.1)	486
欠損値	6	(0.8)	17
合計	740	(100.0)	683
III.問3 BMI18.5 kg/m ² 未満の者			
いる	251	(33.9)	129
いない	88	(11.9)	81
把握していない	385	(52.0)	453
欠損値	16	(2.2)	20
合計	740	(100.0)	683
III.問4 6か月間に2~3 kgの体重減少があった者			
いる	352	(47.6)	318
いない	261	(35.3)	289
把握していない	118	(15.9)	58
欠損値	9	(1.2)	18
合計	740	(100.0)	683

表 1-1-⑤ 通所リハ・通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査

通所リハビリテーション(n=740)		通所介護(n=683)	
	n	(%)	n
III.問5 摂食・嚥下機能に問題がある者			
いる	459	(62.0)	418
いない	248	(33.5)	234
把握していない	25	(3.4)	14
欠損値	8	(1.1)	17
合計	740	(100.0)	683
			(100.0)
III.問5 摂食・嚥下機能に問題がある者			
いる			418
いない			234
把握していない			14
欠損値			17
合計			683
			(100.0)

表 | 1-1-⑥ 通所リハ・通所介護における栄養・食実態調査：事業所実態調査

通所リハビリテーション(n=740)	n	(%)	有効(%)	通所介護(n=683)	n	(%)	有効(%)
IV.問1 食事の提供をしている				IV.問1 食事の提供をしている			
はい	612	(82.7)		はい	648	(94.9)	
いいえ	123	(16.6)		いいえ	31	(4.5)	
欠損値	5	(0.7)		欠損値	4	(0.6)	
合計	740	(100.0)		合計	683	(100.0)	
食事の提供をしている施設(n=612)において				食事の提供をしている施設(n=648)において			
IV.問2 栄養状態を考慮した量の食事			(分母n=612の%)	IV.問2 栄養状態を考慮した量の食事			(分母n=648の%)
提供している	484	(65.4)	(79.1)	提供している	480	(70.3)	(74.1)
提供していない (提供量は個人ごとに設定してなかった)	122	(16.5)	(19.9)	提供していない (提供量は個人ごとに設定してなかった)	160	(23.4)	(24.7)
欠損値	6	(0.8)	(1.0)	欠損値	8	(1.2)	(1.2)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	128	(17.3)		(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	35	(5.1)	
合計	740	(100.0)		合計	683	(100.0)	
IV.問3 食事の摂取量の記録			(分母n=612の%)	IV.問3 食事の摂取量の記録			(分母n=648の%)
記録している	556	(75.1)	(90.8)	記録している	609	(89.2)	(94.0)
記録していない	54	(7.3)	(8.8)	記録していない	38	(5.6)	(5.9)
欠損値	2	(0.3)	(0.3)	欠損値	1	(0.1)	(0.2)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	128	(17.3)		(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	35	(5.1)	
合計	740	(100.0)		合計	683	(100.0)	
IV.問4 食形態の調整が必要な者			(分母n=612の%)	IV.問4 食形態の調整が必要な者			(分母n=648の%)
いる	440	(59.5)	(71.9)	いる	448	(65.6)	(69.1)
いない	168	(22.7)	(27.5)	いない	198	(29.0)	(30.6)
わからない	3	(0.4)	(0.5)	わからない	0	(0.0)	(0.0)
欠損値	1	(0.1)	(0.2)	欠損値	2	(0.3)	(0.3)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	128	(17.3)		(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	35	(5.1)	
合計	740	(100.0)		合計	683	(100.0)	

表 1-1-⑦ 通所リハ・通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査

通所リハビリテーション(n=740)	n	(%)	有効(%)	通所介護(n=683)	n	(%)	有効(%)
IV.問5 栄養素の調整が必要な者		(分母n=612の%)		IV.問5 栄養素の調整が必要な者		(分母n=648の%)	
いる	396	(53.5)	(64.7)	いる	290	(42.5)	(44.8)
いない	190	(25.7)	(31.0)	いない	332	(48.6)	(51.2)
わからない	24	(3.2)	(3.9)	わからない	26	(3.8)	(4.0)
欠損値	2	(0.3)	(0.3)	欠損値	0	(0.0)	(0.0)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	128	(17.3)		(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	35	(5.1)	
合計	740	(100.0)		合計	683	(100.0)	
IV.問6 食事介助が必要な者		(分母n=612の%)		IV.問6 食事介助が必要な者		(分母n=648の%)	
いる	344	(46.5)	(56.2)	いる	422	(61.8)	(65.1)
いない	263	(35.5)	(43.0)	いない	221	(32.4)	(34.1)
わからない	1	(0.1)	(0.2)		0	(0.0)	(0.0)
欠損値	4	(0.5)	(0.7)	欠損値	5	(0.7)	(0.8)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	128	(17.3)		(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	35	(5.1)	
合計	740	(100.0)		合計	683	(100.0)	
食事介助が必要な者がいる施設(n=344)において				食事介助が必要な者がいる施設(n=422)において			
IV.問6 食事介助で不安に思うこと		(分母n=344の%)		IV.問6 食事介助で不安に思うこと		(分母n=422の%)	
ある	56	(7.6)	(16.3)	ある	51	(7.5)	(12.1)
ない	280	(37.8)	(81.4)	ない	365	(53.4)	(86.5)
欠損値	8	(1.1)	(2.3)	欠損値	6	(0.9)	(1.4)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	128	(17.3)		(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	35	(5.1)	
(IV.問6 食事介助が必要な者がいない・わからない+欠損値)	268	(36.2)		(IV.問6 食事介助が必要な者がいない・わからない+欠損値)	226	(33.1)	
合計	740	(100.0)		合計	683	(100.0)	

表 1-1-⑧ 通所リハ・通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査

通所リハビリテーション(n=740)	n	(%)	有効(%)	通所介護(n=683)	n	(%)	有効(%)
V.問1 管理栄養士との関わり				V.問1 管理栄養士との関わり			
あり	475	(64.2)		あり	230	(33.7)	
なし	257	(34.7)		なし	442	(64.7)	
欠損値	8	(1.1)		欠損値	11	(1.6)	
合計	740	(100.0)		合計	683	(100.0)	
管理栄養士との関わりがある施設(n=475)において				管理栄養士との関わりがある施設(n=230)において			
V.問1 管理栄養士のかかわり内容 (複数回答)			(分母n=475の%)	V.問1 管理栄養士のかかわり内容 (複数回答)			(分母n=230の%)
食事時の観察 (ミーララウンド)	222	(30.0)	(46.7)	食事時の観察 (ミーララウンド)	82	(12.0)	(35.7)
食事の個別調整	348	(47.0)	(73.3)	食事の個別調整	145	(21.2)	(63.0)
栄養相談	215	(29.1)	(45.3)	栄養相談	93	(13.6)	(40.4)
自宅訪問	13	(1.8)	(2.7)	自宅訪問	5	(0.7)	(2.2)
その他	72	(9.7)	(15.2)	その他	58	(8.5)	(25.2)
V.問2 栄養士との関わり				V.問2 栄養士との関わり			
あり	208	(28.1)		あり	200	(29.3)	
なし	444	(60.0)		なし	437	(64.0)	
欠損値	88	(11.9)		欠損値	46	(6.7)	
合計	740	(100.0)		合計	683	(100.0)	
栄養士との関わりがある施設(n=208)において				栄養士との関わりがある施設(n=200)において			
V.問2 栄養士のかかわり内容 (複数回答)			(分母n=208の%)	V.問2 栄養士のかかわり内容 (複数回答)			(分母n=200の%)
食事時の観察 (ミーララウンド)	75	(10.1)	(36.1)	食事時の観察 (ミーララウンド)	65	(9.5)	(32.5)
食事の個別調整	155	(20.9)	(74.5)	食事の個別調整	140	(20.5)	(70.0)
栄養相談	70	(9.5)	(33.7)	栄養相談	64	(9.4)	(32.0)
自宅訪問	2	(0.3)	(1.0)	自宅訪問	1	(0.1)	(0.5)
その他	40	(5.4)	(19.2)	その他	42	(6.1)	(21.0)

表 1-1-⑨ 通所リハ・通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査

通所リハビリテーション(n=740)	n	(%)	有効(%)	通所介護(n=683)	n	(%)	有効(%)
V.問3 専門職への相談				V.問3 専門職への相談			
相談した	574	(77.6)		相談した	427	(62.5)	
相談していない	154	(20.8)		相談していない	239	(35.0)	
欠損値	12	(1.6)		欠損値	17	(2.5)	
合計	740	(100.0)		合計	683	(100.0)	
専門職への相談をした施設(n=574)において				専門職への相談をした施設(n=427)において			
V.問3 相談した職種(複数回答)			(分母n=574の%)	V.問3 相談した職種(複数回答)			(分母n=427の%)
医師	208	(28.1)	(36.2)	医師	115	(16.8)	(26.9)
歯科医師	10	(1.4)	(1.7)	歯科医師	24	(3.5)	(5.6)
介護福祉士	109	(14.7)	(19.0)	介護福祉士	79	(11.6)	(18.5)
看護師	239	(32.3)	(41.6)	看護師	216	(31.6)	(50.6)
准看護師	64	(8.6)	(11.1)	准看護師	79	(11.6)	(18.5)
管理栄養士	365	(49.3)	(63.6)	管理栄養士	150	(22.0)	(35.1)
栄養士	74	(10.0)	(12.9)	栄養士	74	(10.8)	(17.3)
理学療法士	143	(19.3)	(24.9)	理学療法士	32	(4.7)	(7.5)
作業療法士	124	(16.8)	(21.6)	作業療法士	22	(3.2)	(5.2)
言語聴覚士	226	(30.5)	(39.4)	言語聴覚士	44	(6.4)	(10.3)
歯科衛生士	32	(4.3)	(5.6)	歯科衛生士	30	(4.4)	(7.0)
調理師	29	(3.9)	(5.1)	調理師	68	(10.0)	(15.9)
その他	25	(3.4)	(4.4)	その他	30	(4.4)	(7.0)

表 1-2a-① 通所リハにおける栄養・食実態調査：事業所実態調査（平均要介護度別）

記入者	1 未満 (n=55)		1 以上 2 未満 (n=377)		2 以上 3 未満 (n=199)		3 以上 4 未満 (n=8)		4 以上 5 未満 (n=1)	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
管理者	16	(29.1)	98	(26.0)	77	(38.7)	2	(25.0)	1	(100.0)
管理者以外の職員	39	(70.9)	276	(73.2)	120	(60.3)	6	(75.0)	0	(0.0)
欠損値	0	(0.0)	3	(0.8)	2	(1.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	55	(100.0)	377	(100.0)	199	(100.0)	8	(100.0)	1	(100.0)
I. 問2 事業主体										
社会福祉法人	1	(1.8)	34	(9.0)	23	(11.6)	1	(12.5)	0	(0.0)
医療法人	44	(80.0)	292	(77.5)	141	(70.9)	6	(75.0)	1	(100.0)
営利法人	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.5)	0	(0.0)	0	(0.0)
NPO法人	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
その他	9	(16.4)	50	(13.3)	34	(17.1)	1	(12.5)	0	(0.0)
欠損値	1	(1.8)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	55	(100.0)	377	(100.0)	199	(100.0)	8	(100.0)	1	(100.0)
I. 問3 併設施設（複数回答可）										
介護老人福祉施設	0	(0.0)	11	(2.9)	3	(1.5)	0	(0.0)	0	(0.0)
介護老人保健施設	4	(7.3)	136	(36.1)	111	(55.8)	5	(62.5)	0	(0.0)
病院・診療所	52	(94.5)	255	(67.6)	95	(47.7)	3	(37.5)	1	(100.0)
その他	2	(3.6)	24	(6.4)	19	(9.5)	0	(0.0)	0	(0.0)
なし	0	(0.0)	3	(0.8)	2	(1.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
I. 問4	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
平均定員数	27.8	21.2	37.0	19.2	38.3	17.8	23.0	13.8	20.0	-
平均利用者数	16.6	11.8	25.7	14.9	27.8	14.7	12.9	10.2	10.0	-
I. 問5	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
平均要介護度	0.73	0.18	1.55	0.28	2.31	0.24	3.23	0.27	4.10	-

表 I-2a-② 通所リハにおける栄養・食実態調査：事業所実態調査（平均要介護度別）

	1 未満 (n=55)			1 以上 2 未満 (n=377)			2 以上 3 未満 (n=199)			3 以上 4 未満 (n=8)			4 以上 5 未満 (n=1)		
	平均値	標準偏差	n	平均値	標準偏差	n	平均値	標準偏差	n	平均値	標準偏差	n	平均値	標準偏差	n
	(%)	(%)		(%)	(%)		(%)	(%)		(%)	(%)		(%)	(%)	
I. 問6 認知症高齢者の日常生活自立度（1施設あたりの割合）															
自立割合 (%)	58.13	32.72	29.77	26.84	21.86	19.52	40.62	39.87	0	-	-	0	-	-	-
I割合 (%)	24.43	23.18	24.74	18.11	20.30	14.84	18.49	24.19	0	-	-	0	-	-	-
IIa割合 (%)	7.96	10.33	14.24	14.12	14.45	10.90	4.58	7.98	30	-	-	30	-	-	-
IIb割合 (%)	3.99	7.16	12.22	13.15	13.74	12.00	4.05	9.32	10	-	-	10	-	-	-
IIIa割合 (%)	0.80	2.37	4.78	6.76	9.74	11.35	3.69	5.17	20	-	-	20	-	-	-
IIIb割合 (%)	0.14	1.01	1.33	3.18	3.22	5.58	4.46	7.84	0	-	-	0	-	-	-
IV割合 (%)	0.43	2.60	1.03	2.94	2.81	5.80	8.93	21.00	30	-	-	30	-	-	-
M割合 (%)	0.00	0.00	0.34	1.95	0.45	1.94	0.89	2.36	10	-	-	10	-	-	-
不明割合 (%)	4.13	19.79	11.55	28.67	13.44	29.70	14.29	37.80	0	-	-	0	-	-	-
I. 問7：専門職															
医師 (人)	1.14	0.84	1.10	0.83	1.02	0.61	2.28	4.35	1.00	-	-	1.00	-	-	-
歯科医師 (人)	0.03	0.17	0.03	0.40	0.00	0.00	0.20	0.45	-	-	-	-	-	-	-
介護福祉士 (人)	1.51	1.82	4.02	3.21	5.21	3.37	3.40	2.61	6.00	-	-	6.00	-	-	-
看護師 (人)	0.49	0.64	0.83	0.90	1.02	0.89	0.50	0.84	-	-	-	-	-	-	-
准看護師 (人)	0.27	0.65	0.58	0.72	0.56	0.92	0.20	0.45	-	-	-	-	-	-	-
管理栄養士 (人)	0.32	0.75	0.49	0.57	0.62	0.60	0.44	0.52	-	-	-	-	-	-	-
栄養士 (人)	0.22	0.72	0.14	0.41	0.14	0.46	0.17	0.41	-	-	-	-	-	-	-
理学療法士 (人)	2.08	1.58	2.40	1.94	2.32	1.75	1.36	1.03	1.00	-	-	1.00	-	-	-
作業療法士 (人)	0.54	0.64	1.22	1.22	1.37	1.38	1.21	0.81	1.00	-	-	1.00	-	-	-
言語聴覚士 (人)	0.15	0.44	0.31	0.64	0.41	0.61	0.40	0.89	-	-	-	-	-	-	-
歯科衛生士 (人)	0.06	0.23	0.08	0.33	0.04	0.19	0.40	0.89	-	-	-	-	-	-	-
その他 (人)	1.16	1.59	1.78	2.25	1.77	2.74	0.50	0.55	-	-	-	-	-	-	-
II. 問1 リハビリテーション・マネジメント加算（複数回答）															
リハビリテーション・マネジメント加算I	38	(69.1)	296	(78.5)	154	(77.4)	5	(62.5)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)	(0.0)
リハビリテーション・マネジメント加算II	8	(14.5)	50	(13.3)	34	(17.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)	(0.0)
リハビリテーション・マネジメント加算III	12	(21.8)	100	(26.5)	60	(30.2)	2	(25.0)	1	(100.0)	(100.0)	1	(100.0)	(100.0)	(100.0)
リハビリテーション・マネジメント加算IV	2	(3.6)	7	(1.9)	7	(3.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)	(0.0)
未算定	2	(3.6)	11	(2.9)	6	(3.0)	2	(25.0)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)	(0.0)

表 1-2a-③ 通所リハにおける栄養・食事実態調査：事業所実態調査（平均要介護度別）

	1 未満 (n=55)		1 以上 2 未満 (n=377)		2 以上 3 未満 (n=199)		3 以上 4 未満 (n=8)		4 以上 5 未満 (n=1)	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
II. 問3 栄養・口腔関連加算										
栄養スクリーニング加算	8	(14.5)	50	(13.3)	38	(19.1)	1	(12.5)	0	(0.0)
栄養改善加算	5	(9.1)	28	(7.4)	34	(17.1)	0	(0.0)	0	(0.0)
口腔機能向上加算	8	(14.5)	80	(21.2)	54	27.1	1	(12.5)	0	(0.0)
未算定	42	(76.4)	259	(68.7)	118	(59.3)	7	(87.5)	1	(100.0)
III. 問1 体重の記録										
記録している（最近1か月で1回以上）	29	(52.7)	291	(77.2)	168	(84.4)	6	(75.0)	1	(100.0)
記録していない	25	(45.5)	82	(21.8)	30	(15.1)	2	(25.0)	0	(0.0)
欠損値	1	(1.8)	4	(1.1)	1	(0.5)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	55	(100.0)	377	(100.0)	199	(100.0)	8	(100.0)	1	(100.0)
III. 問2 身長の記録										
記録がある	31	56.4	185	(49.1)	104	(52.3)	6	(75.0)	0	(0.0)
記録はない	24	43.6	189	(50.1)	94	(47.2)	2	(25.0)	1	(100.0)
欠損値	0	(0.0)	3	(0.8)	1	(0.5)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	55	(100.0)	377	(100.0)	199	(100.0)	8	(100.0)	1	(100.0)
III. 問3 BMI18.5 kg/m ² 未満の者										
いる	20	(36.4)	120	(31.8)	72	(36.2)	3	(37.5)	1	(100.0)
いない	10	(18.2)	50	(13.3)	16	(8.0)	1	(12.5)	0	(0.0)
把握していない	24	(43.6)	197	(52.3)	110	(55.3)	4	(50.0)	0	(0.0)
欠損値	1	(1.8)	10	(2.7)	1	(0.5)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	55	(100.0)	377	(100.0)	199	(100.0)	8	(100.0)	1	(100.0)
III. 問4 6か月間に2～3 kgの体重減少があった者										
いる	22	(40.0)	170	(45.1)	110	(55.3)	5	(62.5)	1	(100.0)
いない	23	(41.8)	146	(38.7)	59	(29.6)	2	(25.0)	0	(0.0)
把握していない	9	(16.4)	57	(15.1)	28	(14.1)	1	(12.5)	0	(0.0)
欠損値	1	(1.8)	4	(1.1)	2	(1.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	55	(100.0)	377	(100.0)	199	(100.0)	8	(100.0)	1	(100.0)
III. 問5 摂食・嚥下機能に問題がある者										
いる	12	(21.8)	229	(60.7)	153	(76.9)	6	(75.0)	1	(100.0)
いない	36	(65.5)	135	(35.8)	40	(20.1)	2	(25.0)	0	(0.0)
把握していない	6	(10.9)	11	(2.9)	4	(2.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
欠損値	1	(1.8)	2	(0.5)	2	(1.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	55	(100.0)	377	(100.0)	199	(100.0)	8	(100.0)	1	(100.0)

表 1 -2a-④ 通所リハにおける栄養・食事実態調査：事業所実態調査（平均要介護度別）

	1 未満 (n=55)			1 以上 2 未満 (n=377)			2 以上 3 未満 (n=199)			3 以上 4 未満 (n=8)			4 以上 5 未満 (n=1)		
	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)
IV.問1 食事の提供をしている															
はい	18	(32.7)	(分母n=18の%)	309	(82.0)	(分母n=309の%)	197	(99.0)	(分母n=199の%)	7	(87.5)	(分母n=7の%)	1	(100.0)	(分母n=1の%)
いいえ	37	(67.3)		67	(17.8)		2	(1.0)		1	(12.5)		0	(0.0)	
欠損値	0	(0.0)		1	(0.3)		0	(0.0)		0	(0.0)		0	(0.0)	
合計	55	(100.0)		377	(100.0)		199	(100.0)		8	(100.0)		1	(100.0)	
食事の提供をしている施設(n=18)において															
IV.問2 栄養状態を考慮した量の食事提供している	8	(14.5)	(分母n=18の%)	244	(64.7)	(分母n=309の%)	158	(79.4)	(分母n=199の%)	7	(87.5)	(分母n=7の%)	0	(0.0)	(分母n=1の%)
提供していない(提供量は個人ごとに設定していなかった)	10	(18.2)		63	(16.7)		37	(18.6)		0	(0.0)		1	(100.0)	(100.0)
欠損値	0	(0.0)		2	(0.5)		2	(1.0)		0	(0.0)		0	(0.0)	(0.0)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	37	(67.3)		68	(18.0)		2	(1.0)		1	(12.5)		0	(0.0)	(0.0)
合計	55	(100.0)	(分母n=18の%)	377	(100.0)	(分母n=309の%)	199	(100.0)	(分母n=197の%)	8	(100.0)	(分母n=7の%)	1	(100.0)	(分母n=1の%)
IV.問3 食事の摂取量の記録															
記録している	16	(29.1)	(88.9)	279	(74.0)	(90.3)	185	(93.0)	(93.9)	7	(87.5)	(100.0)	1	(100.0)	(100.0)
記録していない	2	(3.6)	(11.1)	30	(8.0)	(9.7)	12	(6.0)	(6.1)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)
欠損値	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	37	(67.3)		68	(18.0)		2	(1.0)		1	(12.5)		0	(0.0)	(0.0)
合計	55	(100.0)	(分母n=18の%)	377	(100.0)	(分母n=309の%)	199	(100.0)	(分母n=197の%)	8	(100.0)	(分母n=7の%)	1	(100.0)	(分母n=1の%)
IV.問4 食形態の調整が必要な者															
いる	10	(18.2)	(55.6)	200	(53.1)	(64.7)	166	(83.4)	(84.3)	5	(62.5)	(71.4)	1	(100.0)	(100.0)
いない	8	(14.5)	(44.4)	107	(28.4)	(34.6)	31	(15.6)	(15.7)	2	(25.0)	(28.6)	0	(0.0)	(0.0)
わからない	0	(0.0)	(0.0)	1	(0.3)	(0.3)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)
欠損値	0	(0.0)	(0.0)	1	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	37	(67.3)		68	(18.0)		2	(1.0)		1	(12.5)		0	(0.0)	(0.0)
合計	55	(100.0)	(分母n=18の%)	377	(100.0)	(分母n=309の%)	199	(100.0)	(分母n=197の%)	8	(100.0)	(分母n=7の%)	1	(100.0)	(分母n=1の%)
IV.問5 栄養素の調整が必要な者															
いる	7	(12.7)	(38.9)	198	(52.5)	(64.1)	137	(68.8)	(69.5)	4	(50.0)	(57.1)	1	(100.0)	(100.0)
いない	11	(20.0)	(61.1)	93	(24.7)	(30.1)	54	(27.1)	(27.4)	3	(37.5)	(42.9)	0	(0.0)	(0.0)
わからない	0	(0.0)	(0.0)	17	(4.5)	(5.5)	5	(2.5)	(2.5)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)
欠損値	0	(0.0)	(0.0)	1	(0.3)	(0.3)	1	(0.5)	(0.5)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	37	(67.3)		68	(18.0)		2	(1.0)		1	(12.5)		0	(0.0)	(0.0)
合計	55	(100.0)	(分母n=18の%)	377	(100.0)	(分母n=309の%)	199	(100.0)	(分母n=197の%)	8	(100.0)	(分母n=7の%)	1	(100.0)	(分母n=1の%)

表 1-2a-⑤ 通所リハにおける栄養・食事実態調査：事業所実態調査（平均要介護度別）

	1 未満 (n=55)			1 以上 2 未満 (n=377)			2 以上 3 未満 (n=199)			3 以上 4 未満 (n=8)			4 以上 5 未満 (n=1)		
	n	(%)	有効(%) (分母n=18の%)	n	(%)	有効(%) (分母n=309の%)	n	(%)	有効(%) (分母n=197の%)	n	(%)	有効(%) (分母n=7の%)	n	(%)	有効(%) (分母n=1の%)
IV.問6 食事介助が必要な者															
いる	2	(3.6)	(11.1)	144	(38.2)	(46.6)	148	(74.4)	(75.1)	5	(62.5)	(71.4)	1	(100.0)	(100.0)
いない	16	(29.1)	(88.9)	163	(43.2)	(52.8)	48	(24.1)	(24.4)	2	(25.0)	(28.6)	0	(0.0)	(0.0)
欠損値	0	(0.0)	(0.0)	2	(0.5)	(0.6)	1	(0.5)	(0.5)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	37	(67.3)	(18.0)	68	(18.0)	(18.0)	2	(1.0)	(1.0)	1	(12.5)	(12.5)	0	(0.0)	(0.0)
合計	55	(100.0)	(100.0)	377	(100.0)	(100.0)	199	(100.0)	(100.0)	8	(100.0)	(100.0)	1	(100.0)	(100.0)
(分母n=18の%)				(n=144)において			(n=148)において			(n=5)において			(n=1)において		
食事介助が必要な者がいる施設(n=2)において															
IV.問6 食事介助で不安に思うこと															
ある	1	(1.8)	(50.0)	20	(5.3)	(13.9)	28	(14.1)	(18.9)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(分母n=1の%)
ない	1	(1.8)	(50.0)	122	(32.4)	(84.7)	116	(58.3)	(78.4)	4	(50.0)	(80.0)	1	(100.0)	(100.0)
欠損値	0	(0.0)	(0.0)	2	(0.5)	(1.4)	4	(2.0)	(2.7)	1	(12.5)	(20.0)	0	(0.0)	(0.0)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	37	(67.3)	(18.0)	68	(18.0)	(18.0)	2	(1.0)	(1.0)	1	(12.5)	(12.5)	0	(0.0)	(0.0)
(IV.問6 食事介助が必要な者がいない・ わからない+欠損値)	16	(29.1)	(43.8)	165	(43.8)	(43.8)	49	(24.6)	(25.0)	2	(25.0)	(25.0)	0	(0.0)	(0.0)
合計	55	(100.0)	(100.0)	377	(100.0)	(100.0)	199	(100.0)	(100.0)	8	(100.0)	(100.0)	1	(100.0)	(100.0)
V.問1 管理栄養士との関わり															
あり	17	(30.9)	(62.3)	235	(62.3)	(62.3)	153	(76.9)	(76.9)	5	(62.5)	(62.5)	0	(0.0)	(0.0)
なし	38	(69.1)	(36.3)	137	(36.3)	(36.3)	45	(22.6)	(22.6)	3	(37.5)	(37.5)	1	(100.0)	(100.0)
欠損値	0	(0.0)	(1.3)	5	(1.3)	(1.3)	1	(0.5)	(0.5)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)
合計	55	(100.0)	(100.0)	377	(100.0)	(100.0)	199	(100.0)	(100.0)	8	(100.0)	(100.0)	1	(100.0)	(100.0)
(分母n=17の%)				(n=235)において			(n=153)において			(n=5)において			(n=0)において		
管理栄養士との関わりがある施設(n=17)において															
V.問1 管理栄養士のかかり内容 (複数回答)															
食事時の観察 (ミールラウンド)	5	(9.1)	(29.4)	103	(27.3)	(43.8)	82	(41.2)	(53.6)	4	(50.0)	(80.0)	0	(0.0)	(分母n=0の%)
食事の個別調整	8	(14.5)	(47.1)	179	(47.5)	(76.2)	115	(57.8)	(75.2)	1	(12.5)	(20.0)	0	(0.0)	(0.0)
栄養相談	8	(14.5)	(47.1)	98	(26.0)	(41.7)	78	(39.2)	(51.0)	2	(25.0)	(40.0)	0	(0.0)	(0.0)
自宅訪問	2	(3.6)	(11.8)	3	(0.8)	(1.3)	7	(3.5)	(4.6)	1	(12.5)	(20.0)	0	(0.0)	(0.0)
その他	4	(7.3)	(23.5)	31	(13.2)	(13.2)	25	(12.6)	(16.3)	1	(12.5)	(20.0)	0	(0.0)	(0.0)
V.問2 栄養士との関わり															
あり	7	(12.7)	(26.8)	101	(26.8)	(26.8)	62	(31.2)	(31.2)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)
なし	47	(85.5)	(71.4)	227	(60.2)	(60.2)	114	(57.3)	(57.3)	5	(62.5)	(62.5)	1	(100.0)	(100.0)
欠損値	1	(1.8)	(13.0)	49	(13.0)	(13.0)	23	(11.6)	(11.6)	3	(37.5)	(37.5)	0	(0.0)	(0.0)
合計	55	(100.0)	(100.0)	377	(100.0)	(100.0)	199	(100.0)	(100.0)	8	(100.0)	(100.0)	1	(100.0)	(100.0)
(分母n=7の%)				(n=101)において			(n=62)において			(n=0)において			(n=0)において		
栄養士との関わりがある施設(n=7)において															
V.問2 栄養士のかかり内容 (複数回答)															
食事時の観察 (ミールラウンド)	1	(1.8)	(14.3)	34	(9.0)	(33.7)	26	(13.1)	(41.9)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(分母n=0の%)
食事の個別調整	5	(9.1)	(71.4)	78	(20.7)	(77.2)	44	(22.1)	(71.0)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)
栄養相談	4	(7.3)	(57.1)	33	(8.8)	(32.7)	21	(10.6)	(33.9)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)
自宅訪問	0	(0.0)	(0.0)	1	(0.3)	(1.0)	1	(0.5)	(1.6)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)
その他	1	(1.8)	(14.3)	17	(4.5)	(16.8)	14	(7.0)	(22.6)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)

表 1 -2a-⑥ 通所リハにおける栄養・食事実態調査：事業所実態調査（平均要介護度別）

	1 未満 (n=55)		1 以上 2 未満 (n=377)		2 以上 3 未 満(n=199)		3 以上 4 未満 (n=8)		4 以上 5 未満 (n=1)	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
V.問3 専門職への相談										
相談した	24	(43.6)	289	(76.7)	173	(86.9)	7	(87.5)	1	(100.0)
相談していない	30	(54.5)	81	(21.5)	25	(12.6)	1	(12.5)	0	(0.0)
欠損値	1	(1.8)	7	(1.9)	1	(0.5)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	55	(100.0)	377	(100.0)	199	(100.0)	8	(100.0)	1	(100.0)
V.問3 専門職への相談をした施設(n=24)において										
専門職への相談をした施設										
V.問3 相談した職種										
医師	8	(14.5)	104	(27.6)	62	(31.2)	3	(37.5)	1	(100.0)
歯科医師	0	(0.0)	4	(1.1)	5	(2.5)	1	(12.5)	0	(0.0)
介護福祉士	1	(1.8)	60	(15.9)	33	(16.6)	3	(37.5)	0	(0.0)
看護師	3	(5.5)	115	(30.5)	88	(44.2)	3	(37.5)	1	(100.0)
准看護師	2	(3.6)	37	(9.8)	20	(10.1)	0	(0.0)	0	(0.0)
管理栄養士	18	(32.7)	180	(47.7)	113	(56.8)	6	(75.0)	0	(0.0)
栄養士	3	(5.5)	43	(11.4)	18	(9.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
理学療法士	3	(5.5)	76	(20.2)	39	(19.6)	1	(12.5)	1	(100.0)
作業療法士	2	(3.6)	60	(15.9)	41	(20.6)	2	(25.0)	1	(100.0)
言語聴覚士	9	(16.4)	98	(26.0)	81	(40.7)	2	(25.0)	0	(0.0)
歯科衛生士	2	(3.6)	18	(4.8)	8	(4.0)	1	(12.5)	1	(100.0)
調理師	0	(0.0)	16	(4.2)	9	(4.5)	0	(0.0)	0	(0.0)
その他	1	(1.8)	13	(3.4)	6	(3.0)	1	(12.5)	0	(0.0)

表 I -2b-① 通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査（平均要介護度別）

記入者	1 未満 (n=24)		1 以上 2 未満 (n=278)		2 以上 3 未満 (n=195)		3 以上 4 未満 (n=44)		4 以上 5 未満 (n=2)	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
管理者	19	(79.2)	209	(75.2)	135	(69.2)	28	(63.6)	2	(100.0)
管理者以外の職員	5	(20.8)	65	(23.4)	56	(28.7)	14	(31.8)	0	(0.0)
欠損値	0	(0.0)	4	(1.4)	4	(2.1)	2	(4.5)	0	(0.0)
合計	24	(100.0)	278	(100.0)	195	(100.0)	44	(100.0)	2	(100.0)
I.問2 事業主体										
社会福祉法人	1	(4.2)	123	(44.2)	67	(34.4)	3	(6.8)	0	(0.0)
医療法人	1	(4.2)	21	(7.6)	19	(9.7)	3	(6.8)	0	(0.0)
営利法人	18	(75.0)	94	(33.8)	75	(38.5)	28	(63.6)	1	(50.0)
NPO法人	1	(4.2)	6	(2.2)	6	(3.1)	2	(4.5)	1	(50.0)
その他	3	(12.5)	33	(11.9)	28	(14.4)	8	(18.2)	0	(0.0)
欠損値	0	(0.0)	1	(0.4)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	24	(100.0)	278	(100.0)	195	(100.0)	44	(100.0)	2	(100.0)
I.問3 併設施設（複数回答可）										
介護老人福祉施設	1	(4.2)	85	(30.6)	61	(31.3)	3	(6.8)	0	(0.0)
介護老人保健施設	0	(0.0)	5	(1.8)	3	(1.5)	2	(4.5)	0	(0.0)
病院・診療所	1	(4.2)	17	(6.1)	16	(8.2)	2	(4.5)	0	(0.0)
その他	9	(37.5)	92	(33.1)	86	(44.1)	33	(75.0)	1	(50.0)
なし	14	(58.3)	93	(33.5)	46	(23.6)	6	(13.6)	1	(50.0)
I.問4	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
平均定員数	33.0	15.8	30.6	12.2	28.1	9.8	26.7	11.5	19.0	12.7
平均利用者数	26.2	14.8	23.8	11.6	21.6	9.5	21.6	10.8	8.5	9.2
I.問5	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
平均要介護度	0.76	0.16	1.61	0.27	2.34	0.25	3.31	0.25	4.14	0.19

表 I -2b-② 通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査（平均要介護度別）

	1 未満 (n=24)		1 以上 2 未満 (n=278)		2 以上 3 未満 (n=195)		3 以上 4 未満 (n=44)		4 以上 5 未満 (n=2)	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
I.問6 認知症高齢者の日常生活自立度（1施設あたりの割合）										
自立割合 (%)	48.04	36.88	19.21	22.34	10.52	15.88	4.11	8.57	0.00	0.00
割合 (%)	12.86	17.57	17.88	15.75	14.39	14.75	6.92	8.63	0.00	0.00
IIa割合 (%)	4.63	6.33	17.07	14.73	15.53	15.32	9.93	10.80	0.00	0.00
IIb割合 (%)	3.51	5.42	14.44	13.37	16.02	14.74	18.98	14.28	50.00	70.71
IIIa割合 (%)	1.29	2.17	8.08	10.37	11.27	11.46	19.74	19.58	10.00	14.14
IIIb割合 (%)	0.54	1.47	2.44	4.51	4.95	7.78	8.28	10.66	13.33	18.86
IV割合 (%)	0.28	1.08	1.84	3.77	4.57	6.88	9.82	11.20	16.67	23.57
M割合 (%)	0.00	0.00	0.59	2.27	0.88	3.56	1.05	3.55	0.00	0.00
不明割合 (%)	28.86	41.47	18.46	33.11	21.88	34.03	21.16	31.01	10.00	14.14
I.問7：専門職										
医師 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
歯科医師 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00
介護福祉士 (人)	2.41	1.71	4.02	2.45	3.85	2.48	2.97	2.26	2.00	0.00
看護師 (人)	0.68	0.82	1.02	0.97	1.04	1.01	0.97	1.22	0.00	0.00
准看護師 (人)	0.50	0.79	0.87	0.83	0.90	0.97	0.84	0.93	1.50	2.12
管理栄養士 (人)	0.07	0.26	0.20	0.74	0.09	0.28	0.04	0.20	0.00	0.00
栄養士 (人)	0.00	0.00	0.14	0.36	0.10	0.33	0.11	0.32	0.00	0.00
理学療法士 (人)	0.53	0.62	0.36	0.65	0.26	0.71	0.07	0.27	0.00	0.00
作業療法士 (人)	0.07	0.26	0.20	0.47	0.17	0.48	0.04	0.20	0.00	0.00
言語聴覚士 (人)	0.00	0.00	0.02	0.14	0.03	0.21	0.00	0.00	0.00	0.00
歯科衛生士 (人)	0.00	0.00	0.03	0.18	0.04	0.21	0.00	0.00	0.00	0.00
その他 (人)	2.42	4.13	1.64	2.12	1.75	2.17	2.36	3.49	0.00	-

表 I -2b-③ 通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査（平均要介護度別）

	1 未満 (n=24)		1 以上 2 未満 (n=278)		2 以上 3 未満 (n=195)		3 以上 4 未満 (n=44)		4 以上 5 未満 (n=2)	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
II.問2 個別機能訓練加算										
個別機能訓練加算I	2	(8.3)	45	(16.2)	24	(12.3)	3	(6.8)	0	(0.0)
個別機能訓練加算II	5	(20.8)	61	(21.9)	43	(22.1)	8	(18.2)	0	(0.0)
両方	9	(37.5)	40	(14.4)	20	(10.3)	1	(2.3)	0	(0.0)
未算定	8	(33.3)	132	(47.5)	108	(55.4)	32	(72.7)	2	(100.0)
II.問3 栄養・口腔関連加算										
栄養スクリーニング加算	0	(0.0)	10	(3.6)	7	(3.6)	0	(0.0)	0	(0.0)
栄養改善加算	0	(0.0)	4	(1.4)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
口腔機能向上加算	4	(16.7)	27	(9.7)	11	5.6	2	(4.5)	0	(0.0)
未算定	20	(83.3)	240	(86.3)	177	(90.8)	42	(95.5)	2	(100.0)
III.問1 体重の記録										
記録している（最近1か月で1回以上）	15	(62.5)	229	(82.4)	170	(87.2)	39	(88.6)	2	(100.0)
記録していない	8	(33.3)	42	(15.1)	21	(10.8)	4	(9.1)	0	(0.0)
欠損値	1	(4.2)	7	(2.5)	4	(2.1)	1	(2.3)	0	(0.0)
合計	24	(100.0)	278	(100.0)	195	(100.0)	44	(100.0)	2	(100.0)
III.問2 身長の記録										
記録がある	9	37.5	78	(28.1)	43	(22.1)	9	(20.5)	0	(0.0)
記録はない	14	58.3	193	(69.4)	149	(76.4)	33	(75.0)	2	(100.0)
欠損値	1	(4.2)	7	(2.5)	3	(1.5)	2	(4.5)	0	(0.0)
合計	24	(100.0)	278	(100.0)	195	(100.0)	44	(100.0)	2	(100.0)
III.問3 BMI18.5 kg/m ² 未満の者										
いる	4	(16.7)	48	(17.3)	39	(20.0)	7	(15.9)	0	(0.0)
いない	5	(20.8)	32	(11.5)	22	(11.3)	7	(15.9)	1	(50.0)
把握していない	14	(58.3)	193	(69.4)	130	(66.7)	27	(61.4)	1	(50.0)
欠損値	1	(4.2)	5	(1.8)	4	(2.1)	3	(6.8)	0	(0.0)
合計	24	(100.0)	278	(100.0)	195	(100.0)	44	(100.0)	2	(100.0)

表 I -2b-④ 通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査（平均要介護度別）

	1 未満 (n=24)		1 以上 2 未満 (n=278)		2 以上 3 未満 (n=195)		3 以上 4 未満 (n=44)		4 以上 5 未満 (n=2)	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
Ⅲ.問4 6か月間に2～3 kgの体重減少があった者										
いる	9	(37.5)	122	(43.9)	93	(47.7)	17	(38.6)	1	(50.0)
いない	9	(37.5)	128	(46.0)	78	(40.0)	21	(47.7)	1	(50.0)
把握していない	5	(20.8)	24	(8.6)	19	(9.7)	3	(6.8)	0	(0.0)
欠損値	1	(4.2)	4	(1.4)	5	(2.6)	3	(6.8)	0	(0.0)
合計	24	(100.0)	278	(100.0)	195	(100.0)	44	(100.0)	2	(100.0)
Ⅲ.問5 摂食・嚥下機能に問題がある者										
いる	9	(37.5)	146	(52.5)	136	(69.7)	33	(75.0)	1	(50.0)
いない	10	(41.7)	120	(43.2)	54	(27.7)	9	(20.5)	1	(50.0)
把握していない	4	(16.7)	6	(2.2)	4	(2.1)	0	(0.0)	0	(0.0)
欠損値	1	(4.2)	6	(2.2)	1	(0.5)	2	(4.5)	0	(0.0)
合計	24	(100.0)	278	(100.0)	195	(100.0)	44	(100.0)	2	(100.0)

表 1-2b-⑤ 通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査（平均要介護度別）

	1 未満 (n=24)			1 以上 2 未満 (n=278)			2 以上 3 未満 (n=195)			3 以上 4 未満 (n=43)			4 以上 5 未満 (n=2)		
	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)
IV.問1 食事の提供をしている															
はい	10	(41.7)	(分母n=10の%)	270	(97.1)	(分母n=270の%)	194	(99.5)	(分母n=194の%)	43	(97.7)	(分母n=43の%)	2	(100.0)	(分母n=2の%)
いいえ	14	(58.3)		7	(2.5)		0	(0.0)		0	(0.0)		0	(0.0)	
欠損値	0	(0.0)		1	(0.4)		1	(0.5)		1	(2.3)		0	(0.0)	
合計	24	(100.0)		278	(100.0)		195	(100.0)		44	(100.0)		2	(100.0)	
食事の提供をしている施設(n=10)において															
IV.問2 栄養状態を考慮した量の食事 提供している	6	(25.0)	(分母n=10の%)	198	(71.2)	(分母n=270の%)	141	(72.3)	(分母n=194の%)	39	(88.6)	(分母n=43の%)	1	(50.0)	(分母n=2の%)
提供していない(提供量は個人ごとに設 定していなかった)	4	(16.7)		67	(24.1)		50	(25.6)		4	(9.1)		1	(50.0)	
欠損値	0	(0.0)		5	(1.8)		3	(1.5)		0	(0.0)		0	(0.0)	
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	14	(58.3)		8	(2.9)		1	(0.5)		1	(2.3)		0	(0.0)	
合計	24	(100.0)		278	(100.0)		195	(100.0)		44	(100.0)		2	(100.0)	
IV.問3 食事の摂取量の記録															
記録している	8	(33.3)	(分母n=10の%)	250	(89.9)	(分母n=270の%)	188	(96.4)	(分母n=194の%)	40	(90.9)	(分母n=43の%)	2	(100.0)	(分母n=2の%)
記録していない	2	(8.3)		20	(7.2)		6	(3.1)		3	(6.8)		0	(0.0)	
欠損値	0	(0.0)		8	(2.9)		0	(0.0)		0	(0.0)		0	(0.0)	
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	14	(58.3)		278	(100.0)		1	(0.5)		1	(2.3)		0	(0.0)	
合計	24	(100.0)		377	(100.0)		195	(100.0)		44	(100.0)		2	(100.0)	
IV.問4 食形態の調整が必要な者															
いる	3	(12.5)	(分母n=10の%)	164	(59.0)	(分母n=270の%)	151	(77.4)	(分母n=194の%)	37	(84.1)	(分母n=43の%)	1	(50.0)	(分母n=2の%)
いない	7	(29.2)		105	(37.8)		43	(22.1)		5	(11.4)		1	(50.0)	
わからない	0	(0.0)		0	(0.0)		0	(0.0)		0	(0.0)		0	(0.0)	
欠損値	0	(0.0)		1	(0.4)		0	(0.0)		1	(2.3)		0	(0.0)	
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	14	(58.3)		8	(2.9)		1	(0.5)		1	(2.3)		0	(0.0)	
合計	24	(100.0)		278	(100.0)		195	(100.0)		44	(100.0)		2	(100.0)	
IV.問5 栄養素の調整が必要な者															
いる	4	(16.7)	(分母n=10の%)	115	(41.4)	(分母n=270の%)	82	(42.1)	(分母n=194の%)	25	(56.8)	(分母n=43の%)	0	(0.0)	(分母n=2の%)
いない	4	(16.7)		146	(52.5)		106	(54.4)		14	(31.8)		2	(100.0)	
わからない	2	(8.3)		9	(3.2)		6	(3.1)		4	(9.1)		0	(0.0)	
欠損値	0	(0.0)		0	(0.0)		0	(0.0)		0	(0.0)		0	(0.0)	
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	14	(58.3)		8	(2.9)		1	(0.5)		1	(2.3)		0	(0.0)	
合計	24	(100.0)		278	(100.0)		195	(100.0)		44	(100.0)		2	(100.0)	

表 1-2b-⑥ 通所介護における栄養・食実態調査：事業所実態調査（平均要介護度別）

	1 未満			1 以上 2 未満			2 以上 3 未満			3 以上 4 未満			4 以上 5 未満		
	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)
IV.問6 食事介助が必要な者			(分母n=10の%)			(分母n=270の%)			(分母n=194の%)			(分母n=43の%)			(分母n=2の%)
いる	1	(4.2)	(10.0)	137	(49.3)	(50.7)	149	(76.4)	(76.8)	41	(93.2)	(95.3)	2	(100.0)	(100.0)
いない	8	(33.3)	(80.0)	131	(47.1)	(48.5)	43	(22.1)	(22.2)	2	(4.5)	(4.7)	0	(0.0)	(0.0)
欠損値	1	(4.2)	(10.0)	2	(0.7)	(0.7)	2	(1.0)	(1.0)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	14	(58.3)		8	(2.9)		1	(0.5)		1	(2.3)		0	(0.0)	
合計	24	(100.0)		278	(100.0)		195	(100.0)		44	(100.0)		2	(100.0)	
食事介助が必要な者がいる施設(n=1)において			(分母n=1の%)			(分母n=137の%)			(分母n=149の%)			(分母n=41の%)			(分母n=2の%)
IV.問6 食事介助で不安に思うこと															(n=2)において
ある	0	(0.0)	(0.0)	16	(5.8)	(11.7)	19	(9.7)	(12.8)	5	(11.4)	(12.2)	0	(0.0)	(0.0)
ない	0	(0.0)	(0.0)	120	(43.2)	(87.6)	128	(65.6)	(85.9)	35	(79.5)	(85.4)	2	(100.0)	(100.0)
欠損値	1	(4.2)	(100.0)	1	(0.4)	(0.7)	2	(1.0)	(1.3)	1	(2.3)	(2.4)	0	(0.0)	(0.0)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	14	(58.3)		8	(2.9)		1	(0.5)		1	(2.3)		0	(0.0)	
(IV.問6 食事介助が必要な者がいな															(n=1)において
い・わからぬ+欠損値)	9	(37.5)		133	(47.8)		45	(23.1)		2	(4.5)		0	(0.0)	
合計	24	(100.0)		278	(100.0)		195	(100.0)		44	(100.0)		2	(100.0)	
V.問1 管理栄養士との関わり			(分母n=2の%)			(分母n=99の%)			(分母n=72の%)			(分母n=10の%)			(分母n=2の%)
あり	2	(8.3)	(0.0)	99	(35.6)	(34.3)	25	(12.8)	(34.7)	3	(6.8)	(30.0)	0	(0.0)	(0.0)
なし	22	(91.7)	(50.0)	175	(62.9)	(66.7)	43	(22.1)	(59.7)	4	(9.1)	(40.0)	1	(50.0)	(100.0)
欠損値	0	(0.0)	(50.0)	4	(1.4)	(38.4)	31	(15.9)	(43.1)	4	(9.1)	(40.0)	1	(50.0)	(100.0)
合計	24	(100.0)		278	(100.0)		195	(100.0)		44	(100.0)		2	(100.0)	
管理栄養士との関わりがある施設(n=2)において			(分母n=2の%)			(分母n=99の%)			(分母n=72の%)			(分母n=10の%)			(分母n=2の%)
V.問1 管理栄養士のかかわり内容 (複数回答)															(n=1)において
食事時の観察 (ミールラウンド)	0	(0.0)	(0.0)	34	(12.2)	(34.3)	25	(12.8)	(34.7)	3	(6.8)	(30.0)	0	(0.0)	(0.0)
食事の個別調整	1	(4.2)	(50.0)	66	(23.7)	(66.7)	43	(22.1)	(59.7)	4	(9.1)	(40.0)	1	(50.0)	(100.0)
栄養相談	1	(4.2)	(50.0)	38	(13.7)	(38.4)	31	(15.9)	(43.1)	4	(9.1)	(40.0)	1	(50.0)	(100.0)
自宅訪問	0	(0.0)	(0.0)	2	(0.7)	(2.0)	1	(0.5)	(1.4)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)
その他	1	(4.2)	(50.0)	22	(7.9)	(22.2)	19	(9.7)	(26.4)	4	(9.1)	(40.0)	0	(0.0)	(0.0)
V.問2 栄養士との関わり			(分母n=0の%)			(分母n=86の%)			(分母n=57の%)			(分母n=13の%)			(分母n=1の%)
あり	0	(0.0)	(0.0)	86	(30.9)	(29.1)	57	(29.2)	(36.8)	13	(29.5)	(30.8)	1	(50.0)	(0.0)
なし	23	(95.8)	(0.0)	176	(63.3)	(75.6)	130	(66.7)	(68.4)	26	(59.1)	(53.8)	1	(50.0)	(100.0)
欠損値	1	(4.2)	(0.0)	16	(5.8)	(25.6)	8	(4.1)	(33.3)	5	(11.4)	(23.1)	0	(0.0)	(0.0)
合計	24	(100.0)		278	(100.0)		195	(100.0)		44	(100.0)		2	(100.0)	
栄養士との関わりがある施設(n=0)において			(分母n=0の%)			(分母n=86の%)			(分母n=57の%)			(分母n=13の%)			(分母n=1の%)
V.問2 栄養士のかかわり内容 (複数回答)															(n=1)において
食事時の観察 (ミールラウンド)	0	(0.0)	(0.0)	25	(9.0)	(29.1)	21	(10.8)	(36.8)	4	9.1	(30.8)	0	(0.0)	(0.0)
食事の個別調整	0	(0.0)	(0.0)	65	(23.4)	(75.6)	39	(20.0)	(68.4)	7	15.9	(53.8)	1	(50.0)	(100.0)
栄養相談	0	(0.0)	(0.0)	22	(7.9)	(25.6)	19	(9.7)	(33.3)	3	6.8	(23.1)	1	(50.0)	(100.0)
自宅訪問	0	(0.0)	(0.0)	1	(0.4)	(1.2)	0	(0.0)	(0.0)	0	0	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)
その他	0	(0.0)	(0.0)	20	(7.2)	(23.3)	9	(4.6)	(15.8)	4	9.1	(30.8)	0	(0.0)	(0.0)

表 1-2b-⑦ 通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査（平均要介護度別）

V.問3 専門職への相談	1 未満 (n=24)		1以上2未満 (n=278)		2以上3未満 (n=195)		3以上4未満 (n=43)		4以上5未満 (n=2)		有効(%)
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
相談した	9	(37.5)	175	(62.9)	133	(68.2)	27	(61.4)	1	(50.0)	
相談していない	14	(58.3)	99	(35.6)	59	(30.3)	14	(31.8)	1	(50.0)	
欠損値	1	(4.2)	4	(1.4)	3	(1.5)	3	(6.8)	0	(0.0)	
合計	24	(100.0)	278	(100.0)	195	(100.0)	44	(100.0)	2	(100.0)	
専門職への相談をした施設(n=9)において			(n=175)において		(n=133)において		(n=27)において		(n=1)において		
V.問3 相談した職種		(分母n=9の%)		(分母n=175の%)		(分母n=133の%)		(分母n=27の%)		(分母n=1の%)	
医師	3	(12.5)	38	(13.7)	38	(19.5)	13	(29.5)	0	(0.0)	(0.0)
歯科医師	1	(4.2)	4	(1.4)	10	(5.1)	2	(4.5)	0	(0.0)	(0.0)
介護福祉士	1	(4.2)	31	(11.2)	29	(14.9)	5	(11.4)	0	(0.0)	(0.0)
看護師	6	(25.0)	83	(29.9)	66	(33.8)	16	(36.4)	1	(50.0)	(100.0)
准看護師	0	(0.0)	28	(10.1)	28	(14.4)	10	(22.7)	0	(0.0)	(0.0)
管理栄養士	1	(4.2)	70	(25.2)	46	(23.6)	5	(11.4)	0	(0.0)	(0.0)
栄養士	0	(0.0)	32	(11.5)	22	(11.3)	5	(11.4)	1	(50.0)	(100.0)
理学療法士	1	(4.2)	17	(6.1)	6	(3.1)	2	(4.5)	0	(0.0)	(0.0)
作業療法士	0	(0.0)	14	(5.0)	3	(1.5)	1	(2.3)	0	(0.0)	(0.0)
言語聴覚士	0	(0.0)	19	(6.8)	10	(5.1)	3	(6.8)	1	(50.0)	(100.0)
歯科衛生士	0	(0.0)	12	(4.3)	7	(3.6)	5	(11.4)	0	(0.0)	(0.0)
調理師	1	(4.2)	24	(8.6)	24	(12.3)	6	(13.6)	0	(0.0)	(0.0)
その他	1	(4.2)	15	(5.4)	8	(4.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)

表 1-3a-① 通所リハにおける栄養・食事実態調査：事業所実態調査（食事提供の有無別）

通所リハビリテーション-食事提供あり(n=612)		通所リハビリテーション-食事提供なし(n=123)	
	n	(%)	n
記入者			
管理者	184	(30.1)	42
管理者以外の職員	421	(68.8)	80
欠損値	7	(1.1)	1
合計	612	(100.0)	123
I.問2 事業主体			
社会福祉法人	69	(11.3)	1
医療法人	459	(75.0)	96
営利法人	2	(0.3)	0
NPO法人	0	(0.0)	0
その他	80	(13.1)	26
欠損値	2	(0.3)	0
合計	612	(100.0)	123
I.問3 併設施設（複数回答可）			
介護老人福祉施設	13	(2.1)	1
介護老人保健施設	286	(46.7)	12
病院・診療所	343	(56.0)	116
その他	43	(7.0)	7
なし	5	(0.8)	3
平均値		標準偏差	平均値
	38.4	19.1	30.7
平均定員数			標準偏差
平均利用者数	27.7	16.0	19.1
平均値		標準偏差	平均値
	1.86	0.50	1.14
平均要介護度			標準偏差
			0.46

表 1-3a-② 通所リハにおける栄養・食事実態調査：事業所実態調査（食事提供の有無別）

通所リハビリテーション-食事提供あり(n=612)		通所リハビリテーション-食事提供なし(n=123)	
	平均値	n	(%)
I.問6 認知症高齢者の日常生活自立度 (1施設あたりの割合)			
	平均値	n	(%)
自立割合 (%)	24.65	22.12	54.82
I割合 (%)	23.30	17.19	21.10
IIa割合 (%)	14.66	12.62	8.87
IIb割合 (%)	13.26	12.72	4.91
IIIa割合 (%)	7.16	9.29	1.52
IIIb割合 (%)	2.18	4.58	0.34
IV割合 (%)	2.06	5.32	0.10
M割合 (%)	0.44	2.08	0.02
	標準偏差		標準偏差
	22.12		34.56
	17.19		22.33
	12.62		13.18
	12.72		8.83
	9.29		3.56
	4.58		1.53
	5.32		0.53
	2.08		0.16
I.問7：専門職			
	平均値	標準偏差	平均値
医師 (人)	1.06	0.84	1.24
歯科医師 (人)	0.01	0.13	0.08
介護福祉士 (人)	4.79	3.31	1.09
看護師 (人)	0.96	0.85	0.49
准看護師 (人)	0.62	0.82	0.20
管理栄養士 (人)	0.59	0.59	0.19
栄養士 (人)	0.17	0.49	0.03
理学療法士 (人)	2.31	1.82	2.73
作業療法士 (人)	1.26	1.21	1.05
言語聴覚士 (人)	0.35	0.58	0.41
歯科衛生士 (人)	0.08	0.31	0.01
その他 (人)	1.88	2.72	1.24
			標準偏差
			1.05
			0.68
			1.64
			0.97
			0.46
			0.57
			0.16
			2.13
			1.34
			0.82
			0.11
			1.58

表 1-3a-③ 通所リハにおける栄養・食事実態調査：事業所実態調査（食事提供の有無別）

通所リハビリテーション-食事提供あり(n=612)		通所リハビリテーション-食事提供なし(n=123)	
	n	(%)	n
II.問1	リハビリテーション・マネジメント加算（複数回答）		リハビリテーション・マネジメント加算（複数回答）
	リハビリテーション・マネジメント加算I	474	リハビリテーション・マネジメント加算I
	リハビリテーション・マネジメント加算II	98	リハビリテーション・マネジメント加算II
	リハビリテーション・マネジメント加算III	182	リハビリテーション・マネジメント加算III
	リハビリテーション・マネジメント加算IV	14	リハビリテーション・マネジメント加算IV
	未算定	16	未算定
II.問3	栄養・口腔関連加算		栄養・口腔関連加算
	栄養スクリーニング加算	102	栄養スクリーニング加算
	栄養改善加算	67	栄養改善加算
	口腔機能向上加算	145	口腔機能向上加算
	未算定	394	未算定
III.問1	体重の記録		体重の記録
	記録している（最近1か月で1回以上）	521	記録している（最近1か月で1回以上）
	記録していない	88	記録していない
	欠損値	3	欠損値
	合計	612	合計
III.問2	身長の記録		身長の記録
	記録がある	330	記録がある
	記録はない	279	記録はない
	欠損値	3	欠損値
	合計	612	合計

表 1-3a-④ 通所リハにおける栄養・食事実態調査：事業所実態調査（食事提供の有無別）

通所リハビリテーション-食事提供あり(n=612)		通所リハビリテーション-食事提供なし(n=123)	
	n	(%)	n
III.問3 BMI18.5 kg/m ² 未満の者			
BMI18.5 kg/m ² 未満の者			
いる	216	(35.3)	34
いない	69	(11.3)	19
把握していない	314	(51.3)	69
欠損値	13	(2.1)	1
合計	612	(100.0)	123
III.問4 6か月間に2～3 kgの体重減少があった者			
いる	313	(51.1)	38
いない	216	(35.3)	44
把握していない	77	(12.6)	40
欠損値	6	(1.0)	1
合計	612	(100.0)	123
III.問5 摂食・嚥下機能に問題がある者			
摂食・嚥下機能に問題がある者			
いる	419	(68.5)	37
いない	180	(29.4)	68
把握していない	9	(1.5)	16
欠損値	4	(0.7)	2
合計	612	(100.0)	123

表 1-3a-⑤ 通所リハにおける栄養・食事実態調査：事業所実態調査（食事提供の有無別）

通所リハビリテーション-食事提供あり(n=612)		n	(%)	有効(%)	通所リハビリテーション-食事提供なし(n=123)	n	(%)	有効(%)
食事の提供をしている施設(n=612)において								
IV.問2 栄養状態を考慮した量の食事								
提供している		484	(79.1)	(分母n=612の%)	提供している	0	(0.0)	(分母n=0の%)
提供していない (提供量は個人ごとに設定していなかった)		122	(19.9)	(19.9)	提供していない (提供量は個人ごとに設定していなかった)	0	(0.0)	(0.0)
欠損値		6	(1.0)	(1.0)	欠損値	0	(0.0)	(0.0)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)		612	(100.0)		(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	0	(0.0)	
合計		475	(100.0)		合計	0	(0.0)	
IV.問3 食事の摂取量の記録								
記録している		556	(90.8)	(90.8)	記録している	0	(0.0)	(分母n=0の%)
記録していない		54	(8.8)	(8.8)	記録していない	0	(0.0)	(0.0)
欠損値		2	(0.3)	(0.3)	欠損値	0	(0.0)	(0.0)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)		0	(0.0)		(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	0	(0.0)	
合計		612	(100.0)		合計	0	(0.0)	
IV.問4 食形態の調整が必要な者								
いる		440	(71.9)	(71.9)	いる	0	(0.0)	(分母n=0の%)
いない		168	(27.5)	(27.5)	いない	0	(0.0)	(0.0)
わからない		3	(0.5)	(0.5)	わからない	0	(0.0)	(0.0)
欠損値		1	(0.2)	(0.2)	欠損値	0	(0.0)	(0.0)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)		0	(0.0)		(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	0	(0.0)	
合計		612	(100.0)		合計	0	(0.0)	
IV.問5 栄養素の調整が必要な者								
いる		396	(64.7)	(64.7)	いる	0	(0.0)	(分母n=0の%)
いない		190	(31.0)	(31.0)	いない	0	(0.0)	(0.0)
わからない		24	(3.9)	(3.9)	わからない	0	(0.0)	(0.0)
欠損値		2	(0.3)	(0.3)	欠損値	0	(0.0)	(0.0)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)		0	(0.0)		(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	0	(0.0)	
合計		612	(100.0)		合計	0	(0.0)	

表 1-3a-⑥ 通所リハにおける栄養・食事実態調査：事業所実態調査（食事提供の有無別）

通所リハビリテーション-食事提供あり(n=612)		通所リハビリテーション-食事提供なし(n=123)	
n	(%)	n	(%)
IV.問6 食事介助が必要な者			
344	(56.2)	0	(0.0)
263	(43.0)	0	(0.0)
1	(0.2)	0	(0.0)
4	(0.7)	0	(0.0)
0	(0.0)	0	(0.0)
612	(100.0)	0	(0.0)
IV.問6 食事介助が必要な者がいる施設(n=344)において			
IV.問6 食事介助で不安に思うこと		IV.問6 食事介助で不安に思うこと	
56	(9.2)	0	(0.0)
280	(45.8)	0	(0.0)
8	(1.3)	0	(0.0)
0	(0.0)	0	(0.0)
268	(43.8)	0	(0.0)
612	(100.0)	0	(0.0)
V.問1 管理栄養士との関わり			
452	(73.9)	20	(16.3)
153	(25.0)	103	(83.7)
7	(1.1)	0	(0.0)
612	(100.0)	123	(100.0)
管理栄養士との関わりがある施設(n=452)において			
V.問1 管理栄養士のかかわり内容（複数回答）		V.問1 管理栄養士のかかわり内容（複数回答）	
220	(35.9)	1	(0.8)
343	(56.0)	4	(3.3)
199	(32.5)	15	(12.2)
12	(2.0)	1	(0.8)
67	(10.9)	5	(4.1)
202	(33.0)	5	(4.1)
333	(54.4)	109	(88.6)
77	(12.6)	9	(7.3)
612	(100.0)	123	(100.0)

表 1-3a-⑦ 通所リハにおける栄養・食事実態調査：事業所実態調査（食事提供の有無別）

通所リハビリテーション-食事提供あり(n=612)		通所リハビリテーション-食事提供なし(n=123)	
n	(%)	n	(%)
栄養士との関わりがある施設(n=202)において			
V.問2 栄養士のかかわり内容（複数回答）			
食事時の観察（ミールラウンド）	73 (11.9)	1 (0.8)	(分母n=5の%) (20.0)
食事の個別調整	154 (25.2)	1 (0.8)	(20.0)
栄養相談	65 (10.6)	5 (4.1)	(100.0)
自宅訪問	2 (0.3)	0 (0.0)	(0.0)
その他	40 (6.5)	0 (0.0)	(0.0)
V.問3 専門職への相談			
相談した	518 (84.6)	55 (44.7)	
相談していない	89 (14.5)	63 (51.2)	
欠損値	5 (0.8)	5 (4.1)	
合計	612 (100.0)	123 (100.0)	
専門職への相談をした施設(n=518)において			
V.問3 相談した職種			
医師	187 (30.6)	21 (17.1)	(分母n=55の%) (38.2)
歯科医師	9 (1.5)	1 (0.8)	(1.8)
介護福祉士	106 (17.3)	3 (2.4)	(5.5)
看護師	232 (37.9)	7 (5.7)	(12.7)
准看護師	64 (10.5)	0 (0.0)	(0.0)
管理栄養士	340 (55.6)	24 (19.5)	(43.6)
栄養士	73 (11.9)	1 (0.8)	(1.8)
理学療法士	136 (22.2)	7 (5.7)	(12.7)
作業療法士	119 (19.4)	5 (4.1)	(9.1)
言語聴覚士	196 (32.0)	29 (23.6)	(52.7)
歯科衛生士	32 (5.2)	0 (0.0)	(0.0)
調理師	29 (4.7)	0 (0.0)	(0.0)
その他	21 (3.4)	4 (3.3)	(7.3)

表 1 -3b-① 通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査（食事提供の有無別）

通所介護-食事提供あり(n=648)		通所介護-食事提供なし(n=31)	
	n	(%)	n
記入者			
管理者	464	(71.6)	24
管理者以外の職員	172	(26.5)	7
欠損値	12	(1.9)	0
合計	648	(100.0)	31
I.問2 事業主体			
社会福祉法人	255	(39.4)	1
医療法人	50	(7.7)	1
営利法人	232	(35.8)	26
NPO法人	19	(2.9)	0
その他	91	(14.0)	2
欠損値	1	(0.2)	1
合計	648	(100.0)	31
I.問3 併設施設（複数回答可）			
介護老人福祉施設	179	(27.6)	1
介護老人保健施設	12	(1.9)	0
病院・診療所	40	(6.2)	2
その他	265	(40.9)	8
なし	192	(29.6)	19
I.問4	平均値	標準偏差	I.問4
	29.5	11.2	平均値
	23.2	10.8	標準偏差
I.問5	平均値	標準偏差	I.問5
	2.02	0.61	平均値
			標準偏差
			平均要介護度
			0.87
			0.25

表1-3b-② 通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査（食事提供の有無別）

通所介護-食事提供あり(n=648)		通所介護-食事提供なし(n=31)	
	n	(%)	n
I.問6 認知症高齢者の日常生活自立度（1施設あたりの割合）			I.問6：認知症高齢者の日常生活自立度（1施設あたりの割合）
	平均値	標準偏差	平均値
自立割合（%）	14.66	18.88	自立割合（%）
I割合（%）	16.09	15.09	I割合（%）
IIa割合（%）	15.48	14.24	IIa割合（%）
IIb割合（%）	15.72	14.33	IIb割合（%）
IIIa割合（%）	10.26	11.98	IIIa割合（%）
IIIb割合（%）	3.85	6.70	IIIb割合（%）
IV割合（%）	3.45	6.32	IV割合（%）
M割合（%）	0.75	2.86	M割合（%）
不明割合（%）	19.72	32.57	不明割合（%）
I.問7：専門職	平均値	標準偏差	I.問7：専門職
医師（人）	0.00	0.00	医師（人）
歯科医師（人）	0.00	0.05	歯科医師（人）
介護福祉士（人）	3.98	2.77	介護福祉士（人）
看護師（人）	1.06	1.02	看護師（人）
准看護師（人）	0.91	0.94	准看護師（人）
管理栄養士（人）	0.14	0.53	管理栄養士（人）
栄養士（人）	0.15	0.38	栄養士（人）
理学療法士（人）	0.30	0.65	理学療法士（人）
作業療法士（人）	0.15	0.43	作業療法士（人）
言語聴覚士（人）	0.02	0.15	言語聴覚士（人）
歯科衛生士（人）	0.03	0.17	歯科衛生士（人）
その他（人）	2.03	5.32	その他（人）
	平均値	標準偏差	平均値
	55.72	40.17	
	9.34	12.77	
	6.70	11.30	
	4.10	7.12	
	0.87	1.78	
	0.27	1.10	
	0.00	0.00	
	0.00	0.00	
	22.99	38.56	
	0.00	0.00	
	0.00	0.00	
	1.57	1.10	
	0.87	0.97	
	0.43	0.75	
	0.05	0.23	
	0.00	0.00	
	0.80	0.95	
	0.28	0.57	
	0.00	0.00	
	0.00	0.00	
	2.08	3.53	

表1-3b-③ 通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査（食事提供の有無別）

通所介護-食事提供あり(n=648)		通所介護-食事提供なし(n=31)	
	n	(%)	n
II.問2 個別機能訓練加算			
個別機能訓練加算I	95	(14.7)	6
個別機能訓練加算II	143	(22.1)	6
両方	77	(11.9)	13
未算定	333	(51.4)	6
II.問3 栄養・口腔関連加算			
栄養スクリーニング加算	20	(3.1)	0
栄養改善加算	7	(1.1)	0
口腔機能向上加算	55	(8.5)	2
未算定	574	(88.6)	29
III.問1 体重の記録			
記録している（最近1か月に1回以上）	555	(85.6)	13
記録していない	83	(12.8)	17
欠損値	10	(1.5)	1
合計	648	(100.0)	31
III.問2 身長記録			
記録がある	166	(25.6)	14
記録はない	471	(72.7)	15
欠損値	11	(1.7)	29
合計	648	(100.0)	31
III.問3 BMI18.5 kg/m ² 未満の者			
いる	123	(19.0)	6
いない	74	(11.4)	7
把握していない	437	(67.4)	16
欠損値	14	(2.2)	2
合計	648	(100.0)	31

表1-3b-④ 通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査（食事提供の有無別）

通所介護-食事提供あり(n=648)		通所介護-食事提供なし(n=31)	
	n	(%)	n
III.問4 6か月間に2~3 kgの体重減少があった者			
いる	305	(47.1)	13
いない	277	(42.7)	12
把握していない	53	(8.2)	5
欠損値	13	(2.0)	1
合計	648	(100.0)	31
III.問5 摂食・嚥下機能に問題がある者			
いる	406	(62.7)	12
いない	221	(34.1)	13
把握していない	9	(1.4)	5
欠損値	12	(1.9)	1
合計	648	(100.0)	31
III.問4 6か月間に2~3 kgの体重減少があった者			
いる			13
いない			12
把握していない			5
欠損値			1
合計			31
III.問5 摂食・嚥下機能に問題がある者			
いる			12
いない			13
把握していない			5
欠損値			1
合計			31

表 1 -3b-⑤ 通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査（食事提供の有無別）

通所介護-食事提供あり (n=648)		通所介護-食事提供なし (n=31)		有効(%)		n		有効(%)	
	(%)		(%)						
食事の提供をしている施設(n=648)において									
IV.問2 栄養状態を考慮した量の食事									
提供している	480	(74.1)	(分母n=648の%)	(74.1)	0	(0.0)	(分母n=0の%)	(0.0)	(0.0)
提供していない (提供量は個人ごとに設定していないかった)	160	(24.7)	(24.7)		0	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
欠損値	8	(1.2)	(1.2)		0	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	0	(0.0)			0	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
合計	648	(100.0)			0	(0.0)		(0.0)	(0.0)
IV.問3 食事の摂取量の記録									
記録している	609	(94.0)	(94.0)		0	(0.0)	(分母n=0の%)	(0.0)	(0.0)
記録していない	38	(5.9)	(5.9)		0	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
欠損値	1	(0.2)	(0.2)		0	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	0	(0.0)			0	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
合計	648	(100.0)			0	(0.0)		(0.0)	(0.0)
IV.問4 食形態の調整が必要									
いる	448	(69.1)	(69.1)		0	(0.0)	(分母n=0の%)	(0.0)	(0.0)
いない	198	(30.6)	(30.6)		0	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
欠損値	2	(0.3)	(0.3)		0	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	0	(0.0)			0	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
合計	648	(100.0)			0	(0.0)		(0.0)	(0.0)
IV.問5 栄養素の調整が必要									
いる	290	(44.8)	(44.8)		0	(0.0)	(分母n=0の%)	(0.0)	(0.0)
いない	332	(51.2)	(51.2)		0	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
わからない	26	(4.0)	(4.0)		0	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
欠損値	0	(0.0)			0	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	0	(0.0)			0	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
合計	648	(100.0)			0	(0.0)		(0.0)	(0.0)

表 1 -3b-⑥ 通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査（食事提供の有無別）

通所介護-食事提供あり(n=648)		通所介護-食事提供なし(n=31)		有効(%)		有効(%)	
	n	(%)	(分母n=648の%)	n	(%)	(分母n=0の%)	有効(%)
IV.問6 食事介助が必要							
いる	422	(65.1)	(65.1)	0	(0.0)	(分母n=0の%)	(0.0)
いない	221	(34.1)	(34.1)	0	(0.0)	(分母n=0の%)	(0.0)
欠損値	5	(0.8)	(0.8)	0	(0.0)	(分母n=0の%)	(0.0)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	0	(0.0)		0	(0.0)		(0.0)
合計	648	(100.0)		0	(0.0)		(0.0)
食事介助が必要な者がいる施設(n=422)において							
IV.問6 不安に思うこと			(分母n=422の%)			(分母n=0の%)	
ある	51	(7.9)	(12.1)	0	(0.0)	(分母n=0の%)	(0.0)
ない	365	(56.3)	(86.5)	0	(0.0)	(分母n=0の%)	(0.0)
欠損値	6	(0.9)	(1.4)	0	(0.0)	(分母n=0の%)	(0.0)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	0	(0.0)		0	(0.0)		(0.0)
(IV.問6 食事介助が必要な者がいな							
い・わからない+欠損値)	226	(34.9)		0	(0.0)		(0.0)
合計	648	(100.0)		0	(0.0)		(0.0)
V.問1 管理栄養士との関わり							
あり	228	(35.2)		2	(6.5)		(0.0)
なし	411	(63.4)		29	(93.5)		(0.0)
欠損値	9	(1.4)		0	(0.0)		(0.0)
合計	648	(100.0)		31	(100.0)		(0.0)
管理栄養士との関わりがある施設(n=228)において							
V.問1 管理栄養士のかかわり内容（複数回答）			(分母n=228の%)			(分母n=2の%)	
食事時の観察（ミーラウンド）	82	(12.7)	(36.0)	0	(0.0)	(分母n=2の%)	(0.0)
食事の個別調整	145	(22.4)	(63.6)	0	(0.0)	(分母n=2の%)	(0.0)
栄養相談	92	(14.2)	(40.4)	1	(3.2)	(分母n=2の%)	(50.0)
自宅訪問	5	(0.8)	(2.2)	0	(0.0)	(分母n=2の%)	(0.0)
その他	57	(8.8)	(25.0)	1	(3.2)	(分母n=2の%)	(50.0)

表 1 -3b-⑦ 通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査（食事提供の有無別）

通所介護-食事提供あり (n=648)		通所介護-食事提供なし (n=31)		有効(%)		n		有効(%)	
V.問2 栄養士との関わり		V.問2 栄養士との関わり		%		n		%	
あり	199	(30.7)	あり	1	(3.2)				
なし	407	(62.8)	なし	28	(90.3)				
欠損値	42	(6.5)	欠損値	2	(6.5)				
合計	648	(100.0)	合計	31	(100.0)				
<p>栄養士との関わりがある施設(n=199)において</p> <p>V.問2 栄養士のかかわり内容（複数回答）</p>									
食事時の観察（ミーラウンド）	65	(10.0)	食事時の観察（ミーラウンド）	0	(0.0)	(分母n=199の%)		(分母n=1の%)	
食事の個別調整	140	(21.6)	食事の個別調整	0	(0.0)				
栄養相談	63	(9.7)	栄養相談	1	(3.2)				(100.0)
自宅訪問	1	(0.2)	自宅訪問	0	(0.0)				(0.0)
その他	42	(6.5)	その他	0	(0.0)				(0.0)

表 1 -3b-⑧ 通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査（食事提供の有無別）

通所介護-食事提供あり(n=648)		通所介護-食事提供なし(n=31)		有効(%)		有効(%)	
n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
V.問3 専門職への相談							
418	(64.5)	7	(22.6)	専門職への相談			
217	(33.5)	22	(71.0)	相談した			
13	(2.0)	2	(6.5)	相談していない			
648	(100.0)	31	(100.0)	欠損値			
				合計			
専門職への相談をした施設(n=418)において							
V.問3 相談した職種							
110	(17.0)	4	(12.9)	医師 (分母n=7の%)			
24	(3.7)	0	(0.0)	歯科医師 (57.1)			
79	(12.2)	0	(0.0)	介護福祉士 (0.0)			
208	(32.1)	6	(19.4)	看護師 (0.0)			
79	(12.2)	0	(0.0)	准看護師 (85.7)			
148	(22.8)	2	(6.5)	管理栄養士 (0.0)			
74	(11.4)	0	(0.0)	栄養士 (28.6)			
31	(4.8)	1	(3.2)	理学療法士 (0.0)			
22	(3.4)	0	(0.0)	作業療法士 (14.3)			
42	(6.5)	1	(3.2)	言語聴覚士 (0.0)			
30	(4.6)	0	(0.0)	歯科衛生士 (14.3)			
67	(10.3)	0	(0.0)	調理師 (0.0)			
30	(4.6)	0	(0.0)	その他 (0.0)			

表 1 -4a-① 通所リハにおける栄養・食事実態調査：事業所実態調査（管理栄養士の関わり）

通所リハビリテーション-管理栄養士関わりあり(n=475)		通所リハビリテーション-管理栄養士関わりなし(n=257)	
	n	(%)	n
記入者			
管理者	144	(30.3)	82
管理者以外の職員	326	(68.6)	172
欠損値	5	(1.1)	3
合計	475	(100.0)	257
I.問2 事業主体			
社会福祉法人	62	(13.1)	8
医療法人	351	(73.9)	203
営利法人	1	(0.2)	1
NPO法人	0	(0.0)	0
その他	59	(12.4)	45
欠損値	2	(0.4)	0
合計	475	(100.0)	257
I.問3 併設施設（複数回答可）			
介護老人福祉施設	12	(2.5)	2
介護老人保健施設	259	(54.5)	41
病院・診療所	235	(49.5)	219
その他	38	(8.0)	12
なし	3	(0.6)	5
平均値		標準偏差	平均値
	39.2	19.0	33.3
平均定員数			標準偏差
	28.4	16.0	22.6
平均利用者数			標準偏差
	1.84	0.49	1.54
平均要介護度			標準偏差
			0.63

表 1-4a-② 通所リハにおける栄養・食実態調査：事業所実態調査（管理栄養士の関わり）

通所リハビリテーション-管理栄養士関わりあり(n=475)		通所リハビリテーション-管理栄養士関わりなし(n=257)	
	平均値	標準偏差	割合
I.問6 認知症高齢者の日常生活自立度 (1施設あたりの割合)			
自立割合 (%)	27.17	24.20	自立割合 (%)
I割合 (%)	22.42	16.69	I割合 (%)
IIa割合 (%)	14.23	12.69	IIa割合 (%)
IIb割合 (%)	12.24	11.95	IIb割合 (%)
IIIa割合 (%)	7.13	9.26	IIIa割合 (%)
IIIb割合 (%)	1.93	4.25	IIIb割合 (%)
IV割合 (%)	1.73	4.39	IV割合 (%)
M割合 (%)	0.45	2.15	M割合 (%)
不明割合 (%)	12.71	29.54	不明割合 (%)
I.問7：専門職	平均値	標準偏差	I.問7：専門職
医師 (人)	1.09	0.95	医師 (人)
歯科医師 (人)	0.00	0.06	歯科医師 (人)
介護福祉士 (人)	5.05	3.41	介護福祉士 (人)
看護師 (人)	0.93	0.86	看護師 (人)
准看護師 (人)	0.59	0.81	准看護師 (人)
管理栄養士 (人)	0.73	0.59	管理栄養士 (人)
栄養士 (人)	0.16	0.51	栄養士 (人)
理学療法士 (人)	2.52	1.88	理学療法士 (人)
作業療法士 (人)	1.41	1.27	作業療法士 (人)
言語聴覚士 (人)	0.43	0.67	言語聴覚士 (人)
歯科衛生士 (人)	0.10	0.35	歯科衛生士 (人)
その他 (人)	1.86	2.55	その他 (人)
	平均値	標準偏差	平均値
	35.53	31.76	35.53
	23.42	20.08	23.42
	12.5	13.30	12.5
	10.96	13.74	10.96
	4.36	7.72	4.36
	1.65	4.22	1.65
	1.62	5.57	1.62
	0.21	1.36	0.21
	9.75	26.94	9.75
	平均値	標準偏差	平均値
	1.09	0.77	1.09
	0.06	0.51	0.06
	2.75	2.75	2.75
	0.80	0.92	0.80
	0.46	0.74	0.46
	0.08	0.30	0.08
	0.11	0.31	0.11
	2.19	1.88	2.19
	0.86	1.05	0.86
	0.23	0.52	0.23
	0.02	0.14	0.02
	1.62	2.61	1.62

表1-4a-③ 通所リハにおける栄養・食事実態調査：事業所実態調査（管理栄養士の関わり）

通所リハビリテーション-管理栄養士関わりあり(n=475)		n	(%)	通所リハビリテーション-管理栄養士関わりなし(n=257)		n	(%)
II.問1	リハビリテーション・マネジメント加算(複数回答)			II.問1	リハビリテーション・マネジメント加算(複数回答)		
	リハビリテーション・マネジメント加算I	357	(75.2)		リハビリテーション・マネジメント加算I	199	(77.4)
	リハビリテーション・マネジメント加算II	81	(17.1)		リハビリテーション・マネジメント加算II	26	(10.1)
	リハビリテーション・マネジメント加算III	163	(34.3)		リハビリテーション・マネジメント加算III	47	(18.3)
	リハビリテーション・マネジメント加算IV	16	(3.4)		リハビリテーション・マネジメント加算IV	2	(0.8)
	未算定	8	(1.7)		未算定	16	(6.2)
II.問3	栄養・口腔関連加算			II.問3	栄養・口腔関連加算		
	栄養スクリーニング加算	104	(21.9)		栄養スクリーニング加算	7	(2.7)
	栄養改善加算	73	(15.4)		栄養改善加算	3	(1.2)
	口腔機能向上加算	115	(24.2)		口腔機能向上加算	43	(16.7)
	未算定	282	(59.4)		未算定	210	(81.7)
III.問1	体重の記録			III.問1	体重の記録		
	記録している(最近1か月で1回以上)	402	(84.6)		記録している(最近1か月で1回以上)	161	(62.6)
	記録していない	70	(14.7)		記録していない	92	(35.8)
	欠損値	3	(0.6)		欠損値	4	(1.6)
	合計	475	(100.0)		合計	257	(100.0)
III.問2	身長記録			III.問2	身長記録		
	記録がある	269	(56.6)		記録がある	107	(41.6)
	記録はない	202	(42.5)		記録はない	149	(58.0)
	欠損値	4	(0.8)		欠損値	1	(0.4)
	合計	475	(100.0)		合計	257	(100.0)

表1-4a-④ 通所リハにおける栄養・食事実態調査：事業所実態調査（管理栄養士の関わり）

通所リハビリテーション-管理栄養士関わりあり(n=475)		通所リハビリテーション-管理栄養士関わりなし(n=257)	
	n	(%)	n
III.問3 BMI18.5 kg/m ² 未満の者			
III.問3 BMI18.5 kg/m ² 未満の者			
いる	183	(38.5)	68
いない	47	(9.9)	38
把握していない	234	(49.3)	147
欠損値	11	(2.3)	4
合計	475	(100.0)	257
III.問4 6か月間に2～3 kgの体重減少があった者			
III.問4 6か月間に2～3 kgの体重減少があった者			
いる	250	(52.6)	95
いない	158	(33.3)	103
把握していない	62	(13.1)	56
欠損値	5	(1.1)	3
合計	475	(100.0)	257
III.問5 摂食・嚥下機能に問題がある者			
III.問5 摂食・嚥下機能に問題がある者			
いる	323	(68.0)	131
いない	141	(29.7)	105
把握していない	7	(1.5)	18
欠損値	4	(0.8)	3
合計	475	(100.0)	257

表 1-4a-⑤ 通所リハビリテーションにおける栄養・食事実態調査：事業所実態調査（管理栄養士の関わり）

通所リハビリテーション-管理栄養士関わりあり(n=475)		通所リハビリテーション-管理栄養士関わりなし(n=257)		有効(%)		n		有効(%)	
IV.問1	食事の提供をしている	n	(%)	IV.問1	食事の提供をしている	n	(%)	(%)	(%)
	はい	452	(95.2)		はい	153	(59.5)		
	いいえ	20	(4.2)		いいえ	103	(40.1)		
	欠損値	3	(0.6)		欠損値	1	(0.4)		
	合計	475	(100.0)		合計	257	(100.0)		
	食事の提供をしている施設(n=452)において				食事の提供をしている施設(n=153)において				
IV.問2	栄養状態を考慮した量の食事		(分母n=452の%)	IV.問2	栄養状態を考慮した量の食事		(分母n=153の%)		
	提供している	375	(78.9)		提供している	104	(40.5)		(68.0)
	提供していない(提供量は個人ごとに設定して	72	(15.2)		提供していない(提供量は個人ごとに設定して	49	(19.1)		(32.0)
	いなかった)				いなかった)				
	欠損値	5	(1.1)		欠損値	0	(0.0)		(0.0)
	(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	23	(4.8)		(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	104	(40.5)		
	合計	475	(100.0)		合計	257	(100.0)		
IV.問3	食事の摂取量の記録		(分母n=452の%)	IV.問3	食事の摂取量の記録		(分母n=153の%)		
	記録している	416	(87.6)		記録している	133	(51.8)		(86.9)
	記録していない	35	(7.4)		記録していない	19	(7.4)		(12.4)
	欠損値	1	(0.2)		欠損値	1	(0.4)		(0.7)
	(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	23	(4.8)		(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	104	(40.5)		
	合計	475	(100.0)		合計	257	(100.0)		
IV.問4	食形態の調整が必要な者		(分母n=452の%)	IV.問4	食形態の調整が必要な者		(分母n=153の%)		
	いる	336	(70.7)		いる	100	(38.9)		(65.4)
	いない	113	(23.8)		いない	52	(20.2)		(34.0)
	わからない	2	(0.4)		わからない	1	(0.4)		(0.7)
	欠損値	1	(0.2)		欠損値	0	(0.0)		(0.0)
	(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	23	(4.8)		(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	104	(40.5)		
	合計	475	(100.0)		合計	257	(100.0)		

表 1-4a-⑥ 通所リハビリテーションにおける栄養・食実態調査：事業所実態調査（管理栄養士の関わり）

通所リハビリテーション-管理栄養士関わりあり(n=475)	n	(%)	有効(%)	通所リハビリテーション-管理栄養士関わりなし(n=257)	n	(%)	有効(%)
IV.問5 栄養素の調整が必要な者		(分母n=452の%)		IV.問5 栄養素の調整が必要な者		(分母n=153の%)	
いる	311	(65.5)	(73.2)	いる	80	(31.1)	(52.3)
いない	122	(25.7)	(28.7)	いない	67	(26.1)	(43.8)
わからない	18	(3.8)	(4.2)	わからない	6	(2.3)	(3.9)
欠損値	1	(0.2)		欠損値	0	(0.0)	
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	23	(4.8)		(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	104	(40.5)	
合計	475	(100.0)		合計	257	(100.0)	
IV.問6 食事介助が必要な者		(分母n=452の%)		IV.問6 食事介助が必要な者		(分母n=153の%)	
いる	259	(54.5)	(57.3)	いる	82	(31.9)	(53.6)
いない	189	(39.8)	(41.8)	いない	70	(27.2)	(45.8)
わからない	1	(0.2)	(0.2)	わからない	0	(0.0)	(0.0)
欠損値	3	(0.6)	(0.7)	欠損値	1	(0.4)	(0.7)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	23	(4.8)		(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	104	(40.5)	
合計	475	(100.0)		合計	257	(100.0)	
食事介助が必要な者がいる施設(n=259)において				食事介助が必要な者がいる施設(n=82)において			
IV.問6 食事介助で不安に思うこと		(分母n=259の%)		IV.問6 食事介助で不安に思うこと		(分母n=82の%)	
ある	45	(9.5)	(17.4)	ある	11	(4.3)	(13.4)
ない	208	(43.8)	(80.3)	ない	69	(26.8)	(84.1)
欠損値	6	(1.3)	(2.3)	欠損値	2	(0.8)	(2.4)
(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	23	(4.8)		(IV.問1 食事提供していない+欠損値)	104	(40.5)	
(IV.問6 食事介助が必要な者がいない・わか らない+欠損値)	193	(40.6)		(IV.問6 食事介助が必要な者がいない・わか らない+欠損値)	71	(27.6)	
合計	475	(100.0)		合計	257	(100.0)	

表 1-4a-⑦ 通所リハビリテーション-管理栄養士関わりあり(n=475) 通所リハビリテーション-管理栄養士関わりなし(n=257)

通所リハビリテーション-管理栄養士関わりあり(n=475)	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)
管理栄養士との関わりがある施設(n=475)において						
V.問1 管理栄養士のかかわり内容 (複数回答)		(分母n=475の%)				(分母n=0の%)
食事時の観察 (ミーララウンド)	222	(46.7)	(46.7)	0	(0.0)	(0.0)
食事の個別調整	348	(73.3)	(73.3)	0	(0.0)	(0.0)
栄養相談	215	(45.3)	(45.3)	0	(0.0)	(0.0)
自宅訪問	13	(2.7)	(2.7)	0	(0.0)	(0.0)
その他	72	(15.2)	(15.2)	0	(0.0)	(0.0)
V.問2 栄養士との関わり						
あり	165	(34.7)		39	(15.2)	
なし	236	(49.7)		207	(80.5)	
欠損値	74	(15.6)		11	(4.3)	
合計	475	(100.0)		257	(100.0)	
管理栄養士との関わりがある施設(n=165)において						
V.問2 栄養士のかかわり内容 (複数回答)		(分母n=165の%)				(分母n=39の%)
食事時の観察 (ミーララウンド)	62	(37.6)	(37.6)	12	(4.7)	(30.8)
食事の個別調整	122	(73.9)	(73.9)	29	(11.3)	(74.4)
栄養相談	60	(36.4)	(36.4)	8	(3.1)	(20.5)
自宅訪問	0	(0.0)	(0.0)	2	(0.8)	(5.1)
その他	33	(20.0)	(20.0)	7	(2.7)	(17.9)

表 1 -4a-⑧ 通所リハビリテーション-管理栄養士関わりあり(n=475) 通所リハビリテーション-管理栄養士関わりなし(n=257) 有効(%) n (%) 有効(%) n (%)

通所リハビリテーション-管理栄養士関わりあり(n=475)		通所リハビリテーション-管理栄養士関わりなし(n=257)	
有効(%)	n	有効(%)	n
V.問3 専門職への相談			
相談した	428 (90.1)	相談した	141 (54.9)
相談していない	44 (9.3)	相談していない	110 (42.8)
欠損値	3 (0.6)	欠損値	6 (2.3)
合計	475 (100.0)	合計	257 (100.0)
専門職への相談をした施設(n=428)において			
V.問3 相談した職種		専門職への相談をした施設(n=141)において	
(分母n=428の%)		(分母n=141の%)	
医師	140 (29.5)	医師	67 (26.1)
歯科医師	7 (1.5)	歯科医師	3 (1.2)
介護福祉士	97 (20.4)	介護福祉士	12 (4.7)
看護師	188 (39.6)	看護師	48 (18.7)
准看護師	54 (11.4)	准看護師	10 (3.9)
管理栄養士	342 (72.0)	管理栄養士	23 (8.9)
栄養士	43 (9.1)	栄養士	27 (10.5)
理学療法士	111 (23.4)	理学療法士	32 (12.5)
作業療法士	104 (21.9)	作業療法士	19 (7.4)
言語聴覚士	178 (37.5)	言語聴覚士	46 (17.9)
歯科衛生士	27 (5.7)	歯科衛生士	5 (1.9)
調理師	16 (3.4)	調理師	13 (5.1)
その他	16 (3.4)	その他	9 (3.5)

表1-4b-① 通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査（管理栄養士の関わり）

通所介護-管理栄養士関わりあり(n=230)		通所介護-管理栄養士関わりなし(n=442)	
記入者	n	(%)	n
管理者	146	(63.5)	336
管理者以外の職員	80	(34.8)	98
欠損値	4	(1.7)	8
合計	230	(100.0)	442
I.問2 事業主体			
社会福祉法人	147	(63.9)	106
医療法人	25	(10.9)	23
営利法人	40	(17.4)	218
NPO法人	3	(1.3)	16
その他	15	(6.5)	77
欠損値	0	(0.0)	2
合計	230	(100.0)	442
I.問3 併設施設（複数回答可）			
介護老人福祉施設	116	(50.4)	62
介護老人保健施設	8	(3.5)	4
病院・診療所	19	(8.3)	23
その他	80	(34.8)	188
なし	35	(15.2)	176
I.問4	平均値	標準偏差	平均値
	32.8	11.6	28.4
	26.3	12.3	21.9
I.問5	平均値	標準偏差	平均値
	2.02	0.54	1.95
			標準偏差
			11.7
			10.6
			標準偏差
			0.68

表 1-4b-② 通所介護における栄養・食実態調査：事業所実態調査（管理栄養士の関わり）

通所介護-管理栄養士関わりあり(n=230)		通所介護-管理栄養士関わりなし(n=442)	
割合 (%)	n	割合 (%)	n
I.問6 認知症高齢者の日常生活自立度 (1施設あたりの割合)			
自立割合 (%)	13.90	17.29	17.32
割合 (%)	16.43	15.02	15.31
IIa割合 (%)	14.68	13.17	15.56
IIb割合 (%)	16.21	13.81	14.74
IIIa割合 (%)	10.64	11.80	9.66
IIIb割合 (%)	3.91	5.80	3.66
IV割合 (%)	3.72	6.50	3.1
M割合 (%)	0.94	3.57	0.61
不明割合 (%)	19.58	31.98	20.05
I.問7：専門職			
医師 (人)	0.00	0.00	0.00
歯科医師 (人)	0.01	0.08	0.00
介護福祉士 (人)	4.84	3.36	3.39
看護師 (人)	1.10	1.00	1.02
准看護師 (人)	0.85	0.90	0.89
管理栄養士 (人)	0.27	0.49	0.05
栄養士 (人)	0.12	0.34	0.15
理学療法士 (人)	0.35	0.75	0.30
作業療法士 (人)	0.20	0.50	0.12
言語聴覚士 (人)	0.03	0.20	0.01
歯科衛生士 (人)	0.05	0.23	0.01
その他 (人)	2.47	8.45	1.81
平均値		標準偏差	平均値
自立割合 (%)	17.29		23.06
割合 (%)	15.02		15.03
IIa割合 (%)	13.17		14.85
IIb割合 (%)	13.81		14.56
IIIa割合 (%)	11.80		12.01
IIIb割合 (%)	5.80		7.04
IV割合 (%)	6.50		6.09
M割合 (%)	3.57		2.33
不明割合 (%)	31.98		33.42
医師 (人)	0.00		0.00
歯科医師 (人)	0.01		0.00
介護福祉士 (人)	4.84		2.26
看護師 (人)	1.10		1.03
准看護師 (人)	0.85		0.95
管理栄養士 (人)	0.27		0.53
栄養士 (人)	0.12		0.39
理学療法士 (人)	0.35		0.62
作業療法士 (人)	0.20		0.38
言語聴覚士 (人)	0.03		0.11
歯科衛生士 (人)	0.05		0.11
その他 (人)	2.47		2.43

表1-4b-③ 通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査（管理栄養士の関わり）

通所介護-管理栄養士関わりあり(n=230)		通所介護-管理栄養士関わりなし(n=442)	
	n	(%)	n
II.問2 個別機能訓練加算			
個別機能訓練加算I	41	(17.8)	58
個別機能訓練加算II	53	(23.0)	93
両方	35	(15.2)	54
未算定	101	(43.9)	237
II.問3 栄養・口腔関連加算			
栄養スクリーニング加算	14	(6.1)	6
栄養改善加算	7	(3.0)	0
口腔機能向上加算	28	(12.2)	28
未算定	189	(82.2)	408
III.問1 体重の記録			
記録している（最近1か月で1回以上）	202	(87.8)	358
記録していない	25	(10.9)	75
欠損値	3	(1.3)	9
合計	230	(100.0)	442
III.問2 身長記録			
記録がある	59	(25.7)	118
記録はない	168	(73.0)	313
欠損値	3	(1.3)	11
合計	230	(100.0)	442
III.問3 BMI18.5 kg/m ² 未満の者			
いる	53	(23.0)	74
いない	23	(10.0)	58
把握していない	149	(64.8)	298
欠損値	5	(2.2)	12
合計	230	(100.0)	442

表1-4b-④ 通所介護における栄養・食実態調査：事業所実態調査（管理栄養士の関わり）

通所介護-管理栄養士関わりあり(n=230)		通所介護-管理栄養士関わりなし(n=442)	
III.問4	6か月間に2~3 kgの体重減少があった者	III.問4	6か月間に2~3 kgの体重減少があった者
	n	(%)	n
いる	131	(57.0)	184
いない	75	(32.6)	208
把握していない	18	(7.8)	40
欠損値	6	(2.6)	10
合計	230	(100.0)	442
III.問5	摂食・嚥下機能に問題がある者	III.問5	摂食・嚥下機能に問題がある者
いる	159	(69.1)	251
いない	64	(27.8)	169
把握していない	4	(1.7)	10
欠損値	3	(1.3)	12
合計	230	(100.0)	442

表 1 -4b-⑤ 通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査（管理栄養士の関わり）

通所介護-管理栄養士関わりあり(n=230)		通所介護-管理栄養士関わりなし(n=442)		有効(%)		n		有効(%)	
	n	(%)		n	(%)		n	(%)	有効(%)
IV.問1 食事の提供をしている									
はい	228	(99.1)	はい	411	(93.0)				
いいえ	2	(0.9)	いいえ	29	(6.6)				
欠損値	0	(0.0)	欠損値	2	(0.5)				
合計	230	(100.0)	合計	442	(100.0)				
食事の提供をしている施設(n=228)において									
IV.問2 栄養状態を考慮した量の食事									
提供している	189	(82.2)	提供している	284	(64.3)	(分母n=228の%)		(分母n=411の%)	(69.1)
提供していない(提供量は個人ごとに設定していなかった)	37	(16.1)	提供していない(提供量は個人ごとに設定していなかった)	121	(27.4)	(16.2)		(29.4)	
欠損値	2	(0.9)	欠損値	6	(1.4)	(0.9)		(1.5)	
(食事提供していない)	2	(0.9)	(食事提供していない)	31	(7.0)				
合計	230	(100.0)	合計	442	(100.0)				
IV.問3 食事の摂取量の記録									
記録している	215	(93.5)	記録している	385	(87.1)	(分母n=228の%)		(分母n=411の%)	(93.7)
記録していない	13	(5.7)	記録していない	25	(5.7)	(5.7)		(6.1)	
欠損値	0	(0.0)	欠損値	1	(0.2)	(0.0)		(0.2)	
(食事提供していない)	2	(0.9)	(食事提供していない)	31	(7.0)				
合計	230	(100.0)	合計	442	(100.0)				
IV.問4 食形態の調整が必要									
いる	166	(72.2)	いる	276	(62.4)	(分母n=228の%)		(分母n=411の%)	(67.2)
いない	60	(26.1)	いない	135	(30.5)	(26.3)		(32.8)	
欠損値	2	(0.9)	欠損値	0	(0.0)	(0.9)		(0.0)	
(食事提供していない)	2	(0.9)	(食事提供していない)	31	(7.0)				
合計	230	(100.0)	合計	442	(100.0)				

表 1 -4b-⑥ 通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査（管理栄養士の関わり）

通所介護-管理栄養士関わりあり(n=230)		有効(%) 通所介護-管理栄養士関わりなし(n=442)		有効(%)	
n	(%)	n	(%)	n	(%)
IV.問5 栄養素の調整が必要					
いる	140 (60.9)	144 (32.6)	いる	144 (32.6)	(分母n=411の%) (35.0)
いない	81 (35.2)	(35.5)	いない	248 (56.1)	(60.3)
わからない	7 (3.0)	(3.1)	わからない	19 (4.3)	(4.6)
欠損値	0 (0.0)	(0.0)	欠損値	0 (0.0)	(0.0)
(食事提供していない)	2 (0.9)		(食事提供していない)	31 (7.0)	
合計	230 (100.0)		合計	442 (100.0)	
IV.問6 食事介助が必要					
いる	161 (70.0)	(70.6)	いる	256 (57.9)	(分母n=411の%) (62.3)
いない	66 (28.7)	(28.9)	いない	154 (34.8)	(37.5)
欠損値	1 (0.4)	(0.4)	欠損値	1 (0.2)	(0.2)
(食事提供していない)	2 (0.9)		(食事提供していない)	31 (7.0)	
合計	230 (100.0)		合計	442 (100.0)	
食事介助が必要な者がいる施設(n=161)において					
IV.問6 不安に思うこと					
ある	27 (11.7)	(16.8)	ある	23 (5.2)	(分母n=256の%) (9.0)
ない	131 (57.0)	(81.4)	ない	230 (52.0)	(89.8)
欠損値	3 (1.3)	(1.9)	欠損値	3 (0.7)	(1.2)
(食事介助必要なし)	69 (30.0)		(食事介助必要なし)	186 (42.1)	
合計	230 (100.0)		合計	442 (100.0)	

表 1 -4b-⑦ 通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査（管理栄養士の関わり）

通所介護-管理栄養士関わりあり(n=230)	n	(%)	有効(%)	通所介護-管理栄養士関わりなし(n=442)	n	(%)	有効(%)
管理栄養士との関わりがある施設(n=230)において				管理栄養士との関わりがある施設(n=0)において			
V.問1 管理栄養士のかかわり内容（複数回答）		(分母n=230の%)	(35.7)	V.問1 管理栄養士のかかわり内容（複数回答）		(分母n=0の%)	(0.0)
食事時の観察（ミールラウンド）	82	(35.7)		食事時の観察（ミールラウンド）	0	(0.0)	(0.0)
食事の個別調整	145	(63.0)		食事の個別調整	0	(0.0)	(0.0)
栄養相談	93	(40.4)		栄養相談	0	(0.0)	(0.0)
自宅訪問	5	(2.2)		自宅訪問	0	(0.0)	(0.0)
その他	58	(25.2)		その他	0	(0.0)	(0.0)
V.問2 栄養士との関わり				V.問2 栄養士との関わり			
あり	114	(49.6)		あり	83	(18.8)	
なし	93	(40.4)		なし	343	(77.6)	
欠損値	23	(10.0)		欠損値	16	(3.6)	
合計	230	(100.0)		合計	442	(100.0)	
栄養士との関わりがある施設(n=114)において				栄養士との関わりがある施設(n=83)において			
V.問2 栄養士のかかわり内容（複数回答）		(分母n=114の%)	(27.2)	V.問2 栄養士のかかわり内容（複数回答）		(分母n=83の%)	(41.0)
食事時の観察（ミールラウンド）	31	(13.5)		食事時の観察（ミールラウンド）	34	(7.7)	(41.0)
食事の個別調整	80	(34.8)		食事の個別調整	59	(13.3)	(71.1)
栄養相談	41	(17.8)		栄養相談	23	(5.2)	(27.7)
自宅訪問	0	(0.0)		自宅訪問	1	(0.2)	(1.2)
その他	27	(11.7)		その他	13	(2.9)	(15.7)

表 1 -4b-⑧ 通所介護における栄養・食事実態調査：事業所実態調査（管理栄養士の関わり）

通所介護-管理栄養士関わりあり(n=230)		通所介護-管理栄養士関わりなし(n=442)		有効(%)		有効(%)	
n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
V.問3 専門職への相談							
相談した	193	(83.9)	228	(51.6)			
相談していない	36	(15.7)	202	(45.7)			
欠損値	1	(0.4)	12	(2.7)			
合計	230	(100.0)	442	(100.0)			
専門職への相談をした施設(n=193)において V.問3 相談した職種							
医師	34	(14.8)	78	(17.6)	(分母n=193の%)	(分母n=228の%)	(34.2)
歯科医師	9	(3.9)	15	(4.7)			(6.6)
介護福祉士	44	(19.1)	34	(22.8)			(14.9)
看護師	100	(43.5)	113	(51.8)			(49.6)
准看護師	31	(13.5)	47	(16.1)			(20.6)
管理栄養士	133	(57.8)	15	(68.9)			(6.6)
栄養士	32	(13.9)	42	(16.6)			(18.4)
理学療法士	20	(8.7)	10	(10.4)			(4.4)
作業療法士	11	(4.8)	10	(5.7)			(4.4)
言語聴覚士	23	(10.0)	20	(11.9)			(8.8)
歯科衛生士	16	(7.0)	13	(8.3)			(5.7)
調理師	24	(10.4)	42	(12.4)			(18.4)
その他	10	(4.3)	20	(5.2)			(8.8)

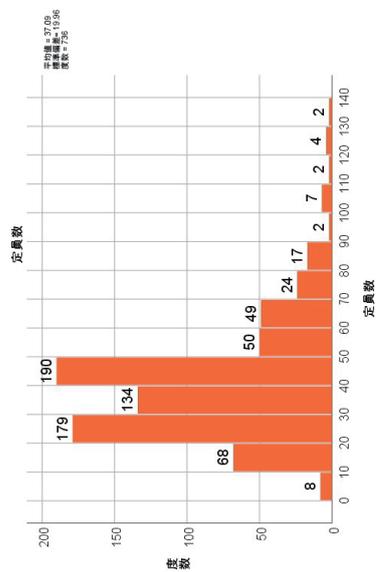
表 I -5 低栄養者 (BMI18.5kg/m²未満) 20%以上の事業所特性

	通所リハ		通所介護	
	オッズ比	P値	オッズ比	P値
併設施設-介護老人福祉施設【なし=1】	1.341	0.795	併設施設-介護老人福祉施設【なし=1】	1.195 0.718
併設施設-介護老人保健施設【なし=1】	1.126	0.701	併設施設-介護老人保健施設【なし=1】	- -
併設施設-病院・診療所【なし=1】	1.191	0.578	併設施設-病院・診療所【あり=1】	1.385 0.612
併設施設-その他【なし=1】	3.231	0.124	併設施設-その他【あり=1】	1.253 0.594
併設施設-なし【なし=1】	-	-	併設施設-なし【あり=1】	2.102 0.143
平均要介護度【平均要介護度3以上=1】	3.02	0.275	平均要介護度【平均要介護度3以上=1】	1.333 0.749
リハビリテーション・マネジメント加算I【あり=1】	1.643	0.161	個別機能訓練加算I【なし=1】	1.946 0.319
リハビリテーション・マネジメント加算II【あり=1】	1.42	0.363	個別機能訓練加算II【あり=1】	1.682 0.295
リハビリテーション・マネジメント加算III【あり=1】	1.869	0.076*	個別機能訓練加算I・II【なし=1】	4.529 0.05*
リハビリテーション・マネジメント加算IV【あり=1】	1.358	0.622	個別機能訓練加算未算定【未算定=1】	1.962 0.114
リハビリテーション・マネジメント加算未算定【未算定=1】	4.222	0.065*		
栄養スクリーニング加算【なし=1】	2.33	0.016**	栄養スクリーニング加算【なし=1】	1.385 0.634
栄養改善加算【なし=1】	1.234	0.581	栄養改善加算【あり=1】	- -
口腔機能向上加算【なし=1】	1.923	0.08*	口腔機能向上加算【なし=1】	2.579 0.229
栄養・口腔関連加算未算定【未算定=1】	1.917	0.035	未算定【未算定=1】	1.818 0.272
体重の記録【あり=1】	1.543	0.367	体重の記録【あり=1】	2.018 0.292
身長の記録【なし=1】	1.42	0.363	身長の記録【あり=1】	1.857 0.171
食事の提供をしている【いいえ=1】	1.098	0.833	食事の提供をしている【はい=1】	- -
栄養状態を考慮した量の食事【なし=1】	2.067	0.067	栄養状態を考慮した量の食事【なし=1】	1.516 0.385
食事の摂取量の記録【あり=1】	1.24	0.749	食事の摂取量の記録【あり=1】	2.26 0.459
食形態の調整が必要【なし=1】	1.042	0.908	食形態の調整が必要【あり=1】	1.895 0.213
栄養素の調整が必要【なし=1】	1.309	0.45	栄養素の調整が必要【なし=1】	1.756 0.191
食事介助が必要【あり=1】	1.471	0.267	食事介助が必要【なし=1】	1.351 0.488
不安に思うこと【なし=1】	1.289	0.714	不安に思うこと【なし=1】	2.435 0.422
管理栄養士との関わり【なし=1】	1.603	0.149	管理栄養士との関わり【なし=1】	1.482 0.377
食事時の観察（ミールラウンド）【あり=1】	1.421	0.349	食事時の観察（ミールラウンド）【あり=1】	2.156 0.288
食事の個別調整【なし=1】	1.314	0.521	食事の個別調整【あり=1】	1.803 0.439
栄養相談【あり=1】	1.027	0.944	栄養相談【なし=1】	1.053 0.942
自宅訪問【あり=1】	1.764	0.522	自宅訪問【あり=1】	- -
その他【なし=1】	1.442	0.531	その他【なし=1】	1.571 0.602
栄養士との関わり【なし=1】	1.437	0.32	栄養士との関わり【なし=1】	1.32 0.551
食事時の観察（ミールラウンド）【あり=1】	2.56	0.14	食事時の観察（ミールラウンド）【なし=1】	3.478 0.268
食事の個別調整【あり=1】	3.6	0.241	食事の個別調整【あり=1】	3.478 0.268
栄養相談【あり=1】	1.489	0.525	栄養相談【あり=1】	- -
自宅訪問【あり=1】	-	-	自宅訪問【あり=1】	- -
その他【なし=1】	1.65	0.549	その他【あり=1】	- -
専門職への相談【なし=1】	1.397	0.419	専門職への相談【あり=1】	2.246 0.171
医師【なし=1】	1.207	0.579	医師【あり=1】	1.115 0.831
歯科医師【あり=1】	1.298	0.76	歯科医師【あり=1】	2.248 0.259
介護福祉士【なし=1】	1.522	0.311	介護福祉士【あり=1】	2.267 0.131
看護師【なし=1】	1.077	0.826	看護師【あり=1】	1.442 0.44
准看護師【あり=1】	1.017	0.974	准看護師【あり=1】	1.35 0.621
管理栄養士【なし=1】	1.642	0.189	管理栄養士【なし=1】	1.216 0.688
栄養士【あり=1】	-	-	栄養士【なし=1】	1.447 0.52
理学療法士【なし=1】	1.001	0.999	理学療法士【なし=1】	1.6 0.681
作業療法士【あり=1】	1.613	0.195	作業療法士【なし=1】	1.6 0.681
言語聴覚士【なし=1】	1.498	0.271	言語聴覚士【なし=1】	1.412 0.681
歯科衛生士【あり=1】	1.165	0.781	歯科衛生士【なし=1】	1.2 0.798
調理師【なし=1】	1.094	0.913	調理師【あり=1】	1.333 0.665
その他【あり=1】	-	-	その他【あり=1】	4.227 0.128

** : p<0.05、* : p<0.1

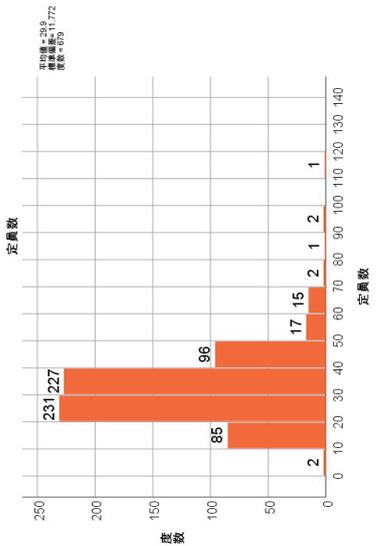
通所リハ (n=740)

定員数	n	%
0-9人	8	(1.1)
10-19人	68	(9.2)
20-29人	179	(24.3)
30-39人	134	(18.2)
40-49人	190	(25.8)
50-59人	50	(6.8)
60-69人	49	(6.7)
70-79人	24	(3.3)
80-89人	17	(2.3)
90-99人	2	(0.3)
100-109人	7	(1.0)
110-119人	2	(0.3)
120-129人	4	(0.5)
130-139人	2	(0.3)
140人	0	(0.0)



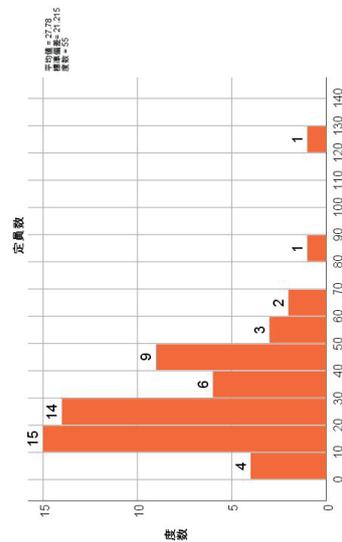
通所介護 (n=683)

定員数	n	%
0-9人	2	(0.3)
10-19人	85	(11.5)
20-29人	231	(31.4)
30-39人	227	(30.8)
40-49人	96	(13.0)
50-59人	17	(2.3)
60-69人	15	(2.0)
70-79人	2	(0.3)
80-89人	1	(0.1)
90-99人	2	(0.3)
100-109人	0	(0.0)
110-119人	1	(0.1)
120-129人	0	(0.0)
130-139人	0	(0.0)
140人	0	(0.0)



通所リハ・平均要介護度1未満 (n=55)

定員数	n	%
0-9人	4	(0.5)
10-19人	15	(2.0)
20-29人	14	(1.9)
30-39人	6	(0.8)
40-49人	9	(1.2)
50-59人	3	(0.4)
60-69人	2	(0.3)
70-79人	0	(0.0)
80-89人	1	(0.1)
90-99人	0	(0.0)
100-109人	0	(0.0)
110-119人	0	(0.0)
120-129人	1	(0.1)
130-139人	0	(0.0)
140人	0	(0.0)



通所介護・平均要介護度1未満 (n=24)

定員数	n	%
0-9人	0	(0.0)
10-19人	5	(0.7)
20-29人	2	(0.3)
30-39人	9	(1.2)
40-49人	4	(0.5)
50-59人	2	(0.3)
60-69人	1	(0.1)
70-79人	1	(0.1)
80-89人	0	(0.0)
90-99人	0	(0.0)
100-109人	0	(0.0)
110-119人	0	(0.0)
120-129人	0	(0.0)
130-139人	0	(0.0)
140人	0	(0.0)

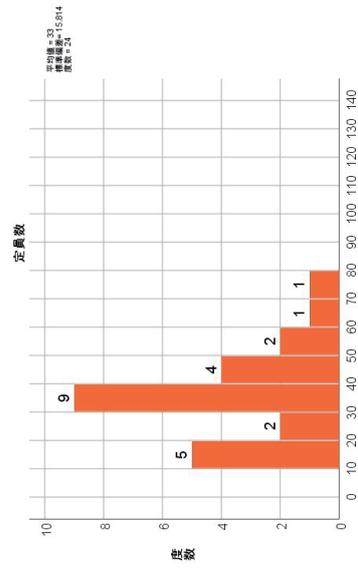
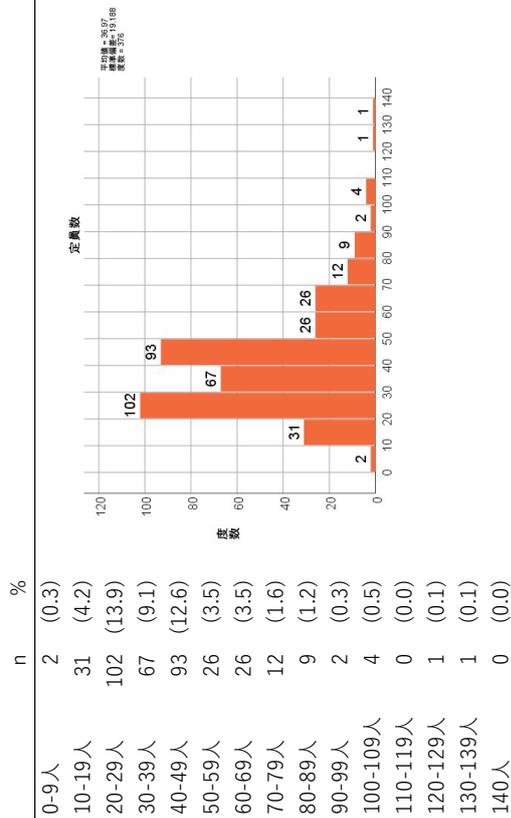
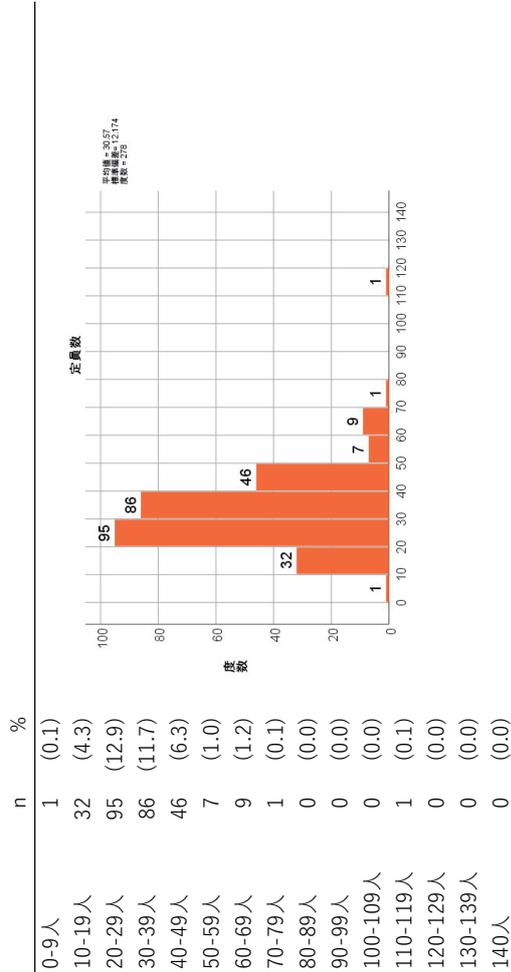


図 I-1-1-① 定員数の分布

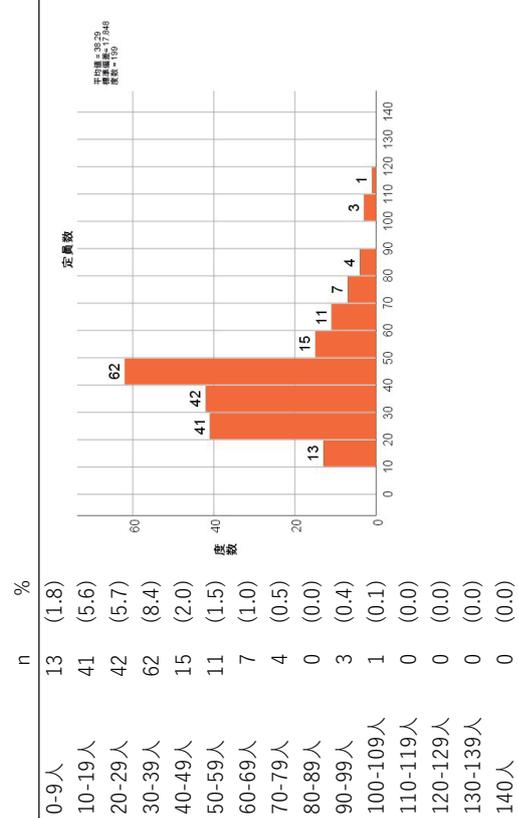
通所リハ・平均要介護度1以上2未満 (n=377)



通所介護・平均要介護度1以上2未満 (n=278)



通所リハ・平均要介護度2以上3未満 (n=199)



通所介護・平均要介護度2以上3未満 (n=195)

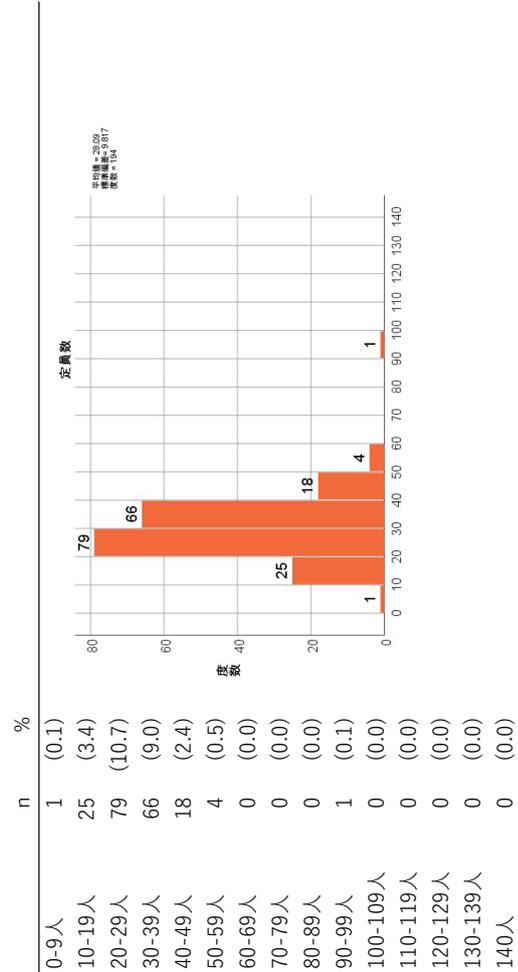
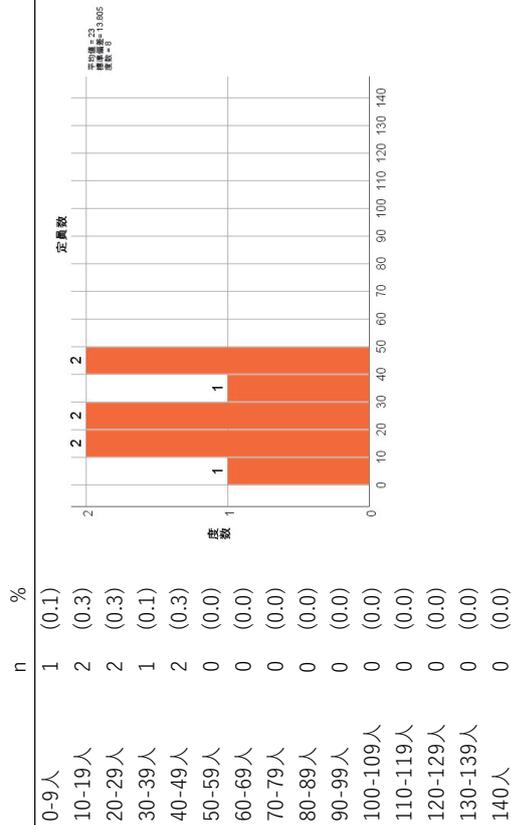
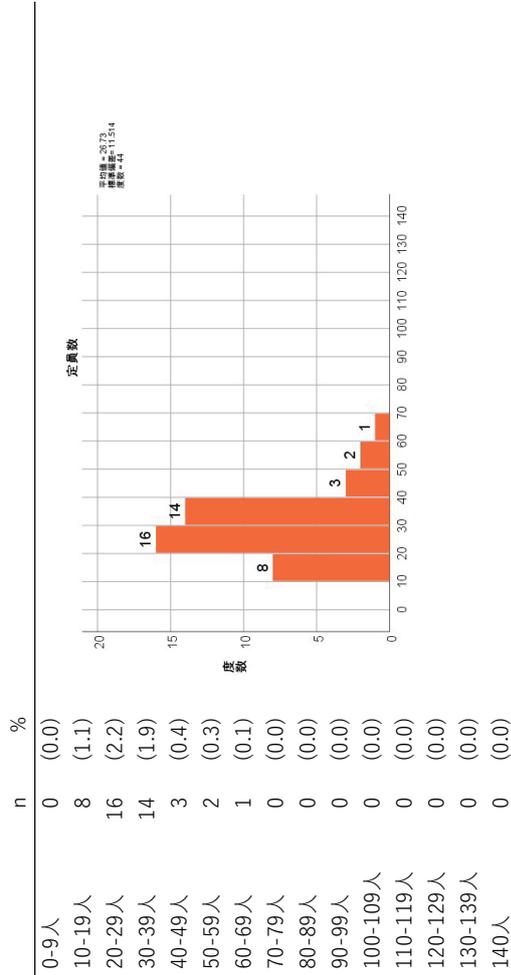


図 1-1-② 定員数の分布

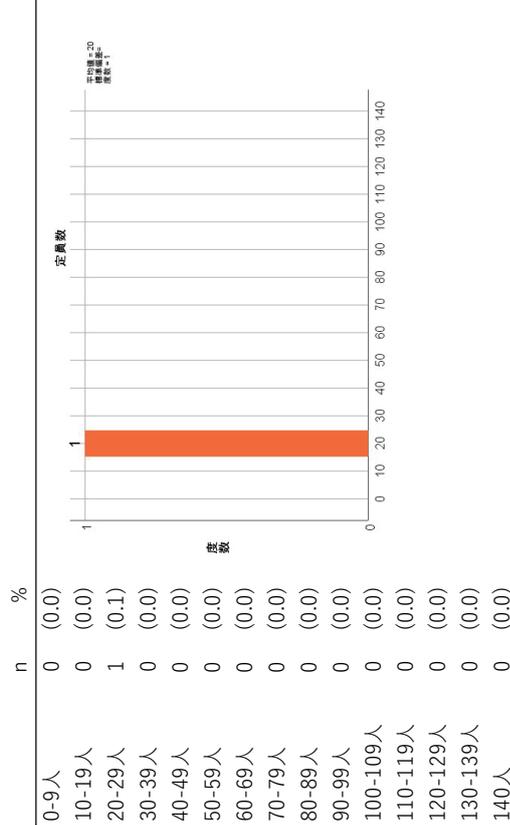
通所リハ・平均要介護度3以上4未満 (n=8)



通所介護・平均要介護度3以上4未満 (n=44)



通所リハ・平均要介護度4以上5未満 (n=1)



通所介護・平均要介護度4以上5未満 (n=2)

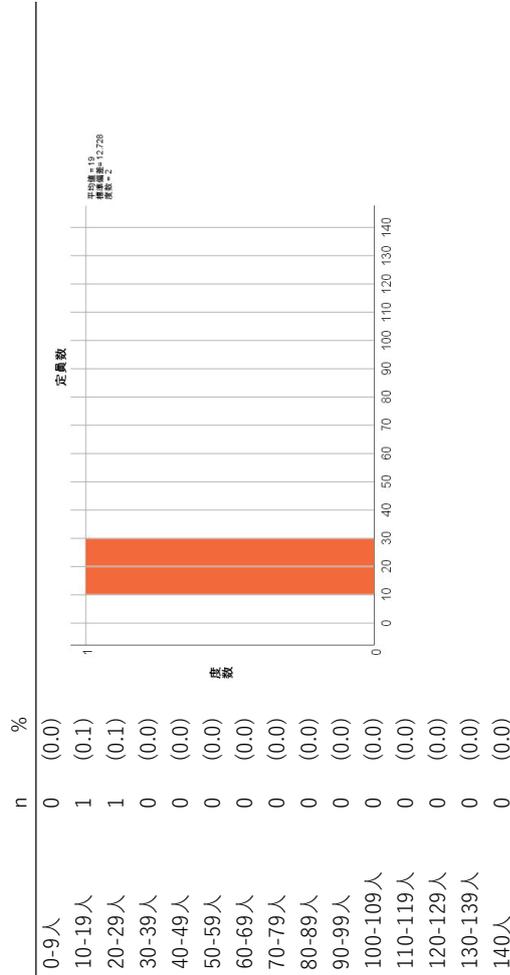
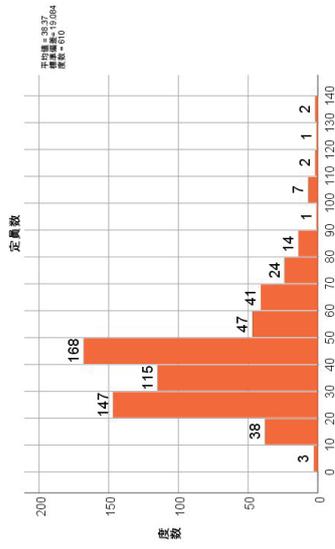


図 I-1-③ 定員数の分布

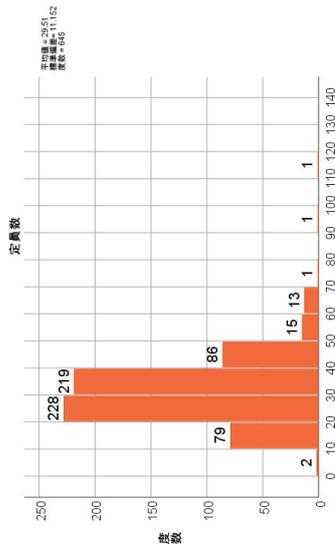
通所リハ・食事提供あり (n=612)

年齢	n	%
0-9人	3	(0.4)
10-19人	38	(5.2)
20-29人	147	(20.0)
30-39人	115	(15.6)
40-49人	168	(22.8)
50-59人	47	(6.4)
60-69人	41	(5.6)
70-79人	24	(3.3)
80-89人	14	(1.9)
90-99人	1	(0.1)
100-109人	7	(1.0)
110-119人	2	(0.3)
120-129人	1	(0.1)
130-139人	2	(0.3)
140人	0	(0.0)



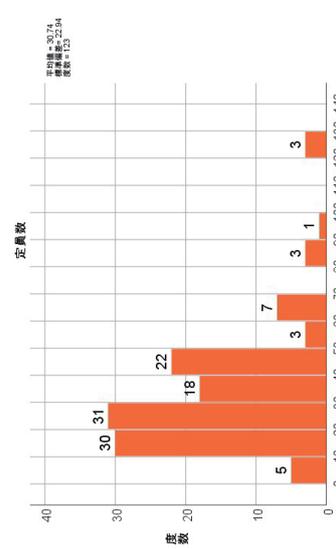
通所介護・食事提供あり (n=648)

年齢	n	%
0-9人	2	(0.3)
10-19人	79	(10.7)
20-29人	228	(31.0)
30-39人	219	(29.8)
40-49人	86	(11.7)
50-59人	15	(2.0)
60-69人	13	(1.8)
70-79人	1	(0.1)
80-89人	0	(0.0)
90-99人	1	(0.1)
100-109人	0	(0.0)
110-119人	1	(0.1)
120-129人	0	(0.0)
130-139人	0	(0.0)
140人	0	(0.0)



通所リハ・食事提供なし (n=123)

年齢	n	%
0-9人	5	(0.7)
10-19人	30	(4.1)
20-29人	31	(4.2)
30-39人	18	(2.4)
40-49人	22	(3.0)
50-59人	3	(0.4)
60-69人	7	(1.0)
70-79人	0	(0.0)
80-89人	3	(0.4)
90-99人	1	(0.1)
100-109人	0	(0.0)
110-119人	0	(0.0)
120-129人	3	(0.4)
130-139人	0	(0.0)
140人	0	(0.0)



通所介護・食事提供なし (n=31)

年齢	n	%
0-9人	0	(0.0)
10-19人	6	(0.8)
20-29人	2	(0.3)
30-39人	7	(1.0)
40-49人	9	(1.2)
50-59人	2	(0.3)
60-69人	2	(0.3)
70-79人	1	(0.1)
80-89人	1	(0.1)
90-99人	1	(0.1)
100-109人	0	(0.0)
110-119人	0	(0.0)
120-129人	0	(0.0)
130-139人	0	(0.0)
140人	0	(0.0)

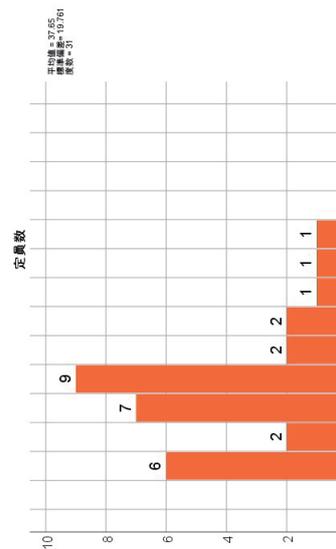
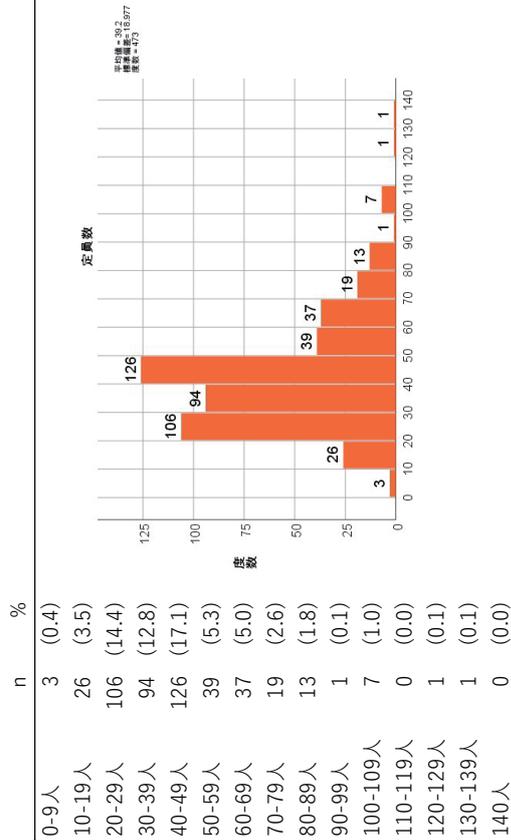
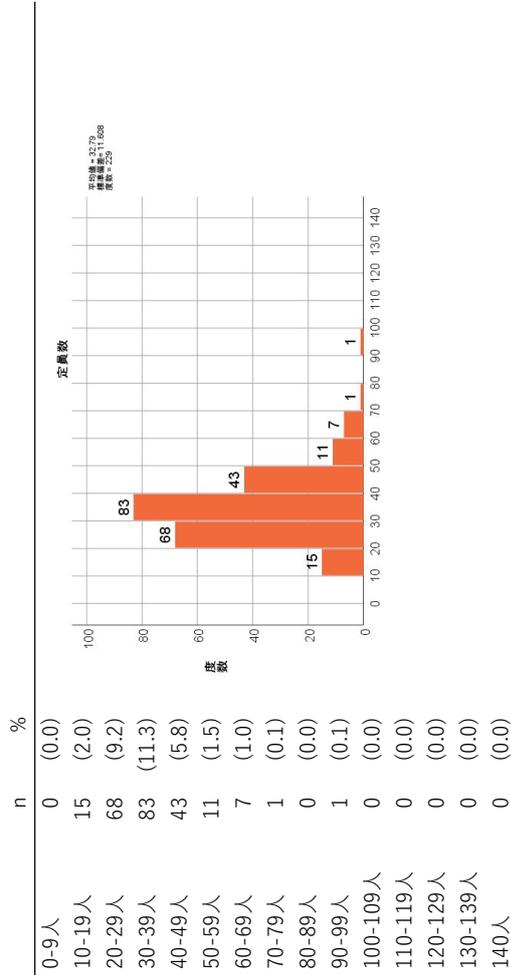


図 | -1-④ 定員数の分布

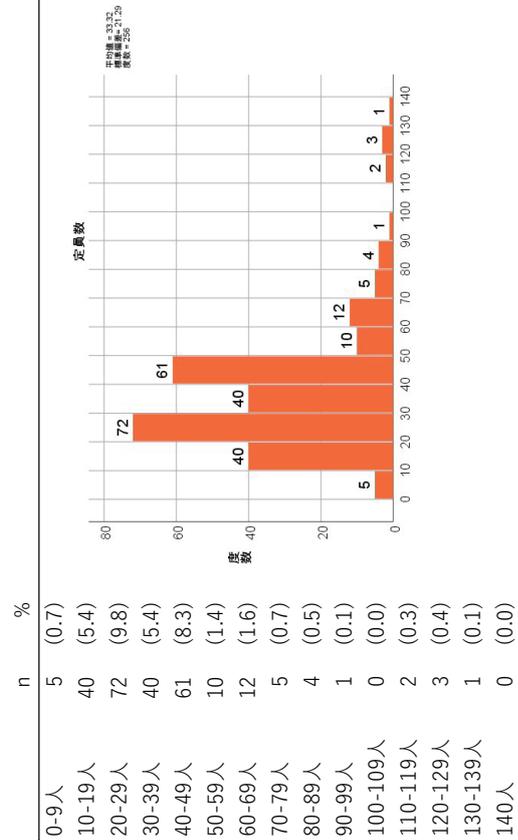
通所リハ・管理栄養士関わりあり (n=475)



通所介護・管理栄養士関わりあり (n=230)



通所リハ・管理栄養士関わりなし (n=257)



通所介護・管理栄養士関わりなし (n=442)

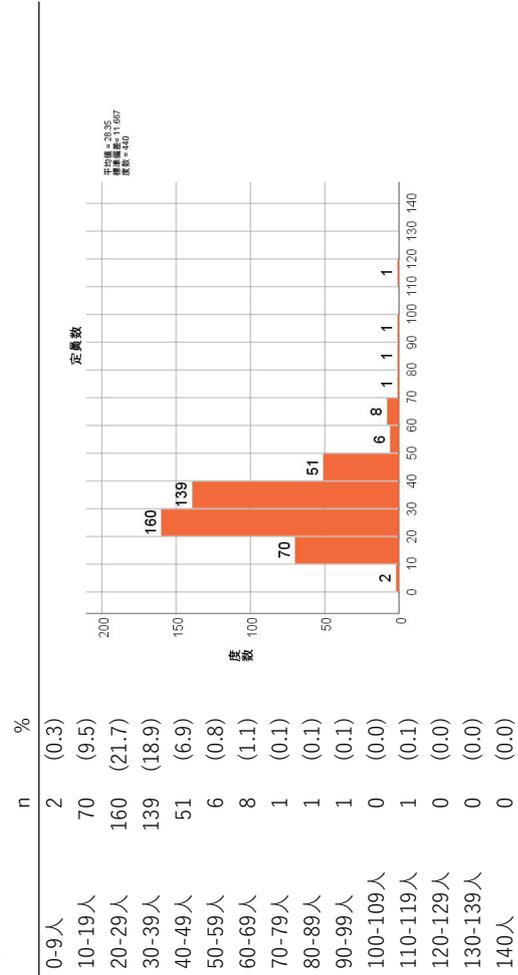
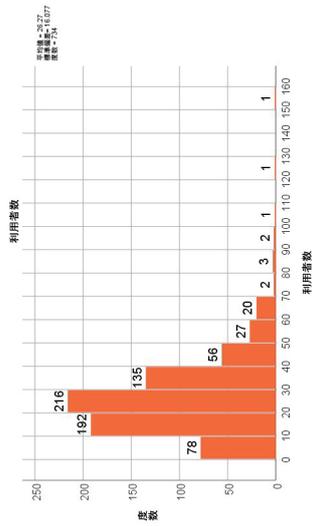


図 I-1-⑤ 定員数の分布

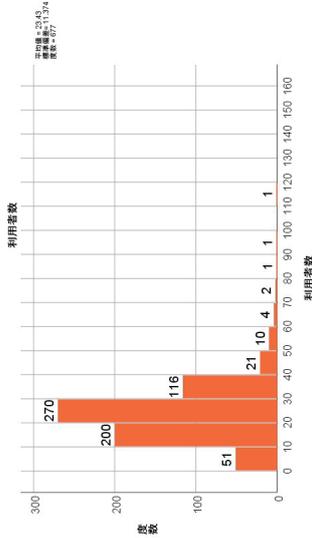
通所リハ (n=740)

利用者数	n	%
0-9人	78	(10.6)
10-19人	192	(26.2)
20-29人	216	(29.5)
30-39人	135	(18.4)
40-49人	56	(7.6)
50-59人	27	(3.7)
60-69人	20	(2.7)
70-79人	2	(0.3)
80-89人	3	(0.4)
90-99人	2	(0.3)
100-109人	1	(0.1)
110-119人	0	(0.0)
120-129人	1	(0.1)
130-139人	0	(0.0)
140-149人	0	(0.0)
150-159人	1	(0.1)
160人	0	(0.0)



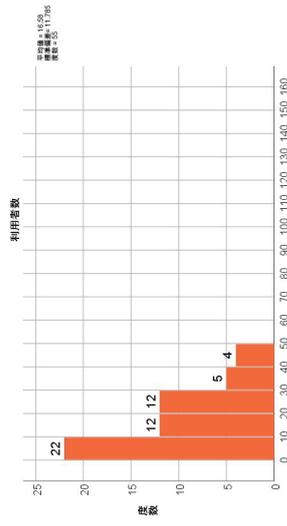
通所介護 (n=683)

利用者数	n	%
0-9人	51	(7.0)
10-19人	200	(27.3)
20-29人	270	(36.8)
30-39人	116	(15.8)
40-49人	21	(2.9)
50-59人	10	(1.4)
60-69人	4	(0.5)
70-79人	2	(0.3)
80-89人	1	(0.1)
90-99人	1	(0.1)
100-109人	0	(0.0)
110-119人	1	(0.1)
120-129人	0	(0.0)
130-139人	0	(0.0)
140-149人	0	(0.0)
150-159人	0	(0.0)
160人	0	(0.0)



通所リハ・平均要介護度1未満 (n=55)

利用者数	n	%
0-9人	22	(3.0)
10-19人	12	(1.6)
20-29人	12	(1.6)
30-39人	5	(0.7)
40-49人	4	(0.5)
50-59人	0	(0.0)
60-69人	0	(0.0)
70-79人	0	(0.0)
80-89人	0	(0.0)
90-99人	0	(0.0)
100-109人	0	(0.0)
110-119人	0	(0.0)
120-129人	0	(0.0)
130-139人	0	(0.0)
140-149人	0	(0.0)
150-159人	0	(0.0)
160人	0	(0.0)



通所介護・平均要介護度1未満 (n=24)

利用者数	n	%
0-9人	3	(0.4)
10-19人	6	(0.8)
20-29人	6	(0.8)
30-39人	6	(0.8)
40-49人	0	(0.0)
50-59人	1	(0.1)
60-69人	2	(0.3)
70-79人	0	(0.0)
80-89人	0	(0.0)
90-99人	0	(0.0)
100-109人	0	(0.0)
110-119人	0	(0.0)
120-129人	0	(0.0)
130-139人	0	(0.0)
140-149人	0	(0.0)
150-159人	0	(0.0)
160人	0	(0.0)

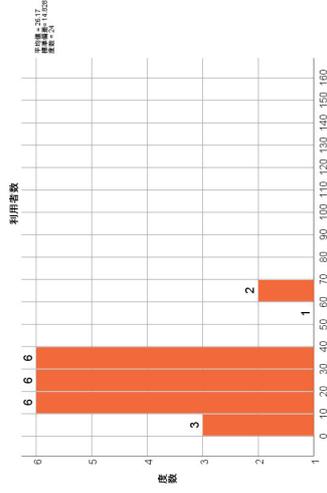
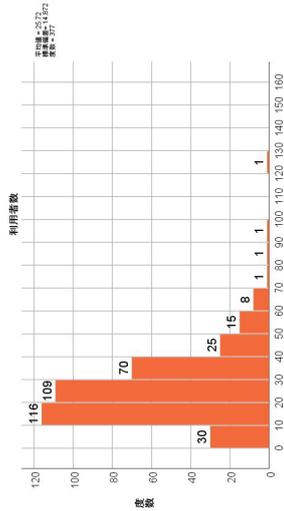


図 1-2-① 利用者数の分布

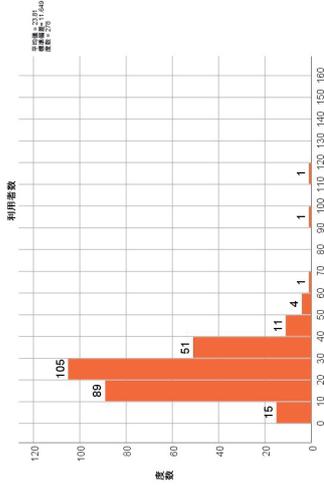
通所リハ・平均要介護度1以上2未満 (n=377)

	n	%
0-9人	30	(4.1)
10-19人	116	(15.8)
20-29人	109	(14.9)
30-39人	70	(9.5)
40-49人	25	(3.4)
50-59人	15	(2.0)
60-69人	8	(1.1)
70-79人	1	(0.1)
80-89人	1	(0.1)
90-99人	1	(0.1)
100-109人	0	(0.0)
110-119人	0	(0.0)
120-129人	1	(0.1)
130-139人	0	(0.0)
140-149人	0	(0.0)
150-159人	0	(0.0)
160人	0	(0.0)



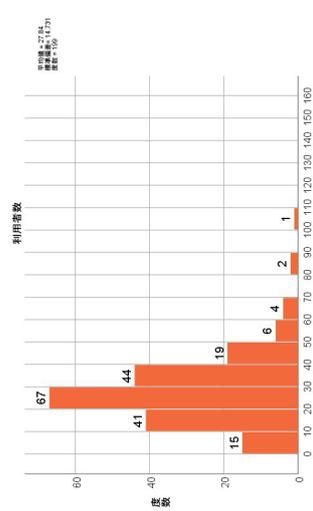
通所介護・平均要介護度1以上2未満 (n=278)

	n	%
0-9人	15	(2.0)
10-19人	89	(12.1)
20-29人	105	(14.3)
30-39人	51	(7.0)
40-49人	11	(1.5)
50-59人	4	(0.5)
60-69人	1	(0.1)
70-79人	0	(0.0)
80-89人	0	(0.0)
90-99人	1	(0.1)
100-109人	0	(0.0)
110-119人	1	(0.1)
120-129人	0	(0.0)
130-139人	0	(0.0)
140-149人	0	(0.0)
150-159人	0	(0.0)
160人	0	(0.0)



通所リハ・平均要介護度2以上3未満 (n=199)

	n	%
0-9人	15	(2.0)
10-19人	41	(5.6)
20-29人	67	(9.1)
30-39人	44	(6.0)
40-49人	19	(2.6)
50-59人	6	(0.8)
60-69人	4	(0.5)
70-79人	0	(0.0)
80-89人	2	(0.3)
90-99人	0	(0.0)
100-109人	1	(0.1)
110-119人	0	(0.0)
120-129人	0	(0.0)
130-139人	0	(0.0)
140-149人	0	(0.0)
150-159人	0	(0.0)
160人	0	(0.0)



通所介護・平均要介護度2以上3未満 (n=195)

	n	%
0-9人	19	(2.6)
10-19人	59	(8.0)
20-29人	87	(11.9)
30-39人	23	(3.1)
40-49人	6	(0.8)
50-59人	0	(0.0)
60-69人	0	(0.0)
70-79人	1	(0.1)
80-89人	0	(0.0)
90-99人	0	(0.0)
100-109人	0	(0.0)
110-119人	0	(0.0)
120-129人	0	(0.0)
130-139人	0	(0.0)
140-149人	0	(0.0)
150-159人	0	(0.0)
160人	0	(0.0)

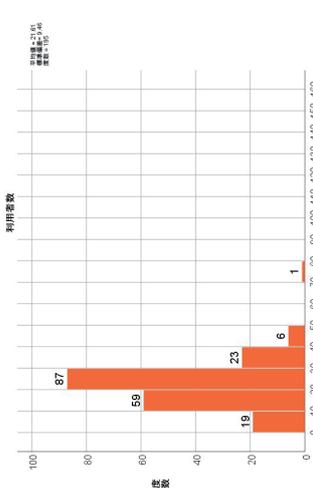
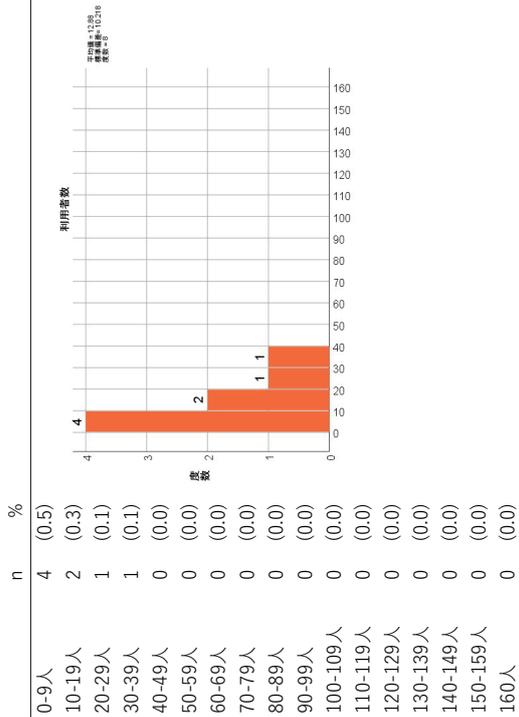
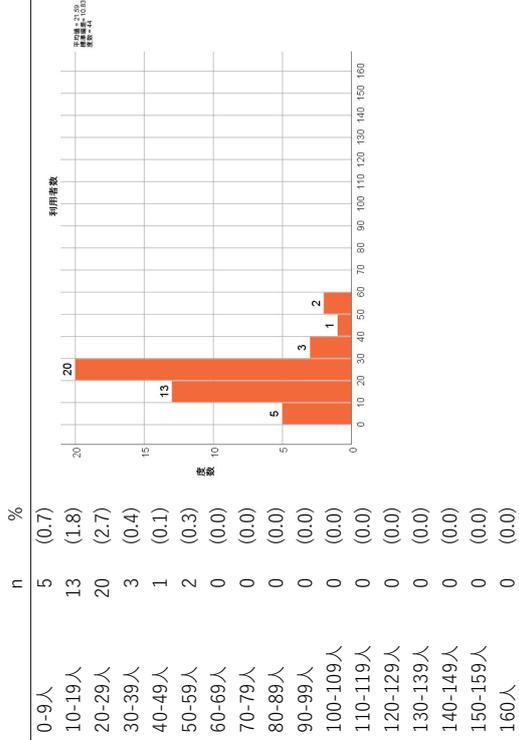


図 1-2-② 利用者数の分布

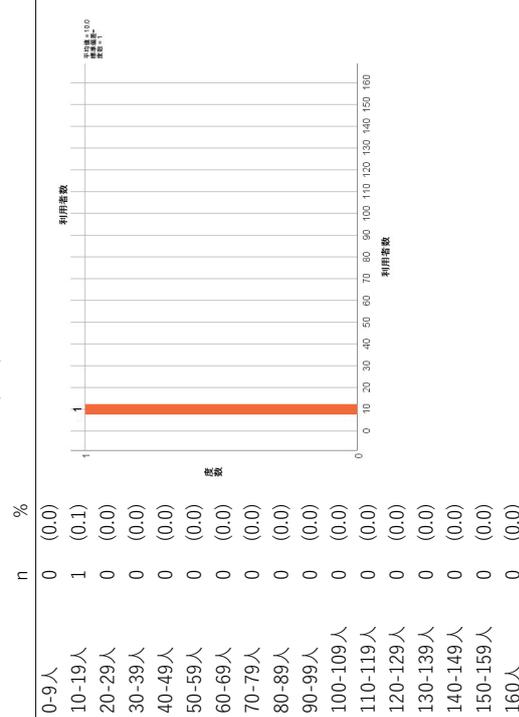
通所リハ・平均要介護度3以上4未満 (n=8)



通所介護・平均要介護度3以上4未満 (n=44)



通所リハ・平均要介護度4以上5未満 (n=1)



通所介護・平均要介護度4以上5未満 (n=2)

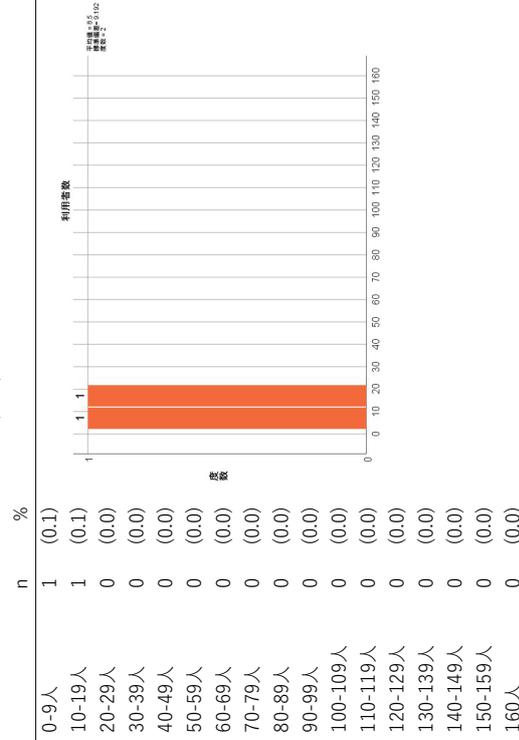
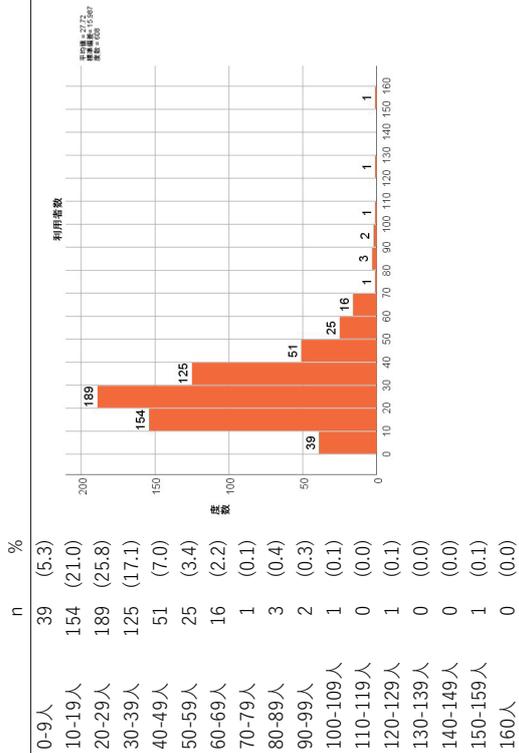
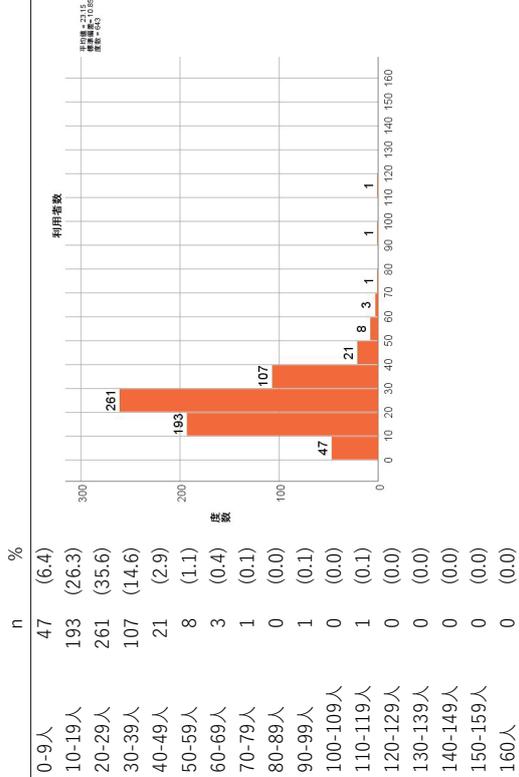


図 1-2-③ 利用者数の分布

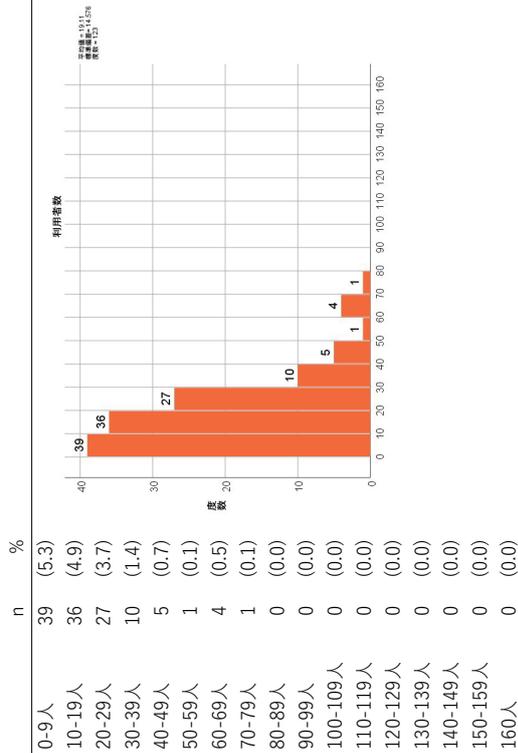
通所リハ・食事提供あり (n=612)



通所介護・食事提供あり (n=648)



通所リハ・食事提供なし (n=123)



通所介護・食事提供なし (n=31)

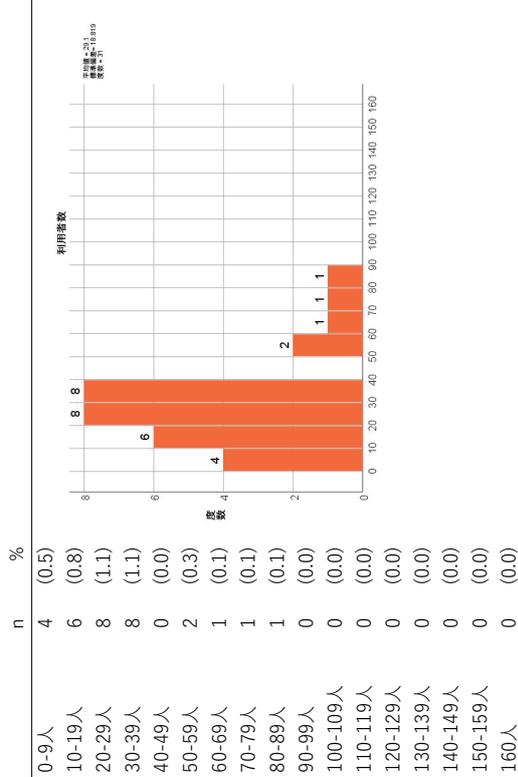
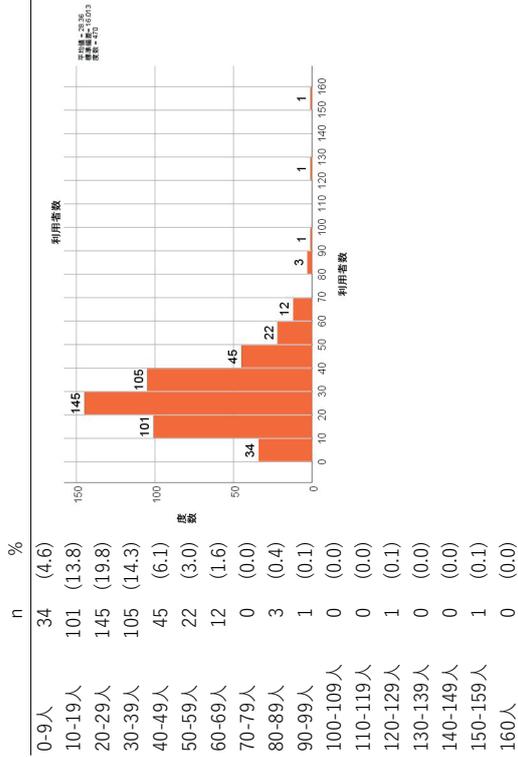
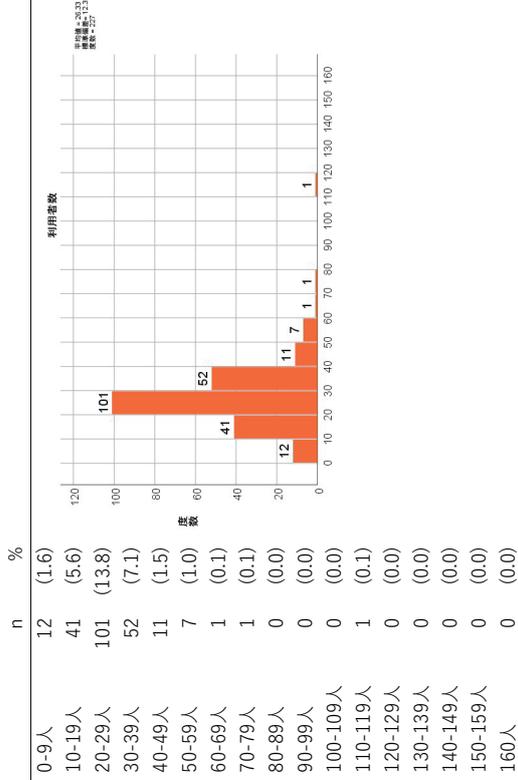


図 1-2-④ 利用者数の分布

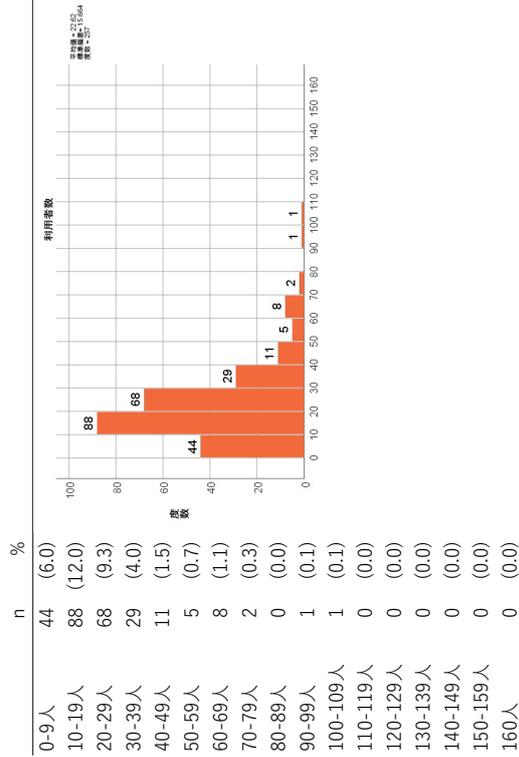
通所リハ・管理栄養士関わりあり (n=475)



通所介護・管理栄養士関わりあり (n=230)



通所リハ・管理栄養士関わりなし (n=257)



通所介護・管理栄養士関わりなし (n=442)

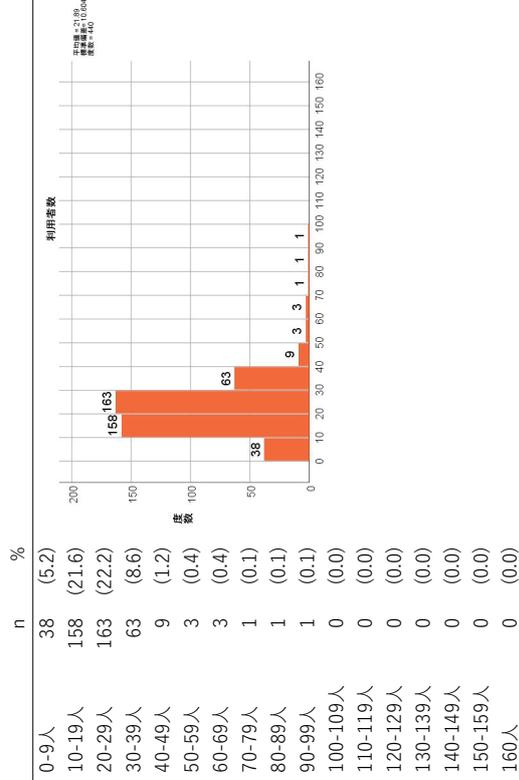
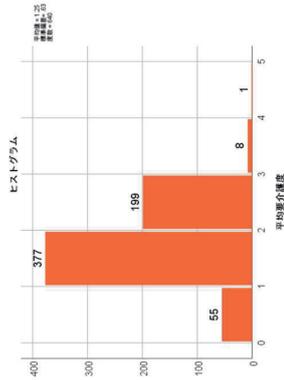


図 I-2-⑤ 利用者数の分布

通所リハ (n=740)

n %

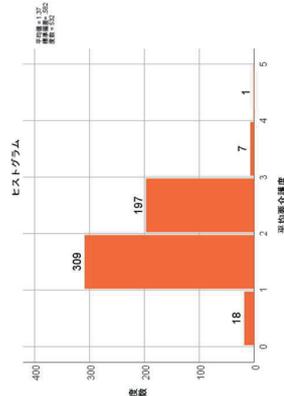
0-0.9	55	(8.6)
1-1.9	377	(58.9)
2-2.9	199	(31.1)
3-3.9	8	(1.3)
4-4.9	1	(0.2)



通所リハ・食事提供あり (n=612)

n %

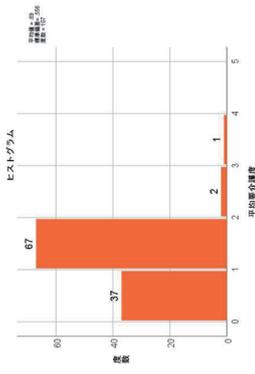
0-0.9	18	(3.4)
1-1.9	309	(58.1)
2-2.9	197	(37.0)
3-3.9	7	(1.3)
4-4.9	1	(0.2)



通所リハ・食事提供なし (n=123)

n %

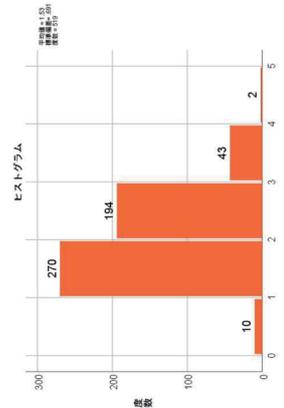
0-0.9	37	(34.6)
1-1.9	67	(62.6)
2-2.9	2	(1.9)
3-3.9	1	(0.9)
4-4.9	0	(0.0)



通所介護・食事提供あり (n=648)

n %

0-0.9	10	(1.9)
1-1.9	270	(52.0)
2-2.9	194	(37.4)
3-3.9	43	(8.3)
4-4.9	2	(0.4)



通所介護・食事提供なし (n=31)

n %

0-0.9	14	(66.7)
1-1.9	7	(33.3)
2-2.9	0	(0.0)
3-3.9	0	(0.0)
4-4.9	0	(0.0)

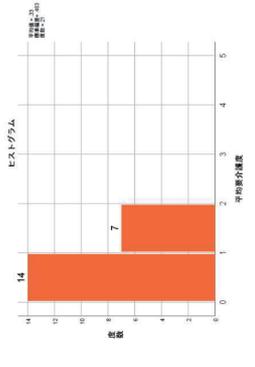


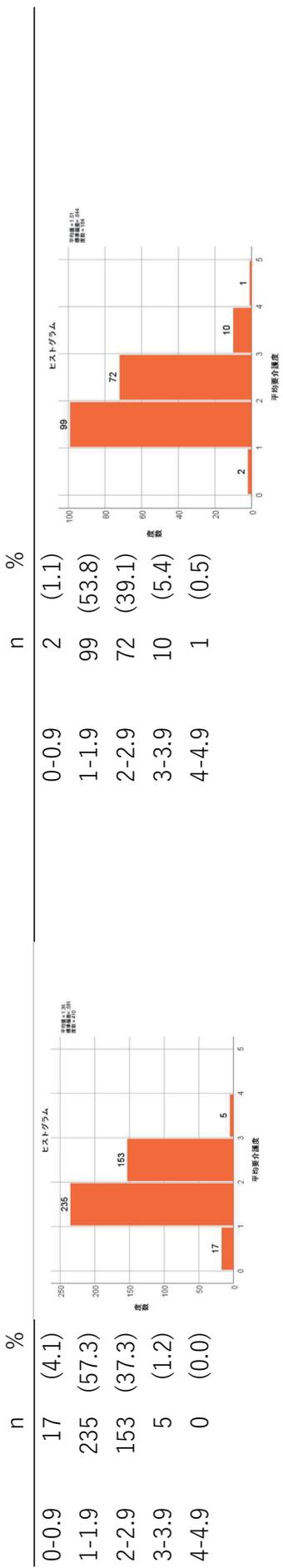
図1-3-① 平均要介護度別分布

通所リハ (n=740)

通所介護 (n=683)

通所リハ・管理栄養士関わりあり (n=475)

通所介護・管理栄養士関わりあり (n=230)



通所リハ・管理栄養士関わりなし (n=257)

通所介護・管理栄養士関わりなし (n=442)

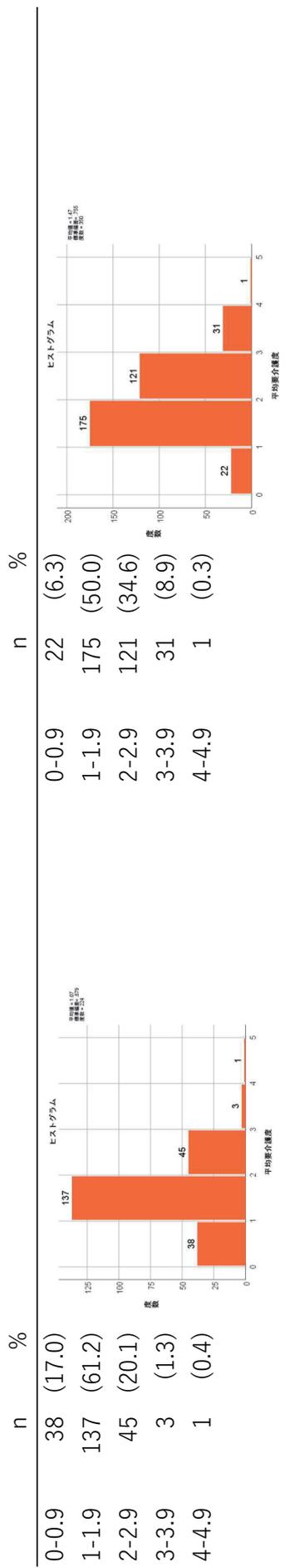
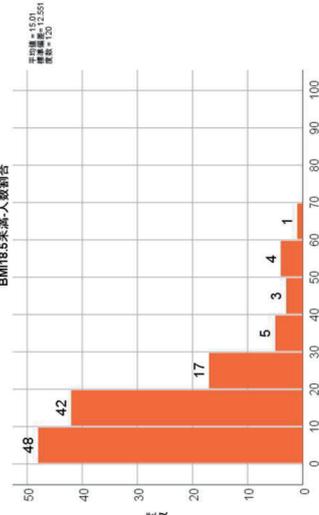
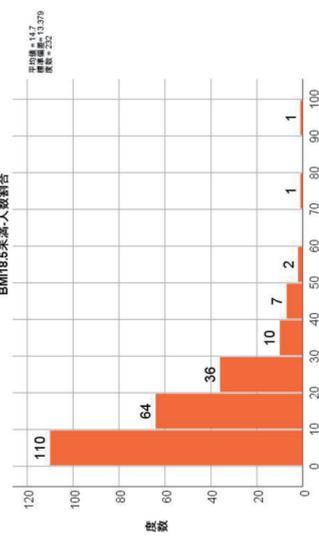


図1-3-② 平均要介護度別分布

通所介護 (n=683)

通所リハ (n=740)

	n	%
0-9%	48	(40.0)
10-19%	42	(35.0)
20-29%	17	(14.2)
30-39%	5	(4.2)
40-49%	3	(2.5)
50-59%	4	(3.3)
60-69%	1	(0.8)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所介護・平均要介護度1未満 (n=24)

通所リハ・平均要介護度1未満 (n=55)

	n	%
0-9%	0	(0.0)
10-19%	3	(75.0)
20-29%	1	(25.0)
30-39%	0	(0.0)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

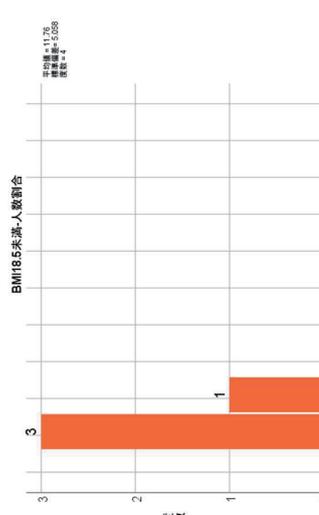
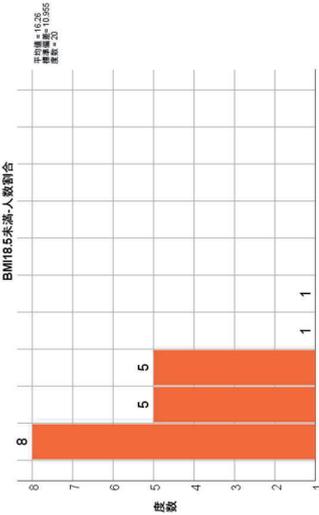
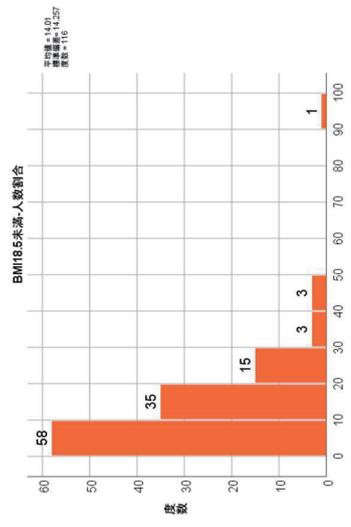


図 I-4-① BMI18.5kg/m²未満者の分布

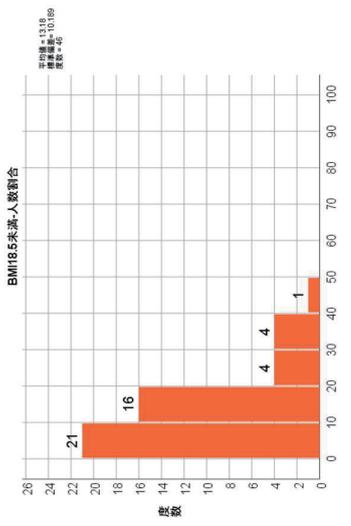
通所リハ・平均要介護度1以上2未満 (n=377)

	n	%
0-9%	58	(50.4)
10-19%	35	(30.4)
20-29%	15	(13.0)
30-39%	3	(2.6)
40-49%	3	(2.6)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	1	(0.9)
100%	0	(0.0)



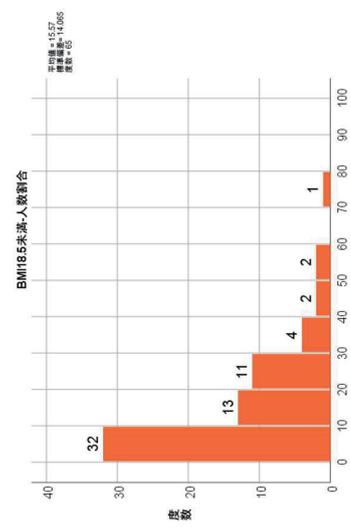
通所介護・平均要介護度1以上2未満 (n=278)

	n	%
0-9%	21	(45.7)
10-19%	16	(34.8)
20-29%	4	(8.7)
30-39%	4	(8.7)
40-49%	1	(2.2)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所リハ・平均要介護度2以上3未満 (n=199)

	n	%
0-9%	32	(49.2)
10-19%	13	(20.0)
20-29%	11	(16.9)
30-39%	4	(6.2)
40-49%	2	(3.1)
50-59%	2	(3.1)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	1	(1.5)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所介護・平均要介護度2以上3未満 (n=195)

	n	%
0-9%	16	(42.1)
10-19%	7	(18.4)
20-29%	11	(28.9)
30-39%	1	(2.6)
40-49%	1	(2.6)
50-59%	1	(2.6)
60-69%	1	(2.6)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

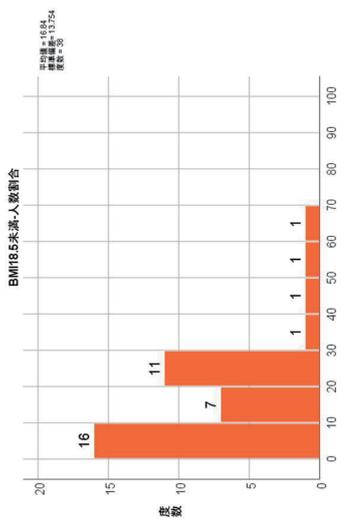
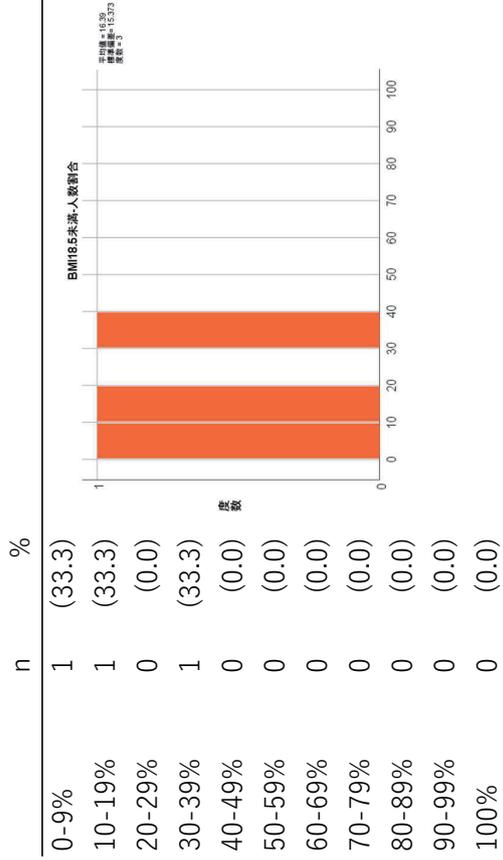
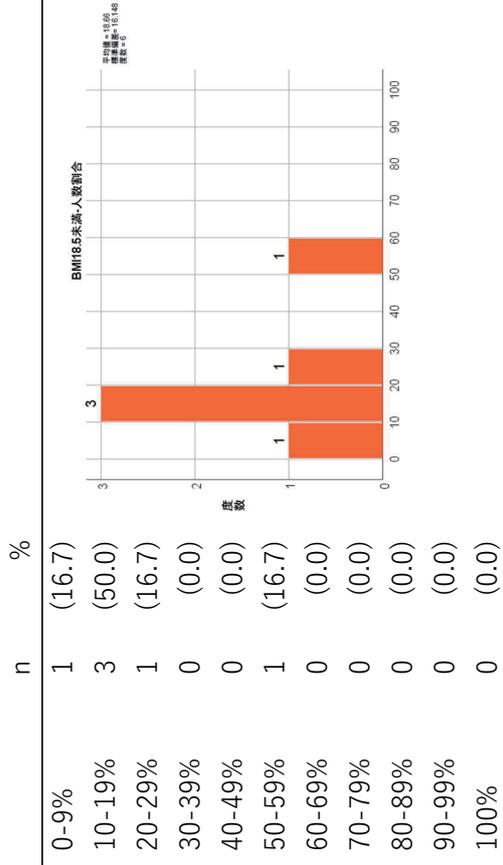


図 I -4-② BMI18.5kg/m²未満者の分布

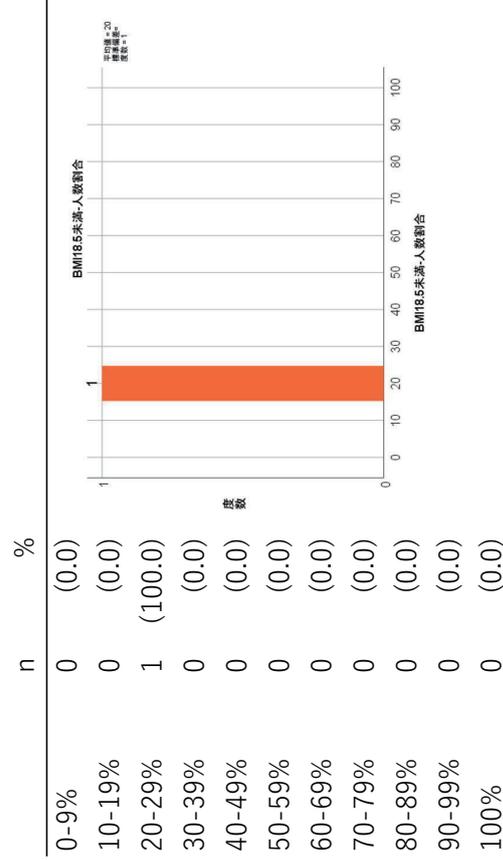
通所リハ・平均要介護度3以上4未満 (n=8)



通所介護・平均要介護度3以上4未満 (n=44)



通所リハ・平均要介護度4以上5未満 (n=1)



通所介護・平均要介護度4以上5未満 (n=2)

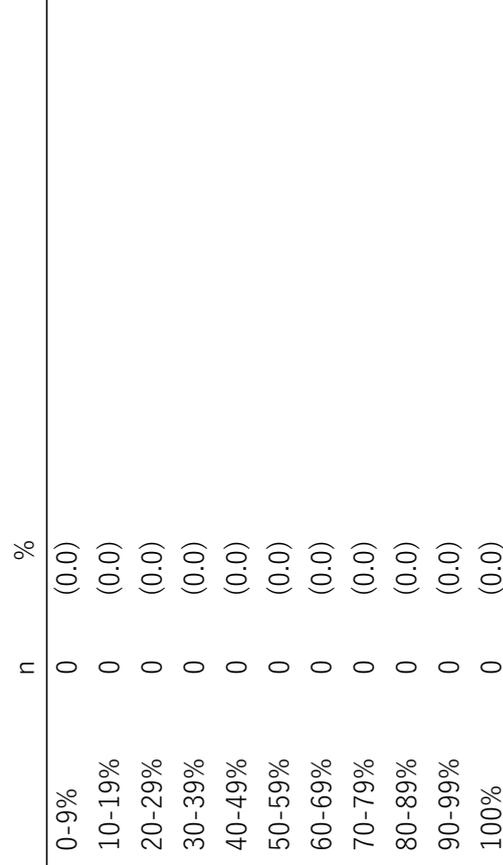
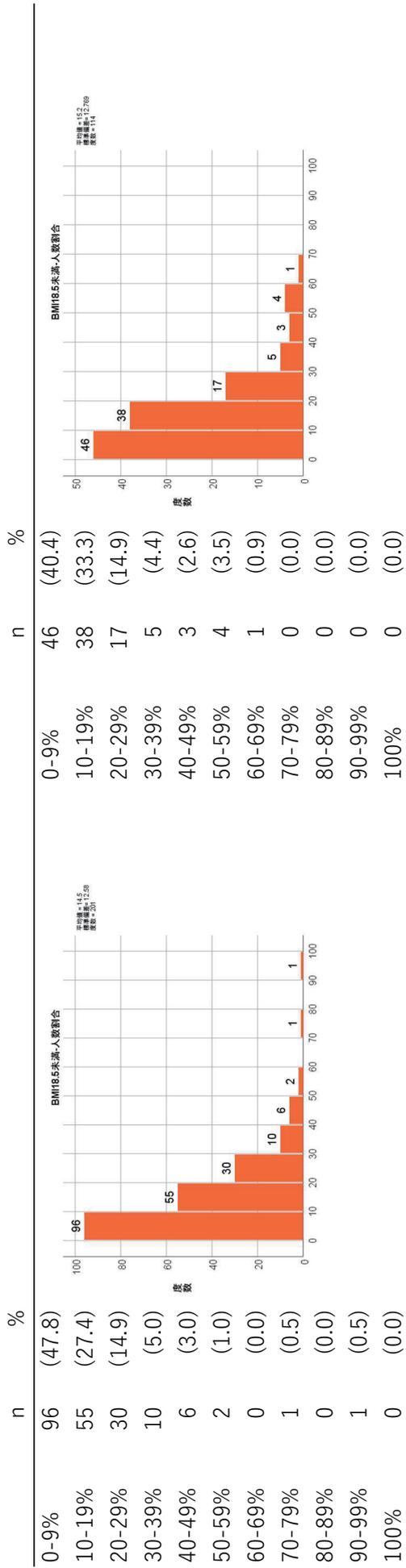
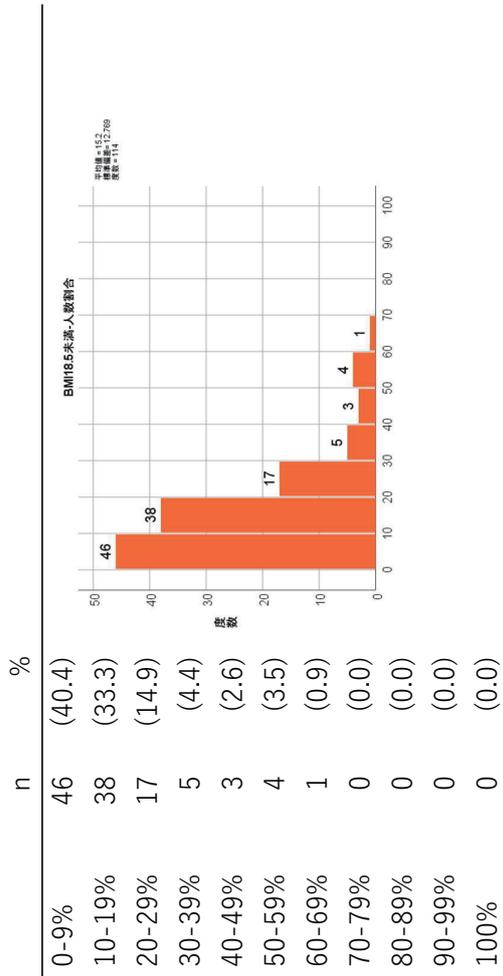


図 I-4-③ BMI18.5kg/m²未満者の分布

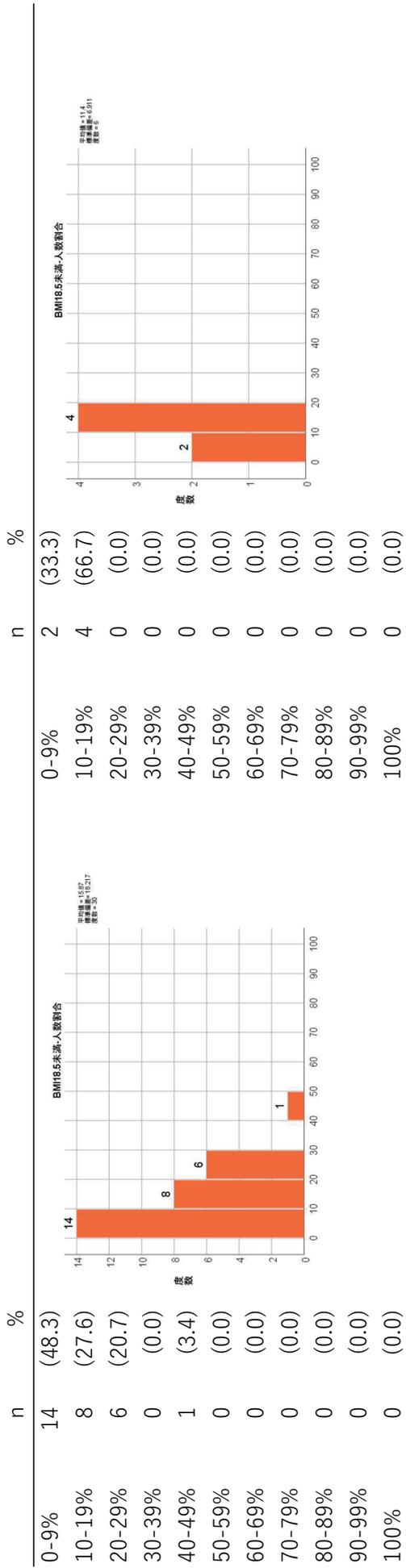
通所リハ・食事提供あり (n=612)



通所介護・食事提供あり (n=648)



通所リハ・食事提供なし (n=123)



通所介護・食事提供なし (n=31)

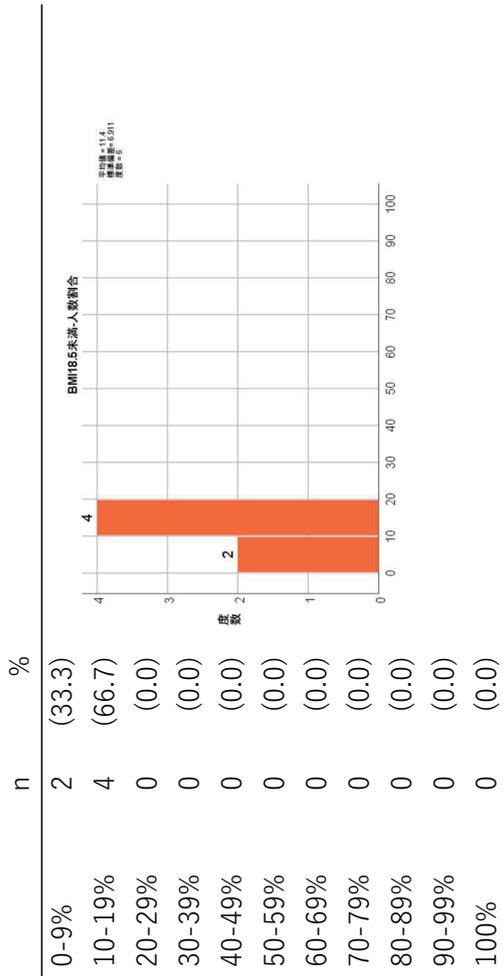
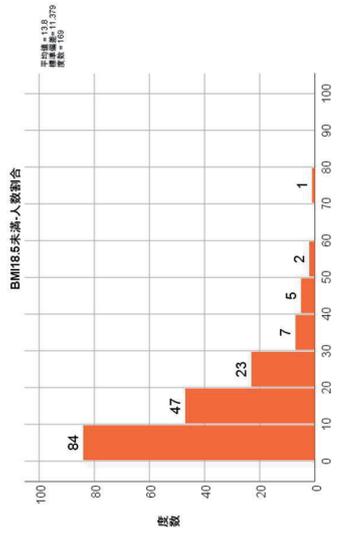


図 1-4-④ BMI18.5kg/m²未達者の分布

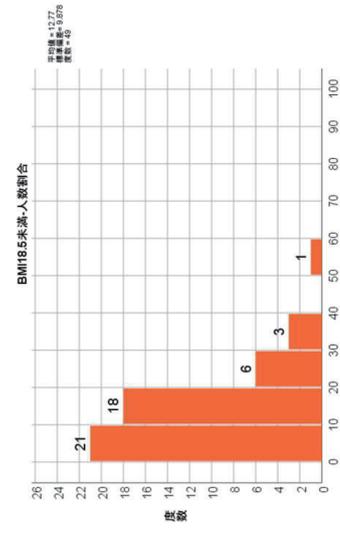
通所リハ・管理栄養士関わりあり (n=475)

	n	%
0-9%	84	(49.7)
10-19%	47	(27.8)
20-29%	23	(13.6)
30-39%	7	(4.1)
40-49%	5	(3.0)
50-59%	2	(1.2)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	1	(0.6)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



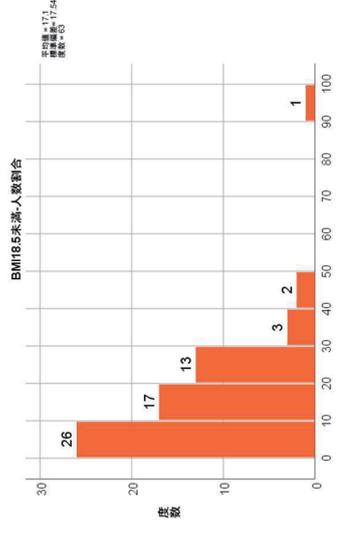
通所介護・管理栄養士関わりあり (n=230)

	n	%
0-9%	21	(42.9)
10-19%	18	(36.7)
20-29%	6	(12.2)
30-39%	3	(6.1)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	1	(2.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所リハ・管理栄養士関わりなし (n=257)

	n	%
0-9%	26	(41.9)
10-19%	17	(27.4)
20-29%	13	(21.0)
30-39%	3	(4.8)
40-49%	2	(3.2)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	1	(1.6)
100%	0	(0.0)



通所介護・管理栄養士関わりなし (n=442)

	n	%
0-9%	27	(39.1)
10-19%	23	(33.3)
20-29%	10	(14.5)
30-39%	2	(2.9)
40-49%	3	(4.3)
50-59%	3	(4.3)
60-69%	1	(1.4)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

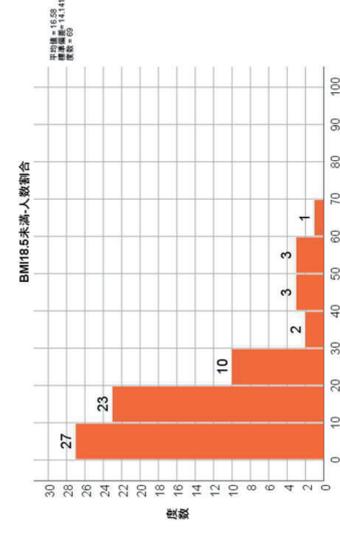
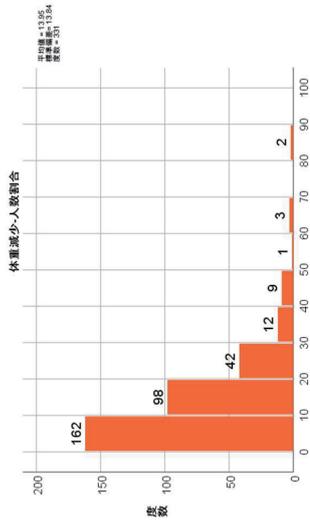


図 I-4-⑤ BMI18.5kg/m²未満者の分布

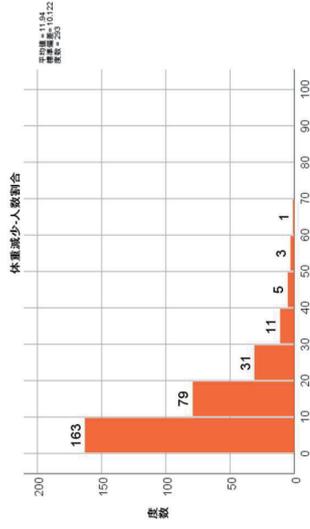
通所リハ (n=740)

	n	%
0-9%	162	(49.2)
10-19%	98	(29.8)
20-29%	42	(12.8)
30-39%	12	(3.6)
40-49%	9	(2.7)
50-59%	1	(0.3)
60-69%	3	(0.9)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	2	(0.6)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



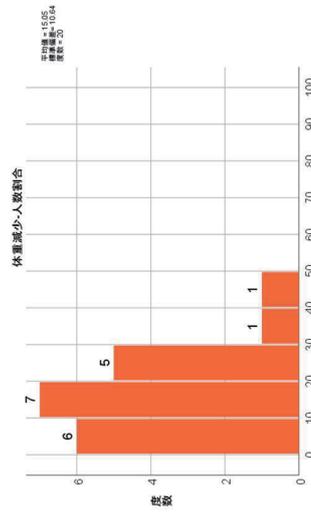
通所介護 (n=683)

	n	%
0-9%	163	(55.6)
10-19%	79	(27.0)
20-29%	31	(10.6)
30-39%	11	(3.8)
40-49%	5	(1.7)
50-59%	3	(1.0)
60-69%	1	(0.3)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所リハ・平均要介護度1未満 (n=55)

	n	%
0-9%	6	(30.0)
10-19%	7	(35.0)
20-29%	5	(25.0)
30-39%	1	(5.0)
40-49%	1	(5.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所介護・平均要介護度1未満 (n=24)

	n	%
0-9%	4	(50.0)
10-19%	3	(37.5)
20-29%	1	(12.5)
30-39%	0	(0.0)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

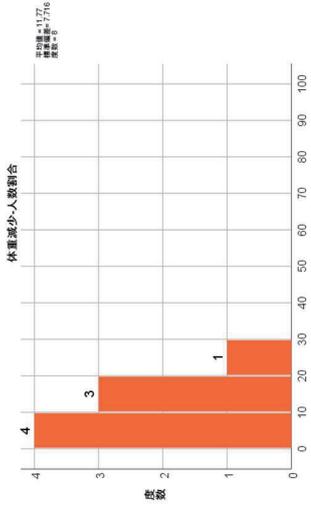
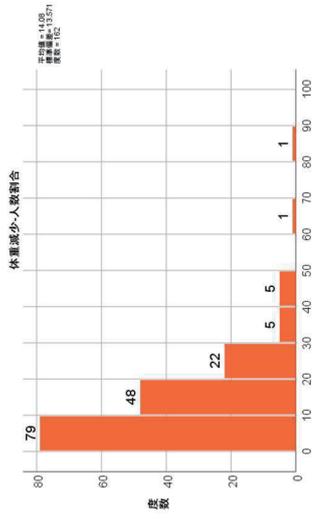


図 I -5-① 6か月間に2～3kgの体重減少ありの者の分布

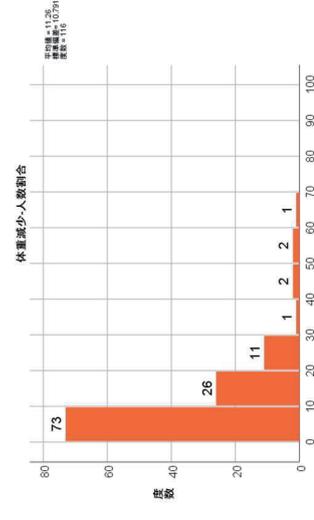
通所リハ・平均要介護度1以上2未満 (n=377)

	n	%
0-9%	79	(49.1)
10-19%	48	(29.8)
20-29%	22	(13.7)
30-39%	5	(3.1)
40-49%	5	(3.1)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	1	(0.6)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	1	(0.6)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



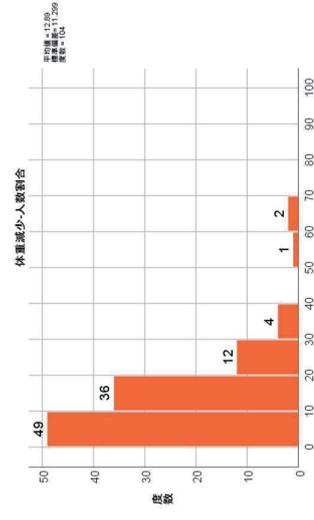
通所介護・平均要介護度1以上2未満 (n=278)

	n	%
0-9%	73	(26.9)
10-19%	26	(22.4)
20-29%	11	(9.5)
30-39%	1	(0.9)
40-49%	2	(1.7)
50-59%	2	(1.7)
60-69%	1	(0.9)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所リハ・平均要介護度2以上3未満 (n=199)

	n	%
0-9%	49	(47.1)
10-19%	36	(34.6)
20-29%	12	(11.5)
30-39%	4	(3.8)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	1	(1.0)
60-69%	2	(1.9)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所介護・平均要介護度2以上3未満 (n=195)

	n	%
0-9%	38	(43.2)
10-19%	29	(33.0)
20-29%	13	(14.8)
30-39%	7	(8.0)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	1	(1.1)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

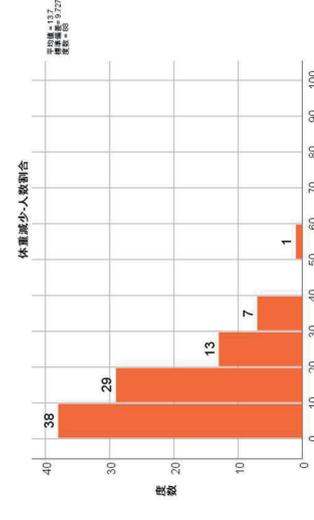
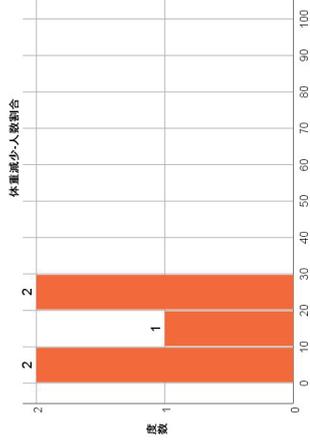


図1-5-② 6か月間に2～3kgの体重減少ありの者の分布

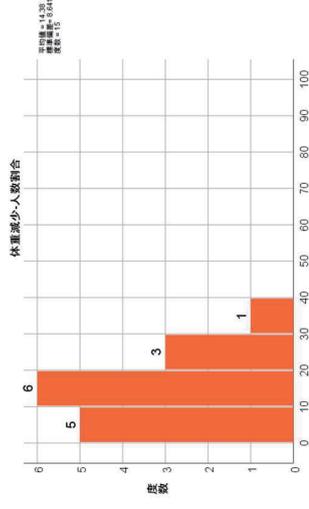
通所リハ・平均要介護度3以上4未満 (n=8)

	n	%
0-9%	2	(40.0)
10-19%	1	(20.0)
20-29%	2	(40.0)
30-39%	0	(0.0)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



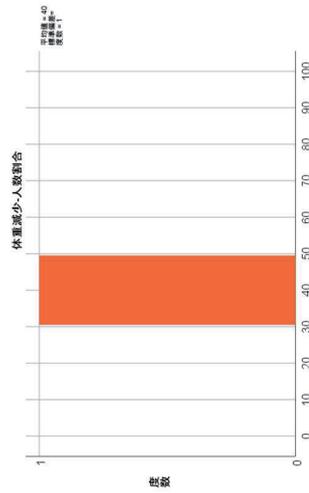
通所介護・平均要介護度3以上4未満 (n=44)

	n	%
0-9%	5	(33.3)
10-19%	6	(40.0)
20-29%	3	(20.0)
30-39%	1	(6.7)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所リハ・平均要介護度4以上5未満 (n=1)

	n	%
0-9%	0	(0.0)
10-19%	0	(0.0)
20-29%	0	(0.0)
30-39%	1	(50.0)
40-49%	1	(50.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所介護・平均要介護度4以上5未満 (n=2)

	n	%
0-9%	0	(0.0)
10-19%	0	(0.0)
20-29%	1	(100.0)
30-39%	0	(0.0)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

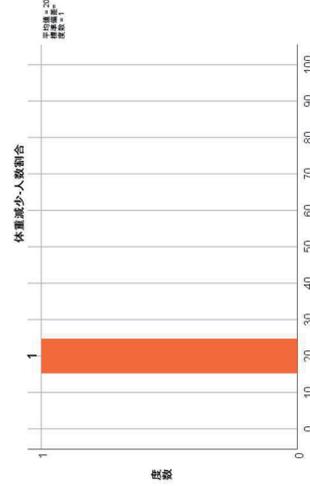
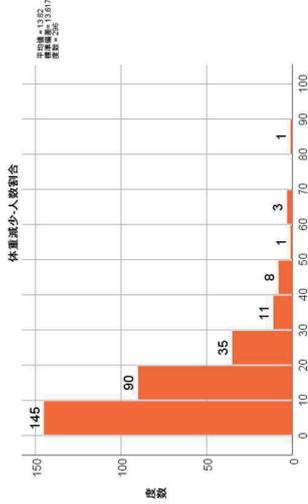


図1-5-③ 6か月間に2～3kgの体重減少ありの者の分布

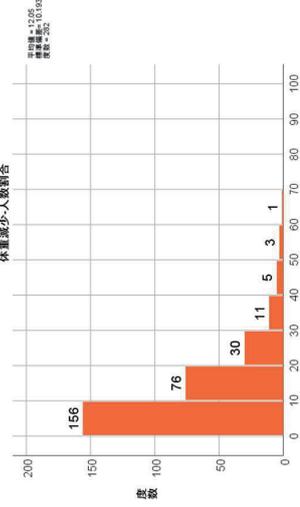
通所リハ・食事提供あり (n=612)

	n	%
0-9%	145	(49.3)
10-19%	90	(30.6)
20-29%	35	(11.9)
30-39%	11	(3.7)
40-49%	8	(2.7)
50-59%	1	(0.3)
60-69%	3	(1.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	1	(0.3)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



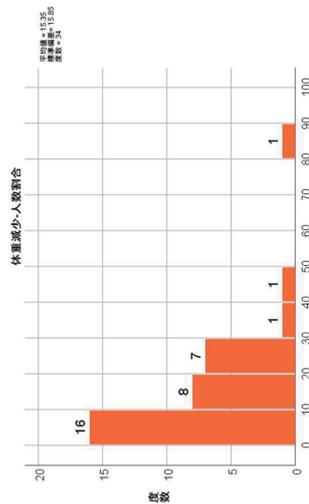
通所介護・食事提供あり (n=648)

	n	%
0-9%	156	(55.3)
10-19%	76	(27.0)
20-29%	30	(10.6)
30-39%	11	(3.9)
40-49%	5	(1.8)
50-59%	3	(1.1)
60-69%	1	(0.4)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所リハ・食事提供なし (n=123)

	n	%
0-9%	16	(47.1)
10-19%	8	(23.5)
20-29%	7	(20.6)
30-39%	1	(2.9)
40-49%	1	(2.9)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	1	(2.9)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所介護・食事提供なし (n=31)

	n	%
0-9%	7	(63.6)
10-19%	3	(27.3)
20-29%	1	(9.1)
30-39%	0	(0.0)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

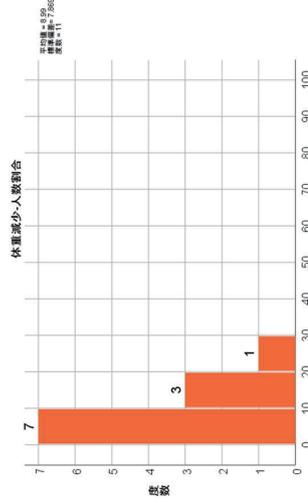
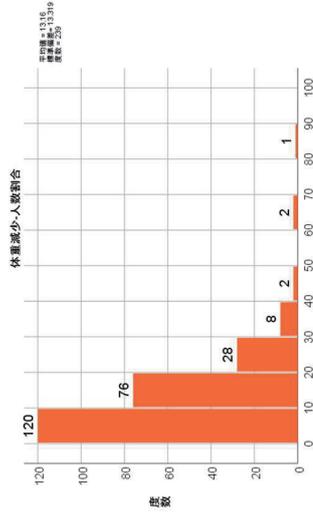


図1-5-4 6か月間に2～3kgの体重減少ありの者の分布

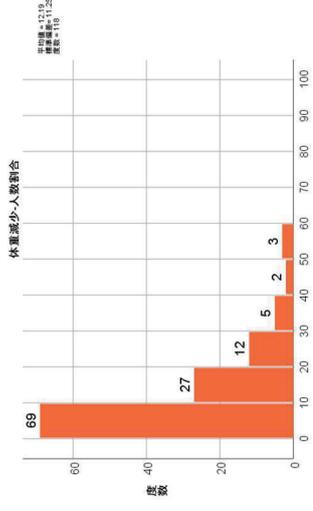
通所リハ・管理栄養士関わりあり (n=612)

	n	%
0-9%	120	(50.6)
10-19%	76	(32.1)
20-29%	28	(11.8)
30-39%	8	(3.4)
40-49%	2	(0.8)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	2	(0.8)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	1	(0.4)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



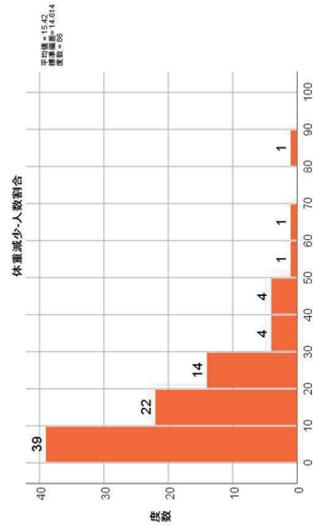
通所介護・管理栄養士関わりあり (n=648)

	n	%
0-9%	69	(58.5)
10-19%	27	(22.9)
20-29%	12	(10.2)
30-39%	5	(4.2)
40-49%	2	(1.7)
50-59%	3	(2.5)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所リハ・管理栄養士関わりなし (n=257)

	n	%
0-9%	39	(45.3)
10-19%	22	(25.6)
20-29%	14	(16.3)
30-39%	4	(4.7)
40-49%	4	(4.7)
50-59%	1	(1.2)
60-69%	1	(1.2)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	1	(1.2)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所介護・管理栄養士関わりなし (n=442)

	n	%
0-9%	94	(54.7)
10-19%	51	(29.7)
20-29%	19	(11.0)
30-39%	5	(2.9)
40-49%	2	(1.2)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	1	(0.6)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

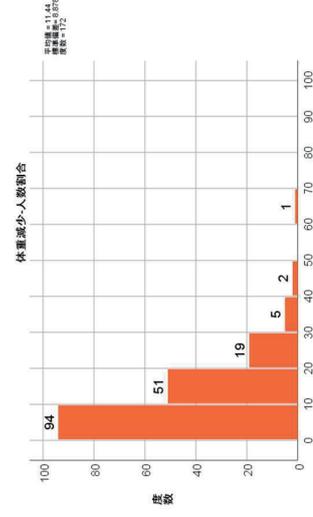
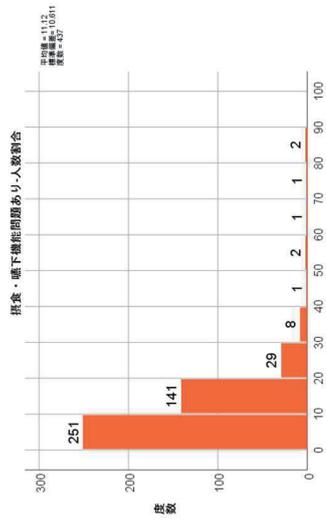


図1-5-5 6か月間に2~3kgの体重減少ありの者の分布

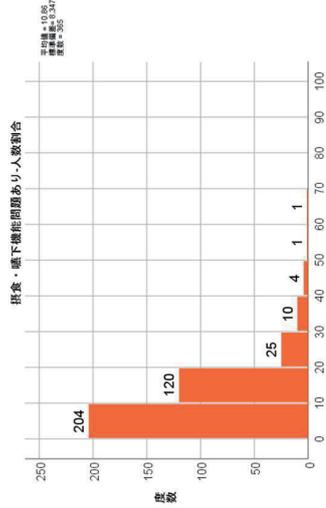
通所リハ (n=740)

	n	%
0-9%	251	(57.6)
10-19%	141	(32.3)
20-29%	29	(6.7)
30-39%	8	(1.8)
40-49%	1	(0.2)
50-59%	2	(0.5)
60-69%	1	(0.2)
70-79%	1	(0.2)
80-89%	2	(0.5)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



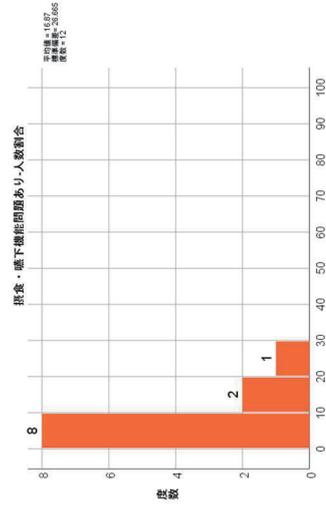
通所介護 (n=683)

	n	%
0-9%	204	(55.9)
10-19%	120	(32.9)
20-29%	25	(6.8)
30-39%	10	(2.7)
40-49%	4	(1.1)
50-59%	1	(0.3)
60-69%	1	(0.3)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所リハ・平均要介護度1未満 (n=55)

	n	%
0-9%	8	(72.7)
10-19%	2	(18.2)
20-29%	1	(9.1)
30-39%	0	(0.0)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所介護・平均要介護度1未満 (n=24)

	n	%
0-9%	0	(0.0)
10-19%	5	(83.3)
20-29%	1	(16.7)
30-39%	0	(0.0)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

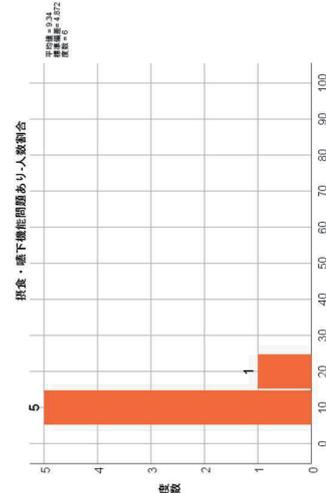
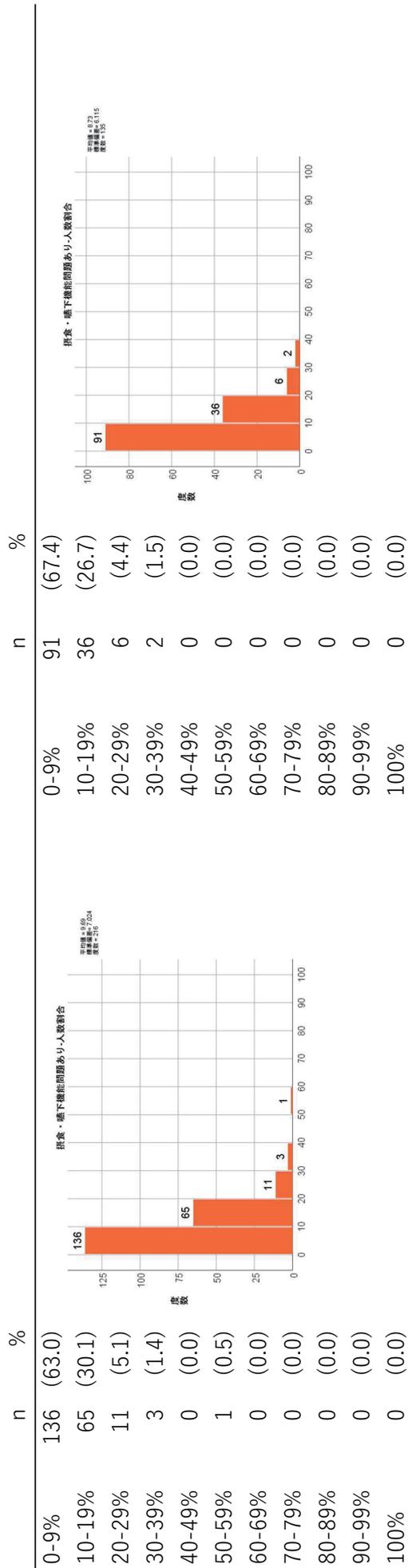
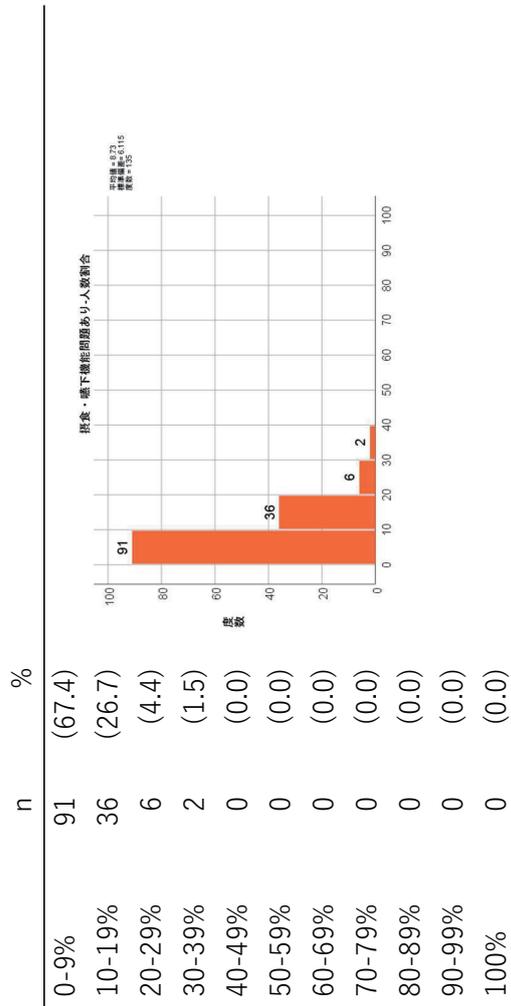


図1-6-① 摂食嚥下に問題がある者の分布

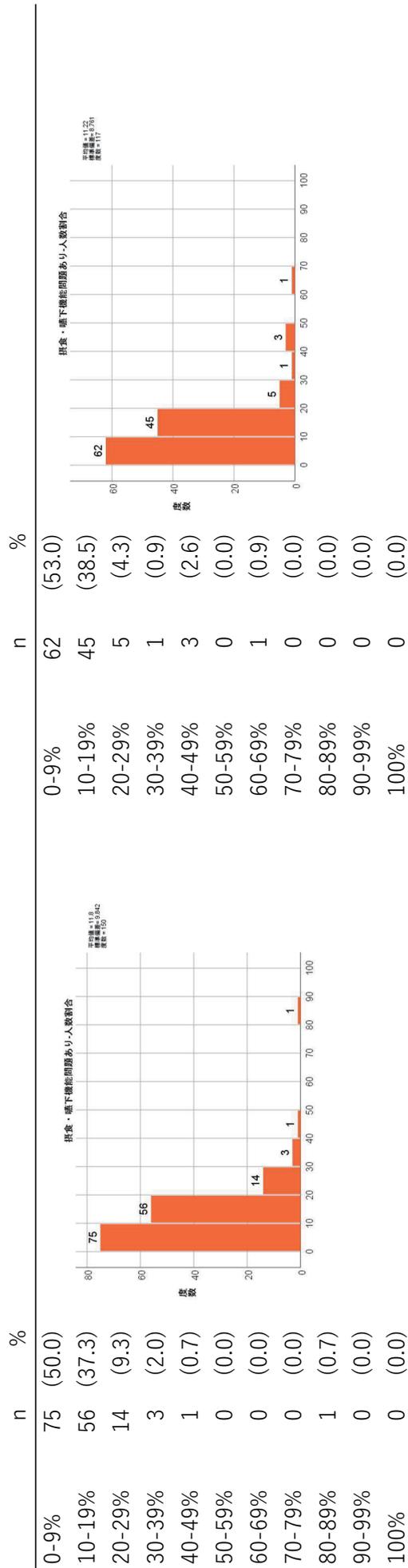
通所リハ・平均要介護度1以上2未満 (n=377)



通所介護・平均要介護度1以上2未満 (n=278)



通所リハ・平均要介護度2以上3未満 (n=199)



通所介護・平均要介護度2以上3未満 (n=195)

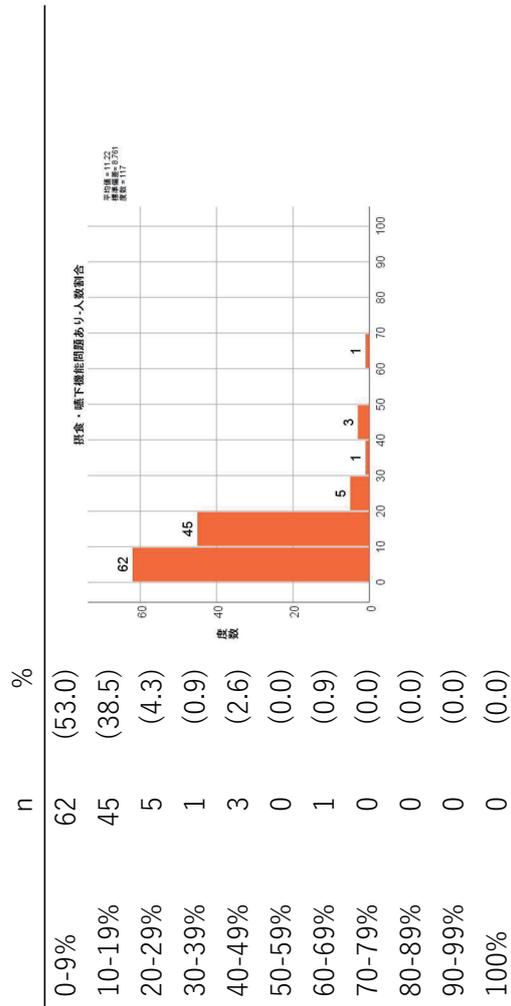
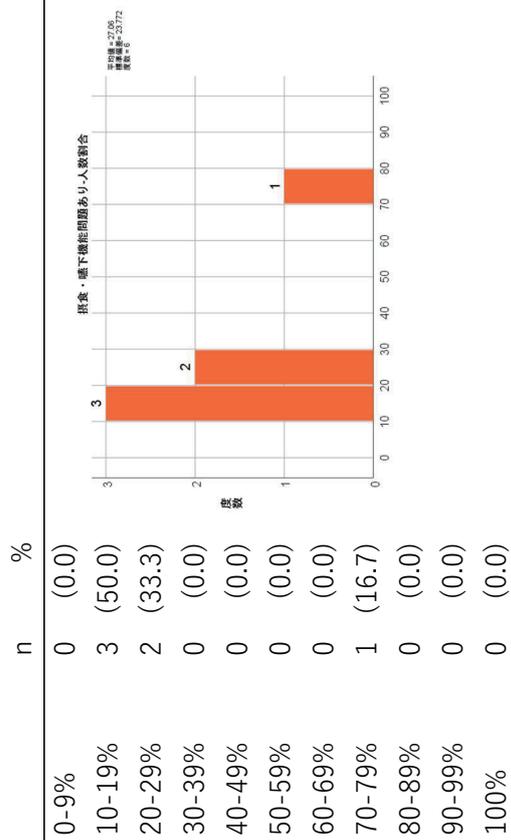
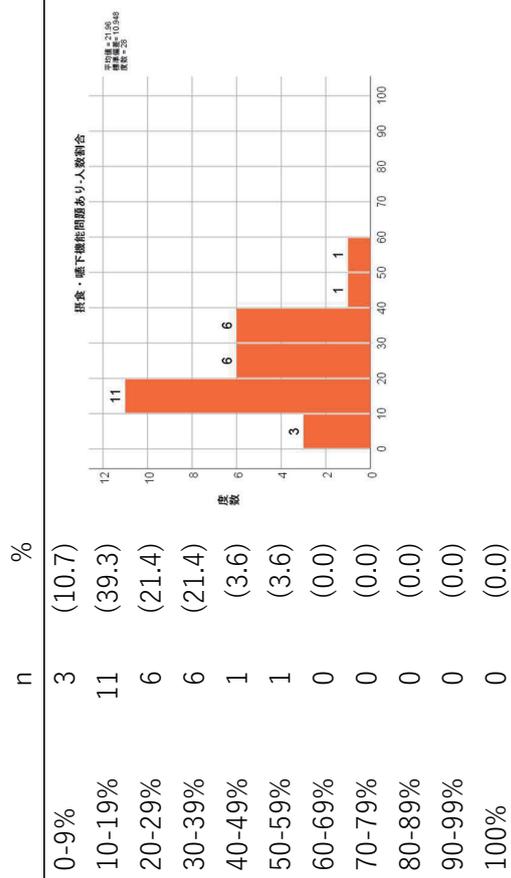


図1-6-② 摂食嚥下に問題がある者の分布

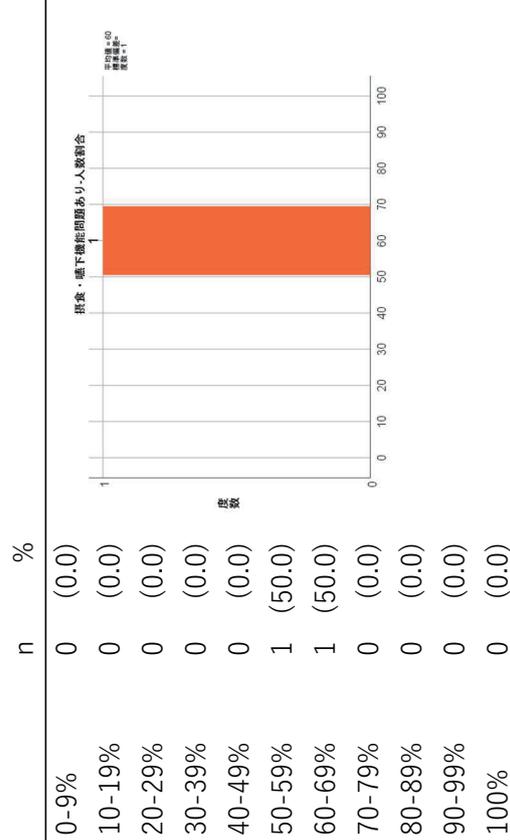
通所リハ・平均要介護度3以上4未満 (n=8)



通所介護・平均要介護度3以上4未満 (n=44)



通所リハ・平均要介護度4以上5未満 (n=1)



通所介護・平均要介護度4以上5未満 (n=2)

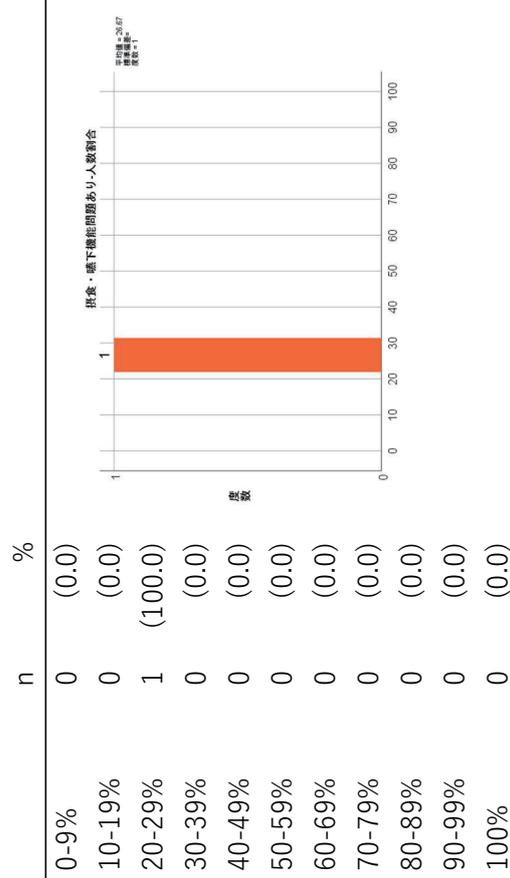
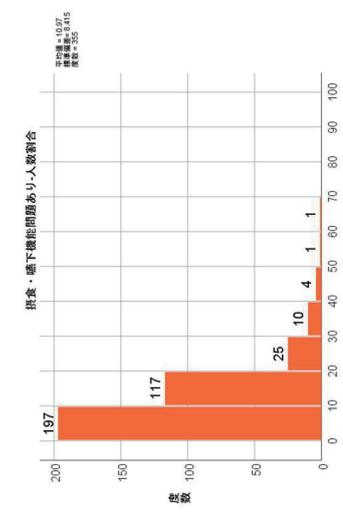
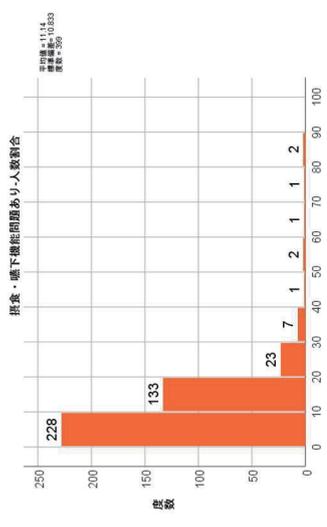


図1-6-3 摂食嚥下に問題がある者の分布

通所リハ・食事提供あり (n=612)

	n	%
0-9%	228	(57.3)
10-19%	133	(33.4)
20-29%	23	(5.8)
30-39%	7	(1.8)
40-49%	1	(0.3)
50-59%	2	(0.5)
60-69%	1	(0.3)
70-79%	1	(0.3)
80-89%	2	(0.5)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

	n	%
0-9%	197	(55.5)
10-19%	117	(33.0)
20-29%	25	(7.0)
30-39%	10	(2.8)
40-49%	4	(1.1)
50-59%	1	(0.3)
60-69%	1	(0.3)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所リハ・食事提供なし (n=123)

	n	%
0-9%	21	(60.0)
10-19%	8	(22.9)
20-29%	5	(14.3)
30-39%	1	(2.9)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

	n	%
0-9%	8	(80.0)
10-19%	2	(20.0)
20-29%	0	(0.0)
30-39%	0	(0.0)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

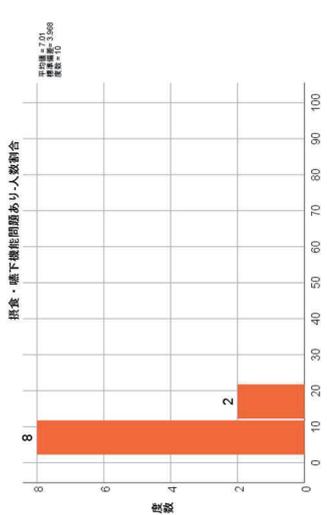
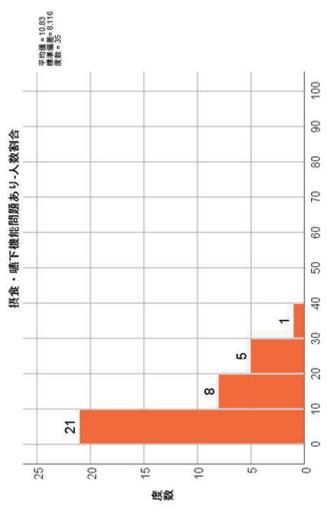
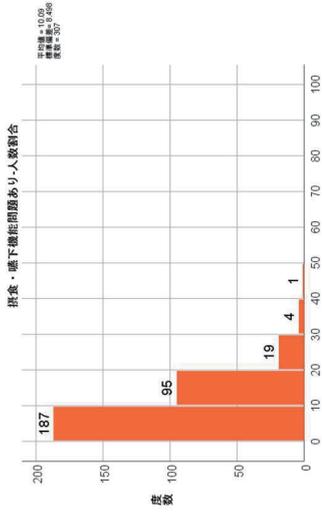


図 1-6-④ 摂食嚥下に問題がある者の分布

通所リハ・管理栄養士関わりあり (n=612)

n %

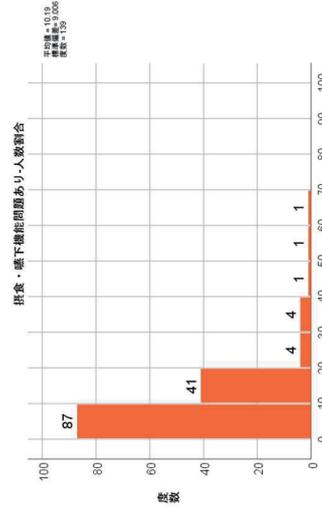
0-9%	187	(61.1)
10-19%	95	(31.0)
20-29%	19	(6.2)
30-39%	4	(1.3)
40-49%	1	(0.3)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所介護・管理栄養士関わりあり (n=648)

n %

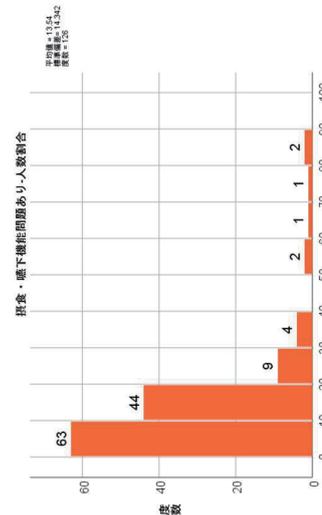
0-9%	87	(62.6)
10-19%	41	(29.5)
20-29%	4	(2.9)
30-39%	4	(2.9)
40-49%	1	(0.7)
50-59%	1	(0.7)
60-69%	1	(0.7)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所リハ・管理栄養士関わりなし (n=257)

n %

0-9%	63	(50.0)
10-19%	44	(34.9)
20-29%	9	(7.1)
30-39%	4	(3.2)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	2	(1.6)
60-69%	1	(0.8)
70-79%	1	(0.8)
80-89%	2	(1.6)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所介護・管理栄養士関わりなし (n=442)

n %

0-9%	113	(51.4)
10-19%	78	(35.5)
20-29%	21	(9.5)
30-39%	5	(2.3)
40-49%	3	(1.4)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

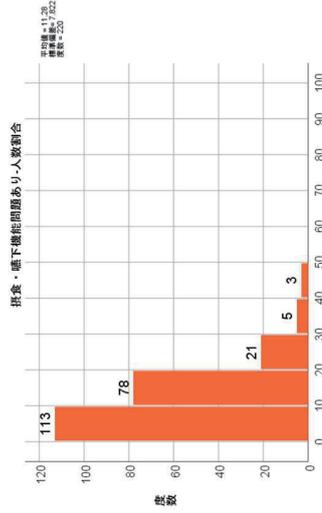
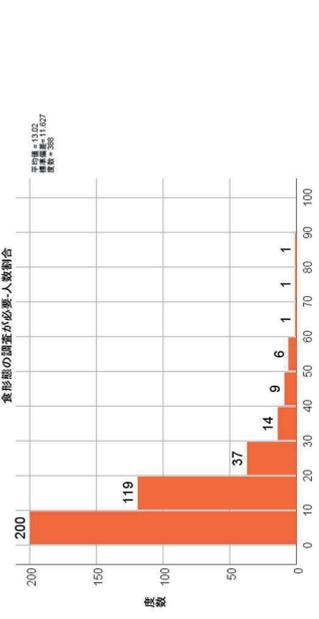
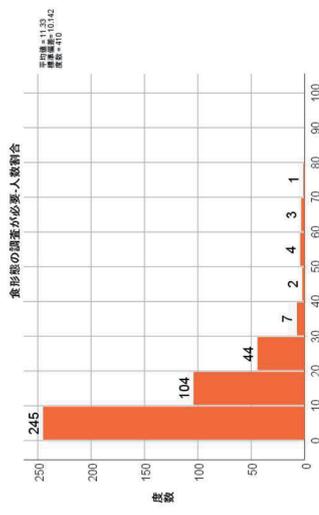


図 1-6-5 摂食嚥下に問題がある者の分布

通所リハ (n=740)

通所介護 (n=683)

	n	%	n	%
0-9%	245	(59.8)	200	(51.5)
10-19%	104	(25.4)	119	(30.7)
20-29%	44	(10.7)	37	(9.5)
30-39%	7	(1.7)	14	(3.6)
40-49%	2	(0.5)	9	(2.3)
50-59%	4	(1.0)	6	(1.5)
60-69%	3	(0.7)	1	(0.3)
70-79%	1	(0.2)	1	(0.3)
80-89%	0	(0.0)	1	(0.3)
90-99%	0	(0.0)	0	(0.0)
100%	0	(0.0)	0	(0.0)



通所リハ・平均要介護度1未満 (n=55)

通所介護・平均要介護度1未満 (n=24)

	n	%	n	%
0-9%	5	(55.6)	0	(0.0)
10-19%	4	(44.4)	2	(100.0)
20-29%	0	(0.0)	0	(0.0)
30-39%	0	(0.0)	0	(0.0)
40-49%	0	(0.0)	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)	0	(0.0)
100%	0	(0.0)	0	(0.0)

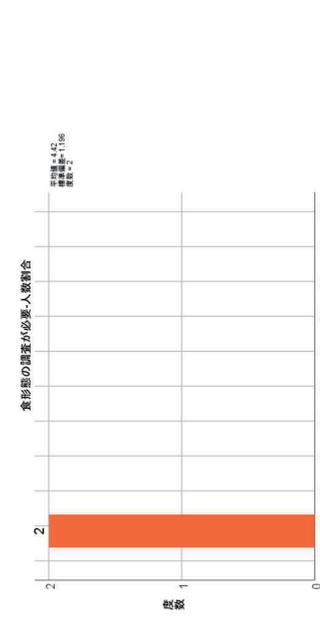
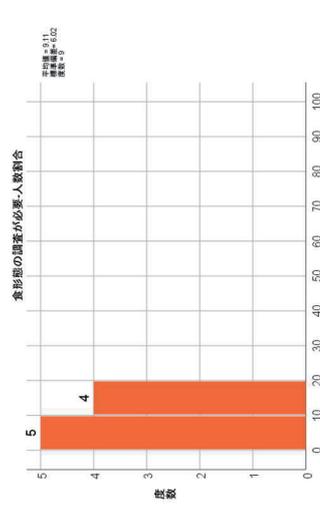
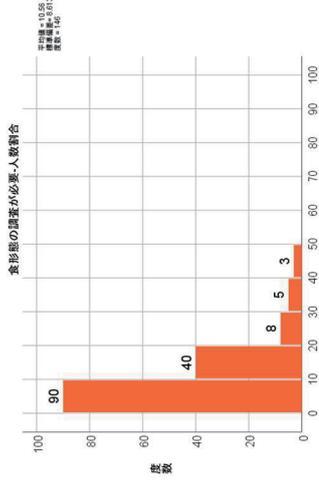
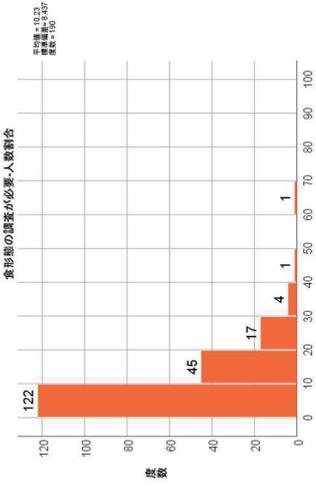


図 1-7-① 食形態調整している者の分布

通所リハ・平均要介護度1以上2未満 (n=377)

	n	%
0-9%	122	(64.2)
10-19%	45	(23.7)
20-29%	17	(8.9)
30-39%	4	(2.1)
40-49%	1	(0.5)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	1	(0.5)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

食形態の調査が必要人数割合	n	%
0-9%	90	(61.6)
10-19%	40	(27.4)
20-29%	8	(5.5)
30-39%	5	(3.4)
40-49%	3	(2.1)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

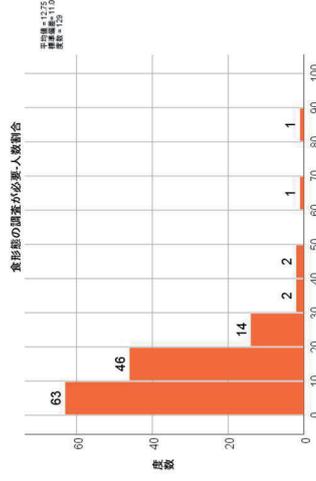
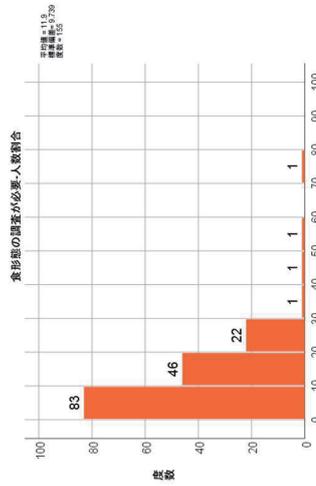


通所介護・平均要介護度1以上2未満 (n=278)

通所リハ・平均要介護度2以上3未満 (n=199)

	n	%
0-9%	83	(53.5)
10-19%	46	(29.7)
20-29%	22	(14.2)
30-39%	1	(0.6)
40-49%	1	(0.6)
50-59%	1	(0.6)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	1	(0.6)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

食形態の調査が必要人数割合	n	%
0-9%	63	(48.8)
10-19%	46	(35.7)
20-29%	14	(10.9)
30-39%	2	(1.6)
40-49%	2	(1.6)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	1	(0.8)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	1	(0.8)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

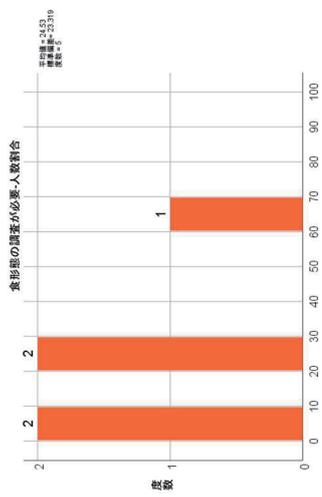


通所介護・平均要介護度2以上3未満 (n=195)

図 1-7-② 食形態調整している者の分布

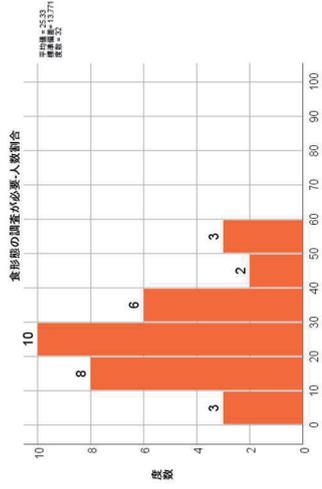
通所リハ・平均要介護度3以上4未満 (n=8)

年齢	n	%
0-9%	2	(40.0)
10-19%	0	(0.0)
20-29%	2	(40.0)
30-39%	0	(0.0)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	1	(20.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



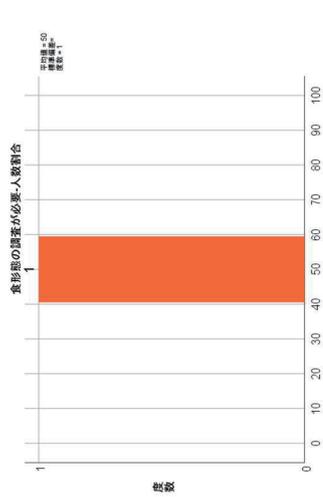
通所介護・平均要介護度3以上4未満 (n=44)

年齢	n	%
0-9%	3	(9.4)
10-19%	8	(25.0)
20-29%	10	(31.3)
30-39%	6	(18.8)
40-49%	2	(6.3)
50-59%	3	(9.4)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所リハ・平均要介護度4以上5未満 (n=1)

年齢	n	%
0-9%	0	(0.0)
10-19%	0	(0.0)
20-29%	0	(0.0)
30-39%	0	(0.0)
40-49%	1	(50.0)
50-59%	1	(50.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所介護・平均要介護度4以上5未満 (n=2)

年齢	n	%
0-9%	0	(0.0)
10-19%	0	(0.0)
20-29%	0	(0.0)
30-39%	0	(0.0)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	1	(100.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

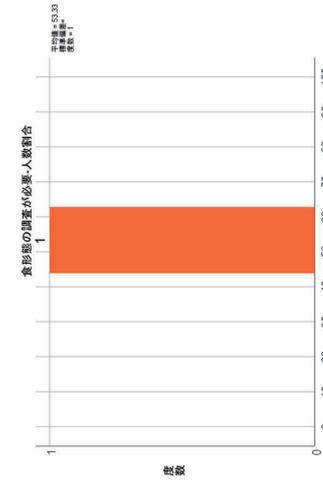
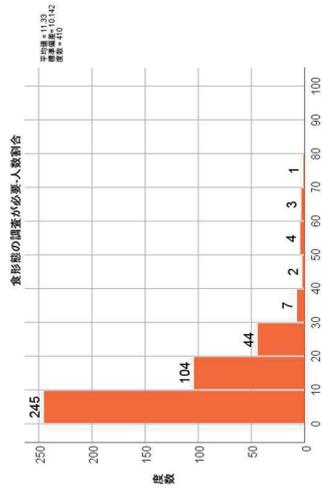


図 1-7-③ 食形態調整している者の分布

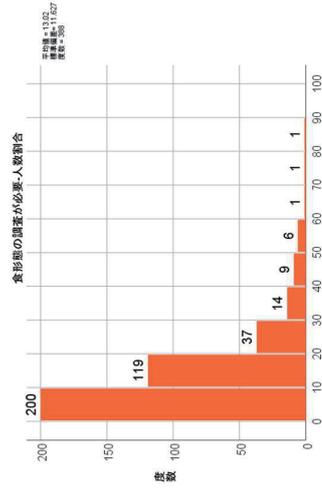
通所リハ・食事提供あり (n=612)

	n	%
0-9%	245	(66.2)
10-19%	104	(28.1)
20-29%	4	(1.1)
30-39%	7	(1.9)
40-49%	2	(0.5)
50-59%	4	(1.1)
60-69%	3	(0.8)
70-79%	1	(0.3)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所介護・食事提供あり (n=648)

	n	%
0-9%	200	(51.5)
10-19%	119	(30.7)
20-29%	37	(9.5)
30-39%	14	(3.6)
40-49%	9	(2.3)
50-59%	6	(1.5)
60-69%	1	(0.3)
70-79%	1	(0.3)
80-89%	1	(0.3)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所リハ・食事提供なし (n=123)

	n	%
0-9%	0	(0.0)
10-19%	0	(0.0)
20-29%	0	(0.0)
30-39%	0	(0.0)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

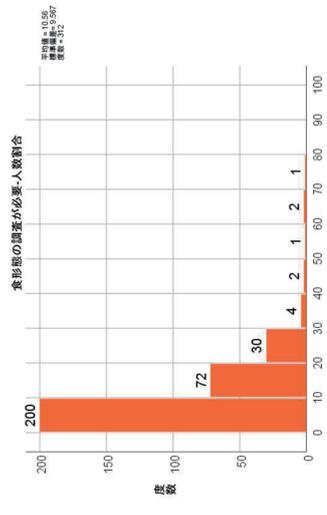
通所介護・食事提供なし (n=31)

	n	%
0-9%	0	(0.0)
10-19%	0	(0.0)
20-29%	0	(0.0)
30-39%	0	(0.0)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

図 1-7-④ 食形態調整している者の分布

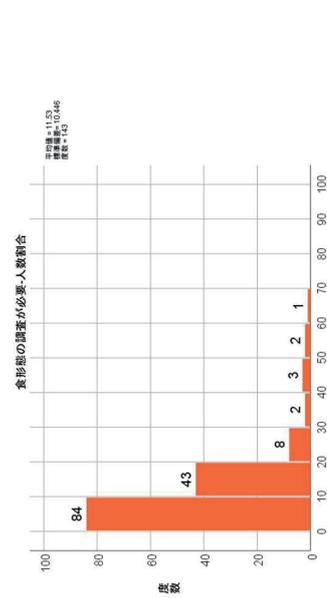
通所リハ・管理栄養士関わりあり (n=612)

年齢	n	%
0-9%	200	(64.1)
10-19%	72	(23.1)
20-29%	30	(9.6)
30-39%	4	(1.3)
40-49%	2	(0.6)
50-59%	1	(0.3)
60-69%	2	(0.6)
70-79%	1	(0.3)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



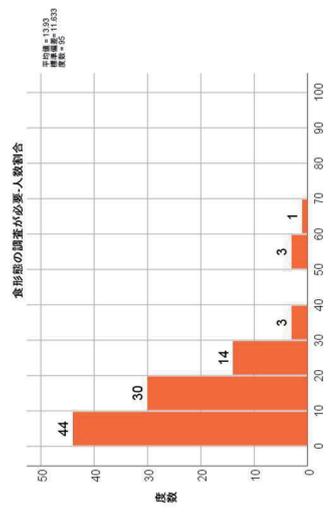
通所介護・管理栄養士関わりあり (n=648)

年齢	n	%
0-9%	84	(58.7)
10-19%	43	(30.1)
20-29%	8	(5.6)
30-39%	2	(1.4)
40-49%	3	(2.1)
50-59%	2	(1.4)
60-69%	1	(0.7)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所リハ・管理栄養士関わりなし (n=257)

年齢	n	%
0-9%	44	(46.3)
10-19%	30	(31.6)
20-29%	14	(14.7)
30-39%	3	(3.2)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	3	(3.2)
60-69%	1	(1.1)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所介護・管理栄養士関わりなし (n=442)

年齢	n	%
0-9%	115	(47.7)
10-19%	74	(30.7)
20-29%	29	(12.0)
30-39%	12	(5.0)
40-49%	6	(2.5)
50-59%	3	(1.2)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	1	(0.4)
80-89%	1	(0.4)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

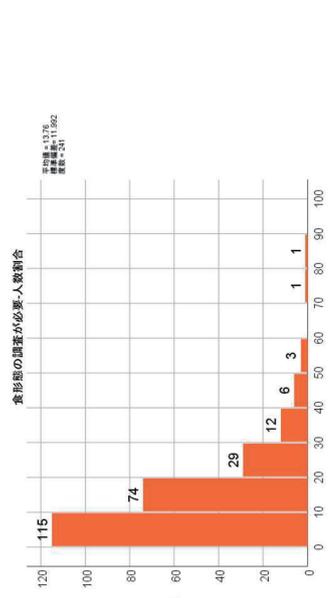
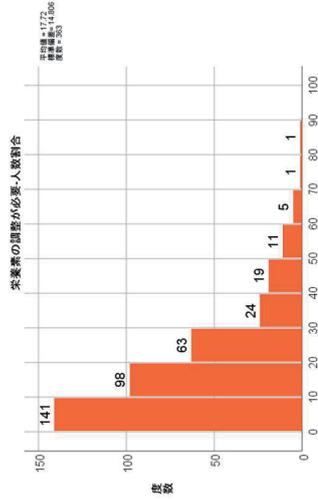
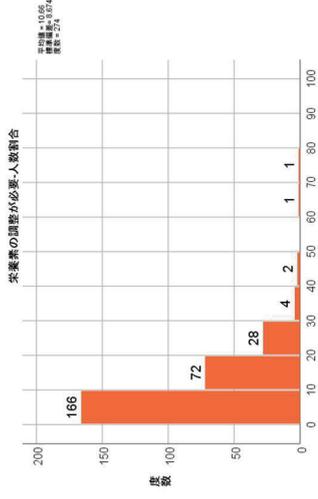


図 1-7-⑤ 食形態調整している者の分布

通所介護 (n=683)

通所リハ (n=740)

	n	%	n	%
0-9%	166	(60.6)	141	(38.8)
10-19%	72	(26.3)	98	(27.0)
20-29%	28	(10.2)	63	(17.4)
30-39%	4	(1.5)	24	(6.6)
40-49%	2	(0.7)	19	(5.2)
50-59%	0	(0.0)	11	(3.0)
60-69%	1	(0.4)	5	(1.4)
70-79%	1	(0.4)	1	(0.3)
80-89%	0	(0.0)	1	(0.3)
90-99%	0	(0.0)	0	(0.0)
100%	0	(0.0)	0	(0.0)



通所介護・平均要介護度1未満 (n=24)

通所リハ・平均要介護度1未満 (n=55)

	n	%	n	%
0-9%	0	(0.0)	2	(33.3)
10-19%	4	(100.0)	2	(33.3)
20-29%	0	(0.0)	0	(0.0)
30-39%	0	(0.0)	1	(16.7)
40-49%	0	(0.0)	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)	1	(16.7)
90-99%	0	(0.0)	0	(0.0)
100%	0	(0.0)	0	(0.0)

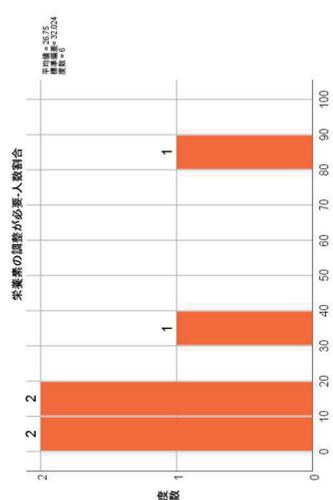
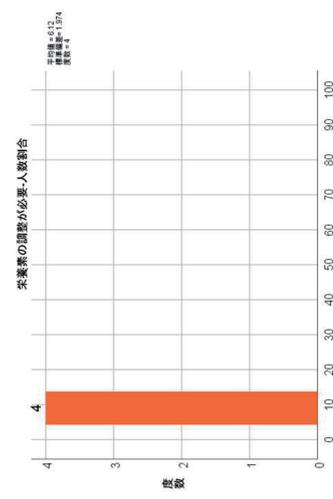
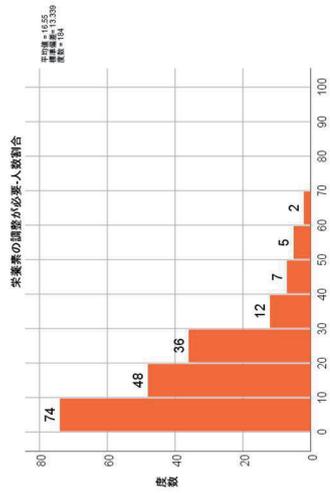


図 1-8-① 栄養素の調整が必要な者の分布

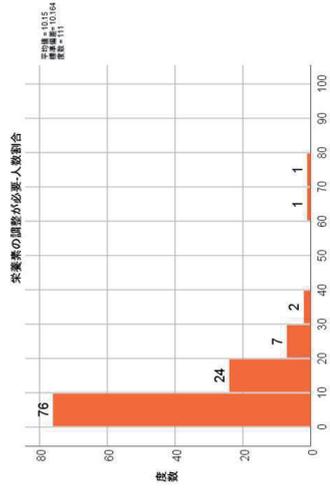
通所リハ・平均要介護度1以上2未満 (n=377)

	n	%
0-9%	74	(40.2)
10-19%	48	(26.1)
20-29%	36	(19.6)
30-39%	12	(6.5)
40-49%	7	(3.8)
50-59%	5	(2.7)
60-69%	2	(1.1)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



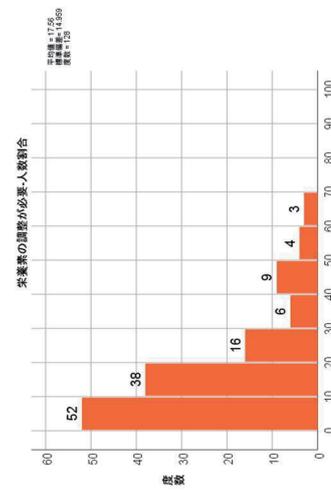
通所介護・平均要介護度1以上2未満 (n=278)

	n	%
0-9%	76	(68.5)
10-19%	24	(21.6)
20-29%	7	(6.3)
30-39%	2	(1.8)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	1	(0.9)
70-79%	1	(0.9)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所リハ・平均要介護度2以上3未満 (n=199)

	n	%
0-9%	52	(40.6)
10-19%	38	(29.7)
20-29%	16	(12.5)
30-39%	6	(4.7)
40-49%	9	(7.0)
50-59%	4	(3.1)
60-69%	3	(2.3)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所介護・平均要介護度2以上3未満 (n=195)

	n	%
0-9%	51	(65.4)
10-19%	19	(24.4)
20-29%	8	(10.3)
30-39%	0	(0.0)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

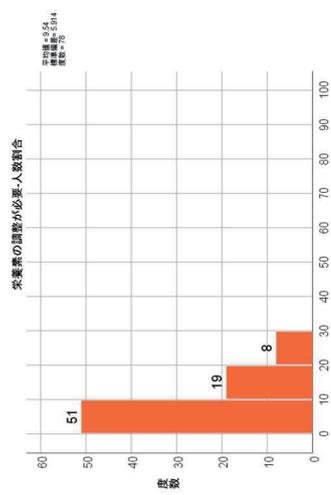
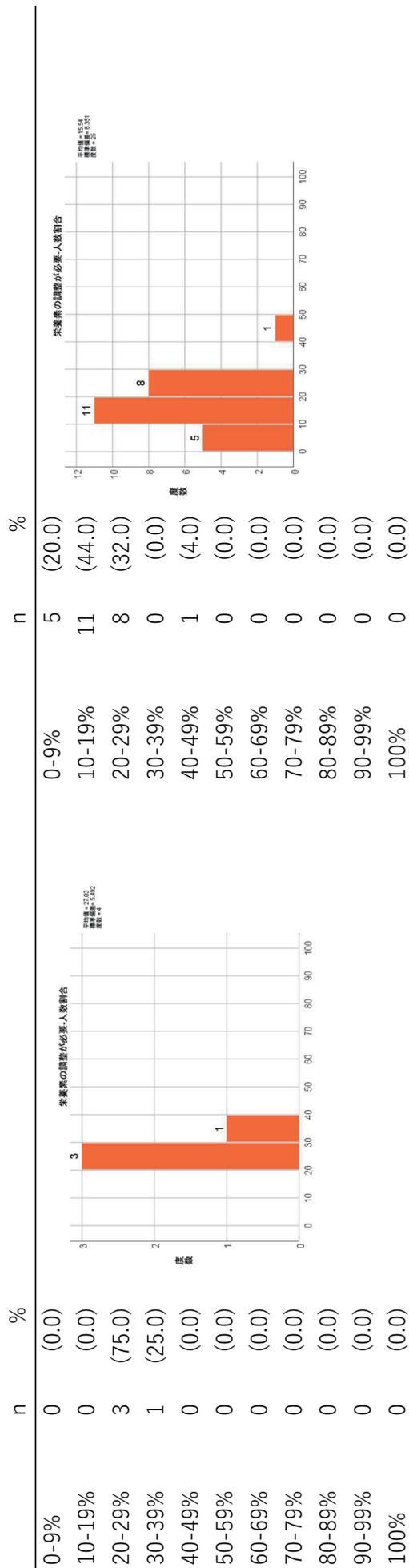
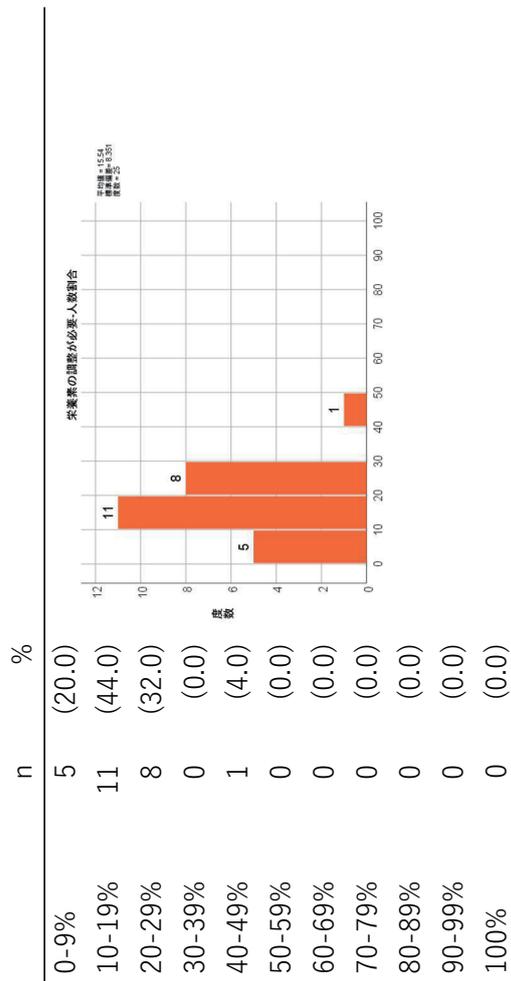


図 1-8-② 栄養素の調整が必要な者の分布

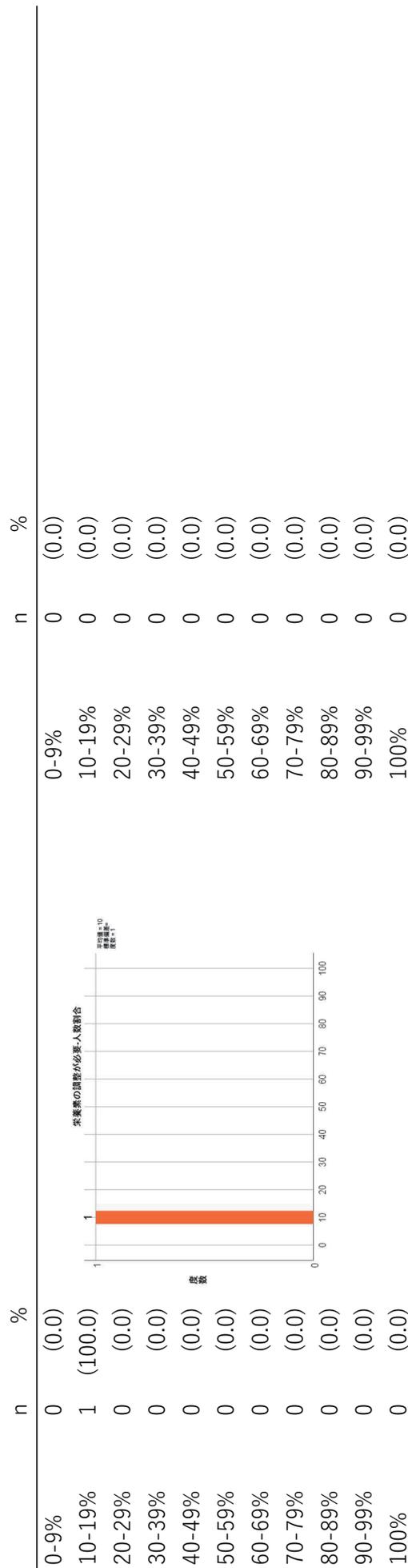
通所リハ・平均要介護度3以上4未満 (n=8)



通所介護・平均要介護度3以上4未満 (n=44)



通所リハ・平均要介護度4以上5未満 (n=1)



通所介護・平均要介護度4以上5未満 (n=2)

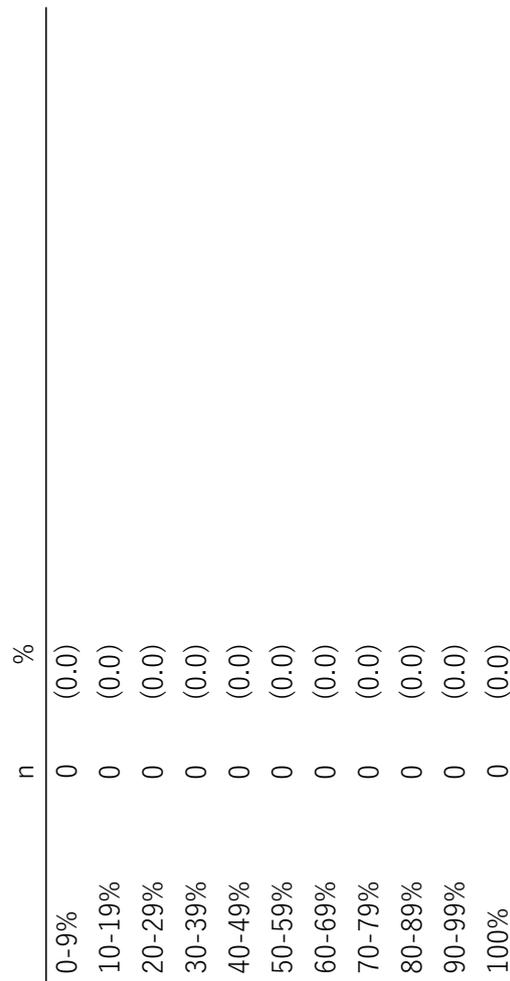
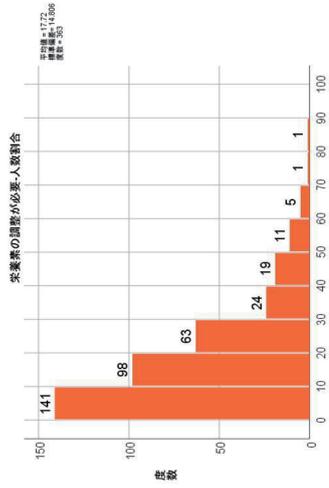


図 1-8-③ 栄養素の調整が必要な者の分布

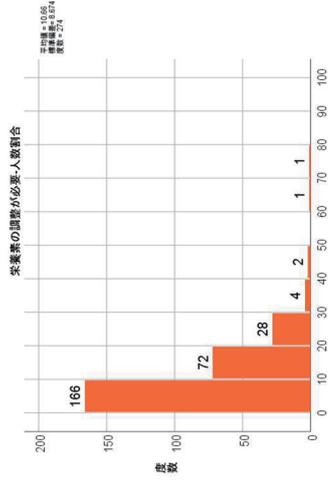
通所リハ・食事提供あり (n=612)

	n	%
0-9%	141	(38.8)
10-19%	98	(27.0)
20-29%	63	(17.4)
30-39%	24	(6.6)
40-49%	19	(5.2)
50-59%	11	(3.0)
60-69%	5	(1.4)
70-79%	1	(0.3)
80-89%	1	(0.3)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所介護・食事提供あり (n=648)

	n	%
0-9%	166	(60.6)
10-19%	72	(26.3)
20-29%	28	(10.2)
30-39%	4	(1.5)
40-49%	2	(0.7)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	1	(0.4)
70-79%	1	(0.4)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所リハ・食事提供なし (n=123)

	n	%
0-9%	0	(0.0)
10-19%	0	(0.0)
20-29%	0	(0.0)
30-39%	0	(0.0)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

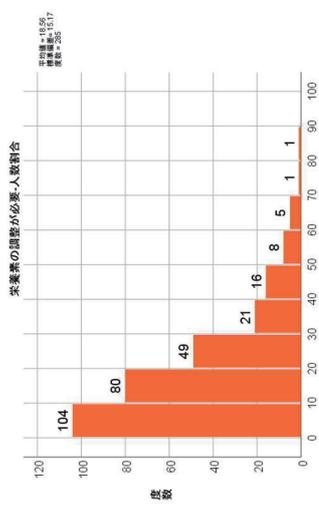
通所介護・食事提供なし (n=31)

	n	%
0-9%	0	(0.0)
10-19%	0	(0.0)
20-29%	0	(0.0)
30-39%	0	(0.0)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

図 1-8-④ 栄養素の調整が必要な者の分布

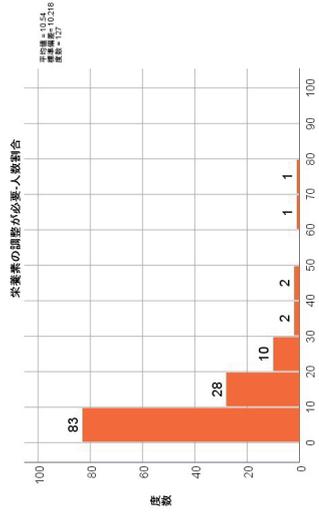
通所リハ・管理栄養士関わりあり (n=612)

	n	%
0-9%	104	(36.5)
10-19%	80	(28.1)
20-29%	49	(17.2)
30-39%	21	(7.4)
40-49%	16	(5.6)
50-59%	8	(2.8)
60-69%	5	(1.8)
70-79%	1	(0.4)
80-89%	1	(0.4)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



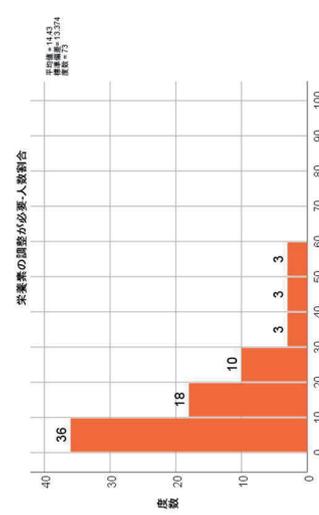
通所介護・管理栄養士関わりあり (n=648)

	n	%
0-9%	83	(65.4)
10-19%	28	(22.0)
20-29%	10	(7.9)
30-39%	2	(1.6)
40-49%	2	(1.6)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	1	(0.8)
70-79%	1	(0.8)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所リハ・管理栄養士関わりなし (n=257)

	n	%
0-9%	36	(49.3)
10-19%	18	(24.7)
20-29%	10	(13.7)
30-39%	3	(4.1)
40-49%	3	(4.1)
50-59%	3	(4.1)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所介護・管理栄養士関わりなし (n=442)

	n	%
0-9%	81	(57.4)
10-19%	40	(28.4)
20-29%	18	(12.8)
30-39%	2	(1.4)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

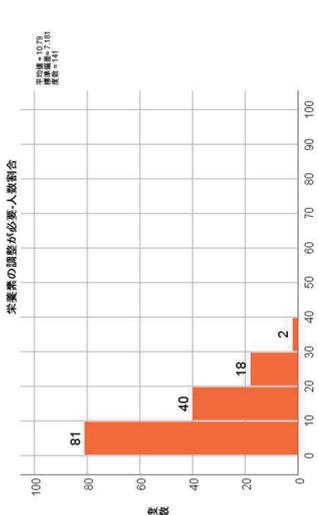
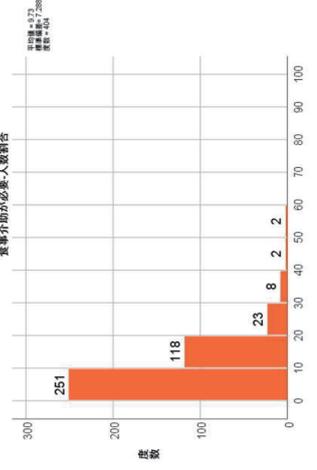
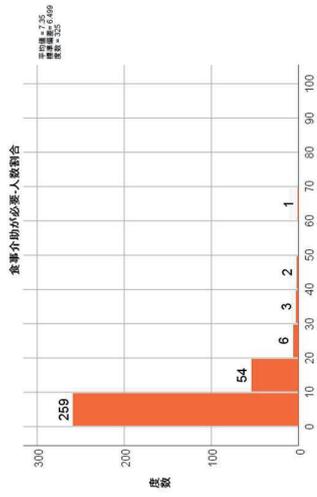


図 1-8-⑤ 栄養素の調整が必要な者の分布

通所介護 (n=683)

通所リハ (n=740)

	n	%	n	%
0-9%	259	(79.7)	251	(62.1)
10-19%	54	(16.6)	118	(29.2)
20-29%	6	(1.8)	23	(5.7)
30-39%	3	(0.9)	8	(2.0)
40-49%	2	(0.6)	2	(0.5)
50-59%	0	(0.0)	2	(0.5)
60-69%	1	(0.3)	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)	0	(0.0)
100%	0	(0.0)	0	(0.0)



通所リハ・平均要介護度1未満 (n=55)

通所介護・平均要介護度1未満 (n=24)

	n	%	n	%
0-9%	2	(100.0)	1	(100.0)
10-19%	0	(0.0)	0	(0.0)
20-29%	0	(0.0)	0	(0.0)
30-39%	0	(0.0)	0	(0.0)
40-49%	0	(0.0)	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)	0	(0.0)
100%	0	(0.0)	0	(0.0)

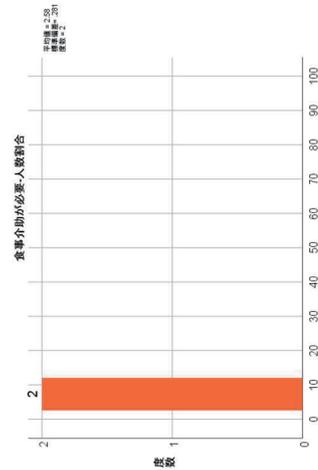
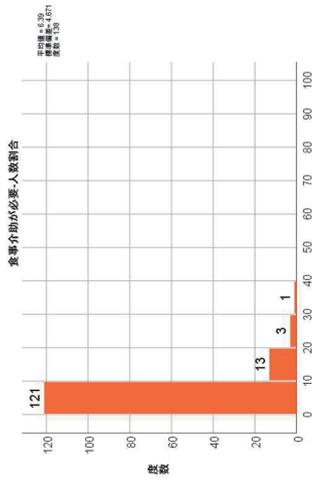


図1-9-① 食事介助が必要な者の分布

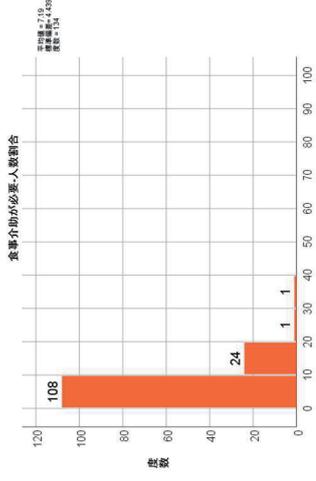
通所リハ・平均要介護度1以上2未満 (n=377)

	n	%
0-9%	121	(87.7)
10-19%	13	(9.4)
20-29%	3	(2.2)
30-39%	1	(0.7)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



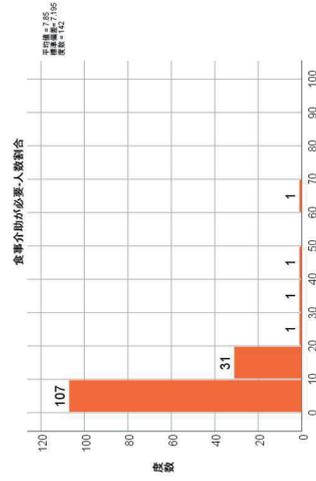
通所介護・平均要介護度1以上2未満 (n=278)

	n	%
0-9%	108	(80.6)
10-19%	24	(17.9)
20-29%	1	(0.7)
30-39%	1	(0.7)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所リハ・平均要介護度2以上3未満 (n=199)

	n	%
0-9%	107	(75.4)
10-19%	31	(21.8)
20-29%	1	(0.7)
30-39%	1	(0.7)
40-49%	1	(0.7)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	1	(0.7)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所介護・平均要介護度2以上3未満 (n=195)

	n	%
0-9%	86	(59.3)
10-19%	50	(34.5)
20-29%	6	(4.1)
30-39%	3	(2.1)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

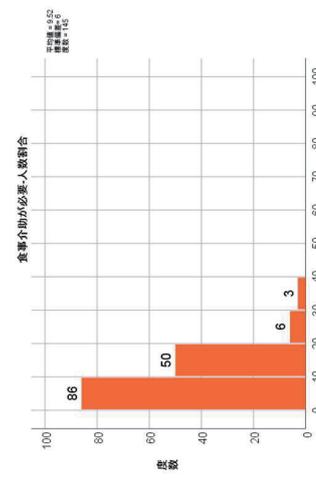
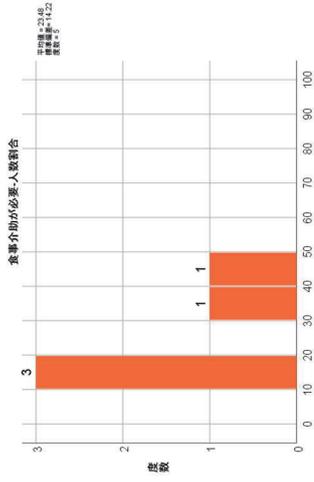


図1-9-② 食事介助が必要な者の分布

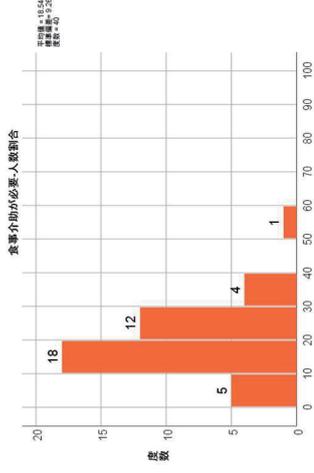
通所リハ・平均要介護度3以上4未満 (n=8)

	n	%
0-9%	0	(0.0)
10-19%	3	(60.0)
20-29%	0	(0.0)
30-39%	1	(20.0)
40-49%	1	(20.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



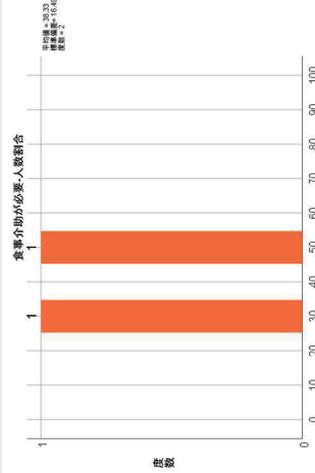
通所介護・平均要介護度3以上4未満 (n=44)

	n	%
0-9%	5	(12.5)
10-19%	18	(45.0)
20-29%	12	(30.0)
30-39%	4	(10.0)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	1	(2.5)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所リハ・平均要介護度4以上5未満 (n=1)

	n	%
0-9%	0	(0.0)
10-19%	0	(0.0)
20-29%	0	(0.0)
30-39%	0	(0.0)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



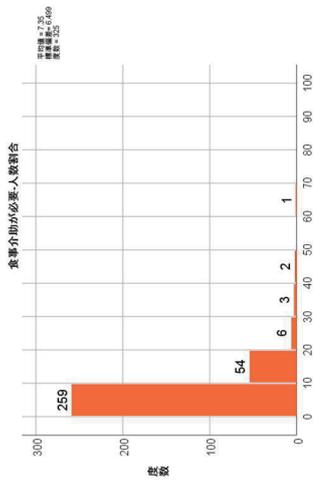
通所介護・平均要介護度4以上5未満 (n=2)

	n	%
0-9%	0	(0.0)
10-19%	0	(0.0)
20-29%	0	(0.0)
30-39%	1	(50.0)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	1	(50.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

図 I -9-③ 食事介助が必要な者の分布

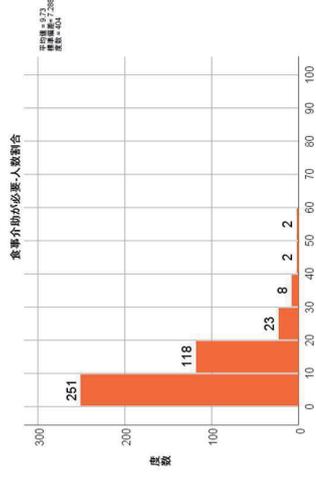
通所リハ・食事提供あり (n=612)

	n	%
0-9%	259	(79.7)
10-19%	54	(16.6)
20-29%	6	(1.8)
30-39%	3	(0.9)
40-49%	2	(0.6)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	1	(0.3)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所介護・食事提供あり (n=648)

	n	%
0-9%	251	(62.1)
10-19%	118	(29.2)
20-29%	23	(5.7)
30-39%	8	(2.0)
40-49%	2	(0.5)
50-59%	2	(0.5)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所リハ・食事提供なし (n=123)

	n	%
0-9%	0	(0.0)
10-19%	0	(0.0)
20-29%	0	(0.0)
30-39%	0	(0.0)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

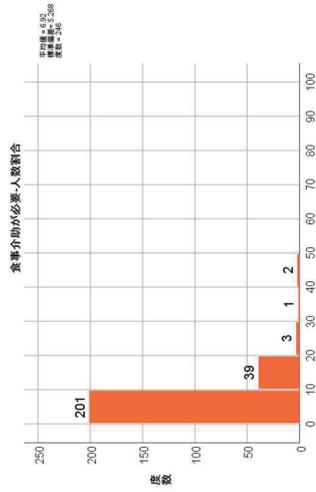
通所介護・食事提供なし (n=31)

	n	%
0-9%	0	(0.0)
10-19%	0	(0.0)
20-29%	0	(0.0)
30-39%	0	(0.0)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

図 I -9-④ 食事介助が必要な者の分布

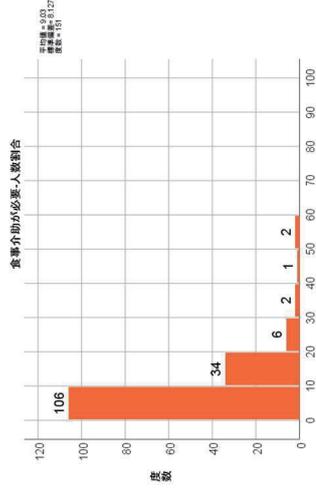
通所リハ・管理栄養士関わりあり (n=612)

	n	%
0-9%	201	(81.7)
10-19%	39	(15.9)
20-29%	3	(1.2)
30-39%	1	(0.4)
40-49%	2	(0.8)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



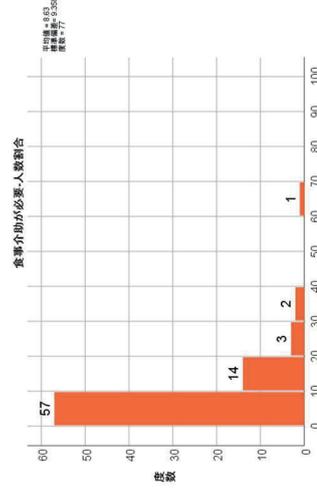
通所介護・管理栄養士関わりあり (n=648)

	n	%
0-9%	106	(70.2)
10-19%	34	(22.5)
20-29%	6	(4.0)
30-39%	2	(1.3)
40-49%	1	(0.7)
50-59%	2	(1.3)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所リハ・管理栄養士関わりなし (n=257)

	n	%
0-9%	57	(74.0)
10-19%	14	(18.2)
20-29%	3	(3.9)
30-39%	2	(2.6)
40-49%	0	(0.0)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	1	(1.3)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)



通所介護・管理栄養士関わりなし (n=442)

	n	%
0-9%	143	(57.7)
10-19%	83	(33.5)
20-29%	15	(6.0)
30-39%	6	(2.4)
40-49%	1	(0.4)
50-59%	0	(0.0)
60-69%	0	(0.0)
70-79%	0	(0.0)
80-89%	0	(0.0)
90-99%	0	(0.0)
100%	0	(0.0)

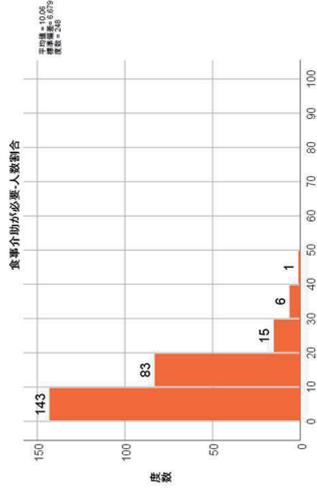


図1-9-⑤ 食事介助が必要な者の分布

II. 通所リハビリテーション事業所及び通所介護事業所における栄養管理のあり方 に関する調査：利用者個別調査

1. 目的

先行して実施された事業所実態調査において、利用者個別調査への協力の回答を得た事業所の利用者の個別の身体状況、栄養状態、摂食・嚥下機能や認知機能の低下に伴う食事の徴候・症状などの課題把握を詳細に行うとともに、利用者の低栄養や栄養管理による効果についての検証を行うためのものである。

2. 方法

(1) 対象事業所

通所リハにおいては、先行して実施された事業所実態調査で有効回答にあった 740 事業所のうち、利用者個別調査に同意を得られた 126 事業所(17.0%)の中から回収された 23 事業所(18.3%)の利用者合計 1,533 名、通所介護においては、事業所実態調査で有効回答にあった 683 事業所のうち、利用者個別調査に同意を得られた 135 事業所(19.8%)の中から回収された 23 事業所(17.0%)の利用者合計 800 名を対象とした。このうち、基準日（2018 年 10 月末日）より後にサービスを利用した者は除外し、現時点でデータの入力が完了していた通所リハ 1,410 名、通所介護 780 名を今回の集計対象とした。なお、調査票への記載は事業所管理者あるいは管理者の依頼したスタッフとした。

(2) 調査方法

事業所実態調査より利用者個別調査に協力が得られた事業所の管理者宛に、依頼状、研究概要・個別調査票記入方法、研究実施のお知らせとご協力のお願（事業所掲示用）、研究倫理相談窓口、協力同意書、協力同意撤回書、調査票（事業所 ID 交付）、回収のための後納封筒を郵送した。調査への協力は事業所管理者の自由な意思に任され、調査票は同封した後納封筒により回収した。

調査月（1 か月間）に事業所を利用した者を対象として、既存記録から調査票への転記を行った。その後、利用者氏名メモ欄（調査票への記載を容易にするために設けた）を切り取った調査票が同封返信封筒により返送された。調査票の転記は、事業所管理者あるいは管理者から依頼されたスタッフが行った。

(3) 調査内容（調査票別添）

調査月の利用者について、事業所が保有する既存記録（基本属性、食事摂取状況、身長・体重記録表、リハビリテーション・マネジメント加算のための帳票、個別機能訓練加算のための帳票等）から調査票に転記を行った。

既存の記録からの転記内容（詳細は調査票参照のこと）は以下のとおりである。

時点	項目
2018年 10月末 (ベースライン 時点)	基本属性：性別、年齢、通所サービス利用回数（1か月あたり）、同居家族、日中独居、要支援・要介護度、認知症高齢者の日常生活自立度 食事提供状況：通所サービスでの食事提供の有無、食事形態、食事摂取割合、とろみ剤の使用、食事の際に奥歯で噛みしめている、食事中にむせたり咳き込んだりすることがある、食事介助（全面介助、一部介助、自力） 栄養・ADL：身長、体重、褥瘡、ADL（BI：Barthel Index、FIM：Functional Independence Measure）、IADL（Frenchay Activities Index）、自分で買い物へ出かけている（概ね週1回以上）、自宅等では食事を自分で作っている（概ね週1回以上）、自宅等では一緒に食事を食べる人がいる（概ね週1回以上）
サービス利用開始年月日	サービス利用開始年月日、利用開始前の状況（在宅で生活、入院、施設入所、その他）、体重、ADL（BI、FIM）、IADL
2018年4月末 (6か月前時点)	2018年4月末日時点で貴通所サービスを利用していたか、体重、ADL（BI、FIM）、IADL
2018年 4月～10月の間	管理栄養士の関わり、関わりの内容（食事時の観察、食事の個別調整、栄養相談、自宅訪問、その他）、栄養改善加算の算定、リハビリテーション・マネジメント加算の算定（通所リハ）、個別機能訓練加算の算定（通所介護）、イベントの発生（入院、施設入所、要介護度の重症化、利用中止、その他）

（４）解析方法

郵送により回収した事業所の調査票から匿名化されたデータベース（Excelシート）への入力、日本健康・栄養システム学会が個人情報保護管理の規定に基づいて委託契約をした日本ヘルスケアテクノ（株）が行い、その後、データベースはパスワード付きCDに保管され、委員長の神奈川県立保健福祉大学 栄養ケア・マネジメント研究室杉山みち子宛に書留送付された。当該データベースに基づき、スタッフルーム8及び大学院室の高田健人（神奈川県立保健福祉大学助教）と浅見桃子（神奈川県立保健福祉大学大学院）のPC個人フォルダーに格納し、通所リハ、通所介護の事業所種別に以下のように各調査項目の基礎集計を行った後、クロス集計、多変量解析を行った。統計解析にはSPSSを用い、 χ^2 検定、多変量ロジスティック回帰分析、主成分分析を行った。

1) 基本集計低栄養、摂食・嚥下障害の発生頻度と食事状況について

⇒事業所種別に全数、要介護度別、食事提供の有無別、BMI18.5kg/m²未満/以上別（ベースライン時点、6か月前時点）で集計（n,%、平均値、標準偏差）

2) 多変量解析

- ① 低栄養は ADL/IADL の悪化、要介護度の悪化、入院に影響するか
- ② ①はリハビリテーション、自立訓練の内容に影響されるか
- ③ ①は管理栄養士の関わり（栄養改善、ミールラウンド、コンサルや相談等）に影響されるか

①～③について、多変量ロジスティック回帰分析により、以下の目的変数に対し、説明変数【低栄養】6か月前の BMI18.5kg/m²未満の 18.5 kg/m²以上に対するオッズ比(OR)と 95%信頼区間(95%CI)を求めた。

○目的変数

- (1) 【バーサルインデックス不良維持・悪化】：6か月前→ベースライン時 55 点以下
- (2) 【FIM 不良維持・悪化】：6か月前→ベースライン時 69 点以下
- (3) 【IADL 不良維持・悪化】：6か月前→ベースライン時中央値以下（通所リハ 7 点、通所介護 5 点）
- (4) 【入院】：6か月前からベースライン時までの期間中
- (5) 【施設入所】：6か月前からベースライン時までの期間中
- (6) 【要介護度重症化】：6か月前からベースライン時までの期間中
- (7) 【サービス利用中止】：6か月前からベースライン時までの期間中
- (8) 【イベント発生無し】：6か月前からベースライン時までの期間中

○説明変数

【低栄養】：6か月前の BMI18.5kg/m²未満=1 / 18.5 kg/m²以上=0

○調整変数

モデル 1：性、年齢、要介護度、1 か月あたりの利用回数

モデル 2：モデル 1+ とろみ剤の使用

モデル 3：モデル 1+ 加算算定有無*

モデル 4：モデル 2+ 加算算定有無*

モデル 5：モデル 3+ 管理栄養士の関わり有無

モデル 6：モデル 4+ 管理栄養士の関わり有無

*加算算定有無

通所リハリハビリテーション・マネジメント加算（算定なし/Ⅰ）Ⅱ）Ⅲ）Ⅳ）いずれか算定）

通所介護個別機能訓練加算（算定なし/Ⅰ）Ⅱ）いずれか算定）

3) 主成分分析

通所リハ、通所介護それぞれにおいて対象者の状態像について検討するため、「食事関連の変数を含まない」場合と「食事関連の変数を含む」場合で主成分分析を行った。使用した変数は、「性別」、「年齢」、「独居」、「夫婦（配偶者）同居あり」、「子ども同居あり」、「日中独居」、「要介護度」、「BMI18.5kg/m²未満/以上」、「バーサルインデックス 55 点以下/60

点以上」、「IADL 中央値未満/以上」、「自分で買い物へ出かけている（概ね週 1 回以上）」、「自宅等では食事を自分で作っている（概ね週 1 回以上）」、「自宅等では一緒に食事を食べる人がいる（概ね週 1 回以上）」とし、さらに「食事関連の変数を含む」場合には「きざみ/軟菜食」、「嚥下調整食」、「食事摂取量 6 割以下/7 割以上」、「とろみ剤使用」、「食事の際に奥歯で（義歯でも可）噛みしめている」、「食事中にむせたり咳き込んだりすることがある」、「食事介助」を追加した。検討に使用するのは第 1 主成分、第 2 主成分とし、第 2 主成分までの累積寄与率を求めた。各主成分について、各変数の因子負荷量の絶対値 0.2 を基準に、対象者の状態像の分類パターンについて検討した。さらに、低栄養（BMI18.5kg/m²未満）の利用者をサブグループとして解析し、特徴的なパターン（因子負荷量の絶対値 0.5 を基準）について検討した。

（5）研究倫理について

既存の記録を用いる後ろ向き観察研究により、予測されるリスクはない。協力は事業所管理者の自由な意思に任され、その後いつでも撤回できること、撤回した場合にはすべてのデータが削除されること、協力しなくても何の不利益も蒙らないことが依頼状によって説明された。協力事業所の利用者の既存記録のみを用い、事業所 ID が交付された調査票に転記することを、オプトアウトにより事業所内への掲示を依頼し、本人・家族が拒否できる機会を保障した。転記作業を容易にするために記載した利用者の名前は、記入方法に従って調査票の切り取り線によって切り取って送付された。万一、切り取られずに回収された場合には、事務局が開封後、直ちに切り取り粉碎処分され、その後、集団としての集計がされるので個人が特定されることはない。また、集計に際してもカテゴリー別人数が 3 名以下となった場合には、集計から除外した。神奈川県立保健福祉大学研究倫理審査委員会の承認（保大第 71-36）を得て行われた。

3. 結果

結果の詳細は、II 章 図表参照のこと。

（1）回収状況

通所リハにおいては、先行して実施された事業所実態調査で有効回答にあった 740 事業所のうち、利用者個別調査に同意を得られた 126 事業所(17.0%)の中から回収された 23 事業所(18.3%)の利用者合計 1,533 名、通所介護においては、事業所実態調査で有効回答にあった 683 事業所のうち、利用者調査に同意を得られた 135 事業所(19.8%)の中から回収された 23 事業所(17.0%)の利用者合計 800 名を対象とした。このうち、基準日（2018 年 10 月末日）より後にサービスを利用した者は除外し、現時点でデータの入力完了していた通所リハ 1,410 名、通所介護 780 名を今回の集計対象とした。

(2) 基本集計、低栄養、摂食・嚥下障害の発生頻度と食事状況の実態〈表Ⅱ-1-①～⑬〉

1) 利用者概要

ベースライン時における通所リハ n=1,410 名について、性別は女性 58.4%、年齢階級は 70 歳代 26.2%、80 歳代 45.6%、90 歳以上 18.5%、1 か月あたりの利用回数は 0-4 回 22.3%、5-9 回 51.9%、10-14 回 21.1%、同居家族は独居 19.6%、夫婦(配偶者) 41.2%、子ども 41.6%、日中独居 39.9%、要介護度は要支援 1,2; 21.0%、要介護 1,2; 48.1%、要介護 3-5; 30.8%、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲa 以上 11.0%、通所サービス利用開始からの日数 30 日以内 5.2%、1 か月以上 6 か月以内 15.0%、6 か月以上 1 年以内 16.0%、1 年以上 2 年以内 17.8%、2 年以上 3 年以内 12.1%、3 年以上 4 年以内 9.6%、4 年以上 5 年以内 6.8%、5 年以上 10 年以内 11.2%、10 年以上 3.2%であった(図 19~21,表Ⅱ-1-①②⑩)。

通所介護 n=780 名について、性別は女性 60.5%、年齢階級 70 歳代 18.6%、80 歳代 50.9%、90 歳以上 23.6%、1 か月あたりの利用回数 0-4 回 18.3%、5-9 回 43.7%、10-14 回 21.3%、同居家族は独居 28.2%、夫婦(配偶者) 27.4%、子ども 49.6%、日中独居 52.9%、要介護度非認定・総合事業対象者; 1.0%、要支援 1,2; 15.4%、要介護 1,2; 56.8%、要介護 3-5; 26.8%、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲa 以上 17.1%、通所サービス利用開始からの日数 30 日以内 1.5%、1 か月以上 6 か月以内 10.8%、6 か月以上 1 年以内 15.6%、1 年以上 2 年以内 21.3%、2 年以上 3 年以内 10.6%、3 年以上 4 年以内 10.3%、4 年以上 5 年以内 7.2%、5 年以上 10 年以内 12.7%、10 年以上 2.4%であった(図 20~22,表Ⅱ-1-①②⑩)。

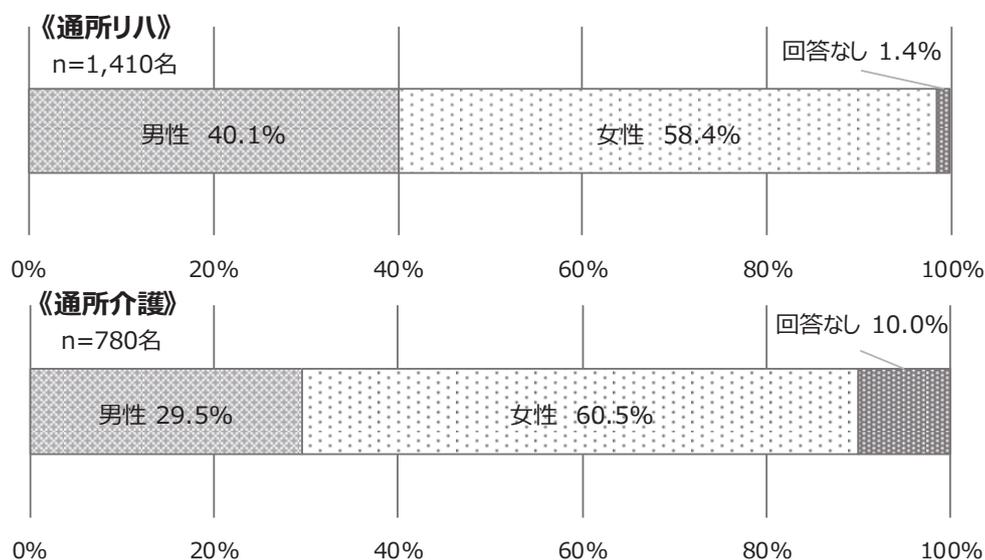


図 20 : 性別

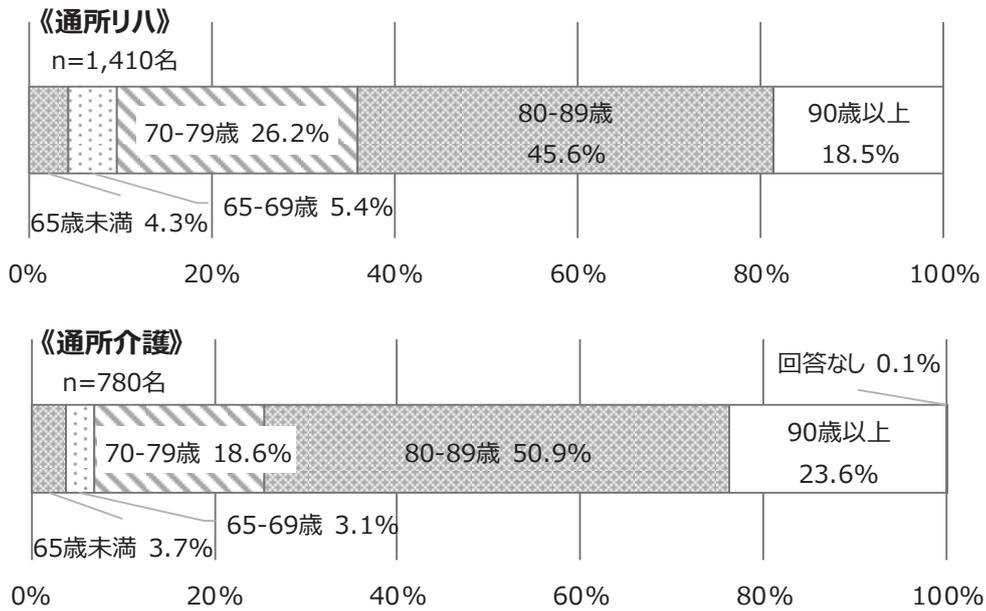


図 21 : 年齢階級

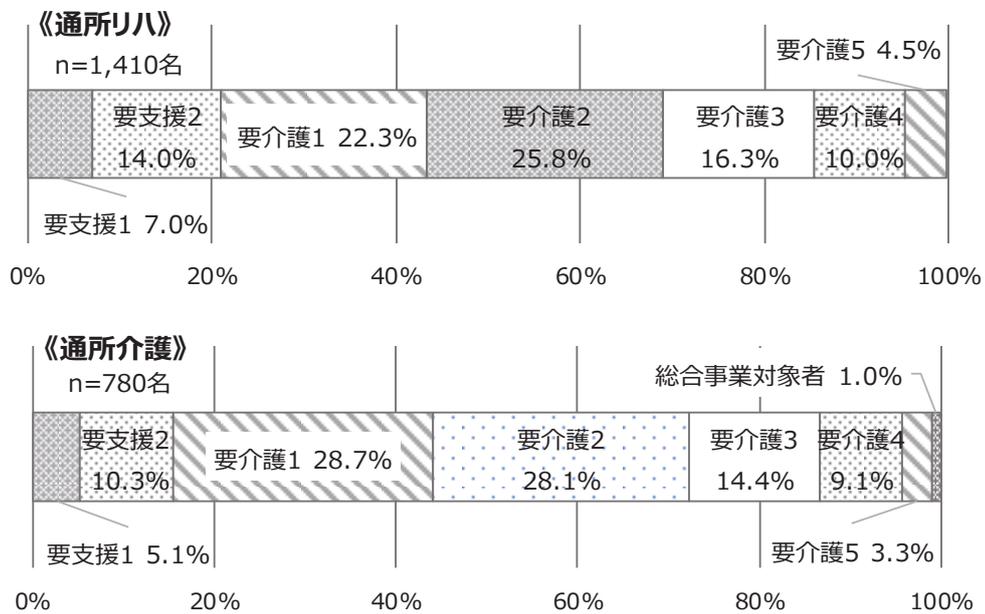


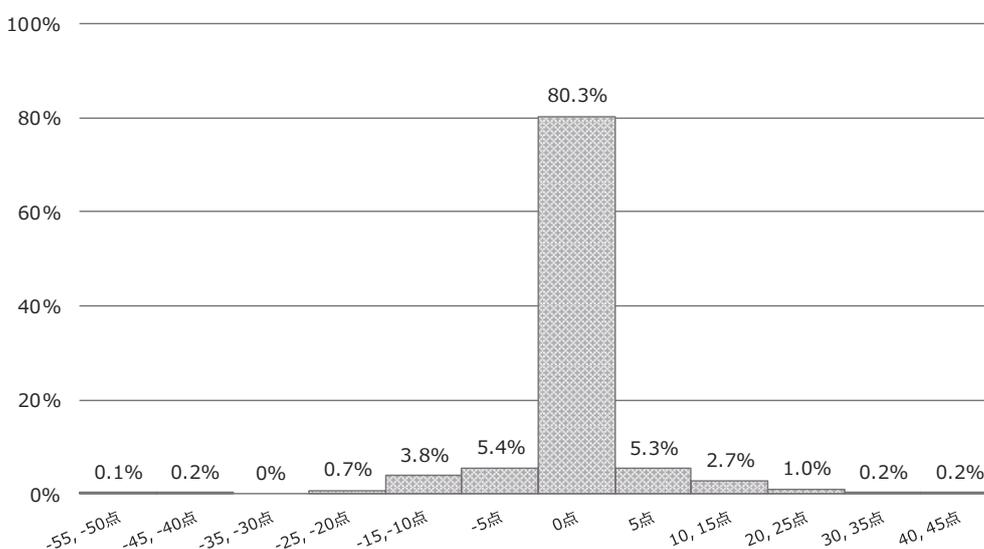
図 22 : 要支援・要介護度

2) ADL、IADL

バーサルインデックスについて、通所リハは 55 点以下 14.1%、通所介護 55 点以下 10.8%(欠損 390 除く有効回答 n=390 の 21.7%)であった (表 II-1-③)。

バーサルインデックスの 6 か月間の変化量について、通所リハは 921 名がバーサルインデックスの記録があり、得点が低下した者は 94 名(10.2%)、維持した者は 740 名(80.3%)、上昇した者は 87 名(9.4%)であった。通所介護は 329 名の記録があり、得点が低下した者は 12 名(4.0%)、維持した者は 263 名(87.1%)、上昇した者は 27 名(8.9%)であった (図 23,表 II-1-④)。

《通所リハ》n=921名



《通所介護》n=329名

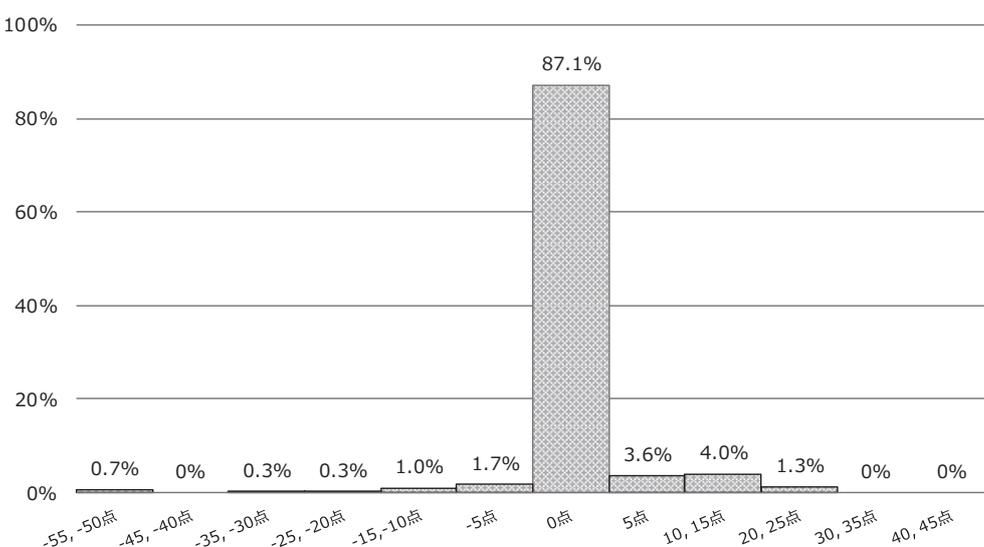


図 23 : バーサルインデックス (6 か月間の変化量)

FIM の 6 か月間の変化量について、通所リハは 183 名が FIM の記録があり、得点が低下した者は 22 名(12.0%)、維持した者は 124 名(67.8%)、上昇した者は 37 名(20.1%)であった。通所介護は記録していた者が 18 名と少なく、得点が低下した者は 1 名(5.6%)、維持した者は 15 名(83.3%)、上昇した者は 2 名(11.1%)であった (図 24,表Ⅱ-1-⑤)。

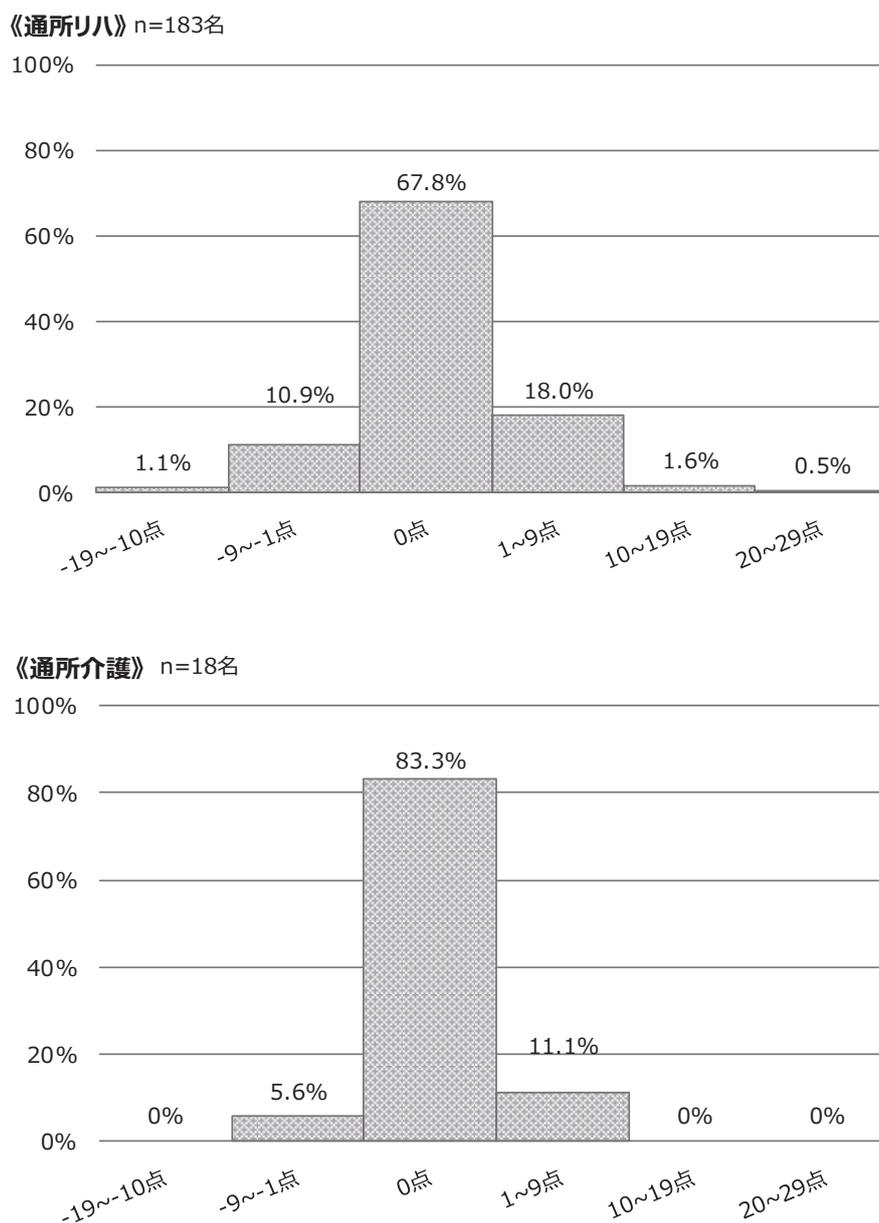
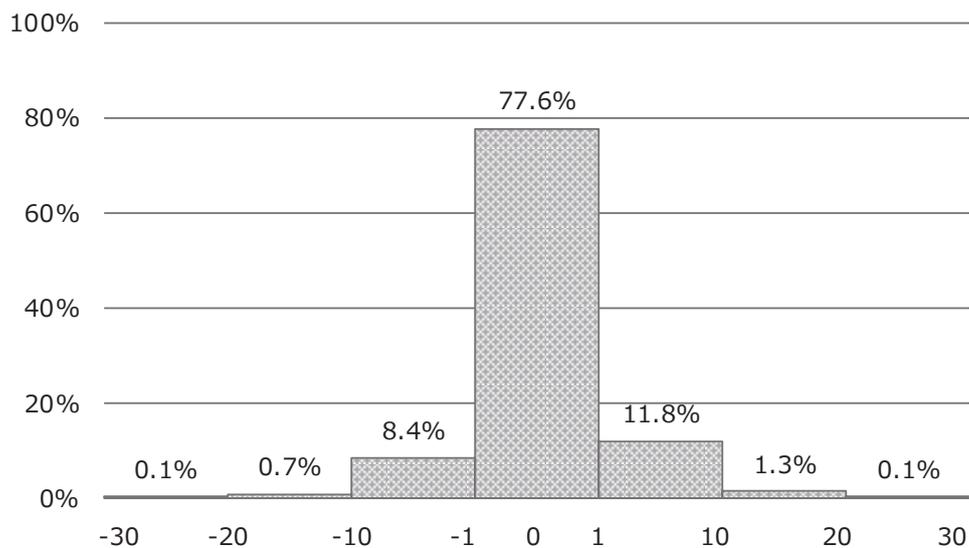


図 24 : FIM (6 か月間の変化量)

IADL の 6 か月間の変化量について、通所リハは 857 名が IADL の記録があり、得点が低下した者は 79 名(9.2%)、維持した者は 665 名(77.6%)、上昇した者は 113 名(13.2%)であった。通所介護は 62 名の記録があり、得点が低下した者は 2 名(3.2%)、維持した者は 59 名(95.2%)、上昇した者は 1 名(1.6%)であった (図 25,表Ⅱ-1-⑥)。

《通所リハ》 n=857名



《通所介護》 n=62名

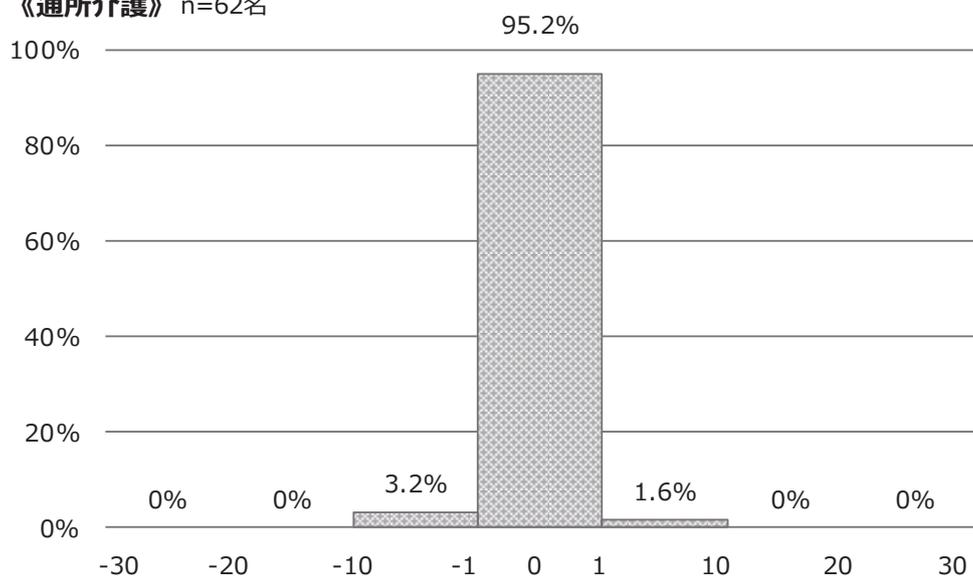


図 25 : IADL (6 か月間の変化量)

3) 食事提供の状況

通所サービスでの食事提供ありの者は通所リハ n=1,077(76.4%)、通所介護 n=752(96.4%)であり、食事形態は通所リハ普通食 78.7%、きざみ/軟菜食 17.5%、嚥下調整食 3.3%、通所介護は普通食 81.4%、きざみ/軟菜食 12.8%、嚥下調整食 4.7%、食事摂取割合「6割以下」は通所リハ 5.9%、通所介護 6.6%であった(図 26,27,表 II-1-⑦)。

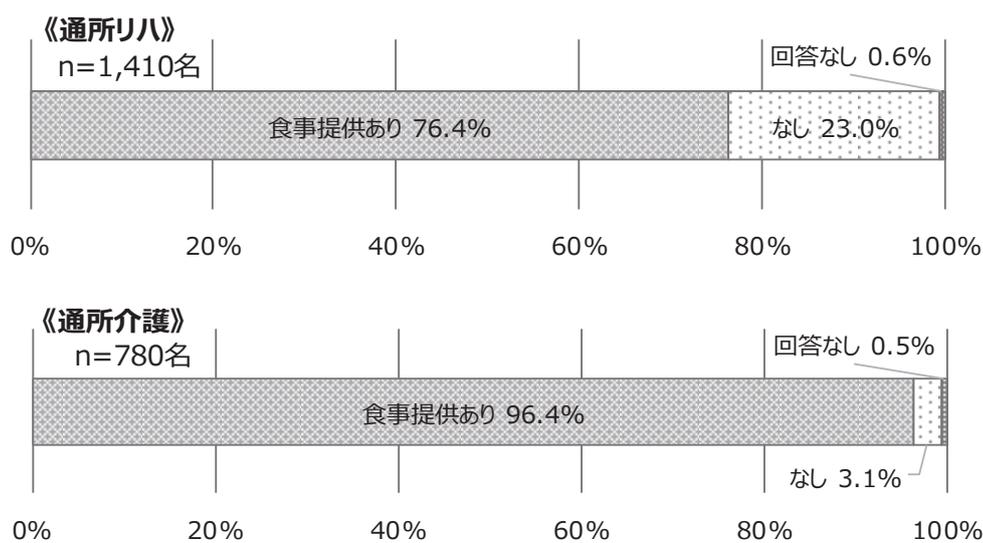


図 26 : 食事提供の有無

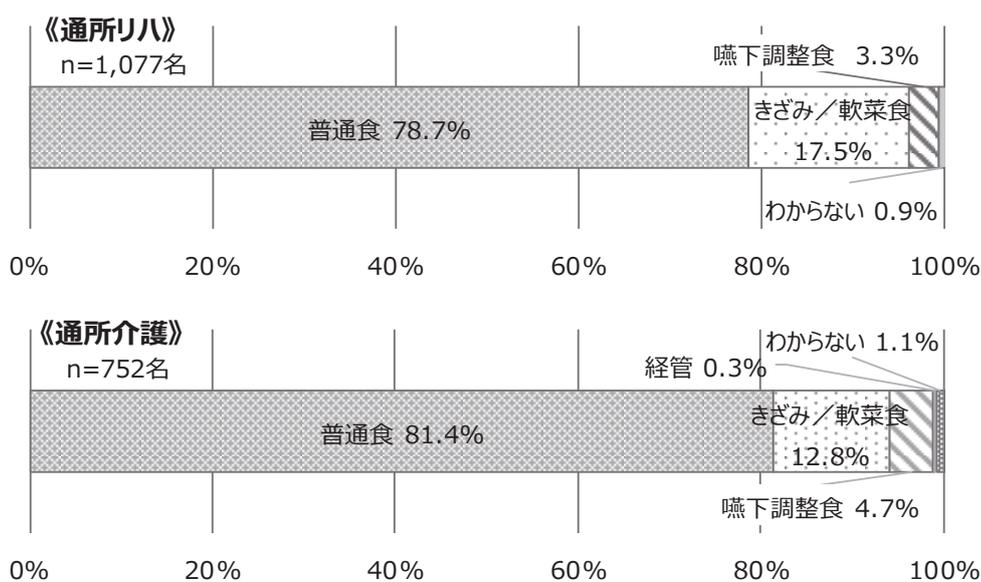


図 27 : 食事形態

4) 摂食・嚥下の問題

食事提供ありの者のうち、とろみ剤を使用している割合は通所リハ 8.8%、通所介護 7.8%、食事の際に奥歯で(義歯でも可)噛みしめている「いいえ」は通所リハ 9.6%、通所介護 10.0%、食事中にむせたり咳き込んだりすることがある「はい」は通所リハ 18.1%、通所介護 11.4%、食事介助の者は通所リハが全面介助 1.9%、一部介助 6.3%、通所介護が全面介助 2.7%、一部介助 18.6%であった (図 28,29,表Ⅱ-1-⑦)。

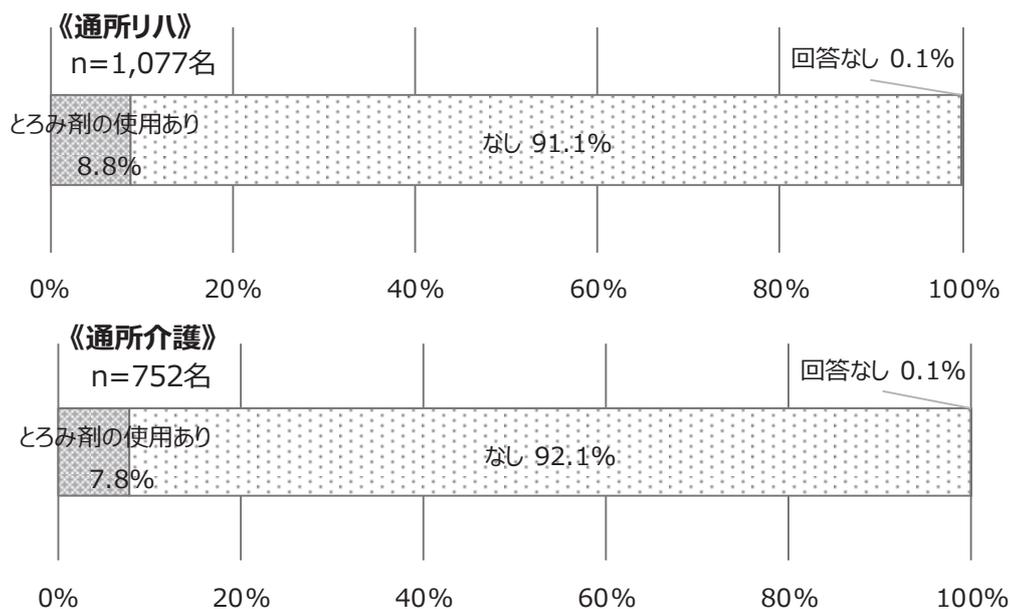


図 28 : とろみ剤の使用

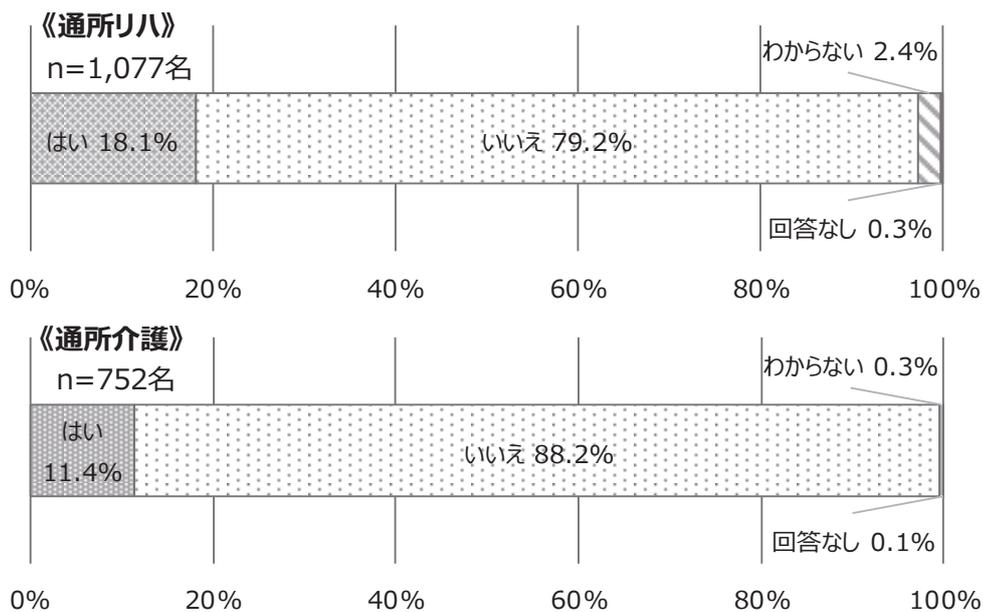


図 29 : 食事中にむせたり咳き込んだりすることがある

5) 低栄養・食事準備の状況

BMI18.5kg/m²未満は通所リハ 11.3%、通所介護 13.7%であった（図 30）。通所リハ 1,053 名のうち、体重が 6 か月間で 3%以上減少した者は 222 名(21.1%)、3%以上増加した者は 144 名(13.6%)であった（図 31-①）。通所介護は、体重減少が 6 か月間で 3%減少した者は 155 名(23.1%)、3%以上増加した者は 122 名(18.2%)であった（図 31-②）。褥瘡ありは通所リハ 0.9%、通所介護 1.2%、自分で買い物へ出かけている（概ね週 1 回以上）「はい」は通所リハ 21.3%、通所介護 16.9%、自宅等では食事を自分で作っている（概ね週 1 回以上）「はい」は通所リハ 25.7%、通所介護 15.8%、自宅等では一緒に食事を食べる人がいる（概ね週 1 回以上）「はい」は通所リハ 79.2%、通所介護 70.0%であった（表Ⅱ-1-⑧⑩）。

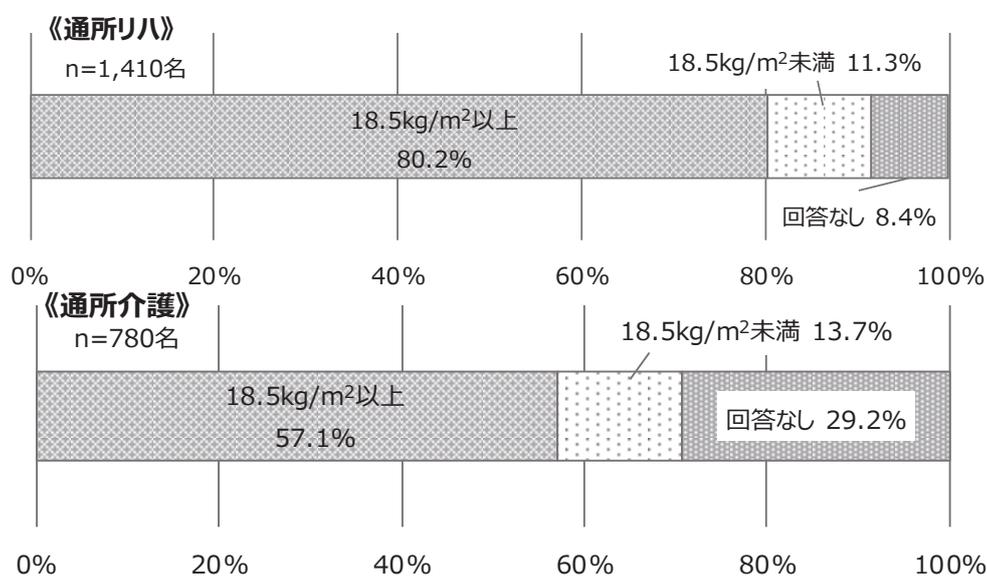


図 30 : BMI

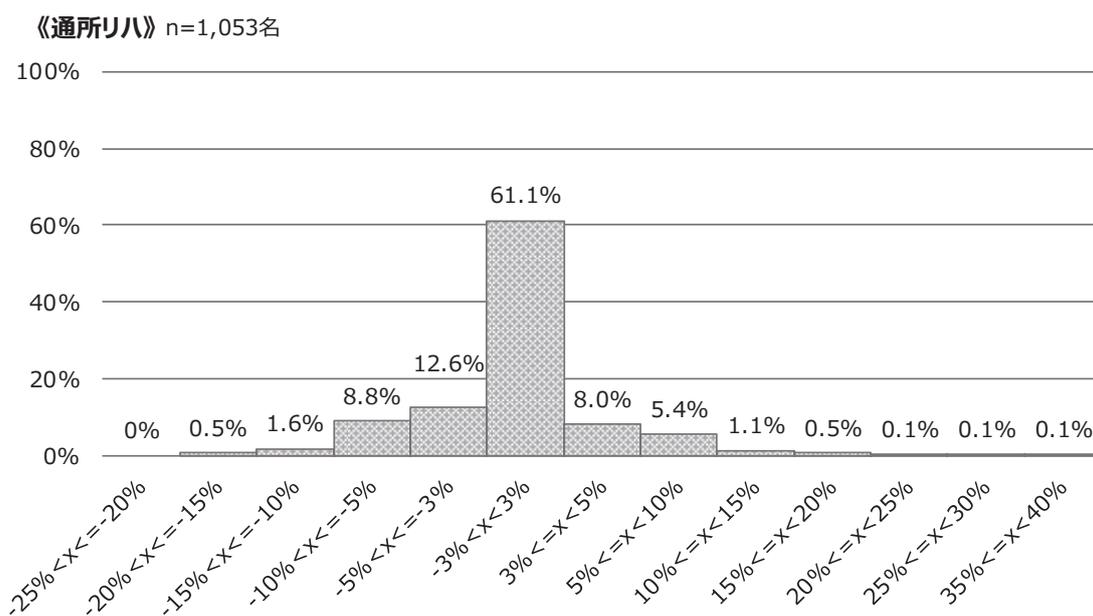


図 31-① : 体重（6 か月間の変化率）

《通所介護》 n=668名

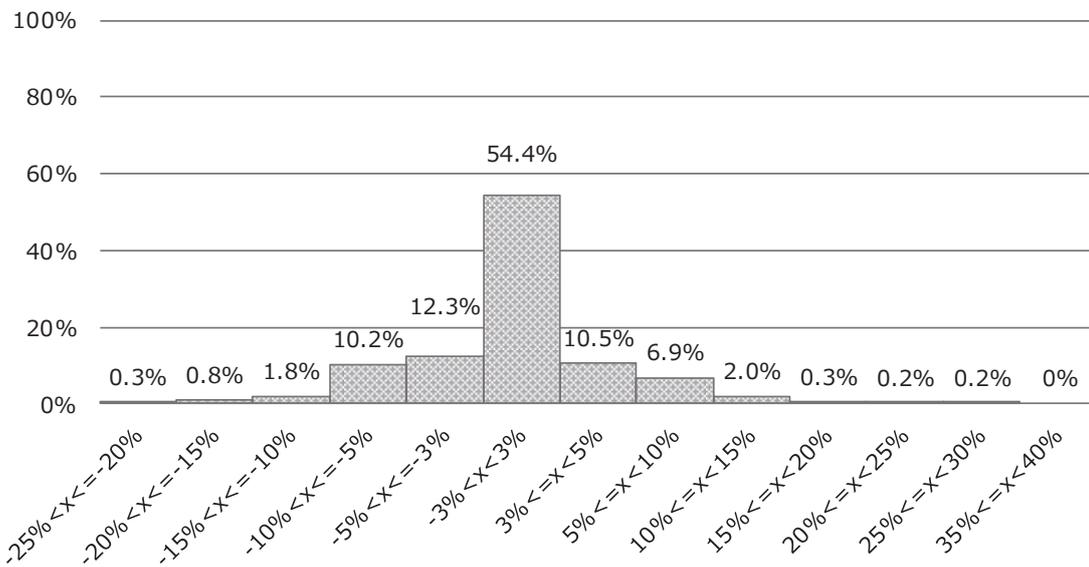


図 31-②：体重（6か月間の変化率）

6) 管理栄養士との関わり

管理栄養士との関わりがあった者は通所リハ 600名(42.6%)、通所介護 218名(27.9%)であった(図 32,表 II-1-⑫)。

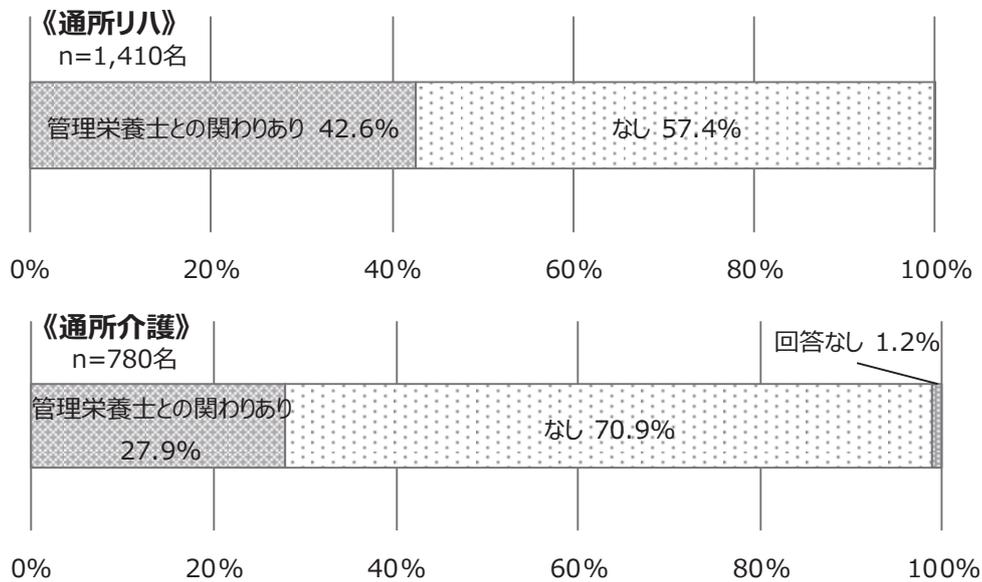


図 32：管理栄養士との関わり

管理栄養士の関わり内容は通所リハが食事の観察（ミールラウンド）55.0%、食事の個別調整 13.8%、栄養相談 15.0%、自宅訪問 1.0%、通所介護が食事の観察（ミールラウンド）86.2%、食事の個別調整 17.0%、栄養相談 7.3%、自宅訪問 0.5%であった（図 33,表Ⅱ-1-⑫）。

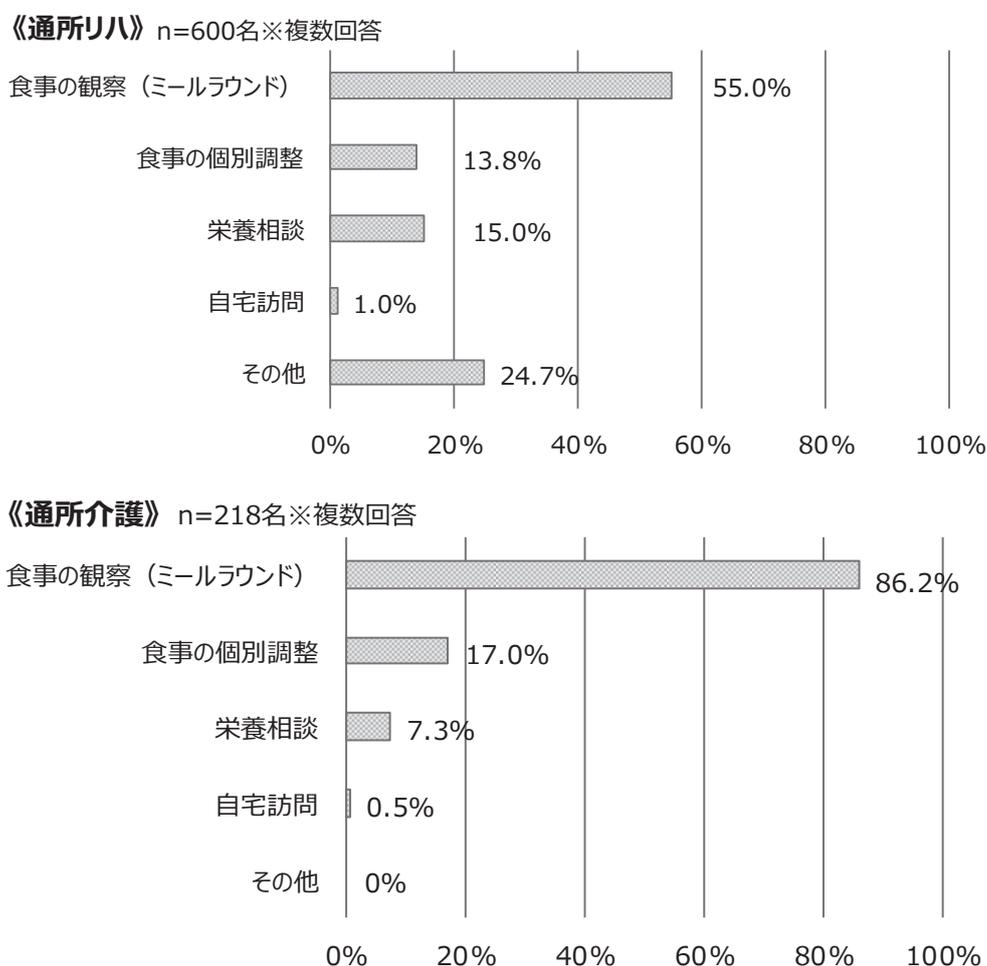


図 33：管理栄養士との関わり内容

7) 加算の算定状況

加算の算定は通所リハが栄養改善加算 1.0%、リハビリテーション・マネジメント加算の算定なし 7.7%、(Ⅰ)67.7%、(Ⅱ)0.4%、(Ⅲ)23.3%、(Ⅳ)1.1%、通所介護が栄養改善加算 0.4%、個別機能訓練加算の算定なし 46.9%、(Ⅰ)10.4%、(Ⅱ)21.9%、(Ⅰ)(Ⅱ)両方算定 20.8%であった（表Ⅱ-1-⑬）。

8) 過去 6 か月間（2018 年 4-10 月）のイベント発生

過去 6 か月間（2018 年 4-10 月）のイベント発生は通所リハが入院 12.3%、施設入所 2.8%、要介護度の重症化 1.4%、利用中止 1.6%、通所介護が入院 8.5%、施設入所 1.7%、要介護度の重症化 3.1%、利用中止 1.0%であった（表Ⅱ-1-⑬）。

(3) 要介護度重度者の特性〈表Ⅱ-2a-①～⑧、表Ⅱ-2b-①～⑧〉

要介護度別クロス集計より、「要介護 3-5 の重度者」の特性（軽度者よりも高い割合）は、通所リハでは食事提供あり 89.6%、きざみ/軟菜食 28.4%、嚥下調整食 6.2%、食事摂取割合 6 割以下 9.3%、とろみ剤の使用 17.3%、食事の際に奥歯で（義歯でも可）噛みしめている「いいえ」13.0%、「わからない」7.0%、食事中にむせたり咳き込んだりすることがある「はい」28.4%、「わからない」3.6%、食事介助「全面介助」5.0%、「一部介助」14.3%、バーサルインデックス 55 点以下 41.4%、FIM69 点以下 33.3%、IADL9 点以下 85.3%、自分で買い物へ出かけている（概ね週 1 回以上）「いいえ」86.7%、自宅等では食事を自分で作っている（概ね週 1 回以上）「いいえ」86.4%、自宅等では一緒に食事を食べる人がいる（概ね週 1 回以上）「はい」87.3%、管理栄養士の関わり「あり」52.2%、管理栄養士の関わり内容として食事の観察（ミールラウンド）64.8%、リハビリテーション・マネジメント加算(Ⅲ)算定 29.9%、過去 6 か月間の施設入所 5.1%であった。

通所介護では食事提供あり 98.5%、きざみ/軟菜食 30.0%、嚥下調整食 12.8%、食事摂取割合 6 割以下 10.8%、とろみ剤の使用 22.2%、食事の際に奥歯で（義歯でも可）噛みしめている「いいえ」15.5%、食事中にむせたり咳き込んだりすることがある「はい」23.6%、食事介助「全面介助」9.4%、「一部介助」41.9%、バーサルインデックス 55 点以下 54.8%、自分で買い物へ出かけている（概ね週 1 回以上）「いいえ」95.2%、自宅等では食事を自分で作っている（概ね週 1 回以上）「いいえ」96.0%、自宅等では一緒に食事を食べる人がいる（概ね週 1 回以上）「はい」79.1%、6 か月前（2018 年 4 月末）時点の BMI18.5 kg/m² 未満 24.4%、管理栄養士の関わり「あり」32.9%、管理栄養士の関わり内容として食事の観察（ミールラウンド）94.1%、過去 6 か月間の入院 11.5%であった。

(4) 食事提供ありの者の特性〈表Ⅱ-3a-①～⑦、表Ⅱ-3b-①～⑦〉

食事提供有無別クロス集計より、「食事提供ありの者」の特性（なしの者よりも高い割合）は、通所リハでは同居家族は独居 15.8%、子供 46.5%、要介護度 3-5; 35.9%、BMI18.5 kg/m² 未満 13.3%、体重減少 6 か月間で 5%以上 11.9%、バーサルインデックス 55 点以下 17.9%、IADL0 点 17.2%、1-9 点 46.6%、自分で買い物へ出かけている（概ね週 1 回以上）「いいえ」77.7%、自宅等では食事を自分で作っている（概ね週 1 回以上）「いいえ」75.0%、自宅等では一緒に食事を食べる人がいる（概ね週 1 回以上）「はい」81.4%、サービス利用開始からの日数 3 年以上 35.8%、サービス利用開始前の状況「入院」34.8%、管理栄養士との関わり「あり」54.5%、管理栄養士の関わり内容として「食事の観察（ミールラウンド）」55.9%、リハビリテーション・マネジメント加算(Ⅲ)の算定 28.4%、過去 6 か月間の入院 14.3%であった。

通所介護では、要介護度 3-5; 27.0%、BMI18.5 kg/m² 未満 19.1%、バーサルインデックス 55 点以下 23.2%、IADL0 点 6.0%、1-9 点 75.0%、自分で買い物へ出かけている（概ね週 1 回以上）「いいえ」75.8%、自宅等では食事を自分で作っている（概ね週 1 回以上）「い

いえ」75.5%、管理栄養士との関わり「あり」29.3%、管理栄養士の関わり内容として「食事の観察（ミールラウンド）」86.2%、個別機能訓練加算算定なし47.5%であった。

(5) BMI18.5 kg/m²未満の者の特性(ベースライン時) (表Ⅱ-5a-①～⑨、表Ⅱ-5b-①～⑧)

BMI18.5 kg/m²未満/以上クロス集計より、「BMI18.5kg/m²未満の者(ベースライン時)」の特性(BMI18.5 kg/m²以上よりも高い割合)は、通所リハでは食事形態「きざみ/軟菜食」29.8%、とろみ剤あり20.6%、食事の際に奥歯で(義歯でも可)噛みしめている「いいえ」12.2%、食事中にむせたり咳き込んだりすることがある「はい」25.4%、食事介助「全面介助」6.2%、「一部介助」10.8%、バーサルインデックス55点以下23.4%、自分で買い物へ出かけている(概ね週1回以上)「いいえ」80.5%、自宅等では食事を自分で作っている(概ね週1回以上)「いいえ」78.8%、サービス利用開始前の状況「入院」37.7%、「施設入所」9.4%、管理栄養士との関わり「あり」53.1%、管理栄養士との関わり内容として「食事の個別調整」20.0%、「自宅訪問」5.9%、栄養改善加算の算定5.1%であった。

通所介護では、1か月あたりの利用回数「30-31回」8.5%、認知症高齢者の日常生活自立度「M」11.1%、食事形態「きざみ/軟菜食」21.8%、「嚥下調整食」13.9%、とろみ剤「あり」17.8%、食事の際に奥歯で(義歯でも可)噛みしめている「いいえ」14.4%、食事中にむせたり咳き込んだりすることがある「はい」15.8%、食事介助「全面介助」6.1%、「一部介助」28.6%、バーサルインデックス55点以下28.5%、自宅等では食事を一緒に食べる人がいる「いいえ」37.1%、管理栄養士との関わり「あり」40.2%、過去6か月間の要介護度の重症化8.4%であった。

(6) BMI18.5 kg/m²未満の者の特性(6か月前時点) (表Ⅱ-6a-①～⑨、表Ⅱ-6b-①～⑧、表Ⅱ-9)

BMI18.5 kg/m²未満/以上クロス集計より、「BMI18.5 kg/m²未満の者(6か月前時点)」の特性(BMI18.5kg/m²以上よりも高い割合)は、通所リハでは1か月あたりのサービス利用回数「0-4回」31.6%、食事形態「きざみ/軟菜食」29.1%、とろみ剤「あり」14.0%、食事の際に奥歯で(義歯でも可)噛みしめている「いいえ」15.1%、食事介助「全面介助」5.9%、「一部介助」14.1%、FIM69点以下17.3%、管理栄養士との関わり内容として「食事の個別調整」27.1%、「自宅訪問」6.3%、栄養改善加算の算定「あり」5.4%、リハビリテーション・マネジメント加算「算定なし」13.7%であった。

通所介護では、1か月あたりの利用回数「30-31回」9.9%、認知症高齢者の日常生活自立度「M」13.9%、食事形態「きざみ/軟菜食」21.8%、「嚥下調整食」15.4%、とろみ剤「あり」16.7%、食事の際に奥歯で(義歯でも可)噛みしめている「いいえ」14.3%、食事介助「全面介助」6.7%、「一部介助」29.3%、過去6か月間の「要介護度の重症化」8.5%であった。

さらに、BMI18.5 kg/m²未満/以上を目的変数、クロス集計により関連が見られた項目

を説明変数とし、性別、年齢、要介護度、利用回数を調整した多変量ロジスティック回帰分析を行った。その結果、低栄養（BMI18.5kg/m²未満）は、通所リハ及び通所介護利用者ともに、「とろみ剤を使用している」「きざみ食／軟菜食、嚥下調整食を食べている」等にみられる摂食嚥下機能低下の問題があることが関連要因であった。また、通所リハ利用者では「バーサルインデックス 55 点以下」「IADL7 点以下」「自分で買い物へ出かけていない（概ね週 1 回以上）」「自宅等では食事を自分で作っていない（概ね週 1 回以上）」等にみられる ADL・IADL の低下が関連し、通所介護では「独居」が有意に関連していた。

（7）低栄養とアウトカムの関連：多変量ロジスティック回帰分析（表Ⅱ-8a,8b）

低栄養は ADL/IADL の悪化、要介護度の悪化、入院に影響するか（リハビリテーション、自立訓練の内容の影響、管理栄養士の関わりの影響を含む）検討するため、多変量ロジスティック回帰分析を実施した。

通所リハにおいては、低栄養（BMI18.5kg/m²）が「6 か月間のバーサルインデックス不良維持・悪化（55 点以下）」と有意に関連し、モデル 1（性、年齢、要介護度、1 か月あたりの利用回数で調整）OR=1.983（95%CI 1.012-3.885, p=0.046）、モデル 3（性、年齢、要介護度、1 か月あたりの利用回数、リハビリテーション・マネジメント加算算定有無で調整）OR=2.005（95%CI 1.020-3.944, p=0.044）であった（図 34,表Ⅱ-8a）。

「管理栄養士の関わり有無」を調整変数に加えたモデル 5 では有意差はみられないが、モデル 1, 3 と同様の傾向が見られた。また、これらに「とろみ剤の使用」を調整変数に加えたモデル 2, 4, 6 においては有意な関連は見られなかった（表Ⅱ-8a）。

通所介護においては、低栄養は「6 か月間の IADL 不良維持・悪化（5 点以下）」と有意な関連が見られ、モデル 1 OR=5.231（95%CI 1.246-21.959, p=0.024）、モデル 2 OR=6.679（95%CI 1.261-35.365, p=0.026）、モデル 3 OR=5.881（95%CI 1.330-25.996, p=0.019）、モデル 4 OR=11.665（95%CI 1.669-81.513, p=0.013）、モデル 5 OR=5.892（95%CI 1.331-26.088, p=0.019）、モデル 6 OR=12.082（95%CI 1.673-87.277, p=0.014）であった（図 34,表Ⅱ-8b）。

また、通所介護においては、低栄養は「要介護度重症化」と有意な関連が見られ、モデル 3 OR=2.934（95%CI 1.028-8.372, p=0.044）、モデル 5 OR=2.947（95%CI 1.032-8.415, p=0.043）であった。「とろみ剤の使用」を調整変数に加えたモデル 2, 4, 6 において有意差はみられなかったが同様の傾向が見られた（図 34,表Ⅱ-8b）。

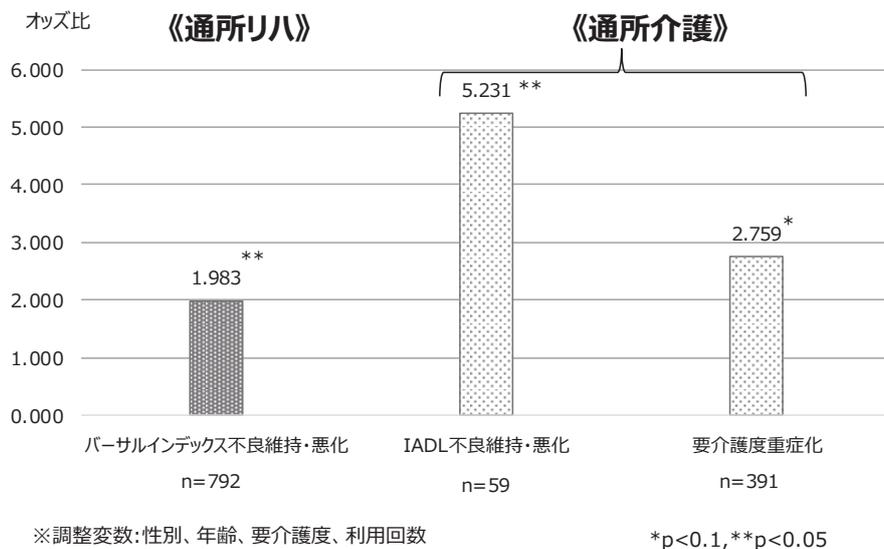


図 34 : ADL, IADL 不良維持・悪化、要介護度の重症化に対する低栄養の影響
「低栄養」の「非低栄養」に対するオッズ比

(8) 対象者の状態像の分類パターン (主成分分析) (表 II-10a-①②、表 II-10b-①②、表 II-11a、表 II-11b)

通所リハでは「事業所での食事提供に関する変数を含めない」場合において、第 1 主成分【正の因子負荷量】: 性別「男性」、配偶者「同居あり」、子ども「同居あり」、要介護度「重度 (3-5)」、バーサルインデックス「55 点以下」、IADL「7 点以下」、自宅では一緒に食事を食べる人がいる「はい」、【負の負荷量】: 独居「はい」、日中独居「はい」、自分で買い物に出かけている「はい」、自宅等では自分で食事を作っている「はい」、第 2 主成分【正の因子負荷量】: 年齢、独居、日中独居「はい」、要介護度「重度 (3-5)」、BMI「18.5kg/m²未満」、バーサルインデックス「55 点以下」、IADL「7 点以下」、【負の因子負荷量】: 性別「男性」、配偶者「同居あり」、子ども「同居あり」、自分で買い物へ出かけている「はい」、自宅等では自分で食事を作っている「はい」、自宅等では一緒に食事を食べる人がいる「はい」であった。第 2 主成分までの累積寄与率は 41.5%であった。

「事業所での食事提供に関する変数を含む」場合において、第 1 主成分【正の因子負荷量】: 性別「男性」、配偶者「同居あり」、要介護度「重度 (3-5)」、BMI「18.5kg/m²未満」、バーサルインデックス「55 点以下」、IADL「7 点以下」、自宅等では一緒に食事を食べる人がいる「はい」、きざみ/軟菜食「提供あり」、嚥下調整食「提供あり」、食事摂取量「6 割以下」、とろみ剤「使用あり」、食事の際に奥歯で噛みしめている「いいえ」、食事中にむせたり咳き込んだりすることがある「はい」、食事介助「全面介助」、【負の因子負荷量】: 独居「はい」、日中独居「はい」、自分で買い物に出かけている「はい」、自宅等では自分で食事を作っている「はい」、第 2 主成分【正の因子負荷量】: 独居「はい」、日中独居「はい」、BMI「18.5kg/m²未満」、バーサルインデックス「55 点以下」、嚥下調整食「提供あり」、食

事摂取量「6割以下」、とろみ剤「使用あり」、食事の際に奥歯で噛みしめている「いいえ」、食事中にむせたり咳き込んだりすることがある「はい」、食事介助「全面介助」、【負の因子負荷量】：性別「男性」、配偶者「同居あり」、子ども「同居あり」、自宅等では自分で食事を作っている「はい」であった。第2主成分までの累積寄与率は30.6%であった。

以上より、通所リハでは以下のように①男性で同居家族がいて介護が必要なグループ（ADL低い）、摂食・嚥下の状態悪い、②独居で自立しているグループ（ADL高い）、③独居でやせており介護が必要なグループ（ADL低い）、摂食・嚥下の状態悪い、④男性で同居家族がいて自立しているグループ（ADL高い）のパターンがみられた。

一方、通所介護では、「事業所での食事提供に関する変数を含まない」場合において、第1主成分【正の因子負荷量】：独居「はい」、日中独居「はい」、BMI「18.5kg/m²未満」、自分で買い物に出かけている、自宅等では自分で食事を作っている「はい」、【負の因子負荷量】：配偶者「同居あり」、子ども「同居あり」、自宅等では一緒に食事を食べる人がいる「はい」、第2主成分【正の因子負荷量】：独居「はい」、要介護度「重度(3-5)」、BMI「18.5kg/m²未満」、バーサルインデックス「55点以下」、【負の因子負荷量】：子ども「同居あり」、自分で買い物へ出かけている「はい」、自宅等では自分で食事を作っている「はい」であった。第2主成分までの累積寄与率は45.9%であった。

「事業所での食事提供に関する変数を含む」場合において、第1主成分【正の因子負荷量】：独居「はい」、日中独居「はい」、要介護度「重度(3-5)」、BMI「18.5kg/m²未満」、バーサルインデックス「55点以下」、とろみ剤使用あり、奥歯で噛みしめていない、むせこむ、【負の因子負荷量】：配偶者「同居あり」、子ども「同居あり」、自宅等では一緒に食事を食べる人がいる「はい」、第2主成分【正の因子負荷量】：配偶者「同居あり」、要介護度「重度(3-5)」、バーサルインデックス「55点以下」、自宅等では一緒に食事を食べる人がいる「はい」、きざみ/軟菜食「提供あり」、食事摂取量「6割以下」、とろみ剤「使用あり」、食事の際に奥歯で噛みしめている「いいえ」、食事中にむせたり咳き込んだりすることがある「はい」、【負の因子負荷量】：独居「はい」、日中独居「はい」、自分で買い物へ出かけている「はい」、自宅等では自分で食事を作っている「はい」であった。第2主成分までの累積寄与率は39.1%であった（表II-10a-①②）。

一方、通所介護では以下のような①独居でやせており介護が必要なグループ（ADL低い）、摂食・嚥下の状態悪い、②同居家族がいて介護が必要なグループ（ADL低い）、③摂食・嚥下の状態悪い同居家族がいて自立しているグループ（ADL高い）、④独居で自立しているグループ（ADL高い）のパターンがみられた（表II-10b-①②）。

さらに、低栄養（BMI18.5kg/m²未満）の利用者に見られる特徴的なパターン（因子負荷量の絶対値0.5以上の項目より）として、通所リハと通所介護で概ね共通した関連要因として、第1主成分では「要介護度が重度」「ADLが低下している」「とろみ剤やえんげ調整食、食事中のむせ込みなどの摂食嚥下の問題」「食事介助」といった身体的要因が抽出され、第2主成分では「同居家族あり」「自分で買い物に出かけている」「自宅等では食事を自分

で作っている」「自宅等では一緒に食事を食べる人がいる」といった生活要因が抽出された。(表Ⅱ-11a、表Ⅱ-11b)。

4. 考察

協力事業所は先行して実施された事業所実態調査に回答し、さらに利用者個別調査に協力同意したことから栄養問題への関心の高い事業所であると考えられるためサンプリングバイアスを考慮する必要がある。一方、回収された対象者数は通所リハ及び通所介護ともに実態調査としての必要サンプル数を満たしており、本結果が通所サービス利用者の低栄養や栄養管理による効果についての検証を行ううえで有用であると考えられる。

対象者の要介護度は1,2以下(要支援含む)の軽度者が約半数以上であり、在宅での生活を維持するためにも要介護度の重度化を予防することが求められる。バーサルインデックス等のADL/IADL指標については6か月間で大きく変化するものは少なかったが、悪化したものは施設に入所するなどの理由により対象から外れている可能性がある。したがって、ADL/IADLは現状維持されることも重要なアウトカムであると考え、悪化の要因については今後の前向き調査により明らかにする必要がある。

通所サービスで食事を提供されているものは通所リハ 76.4%、通所介護 96.4%であり、特に通所介護においては食事の場面で管理栄養士の関わることのできる機会であると考えられる。本調査ではとろみ剤を使用しているもの、きざみ/軟菜食、嚥下調整食を提供されているもの、食事中にむせたり咳き込んだりすることがある者、食事の際に奥歯で噛みしめていない者が1~2割程度おり、摂食・嚥下困難への対応は介護保険施設と同様に重要であると考えられた。通所サービスでの食事は1日の中の1食、1週間あるいは1か月間のうちのわずかを占めるにすぎず、その食事をもって栄養状態の維持・改善を図ることは難しいと考えられるが、食事の場を多職種でミールラウンドを行い、適切に食べられているかを把握することは、食欲低下や誤嚥を防ぎ、栄養状態の悪化を予防するために重要である。また、食事は利用者にとっての楽しみの機会であり、多職種が連携して食べる楽しみを支援することはQOLの向上にもつながるものである。食事を提供していない利用者についても、お茶等へのとろみ剤使用の必要性を把握したり、管理栄養士らが自宅訪問して利用者の食事の状況を把握したりすることにより、栄養状態やADLの維持改善、誤嚥の予防に資することができる。

BMI18.5kg/m²未満の者は通所リハ 11.3%、通所介護 13.7%であった。また、身長又は体重のいずれかもしくは両方のデータが無くBMIが不明の者が通所リハ 8.4%、通所介護 29.2%であり、低栄養のリスクのある者がかなりの数見過ごされている可能性が示された。効果的なリハビリ、ADLの維持改善には良好な栄養状態が不可欠であり、まずは栄養状態の把握のための定期的な体重測定を通所サービスでも徹底することが求められる。そして、食事の場面やリハビリの場面において管理栄養士らが利用者の栄養状態を把握し、効果的なリハ、ADLの維持改善に資することが重要である。

管理栄養士との関わりについては、通所リハ 42.6%、通所介護 27.9%と低い割合であった。特に通所介護では殆どの利用者に食事を提供しているにもかかわらず管理栄養士が関わっていないと回答された。社会福祉法人や医療法人では介護保険施設や医療機関を併設している場合は施設の方に管理栄養士が勤務している可能性が高い。しかし管理栄養士の配置人数が不十分であったり、業務の効率化がなされていなければ通所サービスまで手が回らないと考えられる。施設の管理栄養士は給食及び栄養ケア・マネジメント業務を効率的に改善し、さらに適切な人員配置により通所サービス利用者の栄養ケアに携わることが求められる。また、施設を併設していない通所サービス事業所においては管理栄養士が勤務していないところが多いと考えられることから、栄養スクリーニング加算の算定により事業所外の管理栄養士が必要に応じて関わる体制を作ることが求められる。

クロス集計からは要介護度の重度者の特徴として、ADL に関わる項目、摂食・嚥下困難に関わる項目が関連し、通所介護ではさらに低 BMI が関連していた。また、管理栄養士が関わっている割合も軽度者と比べて高く、ミールラウンドを高い割合で実施しており、管理栄養士はリスクの高い者に対して優先的に関わっていることが示唆された。また、食事提供ありの者の特徴として、独居や子と同居していて配偶者がいない、自分で買い物をしたり食事を作ったりができないなど、自宅での食事の準備が困難であることに加え、低 BMI や体重減少がみられるなど、低栄養状態に陥るリスクが高いものが含まれている可能性が示唆された。さらに BMI18.5 kg/m²未満のやせの者においては、摂食・嚥下困難に関わる項目、ADL の低下に関わる項目、自宅での食事準備に困難があることを示す項目との関連が見られた。これらの関連から、低栄養、摂食・嚥下困難、ADL の低下は相互に関連し、自宅で適切に食事をとることが難しいケースがあると考えられた。管理栄養士が関わる際には、ミールラウンドにより食事の摂取状況を把握するとともに、自宅訪問による食事状況の改善に取り組む必要があると示唆された。

多変量解析より、通所リハでは低栄養はバーサルインデックスの不良維持・悪化と関連し、通所介護では IADL の不良維持・悪化および要介護度重度化のリスクと関連していた。また、通所リハ及び通所介護ともに、「とろみ剤を使用している」「きざみ食／軟菜食、嚥下調整食を食べている」等にみられる摂食嚥下機能低下の問題があることが低栄養の関連要因であった。嚥下困難は食事摂取の不良や誤嚥により低栄養を引き起こす恐れがあり、ADL を悪化させ、要介護度の重度化につながる要因となることから、ミールラウンドや簡便な方法により利用者の摂食・嚥下機能を把握し、自宅でも適切な食事形態で食事を行うことができるよう対応することが求められた。

主成分分析による以下のような対象者の分類パターン通所リハでは、＜男性で同居家族がいて介護が必要なグループ (ADL 低い)、摂食・嚥下の状態悪い＞＜独居でやせており介護が必要なグループ (ADL 低い)、摂食・嚥下の状態悪い＞のグループが、通所介護では、①独居でやせており介護が必要なグループ (ADL 低い)、摂食・嚥下の状態悪い、②同居家族がいて介護が必要なグループ (ADL 低い)、摂食・嚥下の状態悪いは特にリスクが高いと考

えられる。男性においては同居家族がいる場合と独居の場合で自宅での食事の準備に違いがあると考えられることから、自宅での状況を踏まえて必要に応じて訪問を実施したり、家族への情報提供を行うことが ADL 等の改善に必要であると考えられた。なお、いずれも第 2 主成分までの累積寄与率は 40%程度であり、これらのパターンに当てはまらない者もいることから、個別のアセスメントによりリスクを把握して対応することが求められた。また、低栄養 (BMI18.5kg/m² 未満) の利用者に見られる特徴的なパターンの分析からは、効果的なリハビリテーション・機能訓練のために管理栄養士が栄養・食生活支援に関わるうえで、摂食嚥下機能低下などの個別の身体状況とともに、同居家族や買い物・調理担当者の有無など在宅での生活状況を考慮した食生活支援のあり方を検討することが求められると考えられた。

以上のことから、通所リハおよび通所介護のいずれにおいても、体重の測定と BMI の把握を徹底すること、低栄養、摂食・嚥下困難、ADL の低下は相互に関連することからこれらを多職種で一体的に把握すること、食事を提供している場合は管理栄養士がミールラウンドを実施して食事摂取状況を把握すること、同居家族の有無や自宅での食事の状況を踏まえた適切な栄養相談を実施することが求められた。また、併設施設がある場合は施設勤務の管理栄養士が通所へのかかわりを強化できるように、無い場合は栄養スクリーニング加算により近隣の管理栄養士と連携をとれるように、通所事業所は体制を整えることが求められた。

表Ⅱ-1-① 通所リハ・通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査

	通所リハ (n=1,410)			通所介護 (n=780)		
	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)
記入者						
管理者	218	(15.5)	(36.6)	292	(37.4)	(45.5)
他の職員	377	(26.7)	(63.4)	350	(44.9)	(54.5)
(欠損値)	815	(57.8)	—	138	(17.7)	—
性別						
男性	566	(40.1)	(40.7)	230	(29.5)	(32.8)
女性	824	(58.4)	(59.3)	472	(60.5)	(67.2)
(欠損値)	20	(1.4)	—	78	(10.0)	—
年齢階級						
65歳未満	61	(4.3)	(4.3)	29	(3.7)	(3.7)
65-69歳	76	(5.4)	(5.4)	24	(3.1)	(3.1)
70-79歳	369	(26.2)	(26.2)	145	(18.6)	(18.6)
80-89歳	643	(45.6)	(45.6)	397	(50.9)	(51.0)
90歳以上	261	(18.5)	(18.5)	184	(23.6)	(23.6)
(欠損値)	0	(0.0)	(0.0)	1	(0.1)	—
1か月あたりの利用回数						
0-4回	314	(22.3)	(22.3)	143	(18.3)	(18.8)
5-9回	732	(51.9)	(51.9)	341	(43.7)	(44.8)
10-14回	298	(21.1)	(21.1)	166	(21.3)	(21.8)
15-19回	46	(3.3)	(3.3)	53	(6.8)	(7.0)
20-24回	17	(1.2)	(1.2)	26	(3.3)	(3.4)
25-29回	3	(0.2)	(0.2)	15	(1.9)	(2.0)
30-31回	0	(0.0)	(0.0)	17	(2.2)	(2.2)
(欠損値)	0	(0.0)	—	19	(2.4)	—
同居家族（複数回答可）						
独居						
(同居家族無し)	276	(19.6)	(19.6)	220	(28.2)	(28.2)
夫婦（配偶者）	581	(41.2)	(41.2)	214	(27.4)	(27.4)
子供	586	(41.6)	(41.6)	387	(49.6)	(49.6)
親	21	(1.5)	(1.5)	5	(0.6)	(0.6)
兄弟	10	(0.7)	(0.7)	9	(1.2)	(1.2)
親戚	9	(0.6)	(0.6)	4	(0.5)	(0.5)
その他	76	(5.4)	(5.4)	93	(11.9)	(11.9)
日中独居						
はい	562	(39.9)	(43.5)	413	(52.9)	(55.7)
いいえ	609	(43.2)	(47.1)	298	(38.2)	(40.2)
わからない	121	(8.6)	(9.4)	30	(3.8)	(4.0)
(欠損値)	118	(8.4)	—	39	(5.0)	—

表Ⅱ-1-② 通所リハ・通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査

	通所リハ (n=1,410)			通所介護 (n=780)		
	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)
要支援・要介護度						
要支援1	99	(7.0)	(7.0)	40	(5.1)	(5.1)
要支援2	198	(14.0)	(14.0)	80	(10.3)	(10.3)
要介護1	314	(22.3)	(22.3)	224	(28.7)	(28.7)
要介護2	364	(25.8)	(25.8)	219	(28.1)	(28.1)
要介護3	230	(16.3)	(16.3)	112	(14.4)	(14.4)
要介護4	141	(10.0)	(10.0)	71	(9.1)	(9.1)
要介護5	64	(4.5)	(4.5)	26	(3.3)	(3.3)
総合事業対象者	0	(0.0)	(0.0)	8	(1.0)	(1.0)
認知症高齢者の日常生活自立度						
自立	360	(25.5)	(26.5)	168	(21.5)	(24.8)
I	346	(24.5)	(25.4)	161	(20.6)	(23.7)
Ⅱa	273	(19.4)	(20.1)	90	(11.5)	(13.3)
Ⅱb	227	(16.1)	(16.7)	126	(16.2)	(18.6)
Ⅲa	87	(6.2)	(6.4)	74	(9.5)	(10.9)
Ⅲb	39	(2.8)	(2.9)	24	(3.1)	(3.5)
Ⅳ	27	(1.9)	(2.0)	18	(2.3)	(2.7)
M	2	(0.1)	(0.1)	17	(2.2)	(2.5)
不明・(欠損値)	49	(3.5)	—	102	(13.1)	—

表Ⅱ-1-③ 通所リハ・通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査

	通所リハ (n=1,410)			通所介護 (n=780)		
	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)
ADLバーサル						
0, 5点	15	(1.1)	(1.1)	18	(2.3)	(4.6)
10, 15点	18	(1.3)	(1.3)	6	(0.8)	(1.5)
20, 25点	19	(1.3)	(1.4)	5	(0.6)	(1.3)
30, 35点	29	(2.1)	(2.1)	12	(1.5)	(3.1)
40, 45点	49	(3.5)	(3.6)	15	(1.9)	(3.8)
50, 55点	67	(4.8)	(5.0)	29	(3.7)	(7.4)
60, 65点	101	(7.2)	(7.5)	36	(4.6)	(9.2)
70, 75点	141	(10.0)	(10.4)	40	(5.1)	(10.3)
80, 85点	328	(23.3)	(24.2)	73	(9.4)	(18.7)
90, 95点	377	(26.7)	(27.9)	78	(10.0)	(20.0)
100点	209	(14.8)	(15.4)	78	(10.0)	(20.0)
(欠損値)	57	(4.0)	—	390	(50.0)	—
ADLバーサル開始時からの変化量						
-85, -80点	1	(0.1)	(0.1)	1	(0.1)	(0.3)
-75, -70点	1	(0.1)	(0.1)	1	(0.1)	(0.3)
-65, -60点	0	(0.0)	(0.0)	1	(0.1)	(0.3)
-55, -50点	1	(0.1)	(0.1)	2	(0.3)	(0.6)
-45, -40点	6	(0.4)	(0.5)	6	(0.8)	(1.7)
-35, -30点	5	(0.4)	(0.4)	14	(1.8)	(3.9)
-25, -20点	27	(1.9)	(2.2)	16	(2.1)	(4.4)
-15, -10点	42	(3.0)	(3.4)	27	(3.5)	(7.5)
-5点	77	(5.5)	(6.2)	22	(2.8)	(6.1)
0点	802	(56.9)	(65.0)	212	(27.2)	(58.6)
5点	143	(10.1)	(11.6)	35	(4.5)	(9.7)
10, 15点	90	(6.4)	(7.3)	16	(2.1)	(4.4)
20, 25点	21	(1.5)	(1.7)	5	(0.6)	(1.4)
30, 35点	12	(0.9)	(1.0)	3	(0.4)	(0.8)
40, 45点	4	(0.3)	(0.3)	0	(0.0)	(0.0)
60, 65点	1	(0.1)	(0.1)	1	(0.1)	(0.3)
(欠損値)	177	(12.6)	—	418	(53.6)	—

表Ⅱ-1-④ 通所リハ・通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査

	通所リハ (n=1,410)			通所介護 (n=780)		
	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)
ADLバーサル4月からの変化量 (n=1052)				(n=752)		
-55, -50点	1	(0.1)	(0.1)	2	(0.3)	(0.7)
-45, -40点	2	(0.2)	(0.2)	0	(0.0)	(0.0)
-35, -30点	0	(0.0)	(0.0)	1	(0.1)	(0.3)
-25, -20点	6	(0.6)	(0.7)	1	(0.1)	(0.3)
-15, -10点	35	(3.3)	(3.8)	3	(0.4)	(1.0)
-5点	50	(4.8)	(5.4)	5	(0.7)	(1.7)
0点	740	(70.3)	(80.3)	263	(36.3)	(87.1)
5点	49	(4.7)	(5.3)	11	(1.5)	(3.6)
10, 15点	25	(2.4)	(2.7)	12	(1.7)	(4.0)
20, 25点	9	(0.9)	(1.0)	4	(0.6)	(1.3)
30, 35点	2	(0.2)	(0.2)	0	(0.0)	(0.0)
40, 45点	2	(0.2)	(0.2)	0	(0.0)	(0.0)
(欠損値)	131	(12.5)	—	423	(58.3)	—
FIM						
18-19点	0	(0.0)	(0.0)	1	(0.1)	(2.7)
20-29点	2	(0.1)	(0.9)	0	(0.0)	(0.0)
30-39点	3	(0.2)	(1.4)	1	(0.1)	(2.7)
40-49点	3	(0.2)	(1.4)	0	(0.0)	(0.0)
50-59点	5	(0.4)	(2.3)	0	(0.0)	(0.0)
60-69点	8	(0.6)	(3.7)	1	(0.1)	(2.7)
70-79点	15	(1.1)	(7.0)	3	(0.4)	(8.1)
80-89点	16	(1.1)	(7.4)	3	(0.4)	(8.1)
90-99点	38	(2.7)	(17.7)	3	(0.4)	(8.1)
100-109点	44	(3.1)	(20.5)	6	(0.8)	(16.2)
110-119点	53	(3.8)	(24.7)	12	(1.5)	(32.4)
120-126点	28	(2.0)	(13.0)	7	(0.9)	(18.9)
(欠損値)	1195	(84.8)	—	743	(95.3)	—

表Ⅱ-1-⑤ 通所リハ・通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査

	通所リハ (n=1,410)			通所介護 (n=780)		
	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)
FIM開始時からの変化量						
-29~-20点	3	(0.2)	(1.4)	0	(0.0)	(0.0)
-19~-10点	4	(0.3)	(1.9)	0	(0.0)	(0.0)
-9~-1点	29	(2.1)	(13.5)	2	(0.3)	(10.0)
0点	110	(7.8)	(51.2)	11	(1.4)	(55.0)
1~9点	62	(4.4)	(28.8)	7	(0.9)	(35.0)
10~19点	4	(0.3)	(1.9)	0	(0.0)	(0.0)
20~29点	3	(0.2)	(1.4)	0	(0.0)	(0.0)
(欠損値)	1195	(84.8)	—	760	(97.4)	—
FIM4月からの変化量						
	(n=1378)			(n=775)		
-19~-10点	2	(0.1)	(1.1)	0	(0.0)	(0.0)
-9~-1点	20	(1.5)	(10.9)	1	(0.1)	(5.6)
0点	124	(9.0)	(67.8)	15	(1.9)	(83.3)
1~9点	33	(2.4)	(18.0)	2	(0.3)	(11.1)
10~19点	3	(0.2)	(1.6)	0	(0.0)	(0.0)
20~29点	1	(0.1)	(0.5)	0	(0.0)	(0.0)
(欠損値)	1195	(86.7)	—	757	(97.7)	—
IADL						
0点	156	(11.1)	(14.0)	5	(0.6)	(5.1)
1-9点	477	(33.8)	(42.8)	67	(8.6)	(68.4)
10-19点	277	(19.6)	(24.8)	19	(2.4)	(19.4)
20-29点	136	(9.6)	(12.2)	7	(0.9)	(7.1)
30-39点	56	(4.0)	(5.0)	0	(0.0)	(0.0)
40-45点	13	(0.9)	(1.2)	0	(0.0)	(0.0)
(欠損値)	295	(20.9)	—	682	(87.4)	—

表Ⅱ-1-⑥ 通所リハ・通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査

	通所リハ (n=1,410)			通所介護 (n=780)		
	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)
IADL開始時からの変化量						
-39~-30点	1	(0.1)	(0.1)	0	(0.0)	(0.0)
-29~-20点	2	(0.1)	(0.2)	0	(0.0)	(0.0)
-19~-10点	12	(0.9)	(1.1)	0	(0.0)	(0.0)
-9~-1点	84	(6.0)	(7.9)	11	(1.4)	(15.1)
0点	636	(45.1)	(59.7)	51	(6.5)	(69.9)
1-9点	294	(20.9)	(27.6)	11	(1.4)	(15.1)
10-19点	34	(2.4)	(3.2)	0	(0.0)	(0.0)
20-29点	3	(0.2)	(0.3)	0	(0.0)	(0.0)
(欠損値)	344	(24.4)	—	707	(90.6)	—
IADL4月からの変化量						
	(n=1159)			(n=769)		
-29~-20点	1	(0.1)	(0.1)	0	(0.0)	(0.0)
-19~-10点	6	(0.5)	(0.7)	0	(0.0)	(0.0)
-9~-1点	72	(6.2)	(8.4)	2	(0.3)	(3.2)
0点	665	(57.4)	(77.6)	59	(7.7)	(95.2)
1-9点	101	(8.7)	(11.8)	1	(0.1)	(1.6)
10-19点	11	(0.9)	(1.3)	0	(0.0)	(0.0)
20-29点	1	(0.1)	(0.1)	0	(0.0)	(0.0)
(欠損値)	302	(26.1)	—	707	(91.9)	—

表Ⅱ-1-⑦ 通所リハ・通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査

	通所リハ (n=1,410)			通所介護 (n=780)		
	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)
貴通所サービスでの食事提供						
あり	1,077	(76.4)	(76.8)	752	(96.4)	(96.9)
なし	325	(23.0)	(23.2)	24	(3.1)	(3.1)
(欠損値)	8	(0.6)	—	4	(0.5)	—
食事提供ありにおいて						
	(n=1,077)			(n=752)		
⇒貴通所サービスでの食事形態 (複数回答)						
普通食	848	(78.7)	(78.7)	612	(81.4)	(81.4)
きざみ/軟菜食	189	(17.5)	(17.5)	96	(12.8)	(12.8)
えんげ調整食	36	(3.3)	(3.3)	35	(4.7)	(4.7)
経管	0	(0.0)	(0.0)	2	(0.3)	(0.3)
わからない	10	(0.9)	(0.9)	8	(1.1)	(1.1)
⇒貴通所サービスでの食事摂取割合						
7割以上	1,009	(93.7)	(93.9)	700	(93.1)	(93.3)
6割以下	64	(5.9)	(6.0)	50	(6.6)	(6.7)
わからない	2	(0.2)	(0.2)	0	(0.0)	(0.0)
(欠損値)	2	(0.2)	—	2	(0.3)	—
⇒とろみ剤の使用 (お茶や汁物)						
あり	95	(8.8)	(8.8)	59	(7.8)	(7.9)
なし	981	(91.1)	(91.2)	692	(92.0)	(92.1)
(欠損値)	1	(0.1)	—	1	(0.1)	—
⇒食事の際に奥歯で (義歯でも可) 噛みしめている						
はい	910	(84.5)	(84.7)	587	(78.1)	(83.6)
いいえ	103	(9.6)	(9.6)	75	(10.0)	(10.7)
わからない	62	(5.8)	(5.8)	40	(5.3)	(5.7)
(欠損値)	2	(0.2)	—	50	(6.6)	—
⇒食事中にむせたり咳き込んだりすることがある						
はい	195	(18.1)	(18.2)	86	(11.4)	(11.5)
いいえ	853	(79.2)	(79.4)	663	(88.2)	(88.3)
わからない	26	(2.4)	(2.4)	2	(0.3)	(0.3)
(欠損値)	3	(0.3)	—	1	(0.1)	—
⇒食事介助						
全面介助	20	(1.9)	(1.9)	20	(2.7)	(2.7)
一部介助	68	(6.3)	(6.5)	140	(18.6)	(18.8)
自力摂取	965	(89.6)	(91.6)	584	(77.7)	(78.5)
(欠損値)	24	(2.2)	—	8	(1.1)	—

表Ⅱ-1-⑧ 通所リハ・通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査

	通所リハ (n=1,410)			通所介護 (n=780)		
	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)
BMI18.5kg/m ² 未満						
18.5kg/m ² 以上	1,131	(80.2)	(87.6)	445	(57.1)	(80.6)
18.5kg/m ² 未満	160	(11.3)	(12.4)	107	(13.7)	(19.4)
(欠損値)	119	(8.4)	—	228	(29.2)	—
BMI25kg/m ² 以上						
25kg/m ² 未満	918	(65.1)	(71.1)	445	(57.1)	(80.6)
25kg/m ² 以上	373	(26.5)	(28.9)	107	(13.7)	(19.4)
(欠損値)	119	(8.4)	—	228	(29.2)	—
BMI30kg/m ² 以上						
30kg/m ² 未満	1,221	(86.6)	(94.6)	532	(68.2)	(96.4)
30kg/m ² 以上	70	(5.0)	(5.4)	20	(2.6)	(3.6)
(欠損値)	119	(8.4)	—	228	(29.2)	—
褥瘡						
あり	12	(0.9)	(0.9)	9	(1.2)	(1.2)
なし	1,306	(92.6)	(99.1)	747	(95.8)	(98.8)
(欠損値)	92	(6.5)	—	24	(3.1)	—
自分で買い物へ出かけている (概ね週1回以上)						
はい	301	(21.3)	(21.4)	132	(16.9)	(17.0)
いいえ	1,034	(73.3)	(73.5)	579	(74.2)	(74.7)
わからない	72	(5.1)	(5.1)	64	(8.2)	(8.3)
(欠損値)	3	(0.2)	—	5	(0.6)	—
自宅等では食事を自分で作っている (概ね週1回以上)						
はい	363	(25.7)	(25.8)	123	(15.8)	(16.2)
いいえ	989	(70.1)	(70.2)	567	(72.7)	(74.8)
わからない	56	(4.0)	(4.0)	68	(8.7)	(9.0)
(欠損値)	2	(0.1)	—	22	(2.8)	—
自宅等では一緒に食事を食べる人がいる (概ね週1回以上)						
はい	1,117	(79.2)	(79.4)	546	(70.0)	(71.9)
いいえ	261	(18.5)	(18.6)	184	(23.6)	(24.2)
わからない	29	(2.1)	(2.1)	29	(3.7)	(3.8)
(欠損値)	3	(0.2)	—	21	(2.7)	—

表Ⅱ-1-⑨ 通所リハ・通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査

	通所リハ (n=1,410)			通所介護 (n=780)		
	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)
体重開始時からの変化量						
-25kg<x<=-20kg	0	(0.0)	(0.0)	1	(0.1)	(0.2)
-20kg<x<=-15kg	3	(0.2)	(0.3)	3	(0.4)	(0.5)
-15kg<x<=-10kg	17	(1.2)	(1.4)	9	(1.2)	(1.6)
-10kg<x<=-5kg	69	(4.9)	(5.8)	56	(7.2)	(9.8)
-5kg<x<=-2kg	188	(13.3)	(15.7)	99	(12.7)	(17.3)
-2kg<x<2kg	615	(43.6)	(51.4)	253	(32.4)	(44.2)
2kg<=x<5kg	191	(13.5)	(16.0)	93	(11.9)	(16.3)
5kg<=x<10kg	80	(5.7)	(6.7)	42	(5.4)	(7.3)
10kg<=x<15kg	26	(1.8)	(2.2)	10	(1.3)	(1.7)
15kg<=x<20kg	4	(0.3)	(0.3)	3	(0.4)	(0.5)
20kg<=x<25kg	3	(0.2)	(0.3)	3	(0.4)	(0.5)
35kg<=x<40kg	1	(0.1)	(0.1)	0	(0.0)	(0.0)
(欠損値)	213	(15.1)	—	208	(26.7)	—
体重開始時からの変化率						
-35%<x<=-30%	1	(0.1)	(0.1)	1	(0.1)	(0.2)
-30%<x<=-25%	1	(0.1)	(0.1)	5	(0.6)	(0.9)
-25%<x<=-20%	11	(0.8)	(0.9)	5	(0.6)	(0.9)
-20%<x<=-15%	17	(1.2)	(1.4)	11	(1.4)	(1.9)
-15%<x<=-10%	48	(3.4)	(4.0)	38	(4.9)	(6.6)
-10%<x<=-5%	126	(8.9)	(10.5)	82	(10.5)	(14.3)
-5%<x<=-3%	113	(8.0)	(9.4)	45	(5.8)	(7.9)
-3%<x<3%	544	(38.6)	(45.4)	220	(28.2)	(38.5)
3%<=x<5%	92	(6.5)	(7.7)	42	(5.4)	(7.3)
5%<=x<10%	138	(9.8)	(11.5)	60	(7.7)	(10.5)
10%<=x<15%	44	(3.1)	(3.7)	23	(2.9)	(4.0)
15%<=x<20%	34	(2.4)	(2.8)	20	(2.6)	(3.5)
20%<=x<25%	11	(0.8)	(0.9)	8	(1.0)	(1.4)
25%<=x<30%	8	(0.6)	(0.7)	3	(0.4)	(0.5)
35%<=x<40%	3	(0.2)	(0.3)	4	(0.5)	(0.7)
35%<=x<40%	3	(0.2)	(0.3)	1	(0.1)	(0.2)
40%<=x<45%	1	(0.1)	(0.1)	2	(0.3)	(0.3)
45%<=x<50%	1	(0.1)	(0.1)	0	(0.0)	(0.0)
50%<=x<55%	0	(0.0)	(0.0)	2	(0.3)	(0.3)
100%<=x<105%	1	(0.1)	(0.1)	0	(0.0)	(0.0)
(欠損値)	213	(15.1)	—	208	(26.7)	—

表Ⅱ-1-⑩ 通所リハ・通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査

	通所リハ (n=1,410)			通所介護 (n=780)		
	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)
体重4月からの変化量(n=1053)				(n=668)		
-15kg<x<=-10kg	3	(0.3)	(0.3)	2	(0.3)	(0.3)
-10kg<x<=-5kg	19	(1.8)	(2.0)	17	(2.5)	(2.8)
-5kg<x<=-2kg	155	(14.7)	(16.5)	103	(15.4)	(16.9)
-2kg<x<2kg	659	(62.6)	(70.0)	388	(58.1)	(63.8)
2kg<=x<5kg	89	(8.5)	(9.4)	84	(12.6)	(13.8)
5kg<=x<10kg	13	(1.2)	(1.4)	13	(1.9)	(2.1)
10kg<=x<15kg	2	(0.2)	(0.2)	1	(0.1)	(0.2)
15kg<=x<20kg	1	(0.1)	(0.1)	0	(0.0)	(0.0)
20kg<=x<25kg	1	(0.1)	(0.1)	0	(0.0)	(0.0)
(欠損値)	111	(10.5)	—	60	(9.0)	—
体重4月からの変化率 (n=1053)				(n=668)		
-25%<x<=-20%	0	(0.0)	(0.0)	2	(0.3)	(0.3)
-20%<x<=-15%	5	(0.5)	(0.5)	5	(0.7)	(0.8)
-15%<x<=-10%	15	(1.4)	(1.6)	11	(1.6)	(1.8)
-10%<x<=-5%	83	(7.9)	(8.8)	62	(9.3)	(10.2)
-5%<x<=-3%	119	(11.3)	(12.6)	75	(11.2)	(12.3)
-3%<x<3%	576	(54.7)	(61.1)	331	(49.6)	(54.4)
3%<=x<5%	75	(7.1)	(8.0)	64	(9.6)	(10.5)
5%<=x<10%	51	(4.8)	(5.4)	42	(6.3)	(6.9)
10%<=x<15%	10	(0.9)	(1.1)	12	(1.8)	(2.0)
15%<=x<20%	5	(0.5)	(0.5)	2	(0.3)	(0.3)
20%<=x<25%	1	(0.1)	(0.1)	1	(0.1)	(0.2)
25%<=x<30%	1	(0.1)	(0.1)	1	(0.1)	(0.2)
35%<=x<40%	1	(0.1)	(0.1)	0	(0.0)	(0.0)
(欠損値)	111	(10.5)	—	60	(9.0)	—

表Ⅱ-1-⑪ 通所リハ・通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査

	通所リハ (n=1,410)			通所介護 (n=780)		
	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)
通所サービス利用開始からの日数						
30日以内	74	(5.2)	(5.4)	12	(1.5)	(1.7)
1か月以上	212	(15.0)	(15.5)	84	(10.8)	(11.7)
6か月以内						
6か月以上	226	(16.0)	(16.5)	122	(15.6)	(16.9)
1年以内						
1年以上2年以内	251	(17.8)	(18.3)	166	(21.3)	(23.0)
2年以上3年以内	170	(12.1)	(12.4)	83	(10.6)	(11.5)
3年以上4年以内	136	(9.6)	(9.9)	80	(10.3)	(11.1)
4年以上5年以内	96	(6.8)	(7.0)	56	(7.2)	(7.8)
5年以上10年以内	158	(11.2)	(11.5)	99	(12.7)	(13.7)
10年以上	45	(3.2)	(3.3)	19	(2.4)	(2.6)
(欠損値)	42	(3.0)	—	59	(7.6)	—
利用開始前の状況						
在宅	866	(61.4)	(62.7)	500	(64.1)	(80.9)
入院	433	(30.7)	(31.4)	79	(10.1)	(12.8)
施設入所	80	(5.7)	(5.8)	38	(4.9)	(6.1)
その他	2	(0.1)	(0.1)	1	(0.1)	(0.2)
(欠損値)	29	(2.1)	—	162	(20.8)	—
サービス利用開始時BMI18.5kg/m ² 以上						
18.5kg/m ² 以上	1,014	(71.9)	(88.4)	328	(42.1)	(77.9)
18.5kg/m ² 未満	133	(9.4)	(11.6)	93	(11.9)	(22.1)
(欠損値)	263	(18.7)	—	359	(46.0)	—
サービス利用開始時BMI25kg/m ² 以上						
25kg/m ² 未満	844	(59.9)	(73.6)	343	(44.0)	(81.5)
25kg/m ² 以上	303	(21.5)	(26.4)	78	(10.0)	(18.5)
(欠損値)	263	(18.7)	—	359	(46.0)	—
サービス利用開始時BMI30kg/m ² 以上						
30kg/m ² 未満	1,068	(75.7)	(94.4)	407	(52.2)	(97.1)
30kg/m ² 以上	63	(4.5)	(5.6)	12	(1.5)	(2.9)
(欠損値)	279	(19.8)	—	361	(46.3)	—

表Ⅱ-1-⑫ 通所リハ・通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査

	通所リハ (n=1,410)			通所介護 (n=780)		
	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)
2018年4月末時点でサービス利用						
利用あり	1,039	(73.7)	(76.4)	656	(84.1)	(85.3)
利用なし	321	(22.8)	(23.6)	113	(14.5)	(14.7)
(欠損値)	50	(3.5)	—	11	(1.4)	—
2018年4月末時点でサービス利用ありにおいて						
	(n=1039)			(n=656)		
⇒2018年4月末日時点のBMI18.5kg/m ² 未満						
18.5kg/m ² 以上	797	(76.7)	(89.3)	378	(57.6)	(82.2)
18.5kg/m ² 未満	95	(9.1)	(10.7)	82	(12.5)	(17.8)
(欠損値)	147	(14.1)	—	196	(29.9)	—
⇒2018年4月末日時点のBMI25kg/m ² 以上						
25kg/m ² 未満	617	(59.4)	(69.2)	364	(55.5)	(79.1)
25kg/m ² 以上	275	(26.5)	(30.8)	96	(14.6)	(20.9)
(欠損値)	147	(14.1)	—	196	(29.9)	—
⇒2018年4月末日時点のBMI30kg/m ² 以上						
30kg/m ² 未満	839	(80.8)	(94.1)	444	(67.7)	(96.5)
30kg/m ² 以上	53	(5.1)	(5.9)	16	(2.4)	(3.5)
(欠損値)	147	(14.1)	—	196	(29.9)	—
管理栄養士との関わり						
関わりあり	600	(42.6)	(42.6)	218	(27.9)	(28.3)
関わりなし	809	(57.4)	(57.4)	553	(70.9)	(71.7)
(欠損値)	1	(0.1)	—	9	(1.2)	—
管理栄養士との関わりありにおいて						
	(n=600)			(n=218)		
⇒管理栄養士の関わり内容 (複数回答可)						
食事の観察 (ミー ルラウンド)	330	(55.0)	(55.0)	188	(86.2)	(86.2)
食事の個別調整	83	(13.8)	(13.8)	37	(17.0)	(17.0)
栄養相談	90	(15.0)	(15.0)	16	(7.3)	(7.3)
自宅訪問	6	(1.0)	(1.0)	1	(0.5)	(0.5)
その他	148	(24.7)	(24.7)	0	(0.0)	(0.0)

表Ⅱ-1-⑬ 通所リハ・通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査

	通所リハ (n=1,410)			通所介護 (n=780)		
	n	(%)	有効(%)	n	(%)	有効(%)
栄養改善加算の算定 (2018年4-10月)						
算定あり	14	(1.0)	(1.0)	3	(0.4)	(0.4)
算定なし	1,354	(96.0)	(99.0)	769	(98.6)	(99.6)
(欠損値)	42	(3.0)	—	8	(1.0)	—
リハビリテーション・マネジメント加算 (I～IV複数回答者あり)						
算定なし	109	(7.7)	(7.7)	—	—	—
I	954	(67.7)	(67.7)	—	—	—
II	6	(0.4)	(0.4)	—	—	—
III	328	(23.3)	(23.3)	—	—	—
IV	15	(1.1)	(1.1)	—	—	—
個別機能訓練加算						
算定なし	—	—	—	366	(46.9)	(46.9)
I	—	—	—	81	(10.4)	(10.4)
II	—	—	—	171	(21.9)	(21.9)
I・II両方	—	—	—	162	(20.8)	(20.8)
2018年4-10月発生のイベント (複数回答可)						
入院	174	(12.3)	(12.3)	66	(8.5)	(8.5)
施設入所	39	(2.8)	(2.8)	13	(1.7)	(1.7)
要介護度の重症化	20	(1.4)	(1.4)	24	(3.1)	(3.1)
利用中止	23	(1.6)	(1.6)	8	(1.0)	(1.0)
特になし	1,165	(82.6)	(82.6)	680	(87.2)	(87.2)

表Ⅱ-2a-① 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（要介護度別）

通所リハ (n=1410)	非認定・要支援		要介護1,2		要介護3-5		合計		(χ ² 検定) p値
	n=297		n=678		n=436		n=1410		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
記入者									
管理者	28	(24.8)	129	(40.6)	61	(37.2)	218	(36.6)	0.011
他の職員	85	(75.2)	189	(59.4)	103	(62.8)	377	(63.4)	
性別									
男性	88	(29.8)	283	(42.6)	195	(45.2)	566	(40.7)	0.000
女性	207	(70.2)	381	(57.4)	236	(54.8)	824	(59.3)	
年齢階級									
65歳未満	10	(3.4)	23	(3.4)	28	(6.4)	61	(4.3)	0.000
65-69歳	6	(2.0)	31	(4.6)	39	(9.0)	76	(5.4)	
70-79歳	88	(29.6)	169	(24.9)	112	(25.7)	369	(26.2)	
80-89歳	154	(51.9)	316	(46.6)	173	(39.8)	643	(45.6)	
90歳以上	39	(13.1)	139	(20.5)	83	(19.1)	261	(18.5)	
1か月あたりの利用回数									
0-4回	101	(34.0)	127	(18.7)	86	(19.8)	314	(22.3)	0.000
5-9回	179	(60.3)	337	(49.7)	216	(49.7)	732	(51.9)	
10-14回	16	(5.4)	180	(26.5)	102	(23.4)	298	(21.1)	
15-19回	0	(0.0)	25	(3.7)	21	(4.8)	46	(3.3)	
20-24回	1	(0.3)	9	(1.3)	7	(1.6)	17	(1.2)	
25-29回	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(0.7)	3	(0.2)	
同居家族（複数回答可）									
独居（同居家族なし）	101	(34.0)	137	(20.2)	38	(8.7)	276	(19.6)	0.000
夫婦	100	(33.7)	267	(39.4)	214	(49.2)	581	(41.2)	
子供	108	(36.4)	293	(43.2)	185	(42.5)	586	(41.6)	0.120
親	5	(1.7)	8	(1.2)	8	(1.8)	21	(1.5)	
兄弟	0	(0.0)	6	(0.9)	4	(0.9)	10	(0.7)	0.260
親戚	1	(0.3)	7	(1.0)	1	(0.2)	9	(0.6)	
その他	12	(4.0)	34	(5.0)	30	(6.9)	76	(5.4)	0.204
日中独居									
はい	170	(58.2)	286	(46.1)	106	(27.9)	562	(43.5)	0.000
いいえ	104	(35.6)	279	(45.0)	226	(59.5)	609	(47.1)	
わからない	18	(6.2)	55	(8.9)	48	(12.6)	121	(9.4)	
要支援、要介護度									
要支援1	99	(33.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	99	(7.0)	0.000
要支援2	198	(66.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	198	(14.0)	
要介護1	0	(0.0)	314	(46.3)	0	(0.0)	314	(22.3)	
要介護2	0	(0.0)	364	(53.7)	0	(0.0)	364	(25.8)	
要介護3	0	(0.0)	0	(0.0)	230	(52.9)	230	(16.3)	
要介護4	0	(0.0)	0	(0.0)	141	(32.4)	141	(10.0)	
要介護5	0	(0.0)	0	(0.0)	64	(14.7)	64	(4.5)	
認知症高齢者の日常生活自立度									
自立	141	(47.6)	147	(22.4)	72	(17.6)	360	(26.5)	0.000
I	86	(29.1)	187	(28.5)	73	(17.8)	346	(25.4)	
II a	42	(14.2)	146	(22.3)	85	(20.8)	273	(20.1)	
II b	26	(8.8)	115	(17.5)	86	(21.0)	227	(16.7)	
III a	1	(0.3)	33	(5.0)	53	(13.0)	87	(6.4)	
III b	0	(0.0)	17	(2.6)	22	(5.4)	39	(2.9)	
IV	0	(0.0)	11	(1.7)	16	(3.9)	27	(2.0)	
M	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(0.5)	2	(0.1)	

表Ⅱ-2a-② 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（要介護度別）

通所リハ (n=1410)	非認定・要支援		要介護1,2		要介護3-5		合計		(χ ² 検定) p値
	n=297		n=678		n=436		n=1410		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
食事の提供									
食事提供あり	151	(51.0)	539	(80.0)	387	(89.6)	1077	(76.8)	0.000
食事形態（複数回答）									
普通食	139	(92.1)	458	(85.0)	251	(64.9)	848	(78.7)	0.000
きざみ／軟菜食	10	(6.6)	69	(12.8)	110	(28.4)	189	(17.5)	0.000
えんげ調整食	2	(1.3)	10	(1.9)	24	(6.2)	36	(3.3)	0.000
経管	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	-
わからない	0	(0.0)	5	(0.9)	5	(1.3)	10	(0.9)	0.373
食事摂取割合									
7割以上	148	(98.0)	511	(95.2)	350	(90.4)	1009	(93.9)	
6割以下	3	(2.0)	25	(4.7)	36	(9.3)	64	(6.0)	
わからない	0	(0.0)	1	(0.2)	1	(0.3)	2	(0.2)	0.007
とろみ剤									
あり	3	(2.0)	25	(4.6)	67	(17.3)	95	(8.8)	0.000
食事の際に奥歯で（義歯でも可）噛みしめている									
はい	141	(93.4)	460	(85.5)	309	(80.1)	910	(84.7)	0.003
いいえ	5	(3.3)	48	(8.9)	50	(13.0)	103	(9.6)	
わからない	5	(3.3)	30	(5.6)	27	(7.0)	62	(5.8)	
食事中にむせたり咳き込んだりすることがある									
はい	7	(4.6)	78	(14.6)	110	(28.4)	195	(18.2)	0.000
いいえ	142	(94.0)	448	(83.6)	263	(68.0)	853	(79.4)	
わからない	2	(1.3)	10	(1.9)	14	(3.6)	26	(2.4)	
食事介助									
全面介助	0	(0.0)	1	(0.2)	19	(5.0)	20	(1.9)	0.000
一部介助	0	(0.0)	14	(2.7)	54	(14.3)	68	(6.5)	
自力	150	(100.0)	511	(97.1)	304	(80.6)	965	(91.6)	
BMI									
18.5kg/m ² 未満	26	(9.3)	78	(12.5)	56	(14.4)	160	(12.4)	0.139
25kg/m ² 以上	87	(31.1)	182	(29.3)	104	(26.7)	373	(28.9)	0.456
30kg/m ² 以上	12	(4.3)	31	(5.0)	27	(6.9)	70	(5.4)	0.261

表Ⅱ-2a-③ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（要介護度別）

通所リハ (n=1410)	非認定・要支援		要介護1,2		要介護3-5		合計		(χ ² 検定) p値
	n=297		n=678		n=436		n=1410		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
体重開始時からの変化量									
-20<x<=-15kg	0	(0.0)	2	(0.3)	1	(0.3)	3	(0.3)	0.000
-15<x<=-10kg	0	(0.0)	9	(1.5)	8	(2.3)	17	(1.4)	
-10<x<=-5kg	8	(3.1)	43	(7.2)	18	(5.3)	69	(5.8)	
-5<x<=-2kg	40	(15.4)	98	(16.4)	50	(14.7)	188	(15.7)	
-2<x<2kg	153	(58.8)	312	(52.3)	150	(44.0)	615	(51.4)	
2<=x<5kg	49	(18.8)	82	(13.8)	60	(17.6)	191	(16.0)	
5<=x<10kg	6	(2.3)	32	(5.4)	42	(12.3)	80	(6.7)	
10<=x<15kg	4	(1.5)	14	(2.3)	8	(2.3)	26	(2.2)	
15<=x<20kg	0	(0.0)	3	(0.5)	1	(0.3)	4	(0.3)	
20<=x<25kg	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(0.9)	3	(0.3)	
35<=x<40kg	0	(0.0)	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.1)	
体重開始時からの変化率									
-35<x<=-30%	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.1)	0.001
-30<x<=-25%	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.1)	
-25<x<=-20%	0	(0.0)	6	(1.0)	5	(1.5)	11	(0.9)	
-20<x<=-15%	2	(0.8)	12	(2.0)	3	(0.9)	17	(1.4)	
-15<x<=-10%	4	(1.5)	29	(4.9)	15	(4.4)	48	(4.0)	
-10<x<=-5%	26	(10.0)	66	(11.1)	34	(10.0)	126	(10.5)	
-5<x<=-3%	24	(9.2)	56	(9.4)	33	(9.7)	113	(9.4)	
-3<x<3%	138	(53.1)	277	(46.5)	129	(37.8)	544	(45.4)	
3<=x<5%	26	(10.0)	46	(7.7)	20	(5.9)	92	(7.7)	
5<=x<10%	30	(11.5)	60	(10.1)	48	(14.1)	138	(11.5)	
10<=x<15%	1	(0.4)	19	(3.2)	24	(7.0)	44	(3.7)	
15<=x<20%	6	(2.3)	12	(2.0)	16	(4.7)	34	(2.8)	
20<=x<25%	2	(0.8)	5	(0.8)	4	(1.2)	11	(0.9)	
25<=x<30%	0	(0.0)	3	(0.5)	5	(1.5)	8	(0.7)	
30<=x<35%	1	(0.4)	2	(0.3)	0	(0.0)	3	(0.3)	
35<=x<40%	0	(0.0)	2	(0.3)	1	(0.3)	3	(0.3)	
40<=x<45%	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.1)	
45<=x<50%	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.1)	
100<=x<105%	0	(0.0)	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.1)	

表 II-2a-④ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（要介護度別）

通所リハ (n=1410)	非認定・要支援		要介護1,2		要介護3-5		合計		(χ ² 検定) p値
	n=297		n=678		n=436		n=1410		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
体重4月からの変化量									
-15<x<=-10kg	0	(0.0)	2	(0.4)	1	(0.3)	3	(0.3)	0.741
-10<x<=-5kg	1	(0.6)	9	(1.9)	9	(3.0)	19	(2.0)	
-5<x<=-2kg	30	(16.9)	73	(15.6)	52	(17.5)	155	(16.5)	
-2<x<2kg	130	(73.0)	327	(70.0)	202	(68.0)	659	(70.0)	
2<=x<5kg	13	(7.3)	48	(10.3)	28	(9.4)	89	(9.4)	
5<=x<10kg	3	(1.7)	7	(1.5)	3	(1.0)	13	(1.4)	
10<=x<15kg	1	(0.6)	0	(0.0)	1	(0.3)	2	(0.2)	
15<=x<20kg	0	(0.0)	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.1)	
20<=x<25kg	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.1)	
体重4月からの変化率									
-20<x<=-15%	1	(0.6)	3	(0.6)	1	(0.3)	5	(0.5)	0.308
-15<x<=-10%	0	(0.0)	9	(1.9)	6	(2.0)	15	(1.6)	
-10<x<=-5%	10	(5.6)	41	(8.8)	32	(10.8)	83	(8.8)	
-5<x<=-3%	20	(11.2)	55	(11.8)	44	(14.8)	119	(12.6)	
-3<x<3%	119	(66.9)	286	(61.2)	171	(57.6)	576	(61.1)	
3<=x<5%	19	(10.7)	34	(7.3)	22	(7.4)	75	(8.0)	
5<=x<10%	6	(3.4)	30	(6.4)	15	(5.1)	51	(5.4)	
10<=x<15%	2	(1.1)	4	(0.9)	4	(1.3)	10	(1.1)	
15<=x<20%	0	(0.0)	4	(0.9)	1	(0.3)	5	(0.5)	
20<=x<25%	1	(0.6)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.1)	
25<=x<30%	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.1)	
35<=x<40%	0	(0.0)	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.1)	
褥瘡									
あり	0	(0.0)	2	(0.3)	10	(2.5)	12	(0.9)	0.000

表 II -2a-⑤ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（要介護度別）

通所リハ (n=1410)	非認定・要支援		要介護1,2		要介護3-5		合計		(χ ² 検定) p 値	
	n=297		n=678		n=436		n=1410			
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)		
ADLバーサル										
0, 5点	0	(0.0)	0	(0.0)	15	(3.6)	15	(1.1)	0.000	
10, 15点	0	(0.0)	1	(0.2)	17	(4.1)	18	(1.3)		
20, 25点	0	(0.0)	3	(0.5)	16	(3.8)	19	(1.4)		
30, 35点	0	(0.0)	1	(0.2)	28	(6.7)	29	(2.1)		
40, 45点	0	(0.0)	3	(0.5)	46	(11.0)	49	(3.6)		
50, 55点	0	(0.0)	16	(2.5)	51	(12.2)	67	(5.0)		
60, 65点	2	(0.7)	46	(7.0)	53	(12.7)	101	(7.5)		
70, 75点	5	(1.8)	75	(11.5)	61	(14.6)	141	(10.4)		
80, 85点	36	(12.8)	216	(33.1)	76	(18.2)	328	(24.2)		
90, 95点	130	(46.1)	205	(31.4)	42	(10.0)	377	(27.9)		
100点	109	(38.7)	87	(13.3)	13	(3.1)	209	(15.4)		
バーサル開始時からの変化量										
-80, 85点	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.1)	0.000	
-70, 75点	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.1)		
-50, 55点	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.1)		
-40, 45点	1	(0.4)	0	(0.0)	5	(1.4)	6	(0.5)		
-30, 35点	0	(0.0)	2	(0.3)	3	(0.8)	5	(0.4)		
-20, 25点	0	(0.0)	12	(2.0)	15	(4.1)	27	(2.2)		
-10, -15点	3	(1.1)	24	(4.0)	15	(4.1)	42	(3.4)		
-5点	9	(3.3)	47	(7.9)	21	(5.7)	77	(6.2)		
0点	201	(74.7)	378	(63.6)	223	(60.3)	802	(65.0)		
5点	34	(12.6)	60	(10.1)	49	(13.2)	143	(11.6)		
10, 15点	19	(7.1)	48	(8.1)	23	(6.2)	90	(7.3)		
20, 25点	1	(0.4)	16	(2.7)	4	(1.1)	21	(1.7)		
30, 35点	1	(0.4)	5	(0.8)	6	(1.6)	12	(1.0)		
40, 45点	0	(0.0)	1	(0.2)	3	(0.8)	4	(0.3)		
60, 65点	0	(0.0)	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.1)		
バーサル4月からの変化量										
-50, 55点	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.1)		0.045
-40, 45点	1	(0.5)	0	(0.0)	1	(0.3)	2	(0.2)		
-20, 25点	0	(0.0)	2	(0.4)	4	(1.4)	6	(0.7)		
-10, -15点	3	(1.6)	19	(4.3)	13	(4.5)	35	(3.8)		
-5点	4	(2.2)	33	(7.4)	13	(4.5)	50	(5.4)		
0点	164	(88.2)	343	(77.1)	233	(80.3)	740	(80.3)		
5点	8	(4.3)	27	(6.1)	14	(4.8)	49	(5.3)		
10, 15点	6	(3.2)	12	(2.7)	7	(2.4)	25	(2.7)		
20, 25点	0	(0.0)	7	(1.6)	2	(0.7)	9	(1.0)		
30, 35点	0	(0.0)	2	(0.4)	0	(0.0)	2	(0.2)		
40, 45点	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(0.7)	2	(0.2)		

表 II -2a-⑥ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（要介護度別）

通所リハ (n=1410)	非認定・要支援		要介護1,2		要介護3-5		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=297		n=678		n=436		n=1410		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
FIM									
20-29点	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(4.4)	2	(0.9)	0.000
30-39点	0	(0.0)	1	(0.7)	2	(4.4)	3	(1.4)	
40-49点	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(6.7)	3	(1.4)	
50-59点	0	(0.0)	1	(0.7)	4	(8.9)	5	(2.3)	
60-69点	0	(0.0)	4	(2.9)	4	(8.9)	8	(3.7)	
70-79点	0	(0.0)	8	(5.7)	7	(15.6)	15	(7.0)	
80-89点	0	(0.0)	11	(7.9)	5	(11.1)	16	(7.4)	
90-99点	0	(0.0)	29	(20.7)	9	(20.0)	38	(17.7)	
100-109点	3	(10.0)	35	(25.0)	6	(13.3)	44	(20.5)	
110-119点	12	(40.0)	38	(27.1)	3	(6.7)	53	(24.7)	
120-126点	15	(50.0)	13	(9.3)	0	(0.0)	28	(13.0)	
FIM開始時からの変化量									
-29~-20点	0	(0.0)	2	(1.4)	1	(2.2)	3	(1.4)	0.159
-19~-10点	0	(0.0)	2	(1.4)	2	(4.4)	4	(1.9)	
-9~-1点	2	(6.7)	24	(17.1)	3	(6.7)	29	(13.5)	
0点	22	(73.3)	69	(49.3)	19	(42.2)	110	(51.2)	
1~9点	6	(20.0)	37	(26.4)	19	(42.2)	62	(28.8)	
10~19点	0	(0.0)	3	(2.1)	1	(2.2)	4	(1.9)	
20~29点	0	(0.0)	3	(2.1)	0	(0.0)	3	(1.4)	
FIM4月からの変化量									
-19~-10点	0	(0.0)	2	(1.7)	0	(0.0)	2	(1.1)	0.481
-9~-1点	1	(3.8)	16	(13.3)	3	(8.1)	20	(10.9)	
0点	22	(84.6)	78	(65.0)	24	(64.9)	124	(67.8)	
1~9点	2	(7.7)	21	(17.5)	10	(27.0)	33	(18.0)	
10~19点	1	(3.8)	2	(1.7)	0	(0.0)	3	(1.6)	
20~29点	0	(0.0)	1	(0.8)	0	(0.0)	1	(0.5)	
IADL									
0点	0	(0.0)	49	(9.4)	107	(33.3)	156	(14.0)	0.000
1-9点	71	(26.3)	239	(45.6)	167	(52.0)	477	(42.8)	
10-19点	91	(33.7)	149	(28.4)	37	(11.5)	277	(24.8)	
20-29点	70	(25.9)	60	(11.5)	6	(1.9)	136	(12.2)	
30-39点	34	(12.6)	18	(3.4)	4	(1.2)	56	(5.0)	
40-45点	4	(1.5)	9	(1.7)	0	(0.0)	13	(1.2)	
IADL開始時からの変化量									
-39~-30点	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.1)	0.001
-29~-20点	0	(0.0)	1	(0.2)	1	(0.3)	2	(0.2)	
-19~-10点	0	(0.0)	10	(2.0)	2	(0.7)	12	(1.1)	
-9~-1点	13	(5.1)	42	(8.3)	29	(9.5)	84	(7.9)	
0点	149	(58.0)	280	(55.4)	207	(68.1)	636	(59.7)	
1-9点	83	(32.3)	150	(29.7)	61	(20.1)	294	(27.6)	
10-19点	11	(4.3)	20	(4.0)	3	(1.0)	34	(3.2)	
20-29点	1	(0.4)	2	(0.4)	0	(0.0)	3	(0.3)	
IADL4月からの変化量									
-29~-20点	0	(0.0)	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.1)	0.042
-19~-10点	0	(0.0)	6	(1.5)	0	(0.0)	6	(0.7)	
-9~-1点	15	(7.8)	39	(9.7)	18	(6.9)	72	(8.4)	
0点	151	(78.2)	294	(72.8)	220	(84.6)	665	(77.6)	
1-9点	26	(13.5)	55	(13.6)	20	(7.7)	101	(11.8)	
10-19点	1	(0.5)	8	(2.0)	2	(0.8)	11	(1.3)	
20-29点	0	(0.0)	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.1)	

表Ⅱ-2a-⑦ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（要介護度別）

通所リハ (n=1410)	非認定・要支援		要介護1,2		要介護3-5		合計		(χ ² 検定) p値
	n=297		n=678		n=436		n=1410		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
自分で買い物へ出かけている（概ね週1回以上）									
はい	145	(49.2)	123	(18.2)	33	(7.6)	301	(21.4)	0.000
いいえ	147	(49.8)	510	(75.3)	377	(86.7)	1034	(73.5)	
わからない	3	(1.0)	44	(6.5)	25	(5.7)	72	(5.1)	
自宅等では食事を自分で作っている（概ね週1回以上）									
はい	164	(55.4)	162	(23.9)	37	(8.5)	363	(25.8)	0.000
いいえ	127	(42.9)	486	(71.8)	376	(86.4)	989	(70.2)	
わからない	5	(1.7)	29	(4.3)	22	(5.1)	56	(4.0)	
自宅等では一緒に食事を食べる人がいる（概ね週1回以上）									
はい	208	(70.3)	530	(78.3)	379	(87.3)	1117	(79.4)	0.000
いいえ	88	(29.7)	131	(19.4)	42	(9.7)	261	(18.6)	
わからない	0	(0.0)	16	(2.4)	13	(3.0)	29	(2.1)	
開始からの日数									
30日以内	17	(6.0)	34	(5.2)	23	(5.3)	74	(5.4)	0.001
1か月以上6か月以内	56	(19.9)	88	(13.4)	68	(15.7)	212	(15.5)	
6か月以上1年以内	55	(19.6)	103	(15.7)	68	(15.7)	226	(16.5)	
1年以上2年以内	60	(21.4)	128	(19.5)	63	(14.6)	251	(18.3)	
2年以上3年以内	23	(8.2)	99	(15.1)	48	(11.1)	170	(12.4)	
3年以上4年以内	23	(8.2)	72	(11.0)	41	(9.5)	136	(9.9)	
4年以上5年以内	15	(5.3)	42	(6.4)	39	(9.0)	96	(7.0)	
5年以上10年以内	20	(7.1)	75	(11.5)	63	(14.6)	158	(11.5)	
10年以上	12	(4.3)	14	(2.1)	19	(4.4)	45	(3.3)	
利用開始前の状況									
在宅	238	(81.5)	417	(62.5)	211	(50.0)	866	(62.7)	0.000
入院	45	(15.4)	221	(33.1)	167	(39.6)	433	(31.4)	
施設入所	9	(3.1)	28	(4.2)	43	(10.2)	80	(5.8)	
その他	0	(0.0)	1	(0.1)	1	(0.2)	2	(0.1)	
サービス利用開始時BMI									
18.5kg/m ² 未満	18	(7.1)	66	(11.7)	49	(15.0)	133	(11.6)	0.012
25kg/m ² 以上	75	(29.4)	155	(27.4)	73	(22.3)	303	(26.4)	
30kg/m ² 以上	12	(4.8)	30	(5.4)	21	(6.5)	63	(5.6)	

表 II-2a-⑧ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（要介護度別）

通所リハ (n=1410)	非認定・要支援		要介護1,2		要介護3-5		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=297		n=678		n=436		n=1410		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
2018年4月末日時点で利用していた									
はい	199	(70.6)	510	(78.3)	330	(77.3)	1039	(76.4)	0.032
2018年4月末日時点のBMI									
18.5kg/m ² 未満	14	(8.3)	42	(9.6)	39	(13.7)	95	(10.7)	0.112
25kg/m ² 以上	51	(30.2)	142	(32.3)	82	(28.9)	275	(30.8)	0.601
30kg/m ² 以上	7	(4.1)	25	(5.7)	21	(7.4)	53	(5.9)	0.350
管理栄養士との関わり									
あり	82	(27.6)	291	(43.0)	227	(52.2)	600	(42.6)	0.000
管理栄養士の関わり内容（複数回答）									
食事の観察（ミールラウンド）	33	(40.2)	150	(51.5)	147	(64.8)	330	(55.0)	0.000
食事の個別調整	13	(15.9)	47	(16.2)	23	(10.1)	83	(13.8)	0.122
栄養相談	6	(7.3)	57	(19.6)	27	(11.9)	90	(15.0)	0.006
自宅訪問	1	(1.2)	3	(1.0)	2	(0.9)	6	(1.0)	0.963
その他	38	(46.3)	68	(23.4)	42	(18.5)	148	(24.7)	0.000
栄養改善加算の算定（2018年4-10月）									
あり	1	(0.3)	8	(1.2)	5	(1.2)	14	(1.0)	0.428
リハビリテーション・マネジメント加算算定									
算定なし	70	(23.6)	26	(3.8)	13	(3.0)	109	(7.7)	0.000
リハマネ加算Ⅰ	216	(72.7)	454	(67.0)	284	(65.3)	954	(67.7)	0.093
リハマネ加算Ⅱ	0	(0.0)	2	(0.3)	4	(0.9)	6	(0.4)	0.132
リハマネ加算Ⅲ	11	(3.7)	187	(27.6)	130	(29.9)	328	(23.3)	0.000
リハマネ加算Ⅳ	0	(0.0)	10	(1.5)	5	(1.1)	15	(1.1)	0.116
イベント（2018年4-10月）（複数回答）									
入院	16	(5.4)	101	(14.9)	57	(13.1)	174	(12.3)	0.000
施設入所	1	(0.3)	16	(2.4)	22	(5.1)	39	(2.8)	0.000
要介護度の重症化	2	(0.7)	10	(1.5)	8	(1.8)	20	(1.4)	0.418
利用中止	5	(1.7)	12	(1.8)	6	(1.4)	23	(1.6)	0.879
特になし	274	(92.3)	545	(80.4)	346	(79.5)	1165	(82.6)	0.000

表 II-2b-① 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（要介護度別）

通所介護 (n=780)	非認定・要支援		要介護1,2		要介護3-5		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=128		n=443		n=209		n=780		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
記入者									
管理者	52	(48.1)	163	(44.8)	77	(45.3)	292	(45.5)	0.825
他の職員	56	(51.9)	201	(55.2)	93	(54.7)	350	(54.5)	
性別									
男性	33	(30.8)	122	(30.3)	75	(39.1)	230	(32.8)	0.092
女性	74	(69.2)	281	(69.7)	117	(60.9)	472	(67.2)	
年齢階級									
65歳未満	2	(1.6)	14	(3.2)	13	(6.2)	29	(3.7)	0.037
65-69歳	4	(3.1)	12	(2.7)	8	(3.8)	24	(3.1)	
70-79歳	22	(17.3)	92	(20.8)	31	(14.8)	145	(18.6)	
80-89歳	72	(56.7)	231	(52.1)	94	(45.0)	397	(51.0)	
90歳以上	27	(21.3)	94	(21.2)	63	(30.1)	184	(23.6)	
1か月あたりの利用回数									
0-4回	32	(25.8)	80	(18.6)	31	(14.9)	143	(18.8)	0.000
5-9回	90	(72.6)	171	(39.9)	80	(38.5)	341	(44.8)	
10-14回	1	(0.8)	119	(27.7)	46	(22.1)	166	(21.8)	
15-19回	1	(0.8)	33	(7.7)	19	(9.1)	53	(7.0)	
20-24回	0	(0.0)	16	(3.7)	10	(4.8)	26	(3.4)	
25-29回	0	(0.0)	6	(1.4)	9	(4.3)	15	(2.0)	
30-31回	0	(0.0)	4	(0.9)	13	(6.3)	17	(2.2)	
同居家族（複数回答可）									
独居（同居家族なし）	55	(43.0)	122	(27.5)	43	(20.6)	220	(28.2)	0.000
夫婦	25	(19.5)	119	(26.9)	70	(33.5)	214	(27.4)	
子供	51	(39.8)	226	(51.0)	110	(52.6)	387	(49.6)	
親	0	(0.0)	2	(0.5)	3	(1.4)	5	(0.6)	
兄弟	0	(0.0)	5	(1.1)	4	(1.9)	9	(1.2)	
親戚	0	(0.0)	2	(0.5)	2	(1.0)	4	(0.5)	
その他	8	(6.3)	54	(12.2)	31	(14.8)	93	(11.9)	
日中独居									
はい	83	(69.2)	244	(58.1)	86	(42.8)	413	(55.7)	0.000
いいえ	31	(25.8)	160	(38.1)	107	(53.2)	298	(40.2)	
わからない	6	(5.0)	16	(3.8)	8	(4.0)	30	(4.0)	
要支援、要介護度									
要支援1	40	(31.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	40	(5.1)	0.000
要支援2	80	(62.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	80	(10.3)	
要介護1	0	(0.0)	224	(50.6)	0	(0.0)	224	(28.7)	
要介護2	0	(0.0)	219	(49.4)	0	(0.0)	219	(28.1)	
要介護3	0	(0.0)	0	(0.0)	112	(53.6)	112	(14.4)	
要介護4	0	(0.0)	0	(0.0)	71	(34.0)	71	(9.1)	
要介護5	0	(0.0)	0	(0.0)	26	(12.4)	26	(3.3)	
総合事業対象者	8	(6.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	8	(1.0)	
認知症高齢者の日常生活自立度									
自立	65	(63.1)	79	(20.2)	24	(13.1)	168	(24.8)	0.000
I	26	(25.2)	99	(25.3)	36	(19.7)	161	(23.7)	
II a	9	(8.7)	62	(15.8)	19	(10.4)	90	(13.3)	
II b	2	(1.9)	96	(24.5)	28	(15.3)	126	(18.6)	
III a	1	(1.0)	39	(9.9)	34	(18.6)	74	(10.9)	
III b	0	(0.0)	9	(2.3)	15	(8.2)	24	(3.5)	
IV	0	(0.0)	5	(1.3)	13	(7.1)	18	(2.7)	
M	0	(0.0)	3	(0.8)	14	(7.7)	17	(2.5)	

表Ⅱ-2b-② 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（要介護度別）

通所介護 (n=780)	非認定・要支援		要介護1,2		要介護3-5		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=128		n=443		n=209		n=780		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
食事の提供									
食事提供あり	118	(92.2)	431	(97.5)	203	(98.5)	752	(96.9)	0.003
食事形態（複数回答）									
普通食	111	(94.1)	388	(90.0)	113	(55.7)	612	(81.4)	0.000
きざみ／軟菜食	5	(4.2)	30	(7.0)	61	(30.0)	96	(12.8)	0.000
えんげ調整食	0	(0.0)	9	(2.1)	26	(12.8)	35	(4.7)	0.000
経管	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(1.0)	2	(0.3)	0.066
わからない	2	(1.7)	5	(1.2)	1	(0.5)	8	(1.1)	0.573
食事摂取割合									
7割以上	115	(98.3)	404	(94.0)	181	(89.2)	700	(93.3)	0.005
6割以下	2	(1.7)	26	(6.0)	22	(10.8)	50	(6.7)	
とろみ剤									
あり	0	(0.0)	14	(3.3)	45	(22.2)	59	(7.9)	0.000
食事の際に奥歯で（義歯でも可）噛みしめている									
はい	98	(86.7)	341	(84.8)	148	(79.1)	587	(83.6)	0.149
いいえ	10	(8.8)	36	(9.0)	29	(15.5)	75	(10.7)	
わからない	5	(4.4)	25	(6.2)	10	(5.3)	40	(5.7)	
食事中にむせたり咳き込んだりすることがある									
はい	4	(3.4)	34	(7.9)	48	(23.6)	86	(11.5)	0.000
いいえ	114	(96.6)	394	(91.6)	155	(76.4)	663	(88.3)	
わからない	0	(0.0)	2	(0.5)	0	(0.0)	2	(0.3)	
食事介助									
全面介助	0	(0.0)	1	(0.2)	19	(9.4)	20	(2.7)	0.000
一部介助	5	(4.3)	50	(11.8)	85	(41.9)	140	(18.8)	
自力	111	(95.7)	374	(88.0)	99	(48.8)	584	(78.5)	
BMI									
18.5kg/m ² 未満	17	(16.5)	56	(18.6)	34	(23.0)	107	(19.4)	0.390
25kg/m ² 以上	26	(25.2)	58	(19.3)	23	(15.5)	107	(19.4)	0.160
30kg/m ² 以上	8	(7.8)	7	(2.3)	5	(3.4)	20	(3.6)	0.038

表Ⅱ-2b-③ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（要介護度別）

通所介護 (n=780)	非認定・要支援		要介護1,2		要介護3-5		合計		(χ ² 検定) p 値	
	n=128		n=443		n=209		n=780			
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)		
体重開始時からの変化量										
-25<x<=-20kg	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.6)	1	(0.2)	0.001	
-20<x<=-15kg	0	(0.0)	2	(0.6)	1	(0.6)	3	(0.5)		
-15<x<=-10kg	0	(0.0)	1	(0.3)	8	(5.1)	9	(1.6)		
-10<x<=-5kg	3	(3.4)	28	(8.6)	25	(15.8)	56	(9.8)		
-5<x<=-2kg	22	(25.0)	59	(18.1)	18	(11.4)	99	(17.3)		
-2<x<2kg	42	(47.7)	155	(47.5)	56	(35.4)	253	(44.2)		
2<=x<5kg	13	(14.8)	47	(14.4)	33	(20.9)	93	(16.3)		
5<=x<10kg	5	(5.7)	26	(8.0)	11	(7.0)	42	(7.3)		
10<=x<15kg	3	(3.4)	4	(1.2)	3	(1.9)	10	(1.7)		
15<=x<20kg	0	(0.0)	2	(0.6)	1	(0.6)	3	(0.5)		
20<=x<25kg	0	(0.0)	2	(0.6)	1	(0.6)	3	(0.5)		
体重開始時からの変化率										
-35<x<=-30%	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.6)	1	(0.2)		0.033
-30<x<=-25%	0	(0.0)	3	(0.9)	2	(1.3)	5	(0.9)		
-25<x<=-20%	1	(1.1)	0	(0.0)	4	(2.5)	5	(0.9)		
-20<x<=-15%	0	(0.0)	5	(1.5)	6	(3.8)	11	(1.9)		
-15<x<=-10%	1	(1.1)	20	(6.1)	17	(10.8)	38	(6.6)		
-10<x<=-5%	17	(19.3)	49	(15.0)	16	(10.1)	82	(14.3)		
-5<x<=-3%	8	(9.1)	25	(7.7)	12	(7.6)	45	(7.9)		
-3<x<3%	39	(44.3)	133	(40.8)	48	(30.4)	220	(38.5)		
3<=x<5%	5	(5.7)	29	(8.9)	8	(5.1)	42	(7.3)		
5<=x<10%	8	(9.1)	27	(8.3)	25	(15.8)	60	(10.5)		
10<=x<15%	3	(3.4)	12	(3.7)	8	(5.1)	23	(4.0)		
15<=x<20%	5	(5.7)	10	(3.1)	5	(3.2)	20	(3.5)		
20<=x<25%	1	(1.1)	6	(1.8)	1	(0.6)	8	(1.4)		
25<=x<30%	0	(0.0)	2	(0.6)	1	(0.6)	3	(0.5)		
30<=x<35%	0	(0.0)	2	(0.6)	2	(1.3)	4	(0.7)		
35<=x<40%	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.6)	1	(0.2)		
40<=x<45%	0	(0.0)	2	(0.6)	0	(0.0)	2	(0.3)		
50<=x<55%	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.6)	2	(0.3)		

表Ⅱ-2b-④ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（要介護度別）

通所介護 (n=780)	非認定・要支援		要介護1,2		要介護3-5		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=128		n=443		n=209		n=780		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
体重4月からの変化量									
-15<x<=-10kg	1	(1.1)	1	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.3)	0.408
-10<x<=-5kg	2	(2.3)	8	(2.3)	7	(4.2)	17	(2.8)	
-5<x<=-2kg	16	(18.4)	58	(16.3)	29	(17.5)	103	(16.9)	
-2<x<2kg	56	(64.4)	238	(67.0)	94	(56.6)	388	(63.8)	
2<=x<5kg	10	(11.5)	44	(12.4)	30	(18.1)	84	(13.8)	
5<=x<10kg	2	(2.3)	5	(1.4)	6	(3.6)	13	(2.1)	
10<=x<15kg	0	(0.0)	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.2)	
体重4月からの変化率									
-25<x<=-20%	1	(1.1)	1	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.3)	0.004
-20<x<=-15%	0	(0.0)	1	(0.3)	4	(2.4)	5	(0.8)	
-15<x<=-10%	0	(0.0)	8	(2.3)	3	(1.8)	11	(1.8)	
-10<x<=-5%	6	(6.9)	35	(9.9)	21	(12.7)	62	(10.2)	
-5<x<=-3%	17	(19.5)	44	(12.4)	14	(8.4)	75	(12.3)	
-3<x<3%	51	(58.6)	203	(57.2)	77	(46.4)	331	(54.4)	
3<=x<5%	6	(6.9)	35	(9.9)	23	(13.9)	64	(10.5)	
5<=x<10%	4	(4.6)	20	(5.6)	18	(10.8)	42	(6.9)	
10<=x<15%	0	(0.0)	7	(2.0)	5	(3.0)	12	(2.0)	
15<=x<20%	1	(1.1)	1	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.3)	
20<=x<25%	1	(1.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.2)	
25<=x<30%	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.6)	1	(0.2)	
褥瘡									
あり	0	(0.0)	2	(0.5)	7	(3.4)	9	(1.2)	0.002

表 II-2b-⑤ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（要介護度別）

通所介護 (n=780)	非認定・要支援		要介護1,2		要介護3-5		合計		(χ ² 検定) p 値	
	n=128		n=443		n=209		n=780			
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)		
ADLバーサル										
0, 5点	0	(0.0)	0	(0.0)	18	(15.4)	18	(4.6)	0.000	
10, 15点	0	(0.0)	1	(0.5)	5	(4.3)	6	(1.5)		
20, 25点	0	(0.0)	0	(0.0)	5	(4.3)	5	(1.3)		
30, 35点	0	(0.0)	1	(0.5)	11	(9.4)	12	(3.1)		
40, 45点	0	(0.0)	3	(1.4)	12	(10.3)	15	(3.8)		
50, 55点	0	(0.0)	16	(7.3)	13	(11.1)	29	(7.4)		
60, 65点	1	(1.9)	17	(7.7)	18	(15.4)	36	(9.2)		
70, 75点	2	(3.8)	26	(11.8)	12	(10.3)	40	(10.3)		
80, 85点	6	(11.3)	53	(24.1)	14	(12.0)	73	(18.7)		
90, 95点	14	(26.4)	56	(25.5)	8	(6.8)	78	(20.0)		
100点	30	(56.6)	47	(21.4)	1	(0.9)	78	(20.0)		
バーサル開始時からの変化量										
-80, 85点	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.9)	1	(0.3)	0.030	
-70, 75点	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.9)	1	(0.3)		
-60, 65点	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.9)	1	(0.3)		
-50, 55点	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(1.9)	2	(0.6)		
-40, 45点	0	(0.0)	1	(0.5)	5	(4.7)	6	(1.7)		
-30, 35点	1	(2.1)	7	(3.4)	6	(5.6)	14	(3.9)		
-20, 25点	0	(0.0)	7	(3.4)	9	(8.4)	16	(4.4)		
-10, -15点	1	(2.1)	17	(8.2)	9	(8.4)	27	(7.5)		
-5点	5	(10.6)	10	(4.8)	7	(6.5)	22	(6.1)		
0点	32	(68.1)	130	(62.5)	50	(46.7)	212	(58.6)		
5点	4	(8.5)	23	(11.1)	8	(7.5)	35	(9.7)		
10, 15点	4	(8.5)	7	(3.4)	5	(4.7)	16	(4.4)		
20, 25点	0	(0.0)	4	(1.9)	1	(0.9)	5	(1.4)		
30, 35点	0	(0.0)	1	(0.5)	2	(1.9)	3	(0.8)		
60, 65点	0	(0.0)	1	(0.5)	0	(0.0)	1	(0.3)		
バーサル4月からの変化量										
-50, 55点	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(2.4)	2	(0.7)		0.171
-30, 35点	0	(0.0)	1	(0.5)	0	(0.0)	1	(0.3)		
-20, 25点	0	(0.0)	1	(0.5)	0	(0.0)	1	(0.3)		
-10, -15点	0	(0.0)	2	(1.1)	1	(1.2)	3	(1.0)		
-5点	2	(5.7)	2	(1.1)	1	(1.2)	5	(1.7)		
0点	27	(77.1)	160	(87.4)	76	(90.5)	263	(87.1)		
5点	2	(5.7)	8	(4.4)	1	(1.2)	11	(3.6)		
10, 15点	4	(11.4)	7	(3.8)	1	(1.2)	12	(4.0)		
20, 25点	0	(0.0)	2	(1.1)	2	(2.4)	4	(1.3)		

表Ⅱ-2b-⑥ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（要介護度別）

通所介護 (n=780)	非認定・要支援		要介護1,2		要介護3-5		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=128		n=443		n=209		n=780		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
FIM									
18-19点	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(7.1)	1	(2.7)	0.200
30-39点	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(7.1)	1	(2.7)	
60-69点	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(7.1)	1	(2.7)	
70-79点	0	(0.0)	2	(10.0)	1	(7.1)	3	(8.1)	
80-89点	0	(0.0)	1	(5.0)	2	(14.3)	3	(8.1)	
90-99点	0	(0.0)	2	(10.0)	1	(7.1)	3	(8.1)	
100-109点	0	(0.0)	4	(20.0)	2	(14.3)	6	(16.2)	
110-119点	0	(0.0)	8	(40.0)	4	(28.6)	12	(32.4)	
120-126点	3	(100.0)	3	(15.0)	1	(7.1)	7	(18.9)	
FIM開始時からの変化量									
-9~-1点	2	(13.3)	0	(0.0)	2	(10.0)		(0.0)	0.345
0点	9	(60.0)	2	(40.0)	11	(55.0)		(0.0)	
1~9点	4	(26.7)	3	(60.0)	7	(35.0)		(0.0)	
FIM4月からの変化量									
-9~-1点	1	(7.7)	0	(0.0)	1	(5.6)		(0.0)	0.500
0点	10	(76.9)	5	(100.0)	15	(83.3)		(0.0)	
1~9点	2	(15.4)	0	(0.0)	2	(11.1)		(0.0)	
IADL									
0点	0	(0.0)	0	(0.0)	5	(20.8)	5	(5.1)	0.000
1-9点	16	(94.1)	37	(64.9)	14	(58.3)	67	(68.4)	
10-19点	1	(5.9)	13	(22.8)	5	(20.8)	19	(19.4)	
20-29点	0	(0.0)	7	(12.3)	0	(0.0)	7	(7.1)	
IADL開始時からの変化量									
-9~-1点	3	(23.1)	8	(17.0)	0	(0.0)	11	(15.1)	0.026
0点	5	(38.5)	35	(74.5)	11	(84.6)	51	(69.9)	
1-9点	5	(38.5)	4	(8.5)	2	(15.4)	11	(15.1)	
IADL4月からの変化量									
-9~-1点	0	(0.0)	2	(5.3)	0	(0.0)	2	(3.2)	0.737
0点	11	(100.0)	35	(92.1)	13	(100.0)	59	(95.2)	
1-9点	0	(0.0)	1	(2.6)	0	(0.0)	1	(1.6)	

表Ⅱ-2b-⑦ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（要介護度別）

通所介護 (n=780)	非認定・要支援		要介護1,2		要介護3-5		合計		(χ ² 検定) p値
	n=128		n=443		n=209		n=780		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
自分で買い物へ出かけている（概ね週1回以上）									
はい	55	(43.7)	72	(16.3)	5	(2.4)	132	(17.0)	0.000
いいえ	51	(40.5)	331	(74.9)	197	(95.2)	579	(74.7)	
わからない	20	(15.9)	39	(8.8)	5	(2.4)	64	(8.3)	
自宅等では食事を自分で作っている（概ね週1回以上）									
はい	46	(37.4)	72	(16.6)	5	(2.5)	123	(16.2)	0.000
いいえ	54	(43.9)	320	(73.7)	193	(96.0)	567	(74.8)	
わからない	23	(18.7)	42	(9.7)	3	(1.5)	68	(9.0)	
自宅等では一緒に食事を食べる人がいる（概ね週1回以上）									
はい	66	(53.7)	321	(73.8)	159	(79.1)	546	(71.9)	0.000
いいえ	50	(40.7)	95	(21.8)	39	(19.4)	184	(24.2)	
わからない	7	(5.7)	19	(4.4)	3	(1.5)	29	(3.8)	
開始からの日数									
30日以内	4	(3.4)	5	(1.2)	3	(1.5)	12	(1.7)	0.567
1か月以上6か月以内	17	(14.7)	47	(11.7)	20	(9.9)	84	(11.7)	
6か月以上1年以内	23	(19.8)	69	(17.1)	30	(14.9)	122	(16.9)	
1年以上2年以内	27	(23.3)	88	(21.8)	51	(25.2)	166	(23.0)	
2年以上3年以内	10	(8.6)	51	(12.7)	22	(10.9)	83	(11.5)	
3年以上4年以内	10	(8.6)	50	(12.4)	20	(9.9)	80	(11.1)	
4年以上5年以内	9	(7.8)	30	(7.4)	17	(8.4)	56	(7.8)	
5年以上10年以内	15	(12.9)	49	(12.2)	35	(17.3)	99	(13.7)	
10年以上	1	(0.9)	14	(3.5)	4	(2.0)	19	(2.6)	
利用開始前の状況									
在宅	92	(92.0)	292	(86.1)	116	(64.8)	500	(80.9)	0.000
入院	4	(4.0)	36	(10.6)	39	(21.8)	79	(12.8)	
施設入所	4	(4.0)	10	(2.9)	24	(13.4)	38	(6.1)	
その他	0	(0.0)	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.2)	
サービス利用開始時BMI									
18.5kg/m ² 未満	17	(23.6)	47	(20.4)	29	(24.4)	93	(22.1)	0.663
25kg/m ² 以上	17	(23.6)	42	(18.3)	19	(16.0)	78	(18.5)	
30kg/m ² 以上	2	(2.8)	8	(3.5)	2	(1.7)	12	(2.9)	

表 II -2b-⑧ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（要介護度別）

通所介護 (n=780)	非認定・要支援		要介護1,2		要介護3-5		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=128		n=443		n=209		n=780		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
2018年4月末日時点で利用していた									
はい	100	(80.6)	375	(85.8)	181	(87.0)	656	(85.3)	0.256
2018年4月末日時点のBMI									
18.5kg/m ² 未満	12	(15.8)	39	(15.1)	31	(24.6)	82	(17.8)	0.065
25kg/m ² 以上	20	(26.3)	50	(19.4)	26	(20.6)	96	(20.9)	0.424
30kg/m ² 以上	4	(5.3)	8	(3.1)	4	(3.2)	16	(3.5)	0.649
管理栄養士との関わり									
あり	26	(20.6)	124	(28.3)	68	(32.9)	218	(28.3)	0.056
管理栄養士の関わり内容（複数回答）									
食事の観察（ミールラウンド）	19	(73.1)	105	(84.7)	64	(94.1)	188	(86.2)	0.022
食事の個別調整	7	(26.9)	19	(15.3)	11	(16.2)	37	(17.0)	0.350
栄養相談	0	(0.0)	9	(7.3)	7	(10.3)	16	(7.3)	0.231
自宅訪問	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(1.5)	1	(0.5)	0.330
その他	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	-
栄養改善加算の算定（2018年4-10月）									
あり	1	(0.8)	1	(0.2)	1	(0.5)	3	(0.4)	0.647
個別機能訓練加算									
算定なし	89	(69.5)	176	(39.7)	101	(48.3)	366	(46.9)	0.000
I	5	(3.9)	64	(14.4)	12	(5.7)	81	(10.4)	0.000
II	30	(23.4)	94	(21.2)	47	(22.5)	171	(21.9)	0.844
I・II両方	4	(3.1)	109	(24.6)	49	(23.4)	162	(20.8)	0.000
イベント（2018年4-10月）（複数回答）									
入院	3	(2.3)	39	(8.8)	24	(11.5)	66	(8.5)	0.013
施設入所	1	(0.8)	6	(1.4)	6	(2.9)	13	(1.7)	0.256
要介護度の重症化	0	(0.0)	15	(3.4)	9	(4.3)	24	(3.1)	0.072
利用中止	2	(1.6)	5	(1.1)	1	(0.5)	8	(1.0)	0.599
特になし	122	(95.3)	385	(86.9)	173	(82.8)	680	(87.2)	0.004

表Ⅱ-3a-① 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（食事提供の有無別）

通所リハ (n=1410)	食事提供あり		食事提供なし		合計		(χ ² 検定) p値
	n=1077		n=325		n=1402		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
記入者							
管理者	205	(36.0)	13	(54.2)	218	(36.7)	0.070
他の職員	365	(64.0)	11	(45.8)	376	(63.3)	
性別							
男性	434	(41.1)	128	(39.4)	562	(40.7)	0.591
女性	623	(58.9)	197	(60.6)	820	(59.3)	
年齢階級							
65歳未満	40	(3.7)	20	(6.2)	60	(4.3)	0.000
65-69歳	56	(5.2)	20	(6.2)	76	(5.4)	
70-79歳	260	(24.1)	109	(33.5)	369	(26.3)	
80-89歳	500	(46.4)	139	(42.8)	639	(45.6)	
90歳以上	221	(20.5)	37	(11.4)	258	(18.4)	
1か月あたりの利用回数							
0-4回	195	(18.1)	116	(35.7)	311	(22.2)	0.000
5-9回	560	(52.0)	168	(51.7)	728	(51.9)	
10-14回	259	(24.0)	38	(11.7)	297	(21.2)	
15-19回	44	(4.1)	2	(0.6)	46	(3.3)	
20-24回	16	(1.5)	1	(0.3)	17	(1.2)	
25-29回	3	(0.3)	0	(0.0)	3	(0.2)	
同居家族（複数回答可）							
独居（同居家族なし）	170	(15.8)	106	(32.6)	276	(19.7)	0.000
夫婦	431	(40.0)	150	(46.2)	581	(41.4)	0.049
子供	501	(46.5)	85	(26.2)	586	(41.8)	0.000
親	14	(1.3)	7	(2.2)	21	(1.5)	0.267
兄弟	8	(0.7)	2	(0.6)	10	(0.7)	0.811
親戚	8	(0.7)	1	(0.3)	9	(0.6)	0.389
その他	70	(6.5)	6	(1.8)	76	(5.4)	0.001
日中独居							
はい	409	(42.1)	153	(47.8)	562	(43.5)	0.094
いいえ	475	(48.9)	134	(41.9)	609	(47.1)	
わからない	88	(9.1)	33	(10.3)	121	(9.4)	
要支援、要介護度							
要支援1	48	(4.5)	50	(15.4)	98	(7.0)	0.000
要支援2	103	(9.6)	95	(29.2)	198	(14.1)	
要介護1	243	(22.6)	70	(21.5)	313	(22.3)	
要介護2	296	(27.5)	65	(20.0)	361	(25.7)	
要介護3	206	(19.1)	24	(7.4)	230	(16.4)	
要介護4	127	(11.8)	12	(3.7)	139	(9.9)	
要介護5	54	(5.0)	9	(2.8)	63	(4.5)	
認知症高齢者の日常生活自立度							
自立	262	(25.5)	97	(29.8)	359	(26.5)	0.024
I	250	(24.3)	95	(29.2)	345	(25.5)	
II a	203	(19.7)	67	(20.6)	270	(20.0)	
II b	187	(18.2)	39	(12.0)	226	(16.7)	
III a	67	(6.5)	18	(5.5)	85	(6.3)	
III b	34	(3.3)	5	(1.5)	39	(2.9)	
IV	24	(2.3)	3	(0.9)	27	(2.0)	
M	1	(0.1)	1	(0.3)	2	(0.1)	

表 II -3a-② 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（食事提供の有無別）

通所リハ (n=1410)	食事提供あり		食事提供なし		合計		(χ ² 検定) p 値	
	n=1077		n=325		n=1402			
	n	(%)	n	(%)	n	(%)		
BMI								
18.5kg/m ² 未満	131	(13.3)	28	(9.4)	159	(12.4)	0.073	
25kg/m ² 以上	283	(28.7)	88	(29.5)	371	(28.9)	0.790	
30kg/m ² 以上	53	(5.4)	16	(5.4)	69	(5.4)	0.994	
体重開始時からの変化量								
-20<x<=-15kg	2	(0.2)	1	(0.3)	3	(0.3)	0.002	
-15<x<=-10kg	16	(1.8)	1	(0.3)	17	(1.4)		
-10<x<=-5kg	58	(6.5)	11	(3.7)	69	(5.8)		
-5<x<=-2kg	137	(15.3)	50	(16.9)	187	(15.7)		
-2<x<2kg	430	(48.1)	179	(60.7)	609	(51.2)		
2<=x<5kg	153	(17.1)	37	(12.5)	190	(16.0)		
5<=x<10kg	69	(7.7)	11	(3.7)	80	(6.7)		
10<=x<15kg	23	(2.6)	3	(1.0)	26	(2.2)		
15<=x<20kg	3	(0.3)	1	(0.3)	4	(0.3)		
20<=x<25kg	3	(0.3)	0	(0.0)	3	(0.3)		
35<=x<40kg	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.1)		
体重開始時からの変化率								
-35<x<=-30%	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)		0.006
-30<x<=-25%	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)		
-25<x<=-20%	10	(1.1)	1	(0.3)	11	(0.9)		
-20<x<=-15%	13	(1.5)	4	(1.4)	17	(1.4)		
-15<x<=-10%	43	(4.8)	5	(1.7)	48	(4.0)		
-10<x<=-5%	94	(10.5)	32	(10.8)	126	(10.6)		
-5<x<=-3%	88	(9.8)	24	(8.1)	112	(9.4)		
-3<x<3%	369	(41.3)	169	(57.3)	538	(45.2)		
3<=x<5%	74	(8.3)	17	(5.8)	91	(7.7)		
5<=x<10%	109	(12.2)	29	(9.8)	138	(11.6)		
10<=x<15%	38	(4.3)	6	(2.0)	44	(3.7)		
15<=x<20%	30	(3.4)	4	(1.4)	34	(2.9)		
20<=x<25%	10	(1.1)	1	(0.3)	11	(0.9)		
25<=x<30%	6	(0.7)	2	(0.7)	8	(0.7)		
30<=x<35%	3	(0.3)	0	(0.0)	3	(0.3)		
35<=x<40%	3	(0.3)	0	(0.0)	3	(0.3)		
40<=x<45%	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)		
45<=x<50%	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)		
100<=x<105%	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.1)		

表Ⅱ-3a-③ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（食事提供の有無別）

通所リハ (n=1410)	食事提供あり		食事提供なし		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=1077		n=325		n=1402		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
体重4月からの変化量							
-15<x<=-10kg	2	(0.2)	1	(0.7)	3	(0.3)	0.112
-10<x<=-5kg	19	(2.4)	0	(0.0)	19	(2.0)	
-5<x<=-2kg	133	(16.5)	22	(16.4)	155	(16.5)	
-2<x<2kg	556	(69.2)	100	(74.6)	656	(69.9)	
2<=x<5kg	80	(10.0)	8	(6.0)	88	(9.4)	
5<=x<10kg	11	(1.4)	2	(1.5)	13	(1.4)	
10<=x<15kg	2	(0.2)	0	(0.0)	2	(0.2)	
15<=x<20kg	0	(0.0)	1	(0.7)	1	(0.1)	
20<=x<25kg	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	
体重4月からの変化率							
-20<x<=-15%	4	(0.5)	1	(0.7)	5	(0.5)	0.041
-15<x<=-10%	15	(1.9)	0	(0.0)	15	(1.6)	
-10<x<=-5%	76	(9.5)	7	(5.2)	83	(8.8)	
-5<x<=-3%	103	(12.8)	16	(11.9)	119	(12.7)	
-3<x<3%	475	(59.1)	98	(73.1)	573	(61.1)	
3<=x<5%	69	(8.6)	5	(3.7)	74	(7.9)	
5<=x<10%	46	(5.7)	5	(3.7)	51	(5.4)	
10<=x<15%	9	(1.1)	1	(0.7)	10	(1.1)	
15<=x<20%	5	(0.6)	0	(0.0)	5	(0.5)	
20<=x<25%	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	
25<=x<30%	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	
35<=x<40%	0	(0.0)	1	(0.7)	1	(0.1)	
褥瘡							
あり	10	(1.0)	2	(0.6)	12	(0.9)	0.549

表Ⅱ-3a-④ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（食事提供の有無別）

通所リハ (n=1410)	食事提供あり		食事提供なし		合計		(χ ² 検定) p 値	
	n=1077		n=325		n=1402			
	n	(%)	n	(%)	n	(%)		
ADLバーサル								
0, 5点	10	(1.0)	5	(1.5)	15	(1.1)	0.000	
10, 15点	17	(1.7)	1	(0.3)	18	(1.3)		
20, 25点	19	(1.9)	0	(0.0)	19	(1.4)		
30, 35点	25	(2.4)	4	(1.2)	29	(2.2)		
40, 45点	46	(4.5)	3	(0.9)	49	(3.6)		
50, 55点	65	(6.4)	2	(0.6)	67	(5.0)		
60, 65点	91	(8.9)	9	(2.8)	100	(7.4)		
70, 75点	114	(11.2)	27	(8.4)	141	(10.5)		
80, 85点	271	(26.5)	54	(16.7)	325	(24.2)		
90, 95点	245	(24.0)	129	(39.9)	374	(27.8)		
100点	119	(11.6)	89	(27.6)	208	(15.5)		
バーサル開始時からの変化量								
-80, 85点	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	0.000	
-70, 75点	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)		
-50, 55点	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)		
-40, 45点	6	(0.7)	0	(0.0)	6	(0.5)		
-30, 35点	5	(0.6)	0	(0.0)	5	(0.4)		
-20, 25点	26	(2.9)	1	(0.3)	27	(2.2)		
-10, -15点	40	(4.4)	2	(0.6)	42	(3.4)		
-5点	67	(7.4)	10	(3.1)	77	(6.3)		
0点	525	(58.2)	270	(83.6)	795	(64.9)		
5点	122	(13.5)	21	(6.5)	143	(11.7)		
10, 15点	75	(8.3)	14	(4.3)	89	(7.3)		
20, 25点	17	(1.9)	4	(1.2)	21	(1.7)		
30, 35点	11	(1.2)	1	(0.3)	12	(1.0)		
40, 45点	4	(0.4)	0	(0.0)	4	(0.3)		
60, 65点	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)		
バーサル4月からの変化量								
-50, 55点	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)		0.013
-40, 45点	2	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.2)		
-20, 25点	6	(0.8)	0	(0.0)	6	(0.7)		
-10, -15点	34	(4.7)	1	(0.5)	35	(3.8)		
-5点	45	(6.2)	5	(2.7)	50	(5.5)		
0点	565	(77.4)	172	(92.0)	737	(80.4)		
5点	43	(5.9)	5	(2.7)	48	(5.2)		
10, 15点	23	(3.2)	2	(1.1)	25	(2.7)		
20, 25点	7	(1.0)	2	(1.1)	9	(1.0)		
30, 35点	2	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.2)		
40, 45点	2	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.2)		

表 II-3a-⑤ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（食事提供の有無別）

通所リハ (n=1410)	食事提供あり		食事提供なし		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=1077		n=325		n=1402		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
FIM							
20-29点	2	(1.0)	0	(0.0)	2	(0.9)	0.073
30-39点	3	(1.5)	0	(0.0)	3	(1.4)	
40-49点	3	(1.5)	0	(0.0)	3	(1.4)	
50-59点	5	(2.5)	0	(0.0)	5	(2.3)	
60-69点	8	(4.0)	0	(0.0)	8	(3.7)	
70-79点	15	(7.5)	0	(0.0)	15	(7.0)	
80-89点	16	(8.0)	0	(0.0)	16	(7.4)	
90-99点	38	(18.9)	0	(0.0)	38	(17.7)	
100-109点	40	(19.9)	4	(28.6)	44	(20.5)	
110-119点	49	(24.4)	4	(28.6)	53	(24.7)	
120-126点	22	(10.9)	6	(42.9)	28	(13.0)	
FIM開始時からの変化量							
-29~-20点	3	(1.5)	0	(0.0)	3	(1.4)	0.580
-19~-10点	4	(2.0)	0	(0.0)	4	(1.9)	
-9~-1点	28	(13.9)	1	(7.1)	29	(13.5)	
0点	99	(49.3)	11	(78.6)	110	(51.2)	
1~9点	60	(29.9)	2	(14.3)	62	(28.8)	
10~19点	4	(2.0)	0	(0.0)	4	(1.9)	
20~29点	3	(1.5)	0	(0.0)	3	(1.4)	
FIM4月からの変化量							
-19~-10点	2	(1.2)	0	(0.0)	2	(1.1)	0.267
-9~-1点	20	(11.8)	0	(0.0)	20	(10.9)	
0点	112	(66.3)	12	(85.7)	124	(67.8)	
1~9点	32	(18.9)	1	(7.1)	33	(18.0)	
10~19点	2	(1.2)	1	(7.1)	3	(1.6)	
20~29点	1	(0.6)	0	(0.0)	1	(0.5)	
IADL							
0点	137	(17.2)	19	(6.0)	156	(14.0)	0.000
1-9点	371	(46.6)	106	(33.3)	477	(42.8)	
10-19点	182	(22.9)	94	(29.6)	276	(24.8)	
20-29点	70	(8.8)	66	(20.8)	136	(12.2)	
30-39点	26	(3.3)	30	(9.4)	56	(5.0)	
40-45点	10	(1.3)	3	(0.9)	13	(1.2)	
IADL開始時からの変化量							
-39~-30点	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	0.000
-29~-20点	2	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.2)	
-19~-10点	11	(1.5)	1	(0.3)	12	(1.1)	
-9~-1点	74	(9.9)	10	(3.1)	84	(7.9)	
0点	411	(55.0)	224	(70.4)	635	(59.6)	
1-9点	213	(28.5)	81	(25.5)	294	(27.6)	
10-19点	32	(4.3)	2	(0.6)	34	(3.2)	
20-29点	3	(0.4)	0	(0.0)	3	(0.3)	
IADL4月からの変化量							
-29~-20点	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.1)	0.003
-19~-10点	5	(0.8)	1	(0.5)	6	(0.7)	
-9~-1点	67	(10.4)	5	(2.4)	72	(8.4)	
0点	482	(74.7)	183	(86.3)	665	(77.6)	
1-9点	78	(12.1)	23	(10.8)	101	(11.8)	
10-19点	11	(1.7)	0	(0.0)	11	(1.3)	
20-29点	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.1)	

表Ⅱ-3a-⑥ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（食事提供の有無別）

通所リハ (n=1410)	食事提供あり		食事提供なし		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=1077		n=325		n=1402		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
自分で買い物へ出かけている（概ね週1回以上）							
はい	171	(15.9)	127	(39.1)	298	(21.3)	0.000
いいえ	835	(77.7)	196	(60.3)	1031	(73.6)	
わからない	69	(6.4)	2	(0.6)	71	(5.1)	
自宅等では食事を自分で作っている（概ね週1回以上）							
はい	216	(20.1)	145	(44.6)	361	(25.8)	0.000
いいえ	807	(75.0)	178	(54.8)	985	(70.3)	
わからない	53	(4.9)	2	(0.6)	55	(3.9)	
自宅等では一緒に食事を食べる人がいる（概ね週1回以上）							
はい	875	(81.4)	238	(73.2)	1113	(79.5)	0.000
いいえ	171	(15.9)	87	(26.8)	258	(18.4)	
わからない	29	(2.7)	0	(0.0)	29	(2.1)	
開始からの日数							
30日以内	46	(4.4)	28	(8.9)	74	(5.4)	0.000
1か月以上6か月以内	132	(12.6)	76	(24.1)	208	(15.3)	
6か月以上1年以内	153	(14.7)	72	(22.8)	225	(16.5)	
1年以上2年以内	193	(18.5)	58	(18.4)	251	(18.5)	
2年以上3年以内	146	(14.0)	22	(7.0)	168	(12.4)	
3年以上4年以内	110	(10.5)	26	(8.2)	136	(10.0)	
4年以上5年以内	81	(7.8)	15	(4.7)	96	(7.1)	
5年以上10年以内	138	(13.2)	19	(6.0)	157	(11.5)	
10年以上	45	(4.3)	0	(0.0)	45	(3.3)	
利用開始前の状況							
在宅	612	(58.2)	247	(76.5)	859	(62.5)	0.000
入院	366	(34.8)	67	(20.7)	433	(31.5)	
施設入所	71	(6.8)	9	(2.8)	80	(5.8)	
その他	2	(0.2)	0	(0.0)	2	(0.1)	
サービス利用開始時BMI							
18.5kg/m ² 未満	110	(13.1)	23	(7.7)	133	(11.7)	0.014
25kg/m ² 以上	219	(26.0)	82	(27.6)	301	(26.4)	0.591
30kg/m ² 以上	44	(5.3)	18	(6.3)	62	(5.5)	0.530
2018年4月末日時点で利用していた							
はい	846	(80.0)	189	(64.1)	1035	(76.6)	0.000
いいえ	211	(20.0)	106	(35.9)	317	(23.4)	
2018年4月末日時点のBMI							
18.5kg/m ² 未満	86	(11.3)	9	(7.1)	95	(10.7)	0.155
25kg/m ² 以上	235	(30.9)	39	(30.7)	274	(30.9)	0.969
30kg/m ² 以上	42	(5.5)	10	(7.9)	52	(5.9)	0.295

表 II-3a-⑦ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（食事提供の有無別）

通所リハ (n=1410)	食事提供あり		食事提供なし		合計		(χ ² 検定)
	n=1077		n=325		n=1402		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	p 値
管理栄養士との関わり							
あり	587	(54.5)	11	(3.4)	598	(42.7)	0.000
管理栄養士の関わり内容							
食事の観察（ミールラウンド）	328	(55.9)	2	(18.2)	330	(55.2)	0.013
食事の個別調整	82	(14.0)	1	(9.1)	83	(13.9)	0.643
栄養相談	88	(15.0)	2	(18.2)	90	(15.1)	0.769
自宅訪問	5	(0.9)	1	(9.1)	6	(1.0)	0.007
その他	141	(24.0)	6	(54.5)	147	(24.6)	0.020
栄養改善加算の算定（2018年4-10月）							
あり	14	(1.3)	0	(0.0)	14	(1.0)	0.038
リハビリテーションマネジメント加算							
算定なし	82	(7.6)	27	(8.3)	109	(7.8)	0.682
I	671	(62.3)	275	(84.6)	946	(67.5)	0.000
II	4	(0.4)	2	(0.6)	6	(0.4)	0.555
III	306	(28.4)	22	(6.8)	328	(23.4)	0.000
IV	15	(1.4)	0	(0.0)	15	(1.1)	0.032
イベント（2018年4-10月）（複数回答）							
入院	154	(14.3)	20	(6.2)	174	(12.4)	0.000
施設入所	35	(3.2)	4	(1.2)	39	(2.8)	0.052
要介護度の重症化	15	(1.4)	5	(1.5)	20	(1.4)	0.846
利用中止	20	(1.9)	3	(0.9)	23	(1.6)	0.245
特になし	864	(80.2)	293	(90.2)	1157	(82.5)	0.000

表Ⅱ-3b-① 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（食事提供の有無別）

通所介護 (n=780)	食事提供あり		食事提供なし		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=752		n=24		n=776		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
記入者							
管理者	283	(46.1)	5	(20.8)	288	(45.1)	0.015
他の職員	331	(53.9)	19	(79.2)	350	(54.9)	
性別							
男性	218	(32.2)	11	(50.0)	229	(32.8)	0.080
女性	459	(67.8)	11	(50.0)	470	(67.2)	
年齢階級							
65歳未満	27	(3.6)	2	(8.3)	29	(3.7)	0.080
65-69歳	23	(3.1)	1	(4.2)	24	(3.1)	
70-79歳	136	(18.1)	8	(33.3)	144	(18.6)	
80-89歳	384	(51.1)	12	(50.0)	396	(51.1)	
90歳以上	181	(24.1)	1	(4.2)	182	(23.5)	
1か月あたりの利用回数							
0-4回	133	(18.1)	9	(37.5)	142	(18.8)	0.047
5-9回	326	(44.5)	14	(58.3)	340	(44.9)	
10-14回	163	(22.2)	1	(4.2)	164	(21.7)	
15-19回	53	(7.2)	0	(0.0)	53	(7.0)	
20-24回	26	(3.5)	0	(0.0)	26	(3.4)	
25-29回	15	(2.0)	0	(0.0)	15	(2.0)	
30-31回	17	(2.3)	0	(0.0)	17	(2.2)	
同居家族（複数回答可）							
独居（同居家族なし）	210	(27.9)	7	(29.2)	217	(28.0)	0.894
夫婦	202	(26.9)	12	(50.0)	214	(27.6)	0.013
子供	378	(50.3)	9	(37.5)	387	(49.9)	0.218
親	4	(0.5)	1	(4.2)	5	(0.6)	0.028
兄弟	9	(1.2)	0	(0.0)	9	(1.2)	0.590
親戚	4	(0.5)	0	(0.0)	4	(0.5)	0.720
その他	93	(12.4)	0	(0.0)	93	(12.0)	0.066
日中独居							
はい	396	(55.5)	14	(60.9)	410	(55.6)	0.854
いいえ	290	(40.6)	8	(34.8)	298	(40.4)	
わからない	28	(3.9)	1	(4.3)	29	(3.9)	
要支援、要介護度							
要支援1	37	(4.9)	3	(12.5)	40	(5.2)	0.013
要支援2	74	(9.8)	6	(25.0)	80	(10.3)	
要介護1	214	(28.5)	9	(37.5)	223	(28.7)	
要介護2	217	(28.9)	2	(8.3)	219	(28.2)	
要介護3	109	(14.5)	0	(0.0)	109	(14.0)	
要介護4	69	(9.2)	2	(8.3)	71	(9.1)	
要介護5	25	(3.3)	1	(4.2)	26	(3.4)	
総合事業対象者	7	(0.9)	1	(4.2)	8	(1.0)	
認知症高齢者の日常生活自立度							
自立	159	(24.4)	9	(37.5)	168	(24.9)	0.186
I	150	(23.0)	10	(41.7)	160	(23.7)	
II a	87	(13.4)	2	(8.3)	89	(13.2)	
II b	123	(18.9)	2	(8.3)	125	(18.5)	
III a	73	(11.2)	1	(4.2)	74	(11.0)	
III b	24	(3.7)	0	(0.0)	24	(3.6)	
IV	18	(2.8)	0	(0.0)	18	(2.7)	
M	17	(2.6)	0	(0.0)	17	(2.5)	

表Ⅱ-3b-② 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（食事提供の有無別）

通所介護 (n=780)	食事提供あり		食事提供なし		合計		(χ ² 検定)	
	n=752		n=24		n=776			
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	p 値	
BMI								
18.5kg/m ² 未満	101	(19.1)	6	(27.3)	107	(19.5)	0.344	
25kg/m ² 以上	104	(19.7)	3	(13.6)	107	(19.5)	0.482	
30kg/m ² 以上	20	(3.8)	0	(0.0)	20	(3.6)	0.352	
体重開始時からの変化量								
-25<x<=-20kg	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.2)	0.551	
-20<x<=-15kg	3	(0.5)	0	(0.0)	3	(0.5)		
-15<x<=-10kg	9	(1.6)	0	(0.0)	9	(1.6)		
-10<x<=-5kg	56	(10.2)	0	(0.0)	56	(9.8)		
-5<x<=-2kg	92	(16.8)	7	(31.8)	99	(17.3)		
-2<x<2kg	243	(44.3)	9	(40.9)	252	(44.1)		
2<=x<5kg	91	(16.6)	2	(9.1)	93	(16.3)		
5<=x<10kg	39	(7.1)	3	(13.6)	42	(7.4)		
10<=x<15kg	9	(1.6)	1	(4.5)	10	(1.8)		
15<=x<20kg	3	(0.5)	0	(0.0)	3	(0.5)		
20<=x<25kg	3	(0.5)	0	(0.0)	3	(0.5)		
体重開始時からの変化率								
-35<x<=-30%	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.2)		0.990
-30<x<=-25%	5	(0.9)	0	(0.0)	5	(0.9)		
-25<x<=-20%	5	(0.9)	0	(0.0)	5	(0.9)		
-20<x<=-15%	11	(2.0)	0	(0.0)	11	(1.9)		
-15<x<=-10%	37	(6.7)	1	(4.5)	38	(6.7)		
-10<x<=-5%	77	(14.0)	5	(22.7)	82	(14.4)		
-5<x<=-3%	43	(7.8)	2	(9.1)	45	(7.9)		
-3<x<3%	211	(38.4)	8	(36.4)	219	(38.4)		
3<=x<5%	42	(7.7)	0	(0.0)	42	(7.4)		
5<=x<10%	57	(10.4)	3	(13.6)	60	(10.5)		
10<=x<15%	21	(3.8)	2	(9.1)	23	(4.0)		
15<=x<20%	19	(3.5)	1	(4.5)	20	(3.5)		
20<=x<25%	8	(1.5)	0	(0.0)	8	(1.4)		
25<=x<30%	3	(0.5)	0	(0.0)	3	(0.5)		
30<=x<35%	4	(0.7)	0	(0.0)	4	(0.7)		
35<=x<40%	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.2)		
40<=x<45%	2	(0.4)	0	(0.0)	2	(0.4)		
50<=x<55%	2	(0.4)	0	(0.0)	2	(0.4)		

表 II -3b-③ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（食事提供の有無別）

通所介護 (n=780)	食事提供あり		食事提供なし		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=752		n=24		n=776		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
体重4月からの変化量							
-15<x<=-10kg	2	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.3)	0.588
-10<x<=-5kg	17	(2.9)	0	(0.0)	17	(2.8)	
-5<x<=-2kg	100	(17.0)	1	(5.9)	101	(16.7)	
-2<x<2kg	374	(63.5)	14	(82.4)	388	(64.0)	
2<=x<5kg	83	(14.1)	1	(5.9)	84	(13.9)	
5<=x<10kg	12	(2.0)	1	(5.9)	13	(2.1)	
10<=x<15kg	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.2)	
体重4月からの変化率							
-25<x<=-20%	2	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.3)	0.975
-20<x<=-15%	5	(0.8)	0	(0.0)	5	(0.8)	
-15<x<=-10%	11	(1.9)	0	(0.0)	11	(1.8)	
-10<x<=-5%	59	(10.0)	1	(5.9)	60	(9.9)	
-5<x<=-3%	73	(12.4)	2	(11.8)	75	(12.4)	
-3<x<3%	320	(54.3)	11	(64.7)	331	(54.6)	
3<=x<5%	62	(10.5)	2	(11.8)	64	(10.6)	
5<=x<10%	42	(7.1)	0	(0.0)	42	(6.9)	
10<=x<15%	11	(1.9)	1	(5.9)	12	(2.0)	
15<=x<20%	2	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.3)	
20<=x<25%	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.2)	
25<=x<30%	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.2)	
褥瘡							
あり	9	(1.2)	0	(0.0)	9	(1.2)	0.584

表 II -3b-④ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（食事提供の有無別）

通所介護 (n=780)	食事提供あり		食事提供なし		合計		(χ ² 検定) p 値	
	n=752		n=24		n=776			
	n	(%)	n	(%)	n	(%)		
ADLバーサル								
0, 5点	18	(4.9)	0	(0.0)	18	(4.6)	0.000	
10, 15点	6	(1.6)	0	(0.0)	6	(1.5)		
20, 25点	5	(1.4)	0	(0.0)	5	(1.3)		
30, 35点	12	(3.3)	0	(0.0)	12	(3.1)		
40, 45点	15	(4.1)	0	(0.0)	15	(3.8)		
50, 55点	29	(7.9)	0	(0.0)	29	(7.4)		
60, 65点	36	(9.8)	0	(0.0)	36	(9.2)		
70, 75点	40	(10.9)	0	(0.0)	40	(10.3)		
80, 85点	71	(19.3)	2	(9.1)	73	(18.7)		
90, 95点	72	(19.6)	6	(27.3)	78	(20.0)		
100点	64	(17.4)	14	(63.6)	78	(20.0)		
バーサル開始時からの変化量								
-80, 85点	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.3)	0.908	
-70, 75点	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.3)		
-60, 65点	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.3)		
-50, 55点	2	(0.6)	0	(0.0)	2	(0.6)		
-40, 45点	6	(1.8)	0	(0.0)	6	(1.7)		
-30, 35点	14	(4.1)	0	(0.0)	14	(3.9)		
-20, 25点	16	(4.7)	0	(0.0)	16	(4.4)		
-10, -15点	27	(7.9)	0	(0.0)	27	(7.5)		
-5点	21	(6.2)	1	(4.5)	22	(6.1)		
0点	196	(57.6)	16	(72.7)	212	(58.6)		
5点	31	(9.1)	4	(18.2)	35	(9.7)		
10, 15点	15	(4.4)	1	(4.5)	16	(4.4)		
20, 25点	5	(1.5)	0	(0.0)	5	(1.4)		
30, 35点	3	(0.9)	0	(0.0)	3	(0.8)		
60, 65点	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.3)		
バーサル4月からの変化量								
-50, 55点	2	(0.7)	0	(0.0)	2	(0.7)		0.850
-30, 35点	1	(0.4)	0	(0.0)	1	(0.3)		
-20, 25点	1	(0.4)	0	(0.0)	1	(0.3)		
-10, -15点	3	(1.1)	0	(0.0)	3	(1.0)		
-5点	4	(1.4)	1	(5.9)	5	(1.7)		
0点	247	(86.7)	16	(94.1)	263	(87.1)		
5点	11	(3.9)	0	(0.0)	11	(3.6)		
10, 15点	12	(4.2)	0	(0.0)	12	(4.0)		
20, 25点	4	(1.4)	0	(0.0)	4	(1.3)		

表 II -3b-⑤ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（食事提供の有無別）

通所介護 (n=780)	食事提供あり		食事提供なし		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=752		n=24		n=776		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
FIM							
18-19点	1	(3.7)	0	(0.0)	1	(2.7)	0.563
30-39点	1	(3.7)	0	(0.0)	1	(2.7)	
60-69点	1	(3.7)	0	(0.0)	1	(2.7)	
70-79点	3	(11.1)	0	(0.0)	3	(8.1)	
80-89点	3	(11.1)	0	(0.0)	3	(8.1)	
90-99点	3	(11.1)	0	(0.0)	3	(8.1)	
100-109点	4	(14.8)	2	(20.0)	6	(16.2)	
110-119点	7	(25.9)	5	(50.0)	12	(32.4)	
120-126点	4	(14.8)	3	(30.0)	7	(18.9)	
FIM開始時からの変化量							
-9~-1点	1	(10.0)	1	(10.0)	2	(10.0)	0.890
0点	5	(50.0)	6	(60.0)	11	(55.0)	
1~9点	4	(40.0)	3	(30.0)	7	(35.0)	
FIM4月からの変化量							
-9~-1点	0	(0.0)	1	(12.5)	1	(5.6)	0.105
0点	10	(100.0)	5	(62.5)	15	(83.3)	
1~9点	0	(0.0)	2	(25.0)	2	(11.1)	
IADL							
0点	5	(6.0)	0	(0.0)	5	(5.1)	0.000
1-9点	63	(75.0)	4	(28.6)	67	(68.4)	
10-19点	14	(16.7)	5	(35.7)	19	(19.4)	
20-29点	2	(2.4)	5	(35.7)	7	(7.1)	
IADL開始時からの変化量							
-9~-1点	10	(16.9)	1	(7.1)	11	(15.1)	0.235
0点	42	(71.2)	9	(64.3)	51	(69.9)	
1-9点	7	(11.9)	4	(28.6)	11	(15.1)	
IADL4月からの変化量							
-9~-1点	1	(2.0)	1	(9.1)	2	(3.2)	0.043
0点	50	(98.0)	9	(81.8)	59	(95.2)	
1-9点	0	(0.0)	1	(9.1)	1	(1.6)	

表II-3b-⑥ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（食事提供の有無別）

通所介護 (n=780)	食事提供あり		食事提供なし		合計		$(\chi^2$ 検定) p 値
	n=752		n=24		n=776		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
自分で買い物へ出かけている（概ね週1回以上）							
はい	119	(15.9)	12	(50.0)	131	(17.0)	0.000
いいえ	567	(75.8)	11	(45.8)	578	(74.9)	
わからない	62	(8.3)	1	(4.2)	63	(8.2)	
自宅等では食事を自分で作っている（概ね週1回以上）							
はい	112	(15.3)	10	(41.7)	122	(16.2)	0.001
いいえ	552	(75.5)	14	(58.3)	566	(75.0)	
わからない	67	(9.2)	0	(0.0)	67	(8.9)	
自宅等では一緒に食事を食べる人がいる（概ね週1回以上）							
はい	529	(72.3)	17	(70.8)	546	(72.2)	0.551
いいえ	175	(23.9)	7	(29.2)	182	(24.1)	
わからない	28	(3.8)	0	(0.0)	28	(3.7)	
開始からの日数							
30日以内	11	(1.6)	1	(4.2)	12	(1.7)	0.111
1か月以上6か月以内	79	(11.4)	3	(12.5)	82	(11.4)	
6か月以上1年以内	115	(16.6)	7	(29.2)	122	(17.0)	
1年以上2年以内	162	(23.3)	4	(16.7)	166	(23.1)	
2年以上3年以内	82	(11.8)	0	(0.0)	82	(11.4)	
3年以上4年以内	74	(10.7)	6	(25.0)	80	(11.1)	
4年以上5年以内	54	(7.8)	2	(8.3)	56	(7.8)	
5年以上10年以内	98	(14.1)	1	(4.2)	99	(13.8)	
10年以上	19	(2.7)	0	(0.0)	19	(2.6)	
利用開始前の状況							
在宅	480	(80.4)	17	(94.4)	497	(80.8)	0.499
入院	78	(13.1)	1	(5.6)	79	(12.8)	
施設入所	38	(6.4)	0	(0.0)	38	(6.2)	
その他	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.2)	
サービス利用開始時BMI							
18.5kg/m ² 未満	88	(22.1)	5	(22.7)	93	(22.1)	0.941
25kg/m ² 以上	76	(19.0)	2	(9.1)	78	(18.5)	0.242
30kg/m ² 以上	12	(3.0)	0	(0.0)	12	(2.9)	0.408

表Ⅱ-3b-⑦ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（食事提供の有無別）

通所介護 (n=780)	食事提供あり		食事提供なし		合計		(χ ² 検定) p値
	n=752		n=24		n=776		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
2018年4月末日時点で利用していた							
はい	635	(85.7)	19	(79.2)	654	(85.5)	0.371
いいえ	106	(14.3)	5	(20.8)	111	(14.5)	
2018年4月末日時点のBMI							
18.5kg/m ² 未満	78	(17.7)	4	(23.5)	82	(17.9)	0.538
25kg/m ² 以上	94	(21.3)	2	(11.8)	96	(21.0)	0.342
30kg/m ² 以上	16	(3.6)	0	(0.0)	16	(3.5)	0.424
管理栄養士との関わり							
あり	218	(29.3)	0	(0.0)	218	(28.4)	0.002
食事の観察（ミールラウン ド）	188	(86.2)	0	(0.0)	188	(86.2)	
食事の個別調整	37	(17.0)	0	(0.0)	37	(17.0)	
栄養相談	16	(7.3)	0	(0.0)	16	(7.3)	
自宅訪問	1	(0.5)	0	(0.0)	1	(0.5)	
その他	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	
栄養改善加算の算定（2018年4-10月）							
あり	3	(0.4)	0	(0.0)	3	(0.4)	0.755
個別機能訓練加算算定							
算定なし	357	(47.5)	6	(25.0)	363	(46.8)	0.030
I	81	(10.8)	0	(0.0)	81	(10.4)	0.089
II	162	(21.5)	8	(33.3)	170	(21.9)	0.169
I・II両方	152	(20.2)	10	(41.7)	162	(20.9)	0.011
イベント（2018年4-10月）							
入院	66	(8.8)	0	(0.0)	66	(8.5)	0.129
施設入所	13	(1.7)	0	(0.0)	13	(1.7)	0.516
要介護度の重症化	24	(3.2)	0	(0.0)	24	(3.1)	0.374
利用中止	8	(1.1)	0	(0.0)	8	(1.0)	0.612
特になし	652	(86.7)	24	(100.0)	676	(87.1)	0.056

表II-4a-① 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（管理栄養士の関わり）

通所リハビリテーション (n=1410)	管理栄養士関わりあり		管理栄養士関わりなし		合計		(χ ² 検定) p値
	n=600		n=809		n=1409		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
記入者							
管理者	112	(36.4)	106	(36.9)	218	(36.6)	0.885
他の職員	196	(63.6)	181	(63.1)	377	(63.4)	
性別							
男性	247	(41.3)	319	(40.3)	566	(40.7)	0.714
女性	351	(58.7)	472	(59.7)	823	(59.3)	
年齢階級							
65歳未満	25	(4.2)	36	(4.4)	61	(4.3)	0.069
65-69歳	36	(6.0)	40	(4.9)	76	(5.4)	
70-79歳	144	(24.0)	225	(27.8)	369	(26.2)	
80-89歳	265	(44.2)	377	(46.6)	642	(45.6)	
90歳以上	130	(21.7)	131	(16.2)	261	(18.5)	
利用回数							
0-4回	113	(18.8)	200	(24.7)	313	(22.2)	0.006
5-9回	311	(51.8)	421	(52.0)	732	(52.0)	
10-14回	147	(24.5)	151	(18.7)	298	(21.1)	
15-19回	21	(3.5)	25	(3.1)	46	(3.3)	
20-24回	5	(0.8)	12	(1.5)	17	(1.2)	
25-29回	3	(0.5)	0	(0.0)	3	(0.2)	
30-31回	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	
同居家族							
独居	92	(15.3)	183	(22.6)	275	(19.5)	0.001
夫婦	280	(46.7)	301	(37.2)	581	(41.2)	0.000
子供	275	(45.8)	311	(38.4)	586	(41.6)	0.005
親	11	(1.8)	10	(1.2)	21	(1.5)	0.360
兄弟	6	(1.0)	4	(0.5)	10	(0.7)	0.264
親戚	8	(1.3)	1	(0.1)	9	(0.6)	0.005
その他	35	(5.8)	41	(5.1)	76	(5.4)	0.529
日中独居							
はい	204	(35.1)	357	(50.4)	561	(43.5)	0.000
いいえ	294	(50.5)	315	(44.4)	609	(47.2)	
わからない	84	(14.4)	37	(5.2)	121	(9.4)	
要支援、要介護度							
要支援1	30	(5.0)	69	(8.5)	99	(7.0)	0.000
要支援2	52	(8.7)	146	(18.0)	198	(14.1)	
要介護1	123	(20.5)	190	(23.5)	313	(22.2)	
要介護2	168	(28.0)	196	(24.2)	364	(25.8)	
要介護3	116	(19.3)	114	(14.1)	230	(16.3)	
要介護4	79	(13.2)	62	(7.7)	141	(10.0)	
要介護5	32	(5.3)	32	(4.0)	64	(4.5)	
総合事業対象者	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	
認知症高齢者の日常生活自立度							
自立	146	(25.0)	214	(27.5)	360	(26.5)	0.020
I	144	(24.7)	201	(25.9)	345	(25.4)	
II a	107	(18.4)	166	(21.4)	273	(20.1)	
II b	101	(17.3)	126	(16.2)	227	(16.7)	
III a	45	(7.7)	42	(5.4)	87	(6.4)	
III b	27	(4.6)	12	(1.5)	39	(2.9)	
IV	12	(2.1)	15	(1.9)	27	(2.0)	
M	1	(0.2)	1	(0.1)	2	(0.1)	

表II-4a-② 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（管理栄養士の関わり）

通所リハビリテーション (n=1410)	管理栄養士関わりあり		管理栄養士関わりなし		合計		(χ ² 検定)
	n=600		n=809		n=1409		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	p 値
食事提供							
あり	587	(98.2)	490	(61.0)	1077	(76.9)	0.000
食事形態							
普通食	409	(69.7)	439	(89.6)	848	(78.7)	0.000
きざみ/軟菜食	146	(24.9)	43	(8.8)	189	(17.5)	0.000
えんげ調整食	30	(5.1)	6	(1.2)	36	(3.3)	0.000
経管	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	-
わからない	5	(0.9)	5	(1.0)	10	(0.9)	0.774
食事摂取割合							
7割以上	543	(92.7)	466	(95.3)	1009	(93.9)	0.183
6割以下	42	(7.2)	22	(4.5)	64	(6.0)	
わからない	1	(0.2)	1	(0.2)	2	(0.2)	
とろみ剤							
あり	76	(13.0)	19	(3.9)	95	(8.8)	0.000
食事の際に奥歯で（義歯でも可）噛みしめている							
はい	476	(81.2)	434	(88.8)	910	(84.7)	0.002
いいえ	66	(11.3)	37	(7.6)	103	(9.6)	
わからない	44	(7.5)	18	(3.7)	62	(5.8)	
食事中にむせたり咳き込んだりすることがある							
はい	135	(23.0)	60	(12.3)	195	(18.2)	0.000
いいえ	426	(72.7)	427	(87.5)	853	(79.4)	
わからない	25	(4.3)	1	(0.2)	26	(2.4)	
食事介助							
全面介助	15	(2.6)	5	(1.1)	20	(1.9)	0.090
一部介助	42	(7.3)	26	(5.5)	68	(6.5)	
自力	522	(90.2)	443	(93.5)	965	(91.6)	
BMI							
18.5kg/m ² 未満	85	(14.7)	75	(10.5)	160	(12.4)	0.022
25kg/m ² 以上	164	(28.4)	208	(29.2)	372	(28.8)	0.768
30kg/m ² 以上	33	(5.7)	37	(5.2)	70	(5.4)	0.676

表 II-4a-③ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（管理栄養士の関わり）

通所リハビリテーション (n=1410)	管理栄養士関わりあり		管理栄養士関わりなし		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=600		n=809		n=1409		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
体重開始時からの変化量							
-25kg<x<=-20kg	1	(0.2)	2	(0.3)	3	(0.3)	0.524
-20kg<x<=-15kg	10	(2.1)	7	(1.0)	17	(1.4)	
-15kg<x<=-10kg	35	(7.4)	34	(4.7)	69	(5.8)	
-10kg<x<=-5kg	75	(15.9)	113	(15.6)	188	(15.7)	
-5kg<x<=-2kg	231	(48.9)	384	(53.0)	615	(51.4)	
-2kg<x<2kg	73	(15.5)	117	(16.2)	190	(15.9)	
2kg<=x<5kg	35	(7.4)	45	(6.2)	80	(6.7)	
5kg<=x<10kg	10	(2.1)	16	(2.2)	26	(2.2)	
10kg<=x<15kg	1	(0.2)	3	(0.4)	4	(0.3)	
15kg<=x<20kg	1	(0.2)	2	(0.3)	3	(0.3)	
20kg<=x<25kg	0	(0.0)	1	(0.1)	1	(0.1)	
体重開始時からの変化率							
-35%<x<=-30%	0	(0.0)	1	(0.1)	1	(0.1)	0.255
-30%<x<=-25%	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.1)	
-25%<x<=-20%	5	(1.1)	6	(0.8)	11	(0.9)	
-20%<x<=-15%	10	(2.1)	7	(1.0)	17	(1.4)	
-15%<x<=-10%	27	(5.7)	21	(2.9)	48	(4.0)	
-10%<x<=-5%	51	(10.8)	75	(10.4)	126	(10.5)	
-5%<x<=-3%	45	(9.5)	68	(9.4)	113	(9.4)	
-3%<x<3%	197	(41.7)	347	(47.9)	544	(45.5)	
3%<=x<5%	44	(9.3)	47	(6.5)	91	(7.6)	
5%<=x<10%	51	(10.8)	87	(12.0)	138	(11.5)	
10%<=x<15%	16	(3.4)	28	(3.9)	44	(3.7)	
15%<=x<20%	15	(3.2)	19	(2.6)	34	(2.8)	
20%<=x<25%	5	(1.1)	6	(0.8)	11	(0.9)	
25%<=x<30%	4	(0.8)	4	(0.6)	8	(0.7)	
30%<=x<35%	0	(0.0)	3	(0.4)	3	(0.3)	
35%<=x<40%	1	(0.2)	2	(0.3)	3	(0.3)	
40%<=x<45%	0	(0.0)	1	(0.1)	1	(0.1)	
45%<=x<50%	0	(0.0)	1	(0.1)	1	(0.1)	
100%<=x<105%	0	(0.0)	1	(0.1)	1	(0.1)	

表 II-4a-④ 通所リハ・通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（管理栄養士の関わり）

通所リハビリテーション (n=1410)	管理栄養士関わりあり		管理栄養士関わりなし		合計		(χ ² 検定) p 値	
	n=600		n=809		n=1409			
	n	(%)	n	(%)	n	(%)		
体重4月からの変化量								
-15kg<x<=-10kg	2	(0.5)	1	(0.2)	3	(0.3)	0.370	
-10kg<x<=-5kg	13	(3.0)	6	(1.2)	19	(2.0)		
-5kg<x<=-2kg	77	(17.6)	78	(15.4)	155	(16.5)		
-2kg<x<2kg	292	(66.8)	367	(72.7)	659	(70.0)		
2kg<=x<5kg	44	(10.1)	45	(8.9)	89	(9.4)		
5kg<=x<10kg	7	(1.6)	6	(1.2)	13	(1.4)		
10kg<=x<15kg	1	(0.2)	1	(0.2)	2	(0.2)		
15kg<=x<20kg	0	(0.0)	1	(0.2)	1	(0.1)		
20kg<=x<25kg	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.1)		
体重4月からの変化率								
-20%<x<=-15%	3	(0.7)	2	(0.4)	5	(0.5)	0.170	
-15%<x<=-10%	10	(2.3)	5	(1.0)	15	(1.6)		
-10%<x<=-5%	43	(9.8)	40	(7.9)	83	(8.8)		
-5%<x<=-3%	64	(14.6)	55	(10.9)	119	(12.6)		
-3%<x<3%	243	(55.6)	333	(65.9)	576	(61.1)		
3%<=x<5%	37	(8.5)	38	(7.5)	75	(8.0)		
5%<=x<10%	27	(6.2)	24	(4.8)	51	(5.4)		
10%<=x<15%	5	(1.1)	5	(1.0)	10	(1.1)		
15%<=x<20%	3	(0.7)	2	(0.4)	5	(0.5)		
20%<=x<25%	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.1)		
25%<=x<30%	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.1)		
35%<=x<40%	0	(0.0)	1	(0.2)	1	(0.1)		
褥瘡								
あり	4	(0.7)	8	(1.1)	12	(0.9)		0.456

表II-4a-⑤ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（管理栄養士の関わり）

通所リハビリテーション (n=1410)	管理栄養士関わりあり		管理栄養士関わりなし		合計		(χ ² 検定) p値
	n=600		n=809		n=1409		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
ADLバーサル							
0, 5点	10	(1.7)	5	(0.7)	15	(1.1)	0.000
10, 15点	10	(1.7)	8	(1.0)	18	(1.3)	
20, 25点	13	(2.2)	6	(0.8)	19	(1.4)	
30, 35点	19	(3.2)	10	(1.3)	29	(2.1)	
40, 45点	39	(6.6)	10	(1.3)	49	(3.6)	
50, 55点	31	(5.3)	36	(4.7)	67	(5.0)	
60, 65点	48	(8.1)	53	(7.0)	101	(7.5)	
70, 75点	56	(9.5)	85	(11.2)	141	(10.4)	
80, 85点	165	(28.0)	163	(21.4)	328	(24.3)	
90, 95点	136	(23.1)	241	(31.6)	377	(27.9)	
100点	63	(10.7)	145	(19.0)	208	(15.4)	
バーサル開始時からの変化量							
-85, 80点	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.1)	0.000
-75, 70点	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.1)	
-65, 60点	0	(0.0)	1	(0.1)	1	(0.1)	
-55, 50点	2	(0.4)	4	(0.5)	6	(0.5)	
-45, 40点	2	(0.4)	3	(0.4)	5	(0.4)	
-35, 30点	19	(3.9)	8	(1.1)	27	(2.2)	
-25, 20点	18	(3.7)	24	(3.2)	42	(3.4)	
-15, -10点	24	(4.9)	53	(7.2)	77	(6.3)	
-5点	288	(58.4)	514	(69.6)	802	(65.1)	
0点	74	(15.0)	69	(9.3)	143	(11.6)	
5点	44	(8.9)	45	(6.1)	89	(7.2)	
10, 15点	8	(1.6)	13	(1.8)	21	(1.7)	
20, 25点	9	(1.8)	3	(0.4)	12	(1.0)	
30, 35点	3	(0.6)	1	(0.1)	4	(0.3)	
60, 65点	0	(0.0)	1	(0.1)	1	(0.1)	
バーサル4月からの変化量							
-55, 50点	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.1)	0.500
-45, 40点	0	(0.0)	2	(0.4)	2	(0.2)	
-25, 20点	4	(1.0)	2	(0.4)	6	(0.7)	
-15, -10点	14	(3.6)	21	(3.9)	35	(3.8)	
-5点	24	(6.2)	26	(4.9)	50	(5.4)	
0点	303	(78.3)	437	(81.8)	740	(80.3)	
5点	21	(5.4)	28	(5.2)	49	(5.3)	
10, 15点	13	(3.4)	12	(2.2)	25	(2.7)	
20, 25点	4	(1.0)	5	(0.9)	9	(1.0)	
30, 35点	1	(0.3)	1	(0.2)	2	(0.2)	
45, 40点	2	(0.5)	0	(0.0)	2	(0.2)	

表 II-4a-⑥ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（管理栄養士の関わり）

通所リハビリテーション (n=1410)	管理栄養士関わりあり		管理栄養士関わりなし		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=600		n=809		n=1409		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
FIM							
20-29点	2	(2.5)	0	(0.0)	2	(0.9)	0.001
30-39点	3	(3.8)	0	(0.0)	3	(1.4)	
40-49点	2	(2.5)	1	(0.7)	3	(1.4)	
50-59点	4	(5.0)	1	(0.7)	5	(2.3)	
60-69点	4	(5.0)	4	(3.0)	8	(3.7)	
70-79点	7	(8.8)	8	(5.9)	15	(7.0)	
80-89点	8	(10.0)	8	(5.9)	16	(7.4)	
90-99点	19	(23.8)	19	(14.1)	38	(17.7)	
100-109点	15	(18.8)	29	(21.5)	44	(20.5)	
110-119点	11	(13.8)	42	(31.1)	53	(24.7)	
120-126点	5	(6.3)	23	(17.0)	28	(13.0)	
FIM開始時からの変化量							
-29~-20点	1	(1.3)	2	(1.5)	3	(1.4)	0.267
-19~-10点	1	(1.3)	3	(2.2)	4	(1.9)	
-9~-1点	16	(20.0)	13	(9.6)	29	(13.5)	
0点	33	(41.3)	77	(57.0)	110	(51.2)	
1~9点	26	(32.5)	36	(26.7)	62	(28.8)	
10~19点	2	(2.5)	2	(1.5)	4	(1.9)	
20~29点	1	(1.3)	2	(1.5)	3	(1.4)	
FIM4月からの変化量							
-19~-10点	0	(0.0)	2	(1.8)	2	(1.1)	0.000
-9~-1点	17	(23.9)	3	(2.7)	20	(10.9)	
0点	33	(46.5)	91	(81.3)	124	(67.8)	
1~9点	19	(26.8)	14	(12.5)	33	(18.0)	
10~19点	1	(1.4)	2	(1.8)	3	(1.6)	
20~29点	1	(1.4)	0	(0.0)	1	(0.5)	
IADL							
0点	102	(20.9)	54	(8.6)	156	(14.0)	0.000
1-9点	200	(41.1)	277	(44.2)	477	(42.8)	
10-19点	109	(22.4)	168	(26.8)	277	(24.9)	
20-29点	48	(9.9)	88	(14.0)	136	(12.2)	
30-39点	19	(3.9)	36	(5.7)	55	(4.9)	
40-49点	9	(1.8)	4	(0.6)	13	(1.2)	
IADL開始時からの変化量							
-39~30点	0	(0.0)	1	(0.2)	1	(0.1)	0.043
-29~-20点	2	(0.4)	0	(0.0)	2	(0.2)	
-19~-10点	3	(0.7)	9	(1.5)	12	(1.1)	
-9~-1点	40	(8.7)	44	(7.3)	84	(7.9)	
0点	267	(57.9)	369	(61.1)	636	(59.7)	
1~9点	125	(27.1)	168	(27.8)	293	(27.5)	
10~19点	23	(5.0)	11	(1.8)	34	(3.2)	
20~29点	1	(0.2)	2	(0.3)	3	(0.3)	
IADL4月からの変化量							
-29~-20点	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.1)	0.004
-19~-10点	2	(0.5)	4	(0.9)	6	(0.7)	
-9~-1点	44	(11.1)	28	(6.1)	72	(8.4)	
0点	303	(76.5)	362	(78.5)	665	(77.6)	
1~9点	36	(9.1)	65	(14.1)	101	(11.8)	
10~19点	9	(2.3)	2	(0.4)	11	(1.3)	
20~29点	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.1)	

表Ⅱ-4a-⑦ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（管理栄養士の関わり）

通所リハビリテーション (n=1410)	管理栄養士関わりあり		管理栄養士関わりなし		合計		p 値
	n=600		n=809		n=1409		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	(χ^2 検定)
自分で買い物へ出かけている（概ね週1回以上）							
はい	77	(12.9)	223	(27.6)	300	(21.3)	0.000
いいえ	491	(82.1)	543	(67.2)	1034	(73.5)	
わからない	30	(5.0)	42	(5.2)	72	(5.1)	
自宅等では食事を自分で作っている（概ね週1回以上）							
はい	113	(18.9)	249	(30.8)	362	(25.7)	0.000
いいえ	462	(77.3)	527	(65.1)	989	(70.3)	
わからない	23	(3.8)	33	(4.1)	56	(4.0)	
自宅等では一緒に食事を食べる人がいる（概ね週1回以上）							
はい	495	(82.9)	622	(76.9)	1117	(79.4)	0.000
いいえ	80	(13.4)	180	(22.2)	260	(18.5)	
わからない	22	(3.7)	7	(0.9)	29	(2.1)	
開始からの日数							
30日以内	24	(4.0)	50	(6.5)	74	(5.4)	0.000
1か月以上6か月以内	80	(13.4)	131	(17.0)	211	(15.4)	
6か月以上1年以内	98	(16.4)	128	(16.6)	226	(16.5)	
1年以上2年以内	111	(18.6)	140	(18.2)	251	(18.4)	
2年以上3年以内	86	(14.4)	84	(10.9)	170	(12.4)	
3年以上4年以内	58	(9.7)	78	(10.1)	136	(9.9)	
4年以上5年以内	66	(11.0)	30	(3.9)	96	(7.0)	
5年以上10年以内	62	(10.4)	96	(12.5)	158	(11.6)	
10年以上	13	(2.2)	32	(4.2)	45	(3.3)	
利用開始前の状況							
在宅	268	(46.5)	597	(74.3)	865	(62.7)	0.000
入院	248	(43.0)	185	(23.0)	433	(31.4)	
施設入所	59	(10.2)	21	(2.6)	80	(5.8)	
その他	2	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.1)	
サービス利用開始時BMI							
18.5kg/m ² 未満	66	(14.1)	67	(9.9)	133	(11.6)	0.028
25kg/m ² 以上	126	(26.9)	176	(26.0)	302	(26.4)	0.716
30kg/m ² 以上	29	(6.3)	34	(5.1)	63	(5.6)	0.409

表 II-4a-⑧ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（管理栄養士の関わり）

通所リハビリテーション (n=1410)	管理栄養士関わりあり n=600		管理栄養士関わりなし n=809		合計 n=1409		p 値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
2018年4月末日時点で利用していた							
はい	462	(79.7)	577	(74.1)	1039	(76.5)	0.016
いいえ	118	(20.3)	202	(25.9)	320	(23.5)	
栄養改善加算の算定（2018年4-10月）							
あり	14	(2.4)	0	(0.0)	14	(1.0)	0.000
リハビリテーション・マネジメント加算							
算定なし	34	(5.7)	74	(9.1)	108	(7.7)	0.015
I	414	(69.0)	540	(66.7)	954	(67.7)	0.372
II	3	(0.5)	3	(0.4)	6	(0.4)	0.713
III	139	(23.2)	189	(23.4)	328	(23.3)	0.932
IV	11	(1.8)	4	(0.5)	15	(1.1)	0.015
イベント（2018年4-10月）							
入院	110	(18.3)	64	(7.9)	174	(12.3)	0.000
施設入所	28	(4.7)	11	(1.4)	39	(2.8)	0.000
要介護度の重症化	9	(1.5)	11	(1.4)	20	(1.4)	0.826
利用中止	8	(1.3)	15	(1.9)	23	(1.6)	0.446
特になし	451	(75.2)	713	(88.1)	1164	(82.6)	0.000

表Ⅱ-4b-① 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（管理栄養士の関わり）

通所介護 (n=780)	管理栄養士関わりあり n=218		管理栄養士関わりなし n=553		合計 n=771		(χ ² 検定) p 値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
記入者							
管理者	60	(27.5)	223	(53.7)	283	(44.7)	0.000
他の職員	158	(72.5)	192	(46.3)	350	(55.3)	
性別							
男性	66	(30.3)	164	(34.0)	230	(32.8)	0.337
女性	152	(69.7)	319	(66.0)	471	(67.2)	
年齢階級							
65歳未満	10	(4.6)	19	(3.4)	29	(3.8)	0.507
65-69歳	6	(2.8)	17	(3.1)	23	(3.0)	
70-79歳	34	(15.6)	110	(19.9)	144	(18.7)	
80-89歳	110	(50.5)	282	(51.1)	392	(50.9)	
90歳以上	58	(26.6)	124	(22.5)	182	(23.6)	
利用回数							
0-4回	32	(14.7)	109	(20.4)	141	(18.8)	0.009
5-9回	98	(45.0)	241	(45.1)	339	(45.1)	
10-14回	59	(27.1)	102	(19.1)	161	(21.4)	
15-19回	16	(7.3)	37	(6.9)	53	(7.0)	
20-24回	6	(2.8)	20	(3.7)	26	(3.5)	
25-29回	7	(3.2)	8	(1.5)	15	(2.0)	
30-31回	0	(0.0)	17	(3.2)	17	(2.3)	
同居家族							
独居	46	(21.1)	172	(31.1)	218	(28.3)	0.005
夫婦	57	(26.1)	154	(27.8)	211	(27.4)	0.633
子供	126	(57.8)	256	(46.3)	382	(49.5)	0.004
親	3	(1.4)	2	(0.4)	5	(0.6)	0.114
兄弟	3	(1.4)	6	(1.1)	9	(1.2)	0.735
親戚	0	(0.0)	4	(0.7)	4	(0.5)	0.208
その他	30	(13.8)	63	(11.4)	93	(12.1)	0.363
日中独居							
はい	113	(57.7)	297	(55.1)	410	(55.8)	0.004
いいえ	83	(42.3)	213	(39.5)	296	(40.3)	
わからない	0	(0.0)	29	(5.4)	29	(3.9)	
要支援、要介護度							
要支援1	9	(4.1)	31	(5.6)	40	(5.2)	0.338
要支援2	16	(7.3)	62	(11.2)	78	(10.1)	
要介護1	65	(29.8)	154	(27.8)	219	(28.4)	
要介護2	59	(27.1)	160	(28.9)	219	(28.4)	
要介護3	33	(15.1)	77	(13.9)	110	(14.3)	
要介護4	27	(12.4)	44	(8.0)	71	(9.2)	
要介護5	8	(3.7)	18	(3.3)	26	(3.4)	
総合事業対象者	1	(0.5)	7	(1.3)	8	(1.0)	
認知症高齢者の日常生活自立度							
自立	28	(17.0)	138	(27.3)	166	(24.8)	0.048
I	41	(24.8)	118	(23.4)	159	(23.7)	
II a	19	(11.5)	70	(13.9)	89	(13.3)	
II b	40	(24.2)	83	(16.4)	123	(18.4)	
III a	25	(15.2)	49	(9.7)	74	(11.0)	
III b	5	(3.0)	19	(3.8)	24	(3.6)	
IV	4	(2.4)	14	(2.8)	18	(2.7)	
M	3	(1.8)	14	(2.8)	17	(2.5)	

表Ⅱ-4b-② 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（管理栄養士の関わり）

通所介護 (n=780)	管理栄養士関わりあり n=218		管理栄養士関わりなし n=553		合計 n=771		(χ ² 検定) p 値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
食事提供							
あり	218	(100.0)	526	(95.6)	744	(96.9)	0.002
食事形態							
普通食	187	(85.8)	418	(79.5)	605	(81.3)	0.044
きざみ／軟菜食	25	(11.5)	71	(13.5)	96	(12.9)	0.452
えんげ調整食	6	(2.8)	29	(5.5)	35	(4.7)	0.105
経管	0	(0.0)	2	(0.4)	2	(0.3)	0.362
わからない	0	(0.0)	7	(1.3)	7	(0.9)	0.087
食事摂取割合							
7割以上	198	(91.2)	494	(94.1)	692	(93.3)	0.159
6割以下	19	(8.8)	31	(5.9)	50	(6.7)	
わからない	0	(0.0)	0		0	(0.0)	
とろみ剤							
あり	15	(6.9)	43	(8.2)	58	(7.8)	0.545
食事の際に奥歯で（義歯でも可）噛みしめている							
はい	158	(92.4)	423	(80.9)	581	(83.7)	0.001
いいえ	10	(5.8)	63	(12.0)	73	(10.5)	
わからない	3	(1.8)	37	(7.1)	40	(5.8)	
食事中にむせたり咳き込んだりすることがある							
はい	20	(9.2)	66	(12.6)	86	(11.6)	0.270
いいえ	198	(90.8)	457	(87.0)	655	(88.2)	
わからない	0	(0.0)	2	(0.4)	2	(0.3)	
食事介助							
全面介助	5	(2.3)	15	(2.9)	20	(2.7)	0.000
一部介助	79	(36.4)	61	(11.8)	140	(19.0)	
自力	133	(61.3)	443	(85.4)	576	(81.3)	
BMI							
18.5kg/m ² 未満	43	(23.9)	64	(17.5)	107	(19.6)	0.079
25kg/m ² 以上	20	(11.1)	86	(23.6)	106	(19.4)	0.001
30kg/m ² 以上	4	(2.2)	16	(4.4)	20	(3.7)	0.207

表Ⅱ-4b-③ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（管理栄養士の関わり）

通所介護 (n=780)	管理栄養士関わりあり		管理栄養士関わりなし		合計		(χ ² 検定) p 値	
	n=218		n=553		n=771			
	n	(%)	n	(%)	n	(%)		
体重開始時からの変化量								
-25kg<x<=-20kg	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.2)	0.015	
-20kg<x<=-15kg	1	(0.5)	2	(0.5)	3	(0.5)		
-15kg<x<=-10kg	2	(1.1)	7	(1.8)	9	(1.6)		
-10kg<x<=-5kg	12	(6.6)	44	(11.4)	56	(9.8)		
-5kg<x<=-2kg	31	(16.9)	68	(17.6)	99	(17.4)		
-2kg<x<2kg	76	(41.5)	176	(45.5)	252	(44.2)		
2kg<=x<5kg	45	(24.6)	48	(12.4)	93	(16.3)		
5kg<=x<10kg	13	(7.1)	28	(7.2)	41	(7.2)		
10kg<=x<15kg	0	(0.0)	10	(2.6)	10	(1.8)		
15kg<=x<20kg	1	(0.5)	2	(0.5)	3	(0.5)		
20kg<=x<25kg	2	(1.1)	1	(0.3)	3	(0.5)		
体重開始時からの変化率								
-35%<x<=-30%	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.2)		0.011
-30%<x<=-25%	1	(0.5)	4	(1.0)	5	(0.9)		
-25%<x<=-20%	2	(1.1)	3	(0.8)	5	(0.9)		
-20%<x<=-15%	4	(2.2)	7	(1.8)	11	(1.9)		
-15%<x<=-10%	4	(2.2)	34	(8.8)	38	(6.7)		
-10%<x<=-5%	25	(13.7)	57	(14.7)	82	(14.4)		
-5%<x<=-3%	13	(7.1)	32	(8.3)	45	(7.9)		
-3%<x<3%	67	(46.6)	152	(39.3)	219	(38.4)		
3%<=x<5%	20	(10.9)	22	(5.7)	42	(7.4)		
5%<=x<10%	30	(16.4)	30	(7.8)	60	(10.5)		
10%<=x<15%	5	(2.7)	18	(4.7)	23	(4.0)		
15%<=x<20%	6	(3.3)	14	(3.6)	20	(3.5)		
20%<=x<25%	3	(1.6)	4	(1.0)	7	(1.2)		
25%<=x<30%	0	(0.0)	3	(0.8)	3	(0.5)		
30%<=x<35%	0	(0.0)	4	(1.0)	4	(0.7)		
35%<=x<40%	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.2)		
40%<=x<45%	1	(0.5)	1	(0.3)	2	(0.4)		
50%<=x<55%	2	(1.1)	0	(0.0)	2	(0.4)		

表 II -4b-④ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（管理栄養士の関わり）

通所介護 (n=780)	管理栄養士関わりあり		管理栄養士関わりなし		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=218		n=553		n=771		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
体重4月からの変化量							
-15kg<x<=-10kg	1	(0.6)	1	(0.2)	2	(0.3)	0.176
-10kg<x<=-5kg	8	(4.6)	9	(2.1)	17	(2.8)	
-5kg<x<=-2kg	30	(17.3)	72	(16.8)	102	(16.9)	
-2kg<x<2kg	100	(57.8)	286	(66.7)	386	(64.1)	
2kg<=x<5kg	31	(17.9)	50	(11.7)	81	(13.5)	
5kg<=x<10kg	3	(1.7)	10	(2.3)	13	(2.2)	
10kg<=x<15kg	0	(0.0)	1	(0.2)	1	(0.2)	
体重4月からの変化率							
-25%<x<=-20%	1	(0.6)	1	(0.2)	2	(0.3)	0.791
-20%<x<=-15%	2	(1.2)	3	(0.7)	5	(0.8)	
-15%<x<=-10%	5	(2.9)	6	(1.4)	11	(1.8)	
-10%<x<=-5%	18	(10.4)	43	(10.0)	61	(10.1)	
-5%<x<=-3%	22	(12.7)	53	(12.4)	75	(12.5)	
-3%<x<3%	84	(48.6)	244	(56.9)	328	(54.5)	
3%<=x<5%	21	(12.1)	42	(9.8)	63	(10.5)	
5%<=x<10%	15	(8.7)	26	(6.1)	41	(6.8)	
10%<=x<15%	4	(2.3)	8	(1.9)	12	(2.0)	
15%<=x<20%	1	(0.6)	1	(0.2)	2	(0.3)	
20%<=x<25%	0	(0.0)	1	(0.2)	1	(0.2)	
25%<=x<30%	0	(0.0)	1	(0.2)	1	(0.2)	
褥瘡							
あり	0	(0.0)	9	(1.7)	9	(1.2)	0.062

表 II-4b-⑤ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（管理栄養士の関わり）

通所介護 (n=780)	管理栄養士関わりあり n=218		管理栄養士関わりなし n=553		合計 n=771		p 値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
ADLバーサル							
0, 5点	3	(2.8)	15	(5.3)	18	(4.6)	0.003
10, 15点	3	(2.8)	3	(1.1)	6	(1.5)	
20, 25点	2	(1.8)	3	(1.1)	5	(1.3)	
30, 35点	3	(2.8)	9	(3.2)	12	(3.1)	
40, 45点	8	(7.3)	7	(2.5)	15	(3.8)	
50, 55点	9	(8.3)	20	(7.1)	29	(7.4)	
60, 65点	9	(8.3)	27	(9.6)	36	(9.2)	
70, 75点	9	(8.3)	31	(11.0)	40	(10.3)	
80, 85点	28	(25.7)	45	(16.0)	73	(18.7)	
90, 95点	27	(24.8)	51	(18.1)	78	(20.0)	
100点	8	(7.3)	70	(24.9)	78	(20.0)	
バーサル開始時からの変化量							
-85, 80点	0	(0.0)	1	(0.4)	1	(0.3)	0.557
-75, 70点	0	(0.0)	1	(0.4)	1	(0.3)	
-65, 60点	1	(1.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	
-55, 50点	1	(1.0)	1	(0.4)	2	(0.6)	
-45, 40点	0	(0.0)	6	(2.3)	6	(1.7)	
-35, 30点	5	(5.0)	9	(3.4)	14	(3.9)	
-25, 20点	3	(3.0)	13	(5.0)	16	(4.4)	
-15, -10点	5	(5.0)	22	(8.4)	27	(7.5)	
-5点	5	(5.0)	17	(6.5)	22	(6.1)	
0点	65	(64.4)	147	(56.3)	212	(58.6)	
5点	12	(11.9)	23	(8.8)	35	(9.7)	
10, 15点	3	(3.0)	13	(5.0)	16	(4.4)	
20, 25点	1	(1.0)	4	(1.5)	5	(1.4)	
30, 35点	0	(0.0)	3	(1.1)	3	(0.8)	
60, 65点	0	(0.0)	1	(0.4)	1	(0.3)	
バーサル4月からの変化量							
-50, 55点	2	(2.4)	0	(0.0)	2	(0.7)	0.254
-30, 35点	0	(0.0)	1	(0.5)	1	(0.3)	
-20, 25点	0	(0.0)	1	(0.5)	1	(0.3)	
-10, -15点	1	(1.2)	2	(0.9)	3	(1.0)	
-5点	1	(1.2)	4	(1.8)	5	(1.7)	
0点	77	(90.6)	186	(85.7)	263	(87.1)	
5点	3	(3.5)	8	(3.7)	11	(3.6)	
10, 15点	1	(1.2)	11	(5.1)	12	(4.0)	
20, 25点	0	(0.0)	4	(1.8)	4	(1.3)	

表II-4b-⑥ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（管理栄養士の関わり）

通所介護 (n=780)	管理栄養士関わりあり		管理栄養士関わりなし		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=218		n=553		n=771		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
FIM							
18-19点	0	(0.0)	1	(2.8)	1	(2.7)	0.724
30-39点	0	(0.0)	1	(2.8)	1	(2.7)	
60-69点	0	(0.0)	1	(2.8)	1	(2.7)	
70-79点	0	(0.0)	3	(8.3)	3	(8.1)	
80-89点	0	(0.0)	3	(8.3)	3	(8.1)	
90-99点	0	(0.0)	3	(8.3)	3	(8.1)	
100-109点	1	(100.0)	5	(13.9)	6	(16.2)	
110-119点	0	(0.0)	12	(33.3)	12	(32.4)	
120-126点	0	(0.0)	7	(19.4)	7	(18.9)	
FIM開始時からの変化量							
-9~-1点	0	(0.0)	2	(10.0)	2	(10.0)	-
0点	0	(0.0)	11	(55.0)	11	(55.0)	
1~9点	0	(0.0)	7	(35.0)	7	(35.0)	
FIM4月からの変化量							
-9~-1点	0	(0.0)	1	(5.6)	1	(5.6)	-
0点	0	(0.0)	15	(83.3)	15	(83.3)	
1~9点	0	(0.0)	2	(11.1)	2	(11.1)	
IADL							
0点	1	(4.2)	4	(5.4)	5	(5.1)	0.806
1-9点	16	(66.7)	51	(68.9)	67	(68.4)	
10-19点	6	(25.0)	13	(17.6)	19	(19.4)	
20-29点	1	(4.2)	6	(8.1)	7	(7.1)	
IADL開始時からの変化量							
-9~-1点	2	(11.1)	9	(16.4)	11	(15.1)	0.316
0点	15	(83.3)	36	(65.5)	51	(69.9)	
1~9点	1	(5.6)	10	(18.2)	11	(15.1)	
IADL4月からの変化量							
-9~-1点	0	(0.0)	2	(4.4)	2	(3.2)	0.551
0点	17	(100.0)	42	(93.3)	59	(95.2)	
1~9点	0	(0.0)	1	(2.2)	1	(1.6)	

表Ⅱ-4b-⑦ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（管理栄養士の関わり）

通所介護 (n=780)	管理栄養士関わりあり		管理栄養士関わりなし		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=218		n=553		n=771		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
自分で買い物へ出かけている（概ね週1回以上）							
はい	31	(14.2)	100	(18.2)	131	(17.1)	0.004
いいえ	179	(82.1)	396	(72.0)	575	(74.9)	
わからない	8	(3.7)	54	(9.8)	62	(8.1)	
自宅等では食事を自分で作っている（概ね週1回以上）							
はい	31	(15.3)	92	(16.8)	123	(16.4)	0.033
いいえ	162	(80.2)	401	(73.0)	563	(75.0)	
わからない	9	(4.5)	56	(10.2)	65	(8.7)	
自宅等では一緒に食事を食べる人がいる（概ね週1回以上）							
はい	162	(79.0)	382	(69.8)	544	(72.3)	0.042
いいえ	37	(18.0)	144	(26.3)	181	(24.1)	
わからない	6	(2.9)	21	(3.8)	27	(3.6)	
開始からの日数							
30日以内	3	(1.6)	9	(1.7)	12	(1.7)	0.307
1か月以上6か月以内	20	(10.6)	63	(12.0)	83	(11.6)	
6か月以上1年以内	33	(17.6)	87	(16.6)	120	(16.8)	
1年以上2年以内	45	(23.9)	120	(22.9)	165	(23.1)	
2年以上3年以内	22	(11.7)	61	(11.6)	83	(11.6)	
3年以上4年以内	26	(13.8)	52	(9.9)	78	(10.9)	
4年以上5年以内	19	(10.1)	36	(6.9)	55	(7.7)	
5年以上10年以内	17	(9.0)	81	(15.4)	98	(13.7)	
10年以上	3	(1.6)	16	(3.0)	19	(2.7)	
利用開始前の状況							
在宅	145	(81.9)	348	(80.4)	493	(80.8)	0.903
入院	22	(12.4)	57	(13.2)	79	(13.0)	
施設入所	10	(5.6)	27	(6.2)	37	(6.1)	
その他	0	(0.0)	1	(0.2)	1	(0.2)	
サービス利用開始時BMI							
18.5kg/m ² 未満	40	(26.5)	53	(19.7)	93	(22.1)	0.108
25kg/m ² 以上	20	(13.2)	57	(21.2)	77	(18.3)	
30kg/m ² 以上	4	(2.7)	8	(3.0)	12	(2.9)	

表 II-4b-⑧ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（管理栄養士の関わり）

通所介護 (n=780)	管理栄養士関わりあり n=218		管理栄養士関わりなし n=553		合計 n=771		(χ ² 検定) p 値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
2018年4月末日時点で利用していた							
はい	180	(82.9)	470	(86.2)	650	(85.3)	0.247
いいえ	37	(17.1)	75	(13.8)	112	(14.7)	
栄養改善加算の算定（2018年4-10月）							
あり	2	(0.9)	1	(0.2)	3	(0.4)	0.140
個別機能訓練加算							
算定なし	65	(29.8)	292	(52.8)	357	(46.3)	0.000
I	47	(21.6)	34	(6.1)	81	(10.5)	0.000
II	106	(48.6)	65	(11.8)	171	(22.2)	0.000
I・II両方	0	(0.0)	162	(29.3)	162	(21.0)	0.000
イベント（2018年4-10月）							
入院	36	(16.5)	30	(5.4)	66	(8.6)	0.000
施設入所	3	(1.4)	10	(1.8)	13	(1.7)	0.675
要介護度の重症化	10	(4.6)	14	(2.5)	24	(3.1)	0.139
利用中止	2	(0.9)	6	(1.1)	8	(1.0)	0.836
特になし	172	(78.9)	499	(90.2)	671	(87.0)	0.000

表 II -5a-① 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（BMI別）

通所リハ (n=1410)	18.5kg/m ² 以上		18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定)
	n=1131		n=160		n=1291		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	p 値
記入者							
管理者	135	(29.9)	21	(26.3)	156	(29.4)	0.505
他の職員	316	(70.1)	59	(73.8)	375	(70.6)	
性別							
男性	469	(41.5)	57	(35.6)	526	(40.7)	0.159
女性	662	(58.5)	103	(64.4)	765	(59.3)	
年齢階級							
65歳未満	53	(4.7)	5	(3.1)	58	(4.5)	0.119
65-69歳	65	(5.7)	8	(5.0)	73	(5.7)	
70-79歳	310	(27.4)	32	(20.0)	342	(26.5)	
80-89歳	513	(45.4)	78	(48.8)	591	(45.8)	
90歳以上	190	(16.8)	37	(23.1)	227	(17.6)	
1か月あたりの利用回数							
0-4回	232	(20.5)	44	(27.5)	276	(21.4)	0.110
5-9回	621	(54.9)	72	(45.0)	693	(53.7)	
10-14回	234	(20.7)	40	(25.0)	274	(21.2)	
15-19回	30	(2.7)	4	(2.5)	34	(2.6)	
20-24回	11	(1.0)	0	(0.0)	11	(0.9)	
25-29回	3	(0.3)	0	(0.0)	3	(0.2)	
同居家族（複数回答可）							
独居（同居家族なし）	220	(19.5)	28	(17.5)	248	(19.2)	0.557
夫婦	479	(42.4)	63	(39.4)	542	(42.0)	
子供	453	(40.1)	66	(41.3)	519	(40.2)	0.773
親	20	(1.8)	1	(0.6)	21	(1.6)	
兄弟	9	(0.8)	1	(0.6)	10	(0.8)	0.818
親戚	9	(0.8)	0	(0.0)	9	(0.7)	
その他	58	(5.1)	14	(8.8)	72	(5.6)	0.062
日中独居							
はい	456	(44.3)	54	(37.2)	510	(43.4)	0.178
いいえ	481	(46.7)	73	(50.3)	554	(47.2)	
わからない	92	(8.9)	18	(12.4)	110	(9.4)	
要支援、要介護度							
要支援1	82	(7.3)	9	(5.6)	91	(7.0)	0.372
要支援2	172	(15.2)	17	(10.6)	189	(14.6)	
要介護1	260	(23.0)	30	(18.8)	290	(22.5)	
要介護2	284	(25.1)	48	(30.0)	332	(25.7)	
要介護3	176	(15.6)	30	(18.8)	206	(16.0)	
要介護4	111	(9.8)	19	(11.9)	130	(10.1)	
要介護5	46	(4.1)	7	(4.4)	53	(4.1)	
認知症高齢者の日常生活自立度							
自立	304	(27.5)	35	(22.4)	339	(26.9)	0.185
I	286	(25.9)	41	(26.3)	327	(25.9)	
II a	218	(19.7)	26	(16.7)	244	(19.3)	
II b	183	(16.6)	27	(17.3)	210	(16.7)	
III a	65	(5.9)	15	(9.6)	80	(6.3)	
III b	27	(2.4)	8	(5.1)	35	(2.8)	
IV	22	(2.0)	4	(2.6)	26	(2.1)	

表 II-5a-② 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（BMI別）

通所リハ (n=1410)	18.5kg/m ² 以上		18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定)
	n=1131		n=160		n=1291		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	p 値
食事提供							
あり	854	(76.0)	131	(82.4)	985	(76.8)	0.073
食事形態（複数回答）							
普通食	698	(81.7)	82	(62.6)	780	(79.2)	0.000
きざみ／軟菜食	129	(15.1)	39	(29.8)	168	(17.1)	0.000
えんげ調整食	23	(2.7)	10	(7.6)	33	(3.4)	0.003
経管	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	
わからない	7	(0.8)	3	(2.3)	10	(1.0)	0.118
食事摂取割合							
7割以上	807	(94.7)	117	(89.3)	924	(94.0)	0.032
6割以下	43	(5.0)	14	(10.7)	57	(5.8)	
わからない	2	(0.2)	0	(0.0)	2	(0.2)	
とろみ剤							
あり	59	(6.9)	27	(20.6)	86	(8.7)	0.000
食事の際に奥歯で（義歯でも可）噛みしめている							
はい	741	(87.0)	101	(77.1)	842	(85.7)	0.008
いいえ	67	(7.9)	16	(12.2)	83	(8.4)	
わからない	44	(5.2)	14	(10.7)	58	(5.9)	
食事にむせたり咳き込んだりすることがある							
はい	150	(17.6)	33	(25.4)	183	(18.6)	0.035
いいえ	685	(80.4)	92	(70.8)	777	(79.1)	
わからない	17	(2.0)	5	(3.8)	22	(2.2)	
食事介助							
全面介助	8	(1.0)	8	(6.2)	16	(1.7)	0.000
一部介助	46	(5.5)	14	(10.8)	60	(6.2)	
自力	778	(93.5)	108	(83.1)	886	(92.1)	

表 II -5a-③ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（BMI別）

通所リハ (n=1410)	18.5kg/m ² 以上		18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=1131		n=160		n=1291		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
体重開始時からの変化量							
-20<x<=-15kg	1	(0.1)	2	(1.5)	3	(0.3)	0.000
-15<x<=-10kg	14	(1.4)	3	(2.2)	17	(1.5)	
-10<x<=-5kg	50	(5.0)	14	(10.3)	64	(5.7)	
-5<x<=-2kg	147	(14.8)	29	(21.3)	176	(15.6)	
-2<x<2kg	497	(49.9)	76	(55.9)	573	(50.7)	
2<=x<5kg	174	(17.5)	10	(7.4)	184	(16.3)	
5<=x<10kg	78	(7.8)	2	(1.5)	80	(7.1)	
10<=x<15kg	26	(2.6)	0	(0.0)	26	(2.3)	
15<=x<20kg	4	(0.4)	0	(0.0)	4	(0.4)	
20<=x<25kg	3	(0.3)	0	(0.0)	3	(0.3)	
35<=x<40kg	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	
体重開始時からの変化率							
-35<x<=-30%	0	(0.0)	1	(0.7)	1	(0.1)	0.000
-30<x<=-25%	0	(0.0)	1	(0.7)	1	(0.1)	
-25<x<=-20%	7	(0.7)	4	(2.9)	11	(1.0)	
-20<x<=-15%	12	(1.2)	4	(2.9)	16	(1.4)	
-15<x<=-10%	32	(3.2)	12	(8.8)	44	(3.9)	
-10<x<=-5%	99	(9.9)	24	(17.6)	123	(10.9)	
-5<x<=-3%	83	(8.3)	14	(10.3)	97	(8.6)	
-3<x<3%	449	(45.1)	62	(45.6)	511	(45.2)	
3<=x<5%	86	(8.6)	2	(1.5)	88	(7.8)	
5<=x<10%	126	(12.7)	8	(5.9)	134	(11.8)	
10<=x<15%	40	(4.0)	3	(2.2)	43	(3.8)	
15<=x<20%	33	(3.3)	1	(0.7)	34	(3.0)	
20<=x<25%	11	(1.1)	0	(0.0)	11	(1.0)	
25<=x<30%	8	(0.8)	0	(0.0)	8	(0.7)	
30<=x<35%	3	(0.3)	0	(0.0)	3	(0.3)	
35<=x<40%	3	(0.3)	0	(0.0)	3	(0.3)	
40<=x<45%	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	
45<=x<50%	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	
100<=x<105%	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	

表 II-5a-④ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（BMI別）

通所リハ (n=1410)	18.5kg/m ² 以上		18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定)
	n=1131		n=160		n=1291		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	p 値
体重4月からの変化量							
-15<x<=-10kg	3	(0.4)	0	(0.0)	3	(0.3)	0.045
-10<x<=-5kg	13	(1.7)	6	(5.7)	19	(2.1)	
-5<x<=-2kg	119	(15.3)	24	(22.6)	143	(16.2)	
-2<x<2kg	547	(70.3)	71	(67.0)	618	(69.9)	
2<=x<5kg	79	(10.2)	5	(4.7)	84	(9.5)	
5<=x<10kg	13	(1.7)	0	(0.0)	13	(1.5)	
10<=x<15kg	2	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.2)	
15<=x<20kg	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	
20<=x<25kg	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	
体重4月からの変化率							
-20<x<=-15%	4	(0.5)	1	(0.9)	5	(0.6)	0.000
-15<x<=-10%	6	(0.8)	8	(7.5)	14	(1.6)	
-10<x<=-5%	58	(7.5)	18	(17.0)	76	(8.6)	
-5<x<=-3%	96	(12.3)	16	(15.1)	112	(12.7)	
-3<x<3%	488	(62.7)	53	(50.0)	541	(61.2)	
3<=x<5%	66	(8.5)	5	(4.7)	71	(8.0)	
5<=x<10%	42	(5.4)	5	(4.7)	47	(5.3)	
10<=x<15%	10	(1.3)	0	(0.0)	10	(1.1)	
15<=x<20%	5	(0.6)	0	(0.0)	5	(0.6)	
20<=x<25%	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	
25<=x<30%	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	
35<=x<40%	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	
褥瘡							
あり	6	(0.6)	2	(1.3)	8	(0.6)	0.280

表 II-5a-⑤ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（BMI別）

通所リハ (n=1410)	18.5kg/m ² 以上		18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定)	
	n=1131		n=160		n=1291			
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	p 値	
ADLバーサル								
0, 5点	4	(0.4)	6	(4.0)	10	(0.8)	0.000	
10, 15点	13	(1.2)	3	(2.0)	16	(1.3)		
20, 25点	16	(1.5)	2	(1.3)	18	(1.5)		
30, 35点	21	(1.9)	2	(1.3)	23	(1.9)		
40, 45点	33	(3.0)	8	(5.4)	41	(3.3)		
50, 55点	48	(4.4)	14	(9.4)	62	(5.0)		
60, 65点	83	(7.6)	12	(8.1)	95	(7.7)		
70, 75点	110	(10.1)	16	(10.7)	126	(10.2)		
80, 85点	258	(23.6)	29	(19.5)	287	(23.1)		
90, 95点	329	(30.1)	32	(21.5)	361	(29.1)		
100点	177	(16.2)	25	(16.8)	202	(16.3)		
バーサル開始時からの変化量								
-40, 45点	3	(0.3)	0	(0.0)	3	(0.3)	0.712	
-30, 35点	1	(0.1)	1	(0.8)	2	(0.2)		
-20, 25点	18	(1.8)	3	(2.4)	21	(1.9)		
-10, -15点	30	(3.0)	5	(4.0)	35	(3.1)		
-5点	60	(6.0)	9	(7.1)	69	(6.1)		
0点	674	(67.1)	74	(58.7)	748	(66.1)		
5点	117	(11.6)	17	(13.5)	134	(11.8)		
10, 15点	74	(7.4)	11	(8.7)	85	(7.5)		
20, 25点	14	(1.4)	3	(2.4)	17	(1.5)		
30, 35点	10	(1.0)	2	(1.6)	12	(1.1)		
40, 45点	3	(0.3)	1	(0.8)	4	(0.4)		
60, 65点	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)		
バーサル4月からの変化量								
-40, 45点	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)		0.482
-20, 25点	3	(0.4)	1	(1.1)	4	(0.5)		
-10, -15点	20	(2.7)	5	(5.3)	25	(3.0)		
-5点	45	(6.0)	3	(3.2)	48	(5.7)		
0点	612	(81.9)	75	(78.9)	687	(81.6)		
5点	37	(5.0)	7	(7.4)	44	(5.2)		
10, 15点	22	(2.9)	2	(2.1)	24	(2.9)		
20, 25点	4	(0.5)	2	(2.1)	6	(0.7)		
30, 35点	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)		
40, 45点	2	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.2)		

表 II-5a-⑥ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（BMI別）

通所リハ (n=1410)	18.5kg/m ² 以上		18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=1131		n=160		n=1291		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
FIM							
20-29点	1	(0.5)	1	(4.0)	2	(0.9)	0.237
30-39点	3	(1.6)	0	(0.0)	3	(1.4)	
40-49点	3	(1.6)	0	(0.0)	3	(1.4)	
50-59点	4	(2.1)	1	(4.0)	5	(2.3)	
60-69点	7	(3.7)	1	(4.0)	8	(3.7)	
70-79点	11	(5.8)	4	(16.0)	15	(7.0)	
80-89点	14	(7.4)	2	(8.0)	16	(7.4)	
90-99点	32	(16.8)	6	(24.0)	38	(17.7)	
100-109点	41	(21.6)	3	(12.0)	44	(20.5)	
110-119点	46	(24.2)	7	(28.0)	53	(24.7)	
120-126点	28	(14.7)	0	(0.0)	28	(13.0)	
FIM開始時からの変化量							
-29~-20点	2	(1.1)	1	(4.0)	3	(1.4)	0.038
-19~-10点	4	(2.1)	0	(0.0)	4	(1.9)	
-9~-1点	23	(12.1)	6	(24.0)	29	(13.5)	
0点	102	(53.7)	8	(32.0)	110	(51.2)	
1~9点	55	(28.9)	7	(28.0)	62	(28.8)	
10~19点	2	(1.1)	2	(8.0)	4	(1.9)	
20~29点	2	(1.1)	1	(4.0)	3	(1.4)	
FIM4月からの変化量							
-19~-10点	2	(1.3)	0	(0.0)	2	(1.1)	0.836
-9~-1点	17	(10.6)	3	(13.0)	20	(10.9)	
0点	108	(67.5)	16	(69.6)	124	(67.8)	
1~9点	30	(18.8)	3	(13.0)	33	(18.0)	
10~19点	2	(1.3)	1	(4.3)	3	(1.6)	
20~29点	1	(0.6)	0	(0.0)	1	(0.5)	

表 II-5a-⑦ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（BMI別）

通所リハ (n=1410)	18.5kg/m ² 以上		18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=1131		n=160		n=1291		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
IADL							
0点	93	(10.4)	23	(18.9)	116	(11.5)	0.066
1-9点	386	(43.3)	52	(42.6)	438	(43.2)	
10-19点	236	(26.5)	25	(20.5)	261	(25.8)	
20-29点	115	(12.9)	14	(11.5)	129	(12.7)	
30-39点	48	(5.4)	8	(6.6)	56	(5.5)	
40-45点	13	(1.5)	0	(0.0)	13	(1.3)	
IADL開始時からの変化量							
-29~-20点	0	(0.0)	2	(1.8)	2	(0.2)	0.008
-19~-10点	6	(0.7)	1	(0.9)	7	(0.7)	
-9~-1点	55	(6.4)	8	(7.3)	63	(6.5)	
0点	512	(59.7)	65	(59.6)	577	(59.7)	
1-9点	255	(29.8)	28	(25.7)	283	(29.3)	
10-19点	27	(3.2)	5	(4.6)	32	(3.3)	
20-29点	2	(0.2)	0	(0.0)	2	(0.2)	
IADL4月からの変化量							
-29~-20点	0	(0.0)	1	(1.1)	1	(0.1)	0.040
-19~-10点	3	(0.4)	2	(2.2)	5	(0.6)	
-9~-1点	51	(7.5)	6	(6.5)	57	(7.3)	
0点	535	(78.2)	74	(80.4)	609	(78.5)	
1-9点	85	(12.4)	9	(9.8)	94	(12.1)	
10-19点	9	(1.3)	0	(0.0)	9	(1.2)	
20-29点	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	

表 II-5a-⑧ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（BMI別）

通所リハ (n=1410)	18.5kg/m ² 以上		18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定)
	n=1131		n=160		n=1291		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	p 値
自分で買い物へ出かけている（概ね週1回以上）							
はい	254	(22.5)	22	(13.8)	276	(21.4)	0.045
いいえ	816	(72.3)	128	(80.5)	944	(73.3)	
わからない	59	(5.2)	9	(5.7)	68	(5.3)	
自宅等では食事を自分で作っている（概ね週1回以上）							
はい	317	(28.1)	27	(16.9)	344	(26.7)	0.011
いいえ	767	(67.9)	126	(78.8)	893	(69.3)	
わからない	45	(4.0)	7	(4.4)	52	(4.0)	
自宅等では一緒に食事を食べる人がいる（概ね週1回以上）							
はい	896	(79.4)	128	(80.0)	1024	(79.5)	0.393
いいえ	213	(18.9)	27	(16.9)	240	(18.6)	
わからない	19	(1.7)	5	(3.1)	24	(1.9)	
開始からの日数							
30日以内	52	(4.8)	12	(7.7)	64	(5.1)	0.645
1か月以上6か月以内	174	(15.9)	28	(17.9)	202	(16.2)	
6か月以上1年以内	183	(16.7)	28	(17.9)	211	(16.9)	
1年以上2年以内	192	(17.6)	30	(19.2)	222	(17.8)	
2年以上3年以内	138	(12.6)	19	(12.2)	157	(12.6)	
3年以上4年以内	113	(10.3)	12	(7.7)	125	(10.0)	
4年以上5年以内	78	(7.1)	10	(6.4)	88	(7.0)	
5年以上10年以内	128	(11.7)	12	(7.7)	140	(11.2)	
10年以上	35	(3.2)	5	(3.2)	40	(3.2)	
利用開始前の状況							
在宅	697	(63.0)	84	(52.8)	781	(61.7)	0.048
入院	349	(31.5)	60	(37.7)	409	(32.3)	
施設入所	60	(5.4)	15	(9.4)	75	(5.9)	
その他	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	
サービス利用開始時BMI							
18.5kg/m ² 未満	34	(3.4)	97	(71.3)	131	(11.6)	0.000
25kg/m ² 以上	299	(30.1)	0	(0.0)	299	(26.4)	0.000
30kg/m ² 以上	63	(6.3)	0	(0.0)	63	(5.6)	0.003

表 II-5a-⑨ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（BMI別）

通所リハ (n=1410)	18.5kg/m ² 以上		18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定)
	n=1131		n=160		n=1291		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	p 値
2018年4月末日時点で利用していた							
はい	835	(76.7)	110	(71.4)	945	(76.0)	0.153
いいえ	254	(23.3)	44	(28.6)	298	(24.0)	
2018年4月末日時点のBMI							
18.5kg/m ² 未満	16	(2.1)	75	(70.8)	91	(10.3)	0.000
25kg/m ² 以上	272	(35.0)	0	(0.0)	272	(30.8)	0.000
30kg/m ² 以上	53	(6.8)	0	(0.0)	53	(6.0)	0.006
管理栄養士との関わり							
あり	492	(43.5)	85	(53.1)	577	(44.7)	0.022
管理栄養士の関わり内容							
食事の観察（ミールラウンド）	266	(54.1)	43	(50.6)	309	(53.6)	0.553
食事の個別調整	62	(12.6)	17	(20.0)	79	(13.7)	0.067
栄養相談	73	(14.8)	17	(20.0)	90	(15.6)	0.226
自宅訪問	1	(0.2)	5	(5.9)	6	(1.0)	0.000
その他	127	(25.8)	21	(24.7)	148	(25.6)	0.829
栄養改善加算の算定（2018年4-10月）							
あり	6	(0.5)	8	(5.1)	14	(1.1)	0.000
リハビリテーション・マネジメント加算							
算定なし	96	(8.5)	13	(8.1)	109	(8.4)	0.877
I	799	(70.6)	105	(65.6)	904	(70.0)	0.195
II	6	(0.5)	0	(0.0)	6	(0.5)	0.356
III	220	(19.5)	39	(24.4)	259	(20.1)	0.146
IV	12	(1.1)	3	(1.9)	15	(1.2)	0.368
イベント（2018年4-10月）							
入院	137	(12.1)	21	(13.1)	158	(12.2)	0.715
施設入所	27	(2.4)	7	(4.4)	34	(2.6)	0.142
要介護度の重症化	15	(1.3)	4	(2.5)	19	(1.5)	0.248
利用中止	16	(1.4)	4	(2.5)	20	(1.5)	0.298
特になし	943	(83.4)	126	(78.8)	1069	(82.8)	0.147

表Ⅱ-5b-① 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（BMI別）

通所介護 (n=780)	18.5kg/m ² 以上		18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=445		n=107		n=552		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
記入者							
管理者	159	(44.9)	29	(34.5)	188	(42.9)	0.084
他の職員	195	(55.1)	55	(65.5)	250	(57.1)	
性別							
男性	137	(34.7)	35	(35.7)	172	(34.9)	0.848
女性	258	(65.3)	63	(64.3)	321	(65.1)	
年齢階級							
65歳未満	20	(4.5)	3	(2.8)	23	(4.2)	0.127
65-69歳	17	(3.8)	2	(1.9)	19	(3.4)	
70-79歳	96	(21.6)	23	(21.5)	119	(21.6)	
80-89歳	220	(49.4)	45	(42.1)	265	(48.0)	
90歳以上	92	(20.7)	34	(31.8)	126	(22.8)	
1か月あたりの利用回数							
0-4回	73	(16.8)	19	(17.9)	92	(17.0)	0.003
5-9回	191	(44.0)	47	(44.3)	238	(44.1)	
10-14回	99	(22.8)	20	(18.9)	119	(22.0)	
15-19回	29	(6.7)	10	(9.4)	39	(7.2)	
20-24回	20	(4.6)	1	(0.9)	21	(3.9)	
25-29回	14	(3.2)	0	(0.0)	14	(2.6)	
30-31回	8	(1.8)	9	(8.5)	17	(3.1)	
同居家族							
独居	127	(28.5)	40	(37.4)	167	(30.3)	0.074
夫婦	128	(28.8)	24	(22.4)	152	(27.5)	
子供	209	(47.0)	47	(43.9)	256	(46.4)	
親	4	(0.9)	1	(0.9)	5	(0.9)	
兄弟	3	(0.7)	2	(1.9)	5	(0.9)	
親戚	3	(0.7)	0	(0.0)	3	(0.5)	
その他	39	(8.8)	9	(8.4)	48	(8.7)	
日中独居							
はい	227	(54.4)	61	(62.2)	288	(55.9)	0.283
いいえ	172	(41.2)	35	(35.7)	207	(40.2)	
わからない	18	(4.3)	2	(2.0)	20	(3.9)	
要支援、要介護度							
要支援1	26	(5.8)	6	(5.6)	32	(5.8)	0.205
要支援2	55	(12.4)	10	(9.3)	65	(11.8)	
要介護1	137	(30.8)	26	(24.3)	163	(29.5)	
要介護2	108	(24.3)	30	(28.0)	138	(25.0)	
要介護3	69	(15.5)	14	(13.1)	83	(15.0)	
要介護4	33	(7.4)	12	(11.2)	45	(8.2)	
要介護5	12	(2.7)	8	(7.5)	20	(3.6)	
総合事業対象者	5	(1.1)	1	(0.9)	6	(1.1)	
認知症高齢者の日常生活自立度							
自立	108	(28.1)	15	(16.7)	123	(25.9)	0.000
I	88	(22.9)	19	(21.1)	107	(22.5)	
IIa	53	(13.8)	7	(7.8)	60	(12.6)	
IIb	69	(17.9)	21	(23.3)	90	(18.9)	
IIIa	40	(10.4)	12	(13.3)	52	(10.9)	
IIIb	13	(3.4)	2	(2.2)	15	(3.2)	
IV	7	(1.8)	4	(4.4)	11	(2.3)	
M	7	(1.8)	10	(11.1)	17	(3.6)	

表 II -5b-② 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（BMI別）

通所介護 (n=780)	18.5kg/m ² 以上		18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定)
	n=445		n=107		n=552		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	p 値
食事提供							
あり	427	(96.4)	101	(94.4)	528	(96.0)	0.344
食事形態（複数回答）							
普通食	356	(83.4)	64	(63.4)	420	(79.5)	0.000
きざみ／軟菜食	53	(12.4)	22	(21.8)	75	(14.2)	0.015
えんげ調整食	11	(2.6)	14	(13.9)	25	(4.7)	0.000
経管	2	(0.5)	0	(0.0)	2	(0.4)	0.491
わからない	6	(1.4)	1	(1.0)	7	(1.3)	0.743
食事摂取割合							
7割以上	399	(93.9)	90	(89.1)	489	(93.0)	0.092
6割以下	26	(6.1)	11	(10.9)	37	(7.0)	
とろみ剤							
あり	24	(5.6)	18	(17.8)	42	(8.0)	0.000
食事の際に奥歯で（義歯でも可）噛みしめている							
はい	335	(86.1)	74	(82.2)	409	(85.4)	0.067
いいえ	29	(7.5)	13	(14.4)	42	(8.8)	
わからない	25	(6.4)	3	(3.3)	28	(5.8)	
食事中にむせたり咳き込んだりすることがある							
はい	43	(10.1)	16	(15.8)	59	(11.2)	0.232
いいえ	382	(89.7)	85	(84.2)	467	(88.6)	
わからない	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.2)	
食事介助							
全面介助	8	(1.9)	6	(6.1)	14	(2.7)	0.009
一部介助	86	(20.3)	28	(28.6)	114	(21.9)	
自力	329	(77.8)	64	(65.3)	393	(75.4)	

表Ⅱ-5b-③ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（BMI別）

通所介護 (n=780)	18.5kg/m ² 以上		18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定)
	n=445		n=107		n=552		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	p 値
体重開始時からの変化量							
-25<x<=-20kg	0	(0.0)	1	(1.1)	1	(0.2)	0.112
-20<x<=-15kg	2	(0.6)	1	(1.1)	3	(0.7)	
-15<x<=-10kg	5	(1.5)	2	(2.2)	7	(1.7)	
-10<x<=-5kg	29	(8.8)	10	(11.2)	39	(9.3)	
-5<x<=-2kg	50	(15.2)	23	(25.8)	73	(17.4)	
-2<x<2kg	138	(41.8)	37	(41.6)	175	(41.8)	
2<=x<5kg	67	(20.3)	11	(12.4)	78	(18.6)	
5<=x<10kg	27	(8.2)	3	(3.4)	30	(7.2)	
10<=x<15kg	7	(2.1)	1	(1.1)	8	(1.9)	
15<=x<20kg	3	(0.9)	0	(0.0)	3	(0.7)	
20<=x<25kg	2	(0.6)	0	(0.0)	2	(0.5)	
体重開始時からの変化率							
-35<x<=-30%	0	(0.0)	1	(1.1)	1	(0.2)	0.011
-30<x<=-25%	2	(0.6)	3	(3.4)	5	(1.2)	
-25<x<=-20%	2	(0.6)	2	(2.2)	4	(1.0)	
-20<x<=-15%	4	(1.2)	3	(3.4)	7	(1.7)	
-15<x<=-10%	15	(4.5)	8	(9.0)	23	(5.5)	
-10<x<=-5%	42	(12.7)	19	(21.3)	61	(14.6)	
-5<x<=-3%	25	(7.6)	6	(6.7)	31	(7.4)	
-3<x<3%	129	(39.1)	30	(33.7)	159	(37.9)	
3<=x<5%	30	(9.1)	2	(2.2)	32	(7.6)	
5<=x<10%	39	(11.8)	10	(11.2)	49	(11.7)	
10<=x<15%	19	(5.8)	1	(1.1)	20	(4.8)	
15<=x<20%	12	(3.6)	1	(1.1)	13	(3.1)	
20<=x<25%	3	(0.9)	2	(2.2)	5	(1.2)	
25<=x<30%	1	(0.3)	1	(1.1)	2	(0.5)	
30<=x<35%	4	(1.2)	0	(0.0)	4	(1.0)	
35<=x<40%	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.2)	
50<=x<55%	2	(0.6)	0	(0.0)	2	(0.5)	

表Ⅱ-5b-④ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（BMI別）

通所介護 (n=780)	18.5kg/m ² 以上		18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=445		n=107		n=552		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
体重4月からの変化量							
-15<x<=-10kg	0	(0.0)	2	(2.4)	2	(0.4)	0.057
-10<x<=-5kg	7	(1.9)	4	(4.8)	11	(2.4)	
-5<x<=-2kg	61	(16.6)	13	(15.5)	74	(16.4)	
-2<x<2kg	230	(62.7)	52	(61.9)	282	(62.5)	
2<=x<5kg	57	(15.5)	12	(14.3)	69	(15.3)	
5<=x<10kg	11	(3.0)	1	(1.2)	12	(2.7)	
10<=x<15kg	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.2)	
体重4月からの変化率							
-25<x<=-20%	0	(0.0)	2	(2.4)	2	(0.4)	0.003
-20<x<=-15%	1	(0.3)	2	(2.4)	3	(0.7)	
-15<x<=-10%	4	(1.1)	3	(3.6)	7	(1.6)	
-10<x<=-5%	32	(8.7)	10	(11.9)	42	(9.3)	
-5<x<=-3%	42	(11.4)	11	(13.1)	53	(11.8)	
-3<x<3%	210	(57.2)	38	(45.2)	248	(55.0)	
3<=x<5%	45	(12.3)	4	(4.8)	49	(10.9)	
5<=x<10%	21	(5.7)	11	(13.1)	32	(7.1)	
10<=x<15%	9	(2.5)	3	(3.6)	12	(2.7)	
15<=x<20%	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.2)	
20<=x<25%	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.2)	
25<=x<30%	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.2)	
褥瘡							
あり	3	(0.7)	1	(0.9)	4	(0.7)	0.791

表II-5b-⑤ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（BMI別）

通所介護 (n=780)	18.5kg/m ² 以上		18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定) p 値	
	n=445		n=107		n=552			
	n	(%)	n	(%)	n	(%)		
ADLバーサル								
0, 5点	11	(4.9)	5	(7.9)	16	(5.6)	0.060	
10, 15点	2	(0.9)	4	(6.3)	6	(2.1)		
20, 25点	3	(1.3)	0	(0.0)	3	(1.0)		
30, 35点	4	(1.8)	4	(6.3)	8	(2.8)		
40, 45点	7	(3.1)	2	(3.2)	9	(3.1)		
50, 55点	18	(8.1)	3	(4.8)	21	(7.3)		
60, 65点	16	(7.2)	5	(7.9)	21	(7.3)		
70, 75点	23	(10.3)	3	(4.8)	26	(9.1)		
80, 85点	30	(13.5)	13	(20.6)	43	(15.0)		
90, 95点	50	(22.4)	10	(15.9)	60	(21.0)		
100点	59	(26.5)	14	(22.2)	73	(25.5)		
バーサル開始時からの変化量								
-70, 75点	0	(0.0)	1	(1.8)	1	(0.4)	0.702	
-60, 65点	1	(0.5)	0	(0.0)	1	(0.4)		
-50, 55点	1	(0.5)	1	(1.8)	2	(0.8)		
-40, 45点	4	(2.0)	1	(1.8)	5	(1.9)		
-30, 35点	9	(4.5)	1	(1.8)	10	(3.9)		
-20, 25点	8	(4.0)	3	(5.3)	11	(4.3)		
-10, -15点	17	(8.5)	5	(8.8)	22	(8.5)		
-5点	14	(7.0)	4	(7.0)	18	(7.0)		
0点	114	(56.7)	29	(50.9)	143	(55.4)		
5点	17	(8.5)	7	(12.3)	24	(9.3)		
10, 15点	9	(4.5)	4	(7.0)	13	(5.0)		
20, 25点	5	(2.5)	0	(0.0)	5	(1.9)		
30, 35点	1	(0.5)	1	(1.8)	2	(0.8)		
60, 65点	1	(0.5)	0	(0.0)	1	(0.4)		
バーサル4月からの変化量								
-50, 55点	2	(1.2)	0	(0.0)	2	(0.9)		0.784
-30, 35点	1	(0.6)	0	(0.0)	1	(0.5)		
-20, 25点	1	(0.6)	0	(0.0)	1	(0.5)		
-10, -15点	2	(1.2)	1	(2.3)	3	(1.4)		
-5点	5	(2.9)	0	(0.0)	5	(2.3)		
0点	143	(83.6)	36	(83.7)	179	(83.6)		
5点	7	(4.1)	1	(2.3)	8	(3.7)		
10, 15点	7	(4.1)	4	(9.3)	11	(5.1)		
20, 25点	3	(1.8)	1	(2.3)	4	(1.9)		

表 II-5b-⑥ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（BMI別）

通所介護 (n=780)	18.5kg/m ² 以上		18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定)
	n=445		n=107		n=552		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	p 値
FIM							
18-19点	1	(3.2)	0	(0.0)	1	(2.7)	0.434
30-39点	1	(3.2)	0	(0.0)	1	(2.7)	
60-69点	1	(3.2)	0	(0.0)	1	(2.7)	
70-79点	3	(9.7)	0	(0.0)	3	(8.1)	
80-89点	1	(3.2)	2	(33.3)	3	(8.1)	
90-99点	2	(6.5)	1	(16.7)	3	(8.1)	
100-109点	5	(16.1)	1	(16.7)	6	(16.2)	
110-119点	11	(35.5)	1	(16.7)	12	(32.4)	
120-126点	6	(19.4)	1	(16.7)	7	(18.9)	
FIM開始時からの変化量							
-9~-1点	2	(11.8)	0	(0.0)	2	(10.0)	0.801
0点	9	(52.9)	2	(66.7)	11	(55.0)	
1~9点	6	(35.3)	1	(33.3)	7	(35.0)	
FIM4月からの変化量							
-9~-1点	1	(6.7)	0	(0.0)	1	(5.6)	0.698
0点	12	(80.0)	3	(100.0)	15	(83.3)	
1~9点	2	(13.3)	0	(0.0)	2	(11.1)	
IADL							
0点	3	(4.3)	1	(4.2)	4	(4.3)	0.840
1-9点	48	(68.6)	16	(66.7)	64	(68.1)	
10-19点	13	(18.6)	6	(25.0)	19	(20.2)	
20-29点	6	(8.6)	1	(4.2)	7	(7.4)	
IADL開始時からの変化量							
-9~-1点	8	(15.7)	3	(15.8)	11	(15.7)	0.761
0点	34	(66.7)	14	(73.7)	48	(68.6)	
1-9点	9	(17.6)	2	(10.5)	11	(15.7)	
IADL4月からの変化量							
-9~-1点	1	(2.2)	1	(6.7)	2	(3.3)	0.605
0点	43	(95.6)	14	(93.3)	57	(95.0)	
1-9点	1	(2.2)	0	(0.0)	1	(1.7)	

表Ⅱ-5b-⑦ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（BMI別）

通所介護 (n=780)	18.5kg/m ² 以上		18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定)
	n=445		n=107		n=552		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	p 値
自分で買い物へ出かけている（概ね週1回以上）							
はい	86	(19.5)	16	(15.1)	102	(18.6)	0.463
いいえ	320	(72.4)	83	(78.3)	403	(73.5)	
わからない	36	(8.1)	7	(6.6)	43	(7.8)	
自宅等では食事を自分で作っている（概ね週1回以上）							
はい	71	(16.7)	18	(17.1)	89	(16.8)	0.448
いいえ	309	(72.5)	80	(76.2)	389	(73.3)	
わからない	46	(10.8)	7	(6.7)	53	(10.0)	
自宅等では一緒に食事を食べる人がいる（概ね週1回以上）							
はい	307	(71.9)	65	(61.9)	372	(69.9)	0.012
いいえ	103	(24.1)	39	(37.1)	142	(26.7)	
わからない	17	(4.0)	1	(1.0)	18	(3.4)	
開始からの日数							
30日以内	4	(0.9)	4	(3.8)	8	(1.5)	0.174
1か月以上6か月以内	44	(10.3)	13	(12.3)	57	(10.7)	
6か月以上1年以内	70	(16.4)	22	(20.8)	92	(17.3)	
1年以上2年以内	106	(24.8)	20	(18.9)	126	(23.6)	
2年以上3年以内	52	(12.2)	11	(10.4)	63	(11.8)	
3年以上4年以内	51	(11.9)	13	(12.3)	64	(12.0)	
4年以上5年以内	39	(9.1)	7	(6.6)	46	(8.6)	
5年以上10年以内	51	(11.9)	10	(9.4)	61	(11.4)	
10年以上	10	(2.3)	6	(5.7)	16	(3.0)	
利用開始前の状況							
在宅	324	(82.4)	74	(74.7)	398	(80.9)	0.139
入院	43	(10.9)	18	(18.2)	61	(12.4)	
施設入所	26	(6.6)	7	(7.1)	33	(6.7)	
サービス利用開始時BMI							
18.5kg/m ² 未満	22	(6.7)	70	(78.7)	92	(22.0)	0.000
25kg/m ² 以上	76	(23.0)	1	(1.1)	77	(18.4)	0.000
30kg/m ² 以上	12	(3.6)	0	(0.0)	12	(2.9)	0.068

表Ⅱ-5b-⑧ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（BMI別）

通所介護 (n=780)	18.5kg/m ² 以上		18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定)
	n=445		n=107		n=552		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	p 値
2018年4月末日時点で利用していた							
はい	387	(88.6)	85	(80.2)	472	(86.9)	0.022
いいえ	50	(11.4)	21	(19.8)	71	(13.1)	
2018年4月末日時点のBMI							
18.5kg/m ² 未満	11	(3.0)	71	(84.5)	82	(18.2)	0.000
25kg/m ² 以上	94	(25.6)	0	(0.0)	94	(20.8)	0.000
30kg/m ² 以上	16	(4.4)	0	(0.0)	16	(3.5)	0.051
管理栄養士との関わり							
あり	137	(31.3)	43	(40.2)	180	(33.0)	0.079
管理栄養士の関わり内容							
食事の観察（ミールラウン	113	(82.5)	38	(88.4)	151	(83.9)	0.359
食事の個別調整	28	(20.4)	6	(14.0)	34	(18.9)	0.343
栄養相談	11	(8.0)	5	(11.6)	16	(8.9)	0.469
自宅訪問	1	(0.7)	0	(0.0)	1	(0.6)	0.574
その他	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	-
栄養改善加算の算定（2018年4-10月）							
あり	2	(0.5)	1	(0.9)	3	(0.6)	0.549
個別機能訓練加算							
算定なし	192	(43.1)	54	(50.5)	246	(44.6)	0.171
I	35	(7.9)	6	(5.6)	41	(7.4)	0.424
II	134	(30.1)	34	(31.8)	168	(30.4)	0.737
I・II両方	84	(18.9)	13	(12.1)	97	(17.6)	0.101
イベント（2018年4-10月）							
入院	43	(9.7)	11	(10.3)	54	(9.8)	0.847
施設入所	11	(2.5)	0	(0.0)	11	(2.0)	0.100
要介護度の重症化	13	(2.9)	9	(8.4)	22	(4.0)	0.009
利用中止	2	(0.4)	0	(0.0)	2	(0.4)	0.487
特になし	383	(86.1)	89	(83.2)	472	(85.5)	0.446

表 II -6a-① 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（6か月前BMI別）

通所リハ (n=1039)	6か月前18.5kg/m ² 以上		6か月前18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=797		n=95		n=892		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
記入者							
管理者	100	(28.3)	16	(27.6)	116	(28.2)	0.907
他の職員	253	(71.7)	42	(72.4)	295	(71.8)	
性別							
男性	335	(42.0)	30	(31.6)	365	(40.9)	0.050
女性	462	(58.0)	65	(68.4)	527	(59.1)	
年齢階級							
65歳未満	33	(4.1)	2	(2.1)	35	(3.9)	0.174
65-69歳	46	(5.8)	5	(5.3)	51	(5.7)	
70-79歳	209	(26.2)	20	(21.1)	229	(25.7)	
80-89歳	356	(44.7)	40	(42.1)	396	(44.4)	
90歳以上	153	(19.2)	28	(29.5)	181	(20.3)	
利用回数							
0-4回	134	(16.8)	30	(31.6)	164	(18.4)	0.005
5-9回	441	(55.3)	37	(38.9)	478	(53.6)	
10-14回	188	(23.6)	24	(25.3)	212	(23.8)	
15-19回	21	(2.6)	4	(4.2)	25	(2.8)	
20-24回	10	(1.3)	0	(0.0)	10	(1.1)	
25-29回	3	(0.4)	0	(0.0)	3	(0.3)	
同居家族							
独居	139	(17.4)	22	(23.2)	161	(18.0)	0.171
夫婦	331	(41.5)	40	(42.1)	371	(41.6)	0.914
子供	333	(41.8)	37	(38.9)	370	(41.5)	0.596
親	11	(1.4)	0	(0.0)	11	(1.2)	0.249
兄弟	8	(1.0)	0	(0.0)	8	(0.9)	0.327
親戚	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	
その他	40	(5.0)	5	(5.3)	45	(5.0)	0.918
日中独居							
はい	309	(43.1)	33	(37.5)	342	(42.5)	0.233
いいえ	334	(46.6)	49	(55.7)	383	(47.6)	
わからない	74	(10.3)	6	(6.8)	80	(9.9)	
要支援、要介護度							
要支援1	45	(5.6)	5	(5.3)	50	(5.6)	0.467
要支援2	110	(13.8)	9	(9.5)	119	(13.3)	
要介護1	184	(23.1)	17	(17.9)	201	(22.5)	
要介護2	213	(26.7)	25	(26.3)	238	(26.7)	
要介護3	129	(16.2)	19	(20.0)	148	(16.6)	
要介護4	81	(10.2)	15	(15.8)	96	(10.8)	
要介護5	35	(4.4)	5	(5.3)	40	(4.5)	
認知症高齢者の日常生活自立度							
自立	212	(27.1)	26	(29.2)	238	(27.4)	0.841
I	198	(25.4)	22	(24.7)	220	(25.3)	
II a	155	(19.8)	12	(13.5)	167	(19.2)	
II b	133	(17.0)	17	(19.1)	150	(17.2)	
III a	40	(5.1)	6	(6.7)	46	(5.3)	
III b	26	(3.3)	4	(4.5)	30	(3.4)	
IV	17	(2.2)	2	(2.2)	19	(2.2)	

表Ⅱ-6a-② 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（6か月前BMI別）

通所リハ (n=1039)	6か月前18.5kg/m ² 以上		6か月前18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定) p値
	n=797		n=95		n=892		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
食事提供							
あり	675	(85.1)	86	(90.5)	761	(85.7)	0.155
食事形態							
普通食	540	(80.0)	59	(68.6)	599	(78.7)	0.015
きざみ／軟菜食	111	(16.4)	25	(29.1)	136	(17.9)	0.004
えんげ調整食	21	(3.1)	5	(5.8)	26	(3.4)	0.194
経管	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	
わからない	6	(0.9)	0	(0.0)	6	(0.8)	0.380
食事摂取割合							
7割以上	635	(94.4)	77	(89.5)	712	(93.8)	0.149
6割以下	36	(5.3)	9	(10.5)	45	(5.9)	
わからない	2	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.3)	
とろみ剤							
あり	53	(7.9)	12	(14.0)	65	(8.6)	0.057
食事の際に奥歯で（義歯でも可）噛みしめている							
はい	580	(86.2)	64	(74.4)	644	(84.8)	0.016
いいえ	58	(8.6)	13	(15.1)	71	(9.4)	
わからない	35	(5.2)	9	(10.5)	44	(5.8)	
食事中にむせたり咳き込んだりすることがある							
はい	130	(19.3)	24	(28.2)	154	(20.3)	0.153
いいえ	528	(78.5)	59	(69.4)	587	(77.4)	
わからない	15	(2.2)	2	(2.4)	17	(2.2)	
食事介助							
全面介助	10	(1.5)	5	(5.9)	15	(2.0)	0.000
一部介助	39	(5.9)	12	(14.1)	51	(6.9)	
自力	609	(92.6)	68	(80.0)	677	(91.1)	

表 II-6a-③ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（6か月前BMI別）

通所リハ (n=1039)	6か月前18.5kg/m ² 以上		6か月前18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=797		n=95		n=892		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
体重開始時からの変化量							
-20<x<=-15kg	1	(0.1)	1	(1.3)	2	(0.3)	0.256
-15<x<=-10kg	15	(2.2)	1	(1.3)	16	(2.1)	
-10<x<=-5kg	39	(5.8)	7	(9.0)	46	(6.1)	
-5<x<=-2kg	113	(16.8)	13	(16.7)	126	(16.8)	
-2<x<2kg	295	(43.9)	42	(53.8)	337	(44.9)	
2<=x<5kg	119	(17.7)	11	(14.1)	130	(17.3)	
5<=x<10kg	62	(9.2)	3	(3.8)	65	(8.7)	
10<=x<15kg	21	(3.1)	0	(0.0)	21	(2.8)	
15<=x<20kg	4	(0.6)	0	(0.0)	4	(0.5)	
20<=x<25kg	2	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.3)	
35<=x<40kg	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	
体重開始時からの変化率							
-35<x<=-30%	0	(0.0)	1	(1.3)	1	(0.1)	0.041
-30<x<=-25%	0	(0.0)	1	(1.3)	1	(0.1)	
-25<x<=-20%	8	(1.2)	2	(2.6)	10	(1.3)	
-20<x<=-15%	11	(1.6)	0	(0.0)	11	(1.5)	
-15<x<=-10%	28	(4.2)	6	(7.7)	34	(4.5)	
-10<x<=-5%	77	(11.5)	13	(16.7)	90	(12.0)	
-5<x<=-3%	63	(9.4)	6	(7.7)	69	(9.2)	
-3<x<3%	259	(38.5)	32	(41.0)	291	(38.8)	
3<=x<5%	52	(7.7)	3	(3.8)	55	(7.3)	
5<=x<10%	91	(13.5)	9	(11.5)	100	(13.3)	
10<=x<15%	30	(4.5)	3	(3.8)	33	(4.4)	
15<=x<20%	30	(4.5)	1	(1.3)	31	(4.1)	
20<=x<25%	9	(1.3)	1	(1.3)	10	(1.3)	
25<=x<30%	6	(0.9)	0	(0.0)	6	(0.8)	
30<=x<35%	3	(0.4)	0	(0.0)	3	(0.4)	
35<=x<40%	3	(0.4)	0	(0.0)	3	(0.4)	
45<=x<50%	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	
100<=x<105%	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	

表 II-6a-④ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（6か月前BMI別）

通所リハ (n=1039)	6か月前18.5kg/m ² 以上		6か月前18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=797		n=95		n=892		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
体重4月からの変化量							
-15<x<=-10kg	3	(0.4)	0	(0.0)	3	(0.3)	0.580
-10<x<=-5kg	17	(2.1)	2	(2.2)	19	(2.1)	
-5<x<=-2kg	136	(17.2)	7	(7.7)	143	(16.2)	
-2<x<2kg	547	(69.0)	71	(78.0)	618	(69.9)	
2<=x<5kg	74	(9.3)	10	(11.0)	84	(9.5)	
5<=x<10kg	12	(1.5)	1	(1.1)	13	(1.5)	
10<=x<15kg	2	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.2)	
15<=x<20kg	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	
20<=x<25kg	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	
体重4月からの変化率							
-20<x<=-15%	5	(0.6)	0	(0.0)	5	(0.6)	0.894
-15<x<=-10%	12	(1.5)	2	(2.2)	14	(1.6)	
-10<x<=-5%	68	(8.6)	8	(8.8)	76	(8.6)	
-5<x<=-3%	104	(13.1)	8	(8.8)	112	(12.7)	
-3<x<3%	487	(61.4)	54	(59.3)	541	(61.2)	
3<=x<5%	62	(7.8)	9	(9.9)	71	(8.0)	
5<=x<10%	39	(4.9)	8	(8.8)	47	(5.3)	
10<=x<15%	9	(1.1)	1	(1.1)	10	(1.1)	
15<=x<20%	4	(0.5)	1	(1.1)	5	(0.6)	
20<=x<25%	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	
25<=x<30%	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	
35<=x<40%	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	
褥瘡							
あり	5	(0.7)	1	(1.1)	6	(0.7)	0.636

表 II -6a-⑤ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（6か月前BMI別）

通所リハ (n=1039)	6か月前18.5kg/m ² 以上		6か月前18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定) p 値	
	n=797		n=95		n=892			
	n	(%)	n	(%)	n	(%)		
ADLバーサル								
0, 5点	4	(0.5)	3	(3.5)	7	(0.8)	0.091	
10, 15点	10	(1.3)	2	(2.3)	12	(1.4)		
20, 25点	11	(1.4)	3	(3.5)	14	(1.6)		
30, 35点	21	(2.7)	1	(1.2)	22	(2.6)		
40, 45点	30	(3.9)	6	(7.0)	36	(4.2)		
50, 55点	38	(4.9)	7	(8.1)	45	(5.3)		
60, 65点	62	(8.1)	6	(7.0)	68	(7.9)		
70, 75点	75	(9.7)	7	(8.1)	82	(9.6)		
80, 85点	193	(25.1)	21	(24.4)	214	(25.0)		
90, 95点	201	(26.1)	18	(20.9)	219	(25.6)		
100点	125	(16.2)	12	(14.0)	137	(16.0)		
バーサル開始時からの変化量								
-40, 45点	3	(0.4)	0	(0.0)	3	(0.4)	0.190	
-30, 35点	2	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.3)		
-20, 25点	19	(2.7)	0	(0.0)	19	(2.5)		
-10, -15点	23	(3.3)	5	(6.8)	28	(3.7)		
-5点	51	(7.4)	7	(9.5)	58	(7.6)		
0点	423	(61.1)	38	(51.4)	461	(60.2)		
5点	92	(13.3)	12	(16.2)	104	(13.6)		
10, 15点	60	(8.7)	7	(9.5)	67	(8.7)		
20, 25点	10	(1.4)	2	(2.7)	12	(1.6)		
30, 35点	5	(0.7)	3	(4.1)	8	(1.0)		
40, 45点	3	(0.4)	0	(0.0)	3	(0.4)		
60, 65点	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)		
バーサル4月からの変化量								
-40, 45点	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)		0.334
-20, 25点	4	(0.6)	0	(0.0)	4	(0.5)		
-10, -15点	20	(2.8)	4	(5.0)	24	(3.0)		
-5点	42	(5.9)	4	(5.0)	46	(5.8)		
0点	579	(81.3)	64	(80.0)	643	(81.2)		
5点	38	(5.3)	5	(6.3)	43	(5.4)		
10, 15点	23	(3.2)	1	(1.3)	24	(3.0)		
20, 25点	2	(0.3)	2	(2.5)	4	(0.5)		
30, 35点	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)		
40, 45点	2	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.3)		

表 II-6a-⑥ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（6か月前BMI別）

通所リハ (n=1039)	6か月前18.5kg/m ² 以上		6か月前18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=797		n=95		n=892		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
FIM							
20-29点	1	(0.6)	1	(4.3)	2	(1.1)	0.007
30-39点	3	(1.9)	0	(0.0)	3	(1.6)	
40-49点	3	(1.9)	0	(0.0)	3	(1.6)	
50-59点	3	(1.9)	2	(8.7)	5	(2.7)	
60-69点	5	(3.1)	1	(4.3)	6	(3.3)	
70-79点	9	(5.7)	5	(21.7)	14	(7.7)	
80-89点	11	(6.9)	1	(4.3)	12	(6.6)	
90-99点	31	(19.5)	1	(4.3)	32	(17.6)	
100-109点	33	(20.8)	2	(8.7)	35	(19.2)	
110-119点	38	(23.9)	10	(43.5)	48	(26.4)	
120-126点	22	(13.8)	0	(0.0)	22	(12.1)	
FIM開始時からの変化量							
-29~-20点	3	(1.9)	0	(0.0)	3	(1.6)	0.105
-19~-10点	3	(1.9)	0	(0.0)	3	(1.6)	
-9~-1点	21	(13.2)	5	(21.7)	26	(14.3)	
0点	82	(51.6)	11	(47.8)	93	(51.1)	
1~9点	48	(30.2)	5	(21.7)	53	(29.1)	
10~19点	1	(0.6)	2	(8.7)	3	(1.6)	
20~29点	1	(0.6)	0	(0.0)	1	(0.5)	
FIM4月からの変化量							
-19~-10点	2	(1.3)	0	(0.0)	2	(1.1)	0.733
-9~-1点	16	(10.1)	4	(17.4)	20	(11.0)	
0点	110	(69.2)	14	(60.9)	124	(68.1)	
1~9点	28	(17.6)	4	(17.4)	32	(17.6)	
10~19点	2	(1.3)	1	(4.3)	3	(1.6)	
20~29点	1	(0.6)	0	(0.0)	1	(0.5)	

表 II -6a-⑦ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（6か月前BMI別）

通所リハ (n=1039)	6か月前18.5kg/m ² 以上		6か月前18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=797		n=95		n=892		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
IADL							
0点	67	(11.0)	12	(15.8)	79	(11.5)	0.431
1-9点	265	(43.6)	27	(35.5)	292	(42.7)	
10-19点	155	(25.5)	23	(30.3)	178	(26.0)	
20-29点	79	(13.0)	9	(11.8)	88	(12.9)	
30-39点	30	(4.9)	5	(6.6)	35	(5.1)	
40-45点	12	(2.0)	0	(0.0)	12	(1.8)	
IADL開始時からの変化量							
-29~-20点	0	(0.0)	1	(1.5)	1	(0.2)	0.100
-19~-10点	4	(0.7)	1	(1.5)	5	(0.8)	
-9~-1点	48	(8.4)	3	(4.4)	51	(8.0)	
0点	303	(53.0)	37	(54.4)	340	(53.1)	
1-9点	191	(33.4)	24	(35.3)	215	(33.6)	
10-19点	24	(4.2)	2	(2.9)	26	(4.1)	
20-29点	2	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.3)	
IADL4月からの変化量							
-19~-10点	3	(0.5)	1	(1.3)	4	(0.6)	0.691
-9~-1点	54	(9.0)	3	(3.9)	57	(8.4)	
0点	460	(76.3)	61	(80.3)	521	(76.7)	
1-9点	77	(12.8)	10	(13.2)	87	(12.8)	
10-19点	8	(1.3)	1	(1.3)	9	(1.3)	
20-29点	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.1)	

表 II-6a-⑧ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（6か月前BMI別）

通所リハ (n=1039)	6か月前18.5kg/m ² 以上		6か月前18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=797		n=95		n=892		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
自分で買い物へ出かけている（概ね週1回以上）							
はい	167	(21.0)	14	(14.9)	181	(20.3)	0.352
いいえ	582	(73.1)	75	(79.8)	657	(73.8)	
わからない	47	(5.9)	5	(5.3)	52	(5.8)	
自宅等では食事を自分で作っている（概ね週1回以上）							
はい	193	(24.2)	20	(21.1)	213	(23.9)	0.594
いいえ	566	(71.1)	72	(75.8)	638	(71.6)	
わからない	37	(4.6)	3	(3.2)	40	(4.5)	
自宅等では一緒に食事を食べる人がいる（概ね週1回以上）							
はい	635	(79.9)	76	(80.0)	711	(79.9)	0.999
いいえ	143	(18.0)	17	(17.9)	160	(18.0)	
わからない	17	(2.1)	2	(2.1)	19	(2.1)	
開始からの日数							
30日以内	2	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.2)	0.062
1か月以上6か月以内	6	(0.8)	2	(2.2)	8	(0.9)	
6か月以上1年以内	146	(19.1)	27	(29.3)	173	(20.2)	
1年以上2年以内	168	(22.0)	23	(25.0)	191	(22.3)	
2年以上3年以内	120	(15.7)	16	(17.4)	136	(15.9)	
3年以上4年以内	100	(13.1)	9	(9.8)	109	(12.7)	
4年以上5年以内	73	(9.5)	4	(4.3)	77	(9.0)	
5年以上10年以内	119	(15.6)	6	(6.5)	125	(14.6)	
10年以上	31	(4.1)	5	(5.4)	36	(4.2)	
利用開始前の状況							
在宅	480	(61.5)	47	(50.5)	527	(60.3)	0.210
入院	261	(33.4)	41	(44.1)	302	(34.6)	
施設入所	39	(5.0)	5	(5.4)	44	(5.0)	
その他	1	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)	
サービス利用開始時BMI							
18.5kg/m ² 未満	23	(3.4)	64	(81.0)	87	(11.6)	0.000
25kg/m ² 以上	202	(30.1)	0	(0.0)	202	(26.9)	0.000
30kg/m ² 以上	47	(7.0)	0	(0.0)	47	(6.3)	0.016

表 II-6a-⑨ 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（6か月前BMI別）

通所リハ (n=1039)	6か月前18.5kg/m ² 以上		6か月前18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=797		n=95		n=892		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
2018年4月末日時点で利用していた							
はい	797	(100.0)	95	(100.0)	892	(100.0)	
管理栄養士との関わり							
あり	387	(48.6)	48	(50.5)	435	(48.8)	0.717
管理栄養士の関わり内容							
食事の観察（ミールラウンド）	198	(51.2)	19	(39.6)	217	(49.9)	0.130
食事の個別調整	47	(12.1)	13	(27.1)	60	(13.8)	0.005
栄養相談	67	(17.3)	13	(27.1)	80	(18.4)	0.099
自宅訪問	2	(0.5)	3	(6.3)	5	(1.1)	0.000
その他	101	(26.1)	11	(22.9)	112	(25.7)	0.634
栄養改善加算の算定（2018年4-10月）							
あり	7	(0.9)	5	(5.4)	12	(1.4)	0.001
リハビリテーション・マネジメント加算							
算定なし	60	(7.5)	13	(13.7)	73	(8.2)	0.039
I	567	(71.1)	60	(63.2)	627	(70.3)	0.107
II	3	(0.4)	0	(0.0)	3	(0.3)	0.549
III	160	(20.1)	21	(22.1)	181	(20.3)	0.642
IV	9	(1.1)	1	(1.1)	10	(1.1)	0.947
イベント（2018年4-10月）							
入院	114	(14.3)	13	(13.7)	127	(14.2)	0.870
施設入所	17	(2.1)	2	(2.1)	19	(2.1)	0.986
要介護度の重症化	11	(1.4)	2	(2.1)	13	(1.5)	0.577
利用中止	15	(1.9)	2	(2.1)	17	(1.9)	0.880
特になし	644	(80.8)	76	(80.0)	720	(80.7)	0.851

表 II -6b-① 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（6か月前BMI別）

通所介護 (n=656)	6か月前18.5kg/m ² 以上		6か月前18.5kg/m ² 未満		合計		p 値
	n=378		n=82		n=460		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
記入者							
管理者	137	(44.9)	26	(40.6)	163	(44.2)	0.530
他の職員	168	(55.1)	38	(59.4)	206	(55.8)	
性別							
男性	118	(36.2)	23	(30.3)	141	(35.1)	0.329
女性	208	(63.8)	53	(69.7)	261	(64.9)	
年齢階級							
65歳未満	17	(4.5)	2	(2.4)	19	(4.1)	0.151
65-69歳	16	(4.2)	2	(2.4)	18	(3.9)	
70-79歳	82	(21.7)	14	(17.1)	96	(20.9)	
80-89歳	178	(47.1)	35	(42.7)	213	(46.3)	
90歳以上	85	(22.5)	29	(35.4)	114	(24.8)	
利用回数							
0-4回	53	(14.4)	17	(21.0)	70	(15.6)	0.005
5-9回	162	(44.0)	31	(38.3)	193	(43.0)	
10-14回	92	(25.0)	16	(19.8)	108	(24.1)	
15-19回	26	(7.1)	7	(8.6)	33	(7.3)	
20-24回	15	(4.1)	1	(1.2)	16	(3.6)	
25-29回	13	(3.5)	1	(1.2)	14	(3.1)	
30-31回	7	(1.9)	8	(9.9)	15	(3.3)	
同居家族							
独居	109	(28.8)	30	(36.6)	139	(30.2)	0.166
夫婦	110	(29.1)	19	(23.2)	129	(28.0)	0.279
子供	174	(46.0)	37	(45.1)	211	(45.9)	0.881
親	4	(1.1)	0	(0.0)	4	(0.9)	0.349
兄弟	3	(0.8)	2	(2.4)	5	(1.1)	0.193
親戚	2	(0.5)	0	(0.0)	2	(0.4)	0.509
その他	34	(9.0)	5	(6.1)	39	(8.5)	0.393
日中独居							
はい	187	(53.3)	44	(59.5)	231	(54.4)	0.522
いいえ	147	(41.9)	28	(37.8)	175	(41.2)	
わからない	17	(4.8)	2	(2.7)	19	(4.5)	
要支援、要介護度							
要支援1	21	(5.6)	4	(4.9)	25	(5.4)	0.034
要支援2	39	(10.3)	7	(8.5)	46	(10.0)	
要介護1	126	(33.3)	17	(20.7)	143	(31.1)	
要介護2	93	(24.6)	22	(26.8)	115	(25.0)	
要介護3	61	(16.1)	13	(15.9)	74	(16.1)	
要介護4	25	(6.6)	11	(13.4)	36	(7.8)	
要介護5	9	(2.4)	7	(8.5)	16	(3.5)	
総合事業対象者	4	(1.1)	1	(1.2)	5	(1.1)	
認知症高齢者の日常生活自立度							
自立	91	(28.4)	12	(16.7)	103	(26.3)	0.000
I	70	(21.9)	19	(26.4)	89	(22.7)	
II a	39	(12.2)	3	(4.2)	42	(10.7)	
II b	63	(19.7)	13	(18.1)	76	(19.4)	
III a	37	(11.6)	11	(15.3)	48	(12.2)	
III b	11	(3.4)	1	(1.4)	12	(3.1)	
IV	4	(1.3)	3	(4.2)	7	(1.8)	
M	5	(1.6)	10	(13.9)	15	(3.8)	

表 II -6b-② 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（6か月前BMI別）

通所介護 (n=656)	6か月前18.5kg/m ² 以上 n=378		6か月前18.5kg/m ² 未満 n=82		合計 n=460		(χ ² 検定) p 値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
食事提供							
あり	363	(96.5)	78	(95.1)	441	(96.3)	0.538
食事形態							
普通食	303	(83.5)	47	(60.3)	350	(79.4)	0.000
きざみ／軟採食	45	(12.4)	17	(21.8)	62	(14.1)	0.030
えんげ調整食	9	(2.5)	12	(15.4)	21	(4.8)	0.000
経管	1	(0.3)	1	(1.3)	2	(0.5)	0.230
わからない	6	(1.7)	1	(1.3)	7	(1.6)	0.812
食事摂取割合							
7割以上	344	(95.0)	70	(89.7)	414	(94.1)	0.073
6割以下	18	(5.0)	8	(10.3)	26	(5.9)	
とろみ剤							
あり	22	(6.1)	13	(16.7)	35	(8.0)	0.002
食事の際に奥歯で（義歯でも可）噛みしめている							
はい	284	(86.1)	58	(82.9)	342	(85.5)	0.025
いいえ	20	(6.1)	10	(14.3)	30	(7.5)	
わからない	26	(7.9)	2	(2.9)	28	(7.0)	
食事中にむせたり咳き込んだりすることがある							
はい	35	(9.7)	12	(15.4)	47	(10.7)	0.302
いいえ	326	(90.1)	66	(84.6)	392	(89.1)	
わからない	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.2)	
食事介助							
全面介助	6	(1.7)	5	(6.7)	11	(2.5)	0.010
一部介助	77	(21.4)	22	(29.3)	99	(22.8)	
自力	276	(76.9)	48	(64.0)	324	(74.7)	

表 II -6b-③ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（6か月前BMI別）

通所介護 (n=656)	6か月前18.5kg/m ² 以上		6か月前18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定) p 値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
体重開始時からの変化量							
-25<x<=-20kg	0	(0.0)	1	(1.4)	1	(0.3)	0.033
-20<x<=-15kg	2	(0.7)	0	(0.0)	2	(0.6)	
-15<x<=-10kg	4	(1.5)	2	(2.9)	6	(1.7)	
-10<x<=-5kg	28	(10.2)	9	(12.9)	37	(10.7)	
-5<x<=-2kg	38	(13.8)	20	(28.6)	58	(16.8)	
-2<x<2kg	113	(41.1)	24	(34.3)	137	(39.7)	
2<=x<5kg	56	(20.4)	11	(15.7)	67	(19.4)	
5<=x<10kg	25	(9.1)	1	(1.4)	26	(7.5)	
10<=x<15kg	5	(1.8)	2	(2.9)	7	(2.0)	
15<=x<20kg	2	(0.7)	0	(0.0)	2	(0.6)	
20<=x<25kg	2	(0.7)	0	(0.0)	2	(0.6)	
体重開始時からの変化率							
-35<x<=-30%	0	(0.0)	1	(1.4)	1	(0.3)	0.005
-30<x<=-25%	2	(0.7)	2	(2.9)	4	(1.2)	
-25<x<=-20%	2	(0.7)	1	(1.4)	3	(0.9)	
-20<x<=-15%	4	(1.5)	3	(4.3)	7	(2.0)	
-15<x<=-10%	14	(5.1)	7	(10.0)	21	(6.1)	
-10<x<=-5%	34	(12.4)	17	(24.3)	51	(14.8)	
-5<x<=-3%	21	(7.6)	4	(5.7)	25	(7.2)	
-3<x<3%	103	(37.5)	19	(27.1)	122	(35.4)	
3<=x<5%	27	(9.8)	2	(2.9)	29	(8.4)	
5<=x<10%	33	(12.0)	8	(11.4)	41	(11.9)	
10<=x<15%	16	(5.8)	3	(4.3)	19	(5.5)	
15<=x<20%	12	(4.4)	0	(0.0)	12	(3.5)	
20<=x<25%	2	(0.7)	1	(1.4)	3	(0.9)	
25<=x<30%	0	(0.0)	1	(1.4)	1	(0.3)	
30<=x<35%	3	(1.1)	0	(0.0)	3	(0.9)	
35<=x<40%	0	(0.0)	1	(1.4)	1	(0.3)	
50<=x<55%	2	(0.7)	0	(0.0)	2	(0.6)	

表 II -6b-④ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（6か月前BMI別）

通所介護 (n=656)	6か月前18.5kg/m ² 以上 n=378		6か月前18.5kg/m ² 未満 n=82		合計 n=460		(χ ² 検定) p 値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
体重4月からの変化量							
-15<x<=-10kg	2	(0.5)	0	(0.0)	2	(0.4)	0.651
-10<x<=-5kg	9	(2.4)	2	(2.4)	11	(2.4)	
-5<x<=-2kg	64	(17.3)	10	(12.2)	74	(16.4)	
-2<x<2kg	231	(62.6)	51	(62.2)	282	(62.5)	
2<=x<5kg	54	(14.6)	15	(18.3)	69	(15.3)	
5<=x<10kg	8	(2.2)	4	(4.9)	12	(2.7)	
10<=x<15kg	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.2)	
体重4月からの変化率							
-25<x<=-20%	2	(0.5)	0	(0.0)	2	(0.4)	0.021
-20<x<=-15%	2	(0.5)	1	(1.2)	3	(0.7)	
-15<x<=-10%	5	(1.4)	2	(2.4)	7	(1.6)	
-10<x<=-5%	35	(9.5)	7	(8.5)	42	(9.3)	
-5<x<=-3%	44	(11.9)	9	(11.0)	53	(11.8)	
-3<x<3%	211	(57.2)	37	(45.1)	248	(55.0)	
3<=x<5%	41	(11.1)	8	(9.8)	49	(10.9)	
5<=x<10%	20	(5.4)	12	(14.6)	32	(7.1)	
10<=x<15%	8	(2.2)	4	(4.9)	12	(2.7)	
15<=x<20%	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.2)	
20<=x<25%	0	(0.0)	1	(1.2)	1	(0.2)	
25<=x<30%	0	(0.0)	1	(1.2)	1	(0.2)	
褥瘡							
あり	2	(0.5)	1	(1.2)	3	(0.7)	0.493

表 II -6b-⑤ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（6か月前BMI別）

通所介護 (n=656)	6か月前18.5kg/m ² 以上		6か月前18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=378		n=82		n=460		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
ADLバーサル							
0, 5点	8	(4.1)	6	(11.5)	14	(5.7)	0.164
10, 15点	2	(1.0)	2	(3.8)	4	(1.6)	
20, 25点	2	(1.0)	0	(0.0)	2	(0.8)	
30, 35点	4	(2.1)	3	(5.8)	7	(2.8)	
40, 45点	6	(3.1)	2	(3.8)	8	(3.2)	
50, 55点	17	(8.7)	1	(1.9)	18	(7.3)	
60, 65点	14	(7.2)	4	(7.7)	18	(7.3)	
70, 75点	20	(10.3)	4	(7.7)	24	(9.7)	
80, 85点	26	(13.3)	10	(19.2)	36	(14.6)	
90, 95点	44	(22.6)	7	(13.5)	51	(20.6)	
100点	52	(26.7)	13	(25.0)	65	(26.3)	
バーサル開始時からの変化量							
-70, 75点	1	(0.6)	0	(0.0)	1	(0.5)	0.355
-60, 65点	1	(0.6)	0	(0.0)	1	(0.5)	
-50, 55点	1	(0.6)	1	(2.1)	2	(0.9)	
-40, 45点	3	(1.7)	1	(2.1)	4	(1.8)	
-30, 35点	8	(4.6)	1	(2.1)	9	(4.1)	
-20, 25点	7	(4.0)	3	(6.3)	10	(4.5)	
-10, -15点	14	(8.0)	3	(6.3)	17	(7.7)	
-5点	14	(8.0)	2	(4.2)	16	(7.2)	
0点	94	(54.0)	24	(50.0)	118	(53.2)	
5点	17	(9.8)	7	(14.6)	24	(10.8)	
10, 15点	8	(4.6)	4	(8.3)	12	(5.4)	
20, 25点	5	(2.9)	0	(0.0)	5	(2.3)	
30, 35点	0	(0.0)	2	(4.2)	2	(0.9)	
60, 65点	1	(0.6)	0	(0.0)	1	(0.5)	
バーサル4月からの変化量							
-50, 55点	2	(1.2)	0	(0.0)	2	(0.9)	0.172
-30, 35点	1	(0.6)	0	(0.0)	1	(0.5)	
-20, 25点	1	(0.6)	0	(0.0)	1	(0.5)	
-10, -15点	2	(1.2)	1	(2.4)	3	(1.4)	
-5点	5	(2.9)	0	(0.0)	5	(2.3)	
0点	146	(84.9)	33	(78.6)	179	(83.6)	
5点	7	(4.1)	1	(2.4)	8	(3.7)	
10, 15点	5	(2.9)	6	(14.3)	11	(5.1)	
20, 25点	3	(1.7)	1	(2.4)	4	(1.9)	

表 II -6b-⑥ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（6か月前BMI別）

通所介護 (n=656)	6か月前18.5kg/m ² 以上 n=378		6か月前18.5kg/m ² 未満 n=82		合計 n=460		(χ ² 検定) p 値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
FIM							
18-19点	1	(3.7)	0	(0.0)	1	(3.1)	0.942
30-39点	1	(3.7)	0	(0.0)	1	(3.1)	
60-69点	1	(3.7)	0	(0.0)	1	(3.1)	
70-79点	2	(7.4)	0	(0.0)	2	(6.3)	
80-89点	2	(7.4)	1	(20.0)	3	(9.4)	
90-99点	2	(7.4)	1	(20.0)	3	(9.4)	
100-109点	3	(11.1)	1	(20.0)	4	(12.5)	
110-119点	9	(33.3)	1	(20.0)	10	(31.3)	
120-126点	6	(22.2)	1	(20.0)	7	(21.9)	
FIM開始時からの変化量							
-9~-1点	2	(13.3)	0	(0.0)	2	(11.1)	0.787
0点	8	(53.3)	2	(66.7)	10	(55.6)	
1~9点	5	(33.3)	1	(33.3)	6	(33.3)	
FIM4月からの変化量							
-9~-1点	1	(6.7)	0	(0.0)	1	(5.6)	0.698
0点	12	(80.0)	3	(100.0)	15	(83.3)	
1~9点	2	(13.3)	0	(0.0)	2	(11.1)	
IADL							
0点	3	(4.8)	1	(5.0)	4	(4.8)	0.852
1-9点	41	(65.1)	15	(75.0)	56	(67.5)	
10-19点	14	(22.2)	3	(15.0)	17	(20.5)	
20-29点	5	(7.9)	1	(5.0)	6	(7.2)	
IADL開始時からの変化量							
-9~-1点	8	(17.0)	2	(11.8)	10	(15.6)	0.725
0点	31	(66.0)	13	(76.5)	44	(68.8)	
1-9点	8	(17.0)	2	(11.8)	10	(15.6)	
IADL4月からの変化量							
-9~-1点	1	(2.2)	1	(7.1)	2	(3.4)	0.582
0点	43	(95.6)	13	(92.9)	56	(94.9)	
1-9点	1	(2.2)	0	(0.0)	1	(1.7)	

表 II -6b-⑦ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（6か月前BMI別）

通所介護 (n=656)	6か月前18.5kg/m ² 以上		6か月前18.5kg/m ² 未満		合計		(χ ² 検定) p 値
	n=378		n=82		n=460		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
自分で買い物へ出かけている（概ね週1回以上）							
はい	66	(17.6)	11	(13.6)	77	(16.8)	0.172
いいえ	271	(72.1)	66	(81.5)	337	(73.7)	
わからない	39	(10.4)	4	(4.9)	43	(9.4)	
自宅等では食事を自分で作っている（概ね週1回以上）							
はい	54	(14.9)	11	(13.8)	65	(14.7)	0.278
いいえ	264	(72.9)	64	(80.0)	328	(74.2)	
わからない	44	(12.2)	5	(6.3)	49	(11.1)	
自宅等では一緒に食事を食べる人がいる（概ね週1回以上）							
はい	254	(69.8)	51	(63.7)	305	(68.7)	0.132
いいえ	94	(25.8)	28	(35.0)	122	(27.5)	
わからない	16	(4.4)	1	(1.3)	17	(3.8)	
開始からの日数							
30日以内	2	(0.6)	1	(1.2)	3	(0.7)	0.088
1か月以上6か月以内	3	(0.8)	0	(0.0)	3	(0.7)	
6か月以上1年以内	60	(16.6)	25	(30.9)	85	(19.2)	
1年以上2年以内	101	(28.0)	17	(21.0)	118	(26.7)	
2年以上3年以内	48	(13.3)	9	(11.1)	57	(12.9)	
3年以上4年以内	54	(15.0)	10	(12.3)	64	(14.5)	
4年以上5年以内	37	(10.2)	6	(7.4)	43	(9.7)	
5年以上10年以内	47	(13.0)	8	(9.9)	55	(12.4)	
10年以上	9	(2.5)	5	(6.2)	14	(3.2)	
利用開始前の状況							
在宅	284	(84.0)	55	(73.3)	339	(82.1)	0.089
入院	34	(10.1)	12	(16.0)	46	(11.1)	
施設入所	20	(5.9)	8	(10.7)	28	(6.8)	
サービス利用開始時BMI							
18.5kg/m ² 未満	18	(6.5)	56	(80.0)	74	(21.4)	0.000
25kg/m ² 以上	66	(23.9)	1	(1.4)	67	(19.4)	0.000
30kg/m ² 以上	10	(3.6)	0	(0.0)	10	(2.9)	0.105

表 II-6b-⑧ 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（6か月前BMI別）

通所介護 (n=656)	6か月前18.5kg/m ² 以上 n=378		6か月前18.5kg/m ² 未満 n=82		合計 n=460		(χ ² 検定) p 値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
2018年4月末日時点で利用していた							
はい	378	(100.0)	82	(100.0)	460	(100.0)	
管理栄養士との関わり							
あり	120	(32.2)	31	(37.8)	151	(33.2)	0.327
管理栄養士の関わり内容							
食事の観察（ミールラウ ンド）	98	(81.7)	28	(90.3)	126	(83.4)	0.248
食事の個別調整	24	(20.0)	1	(3.2)	25	(16.6)	0.025
栄養相談	9	(7.5)	4	(12.9)	13	(8.6)	0.339
自宅訪問	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	
その他	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	
栄養改善加算の算定（2018年4-10月）							
あり	1	(0.3)	1	(1.2)	2	(0.4)	0.238
個別機能訓練加算							
算定なし	164	(43.4)	45	(54.9)	209	(45.4)	0.058
I	30	(7.9)	4	(4.9)	34	(7.4)	0.337
II	106	(28.0)	21	(25.6)	127	(27.6)	0.655
I・II両方	78	(20.6)	12	(14.6)	90	(19.6)	0.214
イベント（2018年4-10月）							
入院	34	(9.0)	8	(9.8)	42	(9.1)	0.828
施設入所	6	(1.6)	3	(3.7)	9	(2.0)	0.220
要介護度の重症化	10	(2.6)	7	(8.5)	17	(3.7)	0.010
利用中止	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.2)	0.641
特になし	332	(87.8)	66	(80.5)	398	(86.5)	0.078

表Ⅱ-7 通所リハ・通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（平均値）

	通所リハ (n=1,410)			通所介護 (n=780)		
	n	平均値	標準偏差	n	平均値	標準偏差
基準日（2018年10月末日）時点						
年齢（歳）	1,410	81.3	(9.3)	779	83.3	(8.6)
1か月あたりの利用回数（回）	1,410	8.2	(3.9)	761	9.9	(6.2)
身長（cm）	1,325	152.7	(10.3)	569	151.5	(9.9)
体重（kg）	1,365	53.6	(11.3)	741	50.4	(10.9)
BMI（kg/m ² ）	1,291	23.0	(4.1)	552	22.0	(4.1)
体重/利用開始時からの変化量（kg）	1,197	0.2	(4.3)	572	-0.1	(4.8)
体重/利用開始時からの変化率（%）	1,197	0.6	(8.5)	572	0.2	(9.9)
体重/2018年4-10月の変化量（kg）	942	-0.3	(2.4)	608	-0.3	(2.4)
体重/2018年4-10月の変化率（%）	942	-0.5	(4.5)	608	-0.4	(5.0)
バーサルインデックス（BI）（点）	1,353	78.9	(21.3)	390	74.5	(26.2)
BI/利用開始時からの変化量（点）	1,233	0.6	(8.9)	362	-3.4	(13.7)
BI/2018年4-10月の変化量（点）	921	-0.1	(5.6)	302	0.2	(6.2)
FIM（点）	215	98.8	(20.8)	37	101.3	(24.2)
FIM/利用開始時からの変化量（点）	215	0.5	(5.5)	20	0.5	(2.1)
FIM/2018年4-10月の変化量（点）	183	0.3	(3.4)	18	0.1	(1.2)
IADL（点）	1,115	10.6	(10.0)	98	7.5	(6.6)
IADL/利用開始時からの変化量（点）	1,066	0.9	(4.0)	73	-0.2	(1.8)
IADL/2018年4-10月の変化量（点）	857	0.2	(2.9)	62	-0.1	(0.7)
サービス利用開始からの日数	1,368	937.2	(994.7)	721	1,034.2	1,023.6
サービス利用開始時						
体重（kg）	1,216	53.5	(11.1)	576	50.4	(10.7)
BMI（kg/m ² ）	1,147	22.9	(4.0)	421	21.6	(3.9)
BI（点）	1,242	79.2	(20.3)	362	77.5	(22.2)
FIM（点）	216	98.0	(20.9)	20	111.5	(8.2)
IADL（点）	1,075	9.8	(9.7)	75	8.7	(7.1)
2018年4月末日時点						
体重（kg）	953	53.7	(11.3)	620	51.1	(11.1)
BMI（kg/m ² ）	892	23.2	(4.0)	460	22.1	(4.0)
BI（点）	932	78.5	(21.5)	302	75.4	(24.5)
FIM（点）	184	97.8	(22.0)	24	84.9	(48.4)
IADL（点）	868	10.5	(10.1)	62	9.0	(6.9)

表 II -8a 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（多変量解析）

モデル1				モデル2			
目的変数	オッズ比	95%信頼区間	p 値	目的変数	オッズ比	95%信頼区間	p 値
バーサルインデックス不良維持・悪化				バーサルインデックス不良維持・悪化			
低BMI	1.983	(1.012 - 3.885)	0.046	低BMI	1.445	(0.673 - 3.102)	0.345
FIM不良維持・悪化				FIM不良維持・悪化			
低BMI	2.231	(0.508 - 9.795)	0.288	低BMI	1.499	(0.266 - 8.435)	0.646
IADL不良維持・悪化				IADL不良維持・悪化			
低BMI	1.047	(0.607 - 1.808)	0.868	低BMI	1.007	(0.551 - 1.841)	0.982
入院				入院			
低BMI	0.823	(0.437 - 1.551)	0.546	低BMI	0.780	(0.404 - 1.507)	0.461
施設入所				施設入所			
低BMI	0.789	(0.175 - 3.549)	0.757	低BMI	0.864	(0.190 - 3.919)	0.849
要介護度重症化				要介護度重症化			
低BMI	1.239	(0.263 - 5.839)	0.787	低BMI	1.883	(0.367 - 9.653)	0.448
サービス利用中止				サービス利用中止			
低BMI	0.773	(0.166 - 3.595)	0.743	低BMI	0.795	(0.169 - 3.730)	0.771
イベントなし				イベントなし			
低BMI	1.154	(0.663 - 2.008)	0.614	低BMI	1.140	(0.643 - 2.021)	0.655
モデル3				モデル4			
目的変数	オッズ比	95%信頼区間	p 値	目的変数	オッズ比	95%信頼区間	p 値
バーサルインデックス不良維持・悪化				バーサルインデックス不良維持・悪化			
低BMI	2.005	(1.020 - 3.944)	0.044	低BMI	1.395	(0.649 - 2.998)	0.394
FIM不良維持・悪化				FIM不良維持・悪化			
低BMI	1.768	(0.383 - 8.163)	0.465	低BMI	1.140	(0.200 - 6.511)	0.883
IADL不良維持・悪化				IADL不良維持・悪化			
低BMI	1.158	(0.659 - 2.034)	0.610	低BMI	1.094	(0.592 - 2.024)	0.774
入院				入院			
低BMI	0.865	(0.457 - 1.638)	0.657	低BMI	0.804	(0.415 - 1.558)	0.518
施設入所				施設入所			
低BMI	0.813	(0.180 - 3.675)	0.788	低BMI	0.889	(0.195 - 4.054)	0.879
要介護度重症化				要介護度重症化			
低BMI	1.291	(0.270 - 6.162)	0.749	低BMI	1.913	(0.370 - 9.887)	0.439
サービス利用中止				サービス利用中止			
低BMI	0.775	(0.167 - 3.612)	0.746	低BMI	0.795	(0.169 - 3.730)	0.771
イベントなし				イベントなし			
低BMI	1.089	(0.621 - 1.908)	0.766	低BMI	1.101	(0.619 - 1.959)	0.744
モデル5				モデル6			
目的変数	オッズ比	95%信頼区間	p 値	目的変数	オッズ比	95%信頼区間	p 値
バーサルインデックス不良維持・悪化				バーサルインデックス不良維持・悪化			
低BMI	1.920	(0.968 - 3.805)	0.062	低BMI	1.382	(0.643 - 2.969)	0.408
FIM不良維持・悪化				FIM不良維持・悪化			
低BMI	1.400	(0.277 - 7.090)	0.684	低BMI	1.022	(0.168 - 6.232)	0.981
IADL不良維持・悪化				IADL不良維持・悪化			
低BMI	1.156	(0.658 - 2.031)	0.614	低BMI	1.095	(0.592 - 2.025)	0.772
入院				入院			
低BMI	0.858	(0.450 - 1.636)	0.642	低BMI	0.815	(0.417 - 1.591)	0.548
施設入所				施設入所			
低BMI	0.827	(0.183 - 3.741)	0.805	低BMI	0.926	(0.204 - 4.215)	0.921
要介護度重症化				要介護度重症化			
低BMI	1.284	(0.267 - 6.164)	0.755	低BMI	1.885	(0.361 - 9.830)	0.452
サービス利用中止				サービス利用中止			
低BMI	0.758	(0.162 - 3.555)	0.726	低BMI	0.760	(0.160 - 3.604)	0.730
イベントなし				イベントなし			
低BMI	1.095	(0.622 - 1.928)	0.754	低BMI	1.083	(0.605 - 1.939)	0.788
モデル1：性・年齢・要介護度・利用回数調整				モデル2：モデル1 + とろみ剤調整			
モデル3：モデル1 + リハマネ加算算定調整				モデル4：モデル2 + リハマネ加算算定調整			
モデル5：モデル3 + 管理栄養士の関わり調整				モデル6：モデル4 + 管理栄養士の関わり調整			

表 II -8b 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（多変量解析）

通所介護 低栄養とADL・IADLの不良維持・悪化、イベント発生に関連

モデル1				モデル2			
目的変数	オッズ比	95%信頼区間	p 値	目的変数	オッズ比	95%信頼区間	p 値
BI不良維持・悪化				BI不良維持・悪化			
低BMI	0.786	(0.279 - 2.214)	0.649	低BMI	0.673	(0.216 - 2.099)	0.495
IADL不良維持・悪化				IADL不良維持・悪化			
低BMI	5.231	(1.246 - 21.959)	0.024	低BMI	6.679	(1.261 - 35.365)	0.026
入院				入院			
低BMI	0.940	(0.411 - 2.149)	0.882	低BMI	0.919	(0.398 - 2.124)	0.843
施設入所				施設入所			
低BMI	2.215	(0.501 - 9.796)	0.295	低BMI	2.264	(0.501 - 10.226)	0.288
要介護度重症化				要介護度重症化			
低BMI	2.759	(0.983 - 7.746)	0.054	低BMI	2.554	(0.892 - 7.316)	0.081
特になし				特になし			
低BMI	0.663	(0.346 - 1.268)	0.214	低BMI	0.685	(0.354 - 1.327)	0.263
モデル3				モデル4			
目的変数	オッズ比	95%信頼区間	p 値	目的変数	オッズ比	95%信頼区間	p 値
BI不良維持・悪化				BI不良維持・悪化			
低BMI	0.654	0.224 - 1.911)	0.437	低BMI	0.543	0.167 - 1.760)	0.308
IADL不良維持・悪化				IADL不良維持・悪化			
低BMI	5.881	(1.330 - 25.996)	0.019	低BMI	11.665	(1.669 - 81.513)	0.013
入院				入院			
低BMI	0.988	(0.428 - 2.280)	0.978	低BMI	0.977	(0.419 - 2.279)	0.957
施設入所				施設入所			
低BMI	1.928	(0.431 - 8.618)	0.390	低BMI	2.007	(0.442 - 9.103)	0.367
要介護度重症化				要介護度重症化			
低BMI	2.934	(1.028 - 8.372)	0.044	低BMI	2.752	(0.944 - 8.025)	0.064
特になし				特になし			
低BMI	0.623	(0.322 - 1.204)	0.159	低BMI	0.635	(0.324 - 1.243)	0.185
モデル5				モデル6			
目的変数	オッズ比	95%信頼区間	p 値	目的変数	オッズ比	95%信頼区間	p 値
BI不良維持・悪化				BI不良維持・悪化			
低BMI	0.623	0.211 - 1.839)	0.392	低BMI	0.497	0.153 - 1.615)	0.245
IADL不良維持・悪化				IADL不良維持・悪化			
低BMI	5.892	(1.331 - 26.088)	0.019	低BMI	12.082	(1.673 - 87.277)	0.014
入院				入院			
低BMI	0.963	(0.414 - 2.240)	0.931	低BMI	0.950	(0.406 - 2.225)	0.906
施設入所				施設入所			
低BMI	1.972	(0.437 - 8.886)	0.377	低BMI	2.071	(0.453 - 9.466)	0.348
要介護度重症化				要介護度重症化			
低BMI	2.947	(1.032 - 8.415)	0.043	低BMI	2.756	(0.946 - 8.029)	0.063
特になし				特になし			
低BMI	0.627	(0.323 - 1.217)	0.168	低BMI	0.642	(0.327 - 1.260)	0.198

モデル1：性・年齢・要介護度・利用回数調整

モデル3：モデル1 + 個別機能訓練加算算定調整

モデル5：モデル3 + 管理栄養士の関わり調整

モデル2：モデル1 + とろみ剤調整

モデル4：モデル2 + 個別機能訓練加算算定調整

モデル6：モデル4 + 管理栄養士の関わり調整

表 II-9 低栄養 (BMI18.5kg/m²未満) に関連が見られた調査項目

		通所リハ(n=1,291)		通所介護(n=487)	
		オッズ比	P値	オッズ比	P値
同居家族 独居	はい=1	—	—	1.759	**
普通食	いいえ=1	2.591	***	3.443	***
きざみ/軟菜食	はい=1	2.287	***	1.911	*
えんげ調整食	はい=1	2.609	*	6.247	***
食事摂取量	6割以下・わからない=1	2.097	*	—	—
とろみ剤使用	あり=1	3.579	***	3.962	***
食事の際に奥歯 (義歯でも可) で噛みしめている	いいえ・わからない=1	—	—	2.134	*
食事介助	全面介助=1	6.994	***	—	—
体重減少6か月で2kg以上	あり=1	1.951	**	—	—
体重減少6か月で5%以上	あり=1	3.534	***	2.187	*
バーサルインデックス	55点以下=1	2.486	**	—	—
IADL (通所リハ:7点以下、通所介護:5点以下)	7点/5点以下=1	1.790	**	—	—
自分で買い物へ出かけている (概ね週1回以上)	いいえ・わからない=1	1.755	*	—	—
自宅等では食事を自分で作っている (概ね週1回以上)	いいえ・わからない=1	2.113	**	—	—
自宅等では一緒に食事を食べる人がいる (概ね週1回以	はい=1	—	—	2.078	**

— : 有意差がでなかった項目 *** : p<0.001、** : p<0.01、* : p<0.05

※調整変数:性別、年齢、要介護度

表Ⅱ-10a-① 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（主成分分析）

通所リハ 主成分分析

（事業所での食事提供に関する

変数を含まない）（n=1004）

	記述統計		成分行列			
	平均値	標準偏差	第1主成分	第2主成分	第3主成分	第4主成分
性別【男性】	0.4	0.5	0.40	-0.25	0.50	-0.45
年齢	80.9	9.3	-0.15	0.41	-0.43	-0.31
独居【はい】	0.2	0.4	-0.76	0.37	0.39	-0.06
夫婦【配偶者同居あり】	0.5	0.5	0.57	-0.54	0.36	0.11
子供【子同居あり】	0.4	0.5	0.25	0.06	-0.79	-0.01
日中独居【はい】	0.4	0.5	-0.65	0.30	0.08	-0.13
要介護度カテゴリ 【要支援1,2・要介護1,2・要介護3,4,5】	1.3	1.1	0.56	0.45	0.17	0.29
BMI18.5kg/m2未満【低BMI】	0.1	0.3	0.09	0.23	-0.01	0.30
バーサルインデックス カットオフ値【55点以下】	1.1	0.3	0.42	0.42	0.18	0.57
通所リハIADLカットオフ値【7点以下】	1.5	0.5	0.54	0.50	0.15	-0.09
自分で買い物へ出かけている （概ね週1回以上）【はい】	0.2	0.4	-0.54	-0.43	-0.04	0.34
自宅等では食事を自分で作っている （概ね週1回以上）【はい】	0.3	0.5	-0.68	-0.28	-0.09	0.38
自宅等では一緒に食事を食べる人がいる （概ね週1回以上）【はい】	0.8	0.4	0.69	-0.30	-0.37	0.02
	初期の固有値 合計		3.61	1.78	1.58	1.10
	分散の%		27.76	13.71	12.18	8.47
	累積寄与率		27.76	41.47	53.65	62.12

表 II -10a-② 通所リハにおける栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（主成分分析）

通所リハ 主成分分析 （事業所での食事提供に関する 変数を含む）（n=709）	記述統計		成分行列					
	平均値	標準偏差	第1主成分	第2主成分	第3主成分	第4主成分	第5主成分	第6主成分
性別【男性】	0.4	0.5	0.30	-0.20	-0.54	-0.28	-0.19	0.21
年齢	81.7	9.2	-0.11	0.14	0.61	-0.03	-0.10	0.11
独居【はい】	0.2	0.4	-0.51	0.68	-0.15	-0.31	-0.09	0.01
夫婦【配偶者同居あり】	0.5	0.5	0.43	-0.44	-0.59	0.07	0.10	0.07
子供【子同居あり】	0.5	0.5	0.07	-0.33	0.66	0.30	0.06	-0.07
日中独居【はい】	0.4	0.5	-0.53	0.41	0.05	-0.15	-0.01	-0.10
要介護度カテゴリ 【要支援1,2・要介護1,2・要介護3,4,5】	1.5	1.1	0.64	0.11	0.00	-0.17	0.12	-0.20
BMI18.5kg/m2未満【低BMI】	0.1	0.3	0.24	0.22	0.14	0.16	-0.17	0.16
バーサルインデックス カットオフ値【55点以下】	1.2	0.4	0.62	0.33	0.02	0.05	0.22	-0.13
通所リハIADLカットオフ値【7点以下】	1.5	0.5	0.57	0.11	0.17	-0.39	-0.03	-0.18
自分で買い物へ出かけている （概ね週1回以上）【はい】	0.1	0.3	-0.44	0.02	-0.21	0.37	0.48	0.10
自宅等では食事を自分で作っている （概ね週1回以上）【はい】	0.2	0.4	-0.57	0.15	-0.14	0.38	0.42	-0.01
自宅等では一緒に食事を食べる人がいる （概ね週1回以上）【はい】	0.8	0.4	0.47	-0.63	0.18	0.22	0.10	0.01
きざみ／軟採食【提供あり】	0.2	0.4	0.42	0.19	0.25	-0.33	0.43	0.17
えんげ調整食【提供あり】	0.0	0.2	0.35	0.41	-0.16	0.47	-0.22	-0.27
食事摂取量【6割以下】	0.1	0.3	0.20	0.23	0.06	0.17	-0.11	0.61
とろみ剤使用【あり】	0.1	0.3	0.54	0.50	-0.06	0.15	0.19	-0.01
食事の際に奥歯で（義歯でも可） 噛みしめている【いいえ】	0.1	0.3	0.21	0.24	0.00	0.42	-0.39	0.32
食事中にむせたり咳き込んだり することがある【はい】	0.2	0.4	0.47	0.36	-0.02	-0.02	0.30	0.29
食事介助【全面介助】	0.0	0.1	0.33	0.28	-0.12	0.34	-0.12	-0.40
	初期の固有値	合計	3.76	2.36	1.73	1.51	1.11	1.02
		分散の%	18.78	11.80	8.66	7.54	5.57	5.08
		累積寄与率	18.78	30.59	39.24	46.79	52.36	57.44

表Ⅱ-10b-① 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（主成分分析）

通所介護 主成分分析

（事業所での食事提供に関する

変数を含まない）（n=236）

	記述統計		成分行列			
	平均値	標準偏差	第1主成分	第2主成分	第3主成分	第4主成分
性別【男性】	0.4	0.5	-0.03	0.19	-0.75	0.03
年齢	80.2	8.9	0.11	0.10	0.58	0.55
独居【はい】	0.3	0.5	0.92	0.22	-0.11	-0.06
夫婦【配偶者同居あり】	0.4	0.5	-0.64	-0.11	-0.59	0.18
子供【子同居あり】	0.4	0.5	-0.47	-0.30	0.51	-0.31
日中独居【はい】	0.6	0.5	0.75	-0.04	0.06	-0.44
要介護度カテゴリ 【要支援1,2・要介護1,2・要介護3,4,5】	1.4	1.1	-0.14	0.75	0.17	0.03
BMI18.5kg/m2未満【低BMI】	0.2	0.4	0.20	0.22	-0.05	0.51
バーサルインデックス カットオフ値【55点以下】	1.2	0.4	0.06	0.78	0.11	0.06
自分で買い物へ出かけている （概ね週1回以上）【はい】	0.2	0.4	0.49	-0.57	-0.13	0.25
自宅等では食事を自分で作っている （概ね週1回以上）【はい】	0.2	0.4	0.47	-0.58	0.10	0.28
自宅等では一緒に食事を食べる人がいる （概ね週1回以上）【はい】	0.7	0.5	-0.91	-0.20	0.13	0.07
	初期の固有値 合計		3.39	2.11	1.62	1.04
	分散の%		28.28	17.60	13.46	8.66
	累積寄与率		28.28	45.89	59.35	68.01

表Ⅱ-10b-② 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査（主成分分析）

通所介護 主成分分析
 （事業所での食事提供に関する
 変数を含む）（n=198）

	記述統計		成分行列			
	平均値	標準偏差	第1主成分	第2主成分	第3主成分	第4主成分
性別【男性】	0.4	0.5	0.18	0.17	0.75	-0.07
年齢	80.2	9.1	0.07	0.05	-0.61	0.10
独居【はい】	0.3	0.5	0.88	-0.32	0.03	-0.09
夫婦【配偶者同居あり】	0.3	0.5	-0.55	0.27	0.61	0.17
子供【子同居あり】	0.4	0.5	-0.58	0.04	-0.38	-0.11
日中独居【はい】	0.6	0.5	0.62	-0.43	-0.07	-0.23
要介護度カテゴリ 【要支援1,2・要介護1,2・要介護3,4,5】	1.5	1.1	0.24	0.67	-0.20	-0.13
BMI18.5kg/m2未満【低BMI】	0.2	0.4	0.35	0.11	0.03	0.39
バーサルインデックス カットオフ値【55点以下】	1.2	0.4	0.49	0.58	-0.13	-0.12
自分で買い物へ出かけている （概ね週1回以上）【はい】	0.2	0.4	0.14	-0.64	0.16	0.34
自宅等では食事を自分で作っている （概ね週1回以上）【はい】	0.2	0.4	0.10	-0.64	-0.04	0.38
自宅等では一緒に食事を食べる人がいる （概ね週1回以上）【はい】	0.7	0.5	-0.88	0.33	-0.06	0.03
きざみ／軟採食【提供あり】	0.2	0.4	0.19	0.45	-0.17	0.43
食事摂取量【6割以下】	0.1	0.2	0.03	0.23	-0.19	0.62
とろみ剤使用【あり】	0.1	0.3	0.57	0.41	0.03	-0.16
食事の際に奥歯で（義歯でも可） 噛みしめている【いいえ】	0.1	0.3	0.42	0.37	0.13	0.27
食事中にむせたり咳き込んだり することがある【はい】	0.1	0.3	0.30	0.55	0.17	0.07
	初期の固有値 合計		3.69	2.96	1.65	1.24
	分散の%		21.70	17.43	9.70	7.29
	累積寄与率		21.70	39.14	48.84	56.12

表Ⅱ-11a 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査 低栄養者の特性パターン（主成分分析）

通所リハ 主成分分析 低栄養BMI18.5未満者
(n=117)

	記述統計		成分行列			
	平均値	標準偏差	第1主成分	第2主成分	第3主成分	第4主成分
性別【男性】	0.4	0.5	0.22	-0.08	-0.46	-0.19
年齢	82.9	9.2	-0.12	-0.22	0.20	-0.33
独居【はい】	0.1	0.3	-0.25	0.27	0.66	-0.13
要介護度カテゴリ 【要支援1,2・要介護1,2・要介護3,4,5】	1.7	1.1	0.67	-0.26	0.22	0.29
バーサルインデックスカットオフ値 【55点以下】	1.3	0.5	0.69	-0.09	0.27	0.45
自分で買い物へ出かけている (概ね週1回以上)【はい】	0.1	0.3	-0.35	0.74	-0.16	0.28
自宅等では食事を自分で作っている (概ね週1回以上)【はい】	0.1	0.3	-0.34	0.74	-0.17	0.27
自宅等では一緒に食事を食べる人がいる (概ね週1回以上)【はい】	0.8	0.4	0.27	-0.26	-0.63	0.15
えんげ調整食【提供あり】	0.1	0.3	0.50	0.24	0.08	-0.43
食事摂取量【6割以下】	0.1	0.3	0.19	0.02	0.22	0.49
とろみ剤使用【あり】	0.2	0.4	0.74	0.29	-0.04	-0.14
食事の際に奥歯で（義歯でも可） 噛みしめている【いいえ】	0.1	0.3	0.45	0.43	0.03	-0.41
食事中にむせたり咳き込んだり することがある【はい】	0.3	0.4	0.66	0.31	-0.24	0.02
食事介助【全面介助】	0.1	0.2	0.60	0.23	0.17	0.00
	初期の固有値 合計		3.20	1.84	1.42	1.22
	分散の%		22.87	13.12	10.11	8.73
	累積寄与率%		22.87	35.99	46.09	54.82

表Ⅱ-11b 通所介護における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査 低栄養者の特性パターン（主成分分析）

通所介護 主成分分析 低栄養BMI18.5未満者

(n=42)	記述統計		成分行列			
	平均値	標準偏差	第1主成分	第2主成分	第3主成分	第4主成分
性別【男性】	0.5	0.5	0.38	-0.01	0.41	0.68
年齢	81.1	8.5	-0.07	0.34	-0.53	0.60
独居【はい】	0.5	0.5	0.58	-0.74	-0.01	0.04
要介護度カテゴリ 【要支援1,2・要介護1,2・要介護3,4,5】	1.8	1.1	0.63	0.42	-0.22	0.16
バーサルインデックスカットオフ値 【55点以下】	1.3	0.5	0.79	0.04	-0.05	-0.10
自分で買い物へ出かけている (概ね週1回以上)【はい】	0.2	0.4	-0.38	-0.56	0.26	0.49
自宅等では食事を自分で作っている (概ね週1回以上)【はい】	0.2	0.4	-0.46	-0.48	-0.15	0.21
自宅等では一緒に食事を食べる人がいる (概ね週1回以上)【はい】	0.5	0.5	-0.58	0.74	0.01	-0.04
えんげ調整食【提供あり】	0.3	0.4	0.87	-0.17	-0.03	-0.18
食事摂取量【6割以下】	0.1	0.3	0.04	0.53	0.46	0.03
とろみ剤使用【あり】	0.3	0.5	0.83	0.03	-0.10	-0.05
食事の際に奥歯で（義歯でも可） 噛みしめている【いいえ】	0.2	0.4	0.13	0.02	0.79	-0.12
食事中にむせたり咳き込んだり することがある【はい】	0.2	0.4	0.58	0.46	0.17	0.30
食事介助【全面介助】	0.1	0.3	0.58	-0.04	-0.14	0.04
	初期の固有値 合計		4.34	2.46	1.49	1.29
	分散の%		30.98	17.55	10.61	9.22
	累積寄与率%		30.98	48.52	59.14	68.36

Ⅲ. 通所リハビリテーション事業所及び通所介護事業所の栄養管理のあり方に関する 事業所訪問インタビュー調査

1. 目的

通所サービス事業所の訪問インタビュー調査は、調査用紙作成にあたり、また、その後の事業所実態調査や利用者個別調査の結果の考察や提言の検討にあたり活用することを目的とした。

2. 方法

(1) 事業所及び対象

委員長及び委員の推薦を得た先進的栄養管理の取り組みをしている神奈川県、京都府、大阪府、北海道、福岡県、愛媛県、富山県、石川県、福島県の通所リハビリテーション及び通所介護事業所10事業所程度の管理者及び専門職計60名程度とした。

(2) 調査方法

事業所管理者及びスタッフへの依頼状及び説明書（インタビューガイドを含む）、同意書や同意撤回書等を郵送した。調査への協力は事業所管理者及びスタッフの自由な意思に任せられ、同封封筒により同意書を回収した。依頼した全ての事業所から同意が得られ、委員長がインタビューのための訪問日を調整決定した。訪問日には、委員長及び委員がインタビューガイドに沿ったグループインタビューを、挨拶や簡単な説明等を入れて全2時間程度行った。インタビュー内容は対象者の同意を得て録音し、逐語録作成を（株）ユエラボ（東京都）に委託した。

(3) 調査内容

インタビュー内容は、以下の事項とした。

- ・利用者の特性：平均要介護度、生活行為の自立（買い物、食事準備、食べることなど）の状況、摂食・嚥下障害や認知機能の低下に伴う食事時の問題、低栄養（低体重や体重減少）の状況について
- ・低栄養とリハビリテーションの効果や生活行為の自立の関係についての考え
- ・栄養スクリーニングの実施状況とその後の対応について
- ・管理栄養士の関わり（関わっている管理栄養士の所属や関わり方、関わっていない場合の栄養・食事問題への対応について）
- ・管理栄養士の関わりがある場合、関わっていない場合の理由について
- ・食事提供や食形態などの変更方法と対応（個別化を含めて）について
- ・今後の栄養管理や栄養相談のあり方についての要望

(4) 実施

事業所訪問インタビュー調査は、平成30年7月14日、8月9日、10日、17日、20日、10月1日、2日、11月13日の8日間に渡り、研究班委員長及び委員が対象事業所9か所を訪問し、全57名の管理者及びスタッフに実施した。

(5) 録音と逐語録の作成

対象者のインタビュー内容は同意を得て IC レコーダーに保存し (IC レコーダー内の録音は電子媒体に移した後ただちに消去)、その後、神奈川県立保健福祉大学栄養学科委員によって IC レコーダー内の録音データを電子媒体化し、セキュリティー付 USB に保管された。当該 USB から、個人情報保護の遵守について同意を得た委託業者 (株式会社 IP パートナーズ コラボ、東京都渋谷区) によって逐語録作された。当該 USB 及び逐語録は委員長の研究室 (A610) の鍵のかかる保管庫に保存され、5 年後に USB 内は全消去し、その他は粉砕処分される。

(6) 逐語録からの課題テーブルと活用

インタビューされたデータについて質的分析を行うものではなく、制度研究として、先行調査成果の解釈や、そこからの提言の妥当性を高めるためのものである。このことから、逐語録から、委員長のスーパーバイズのもと委員及び研究協力者2名が下記のインタビューガイド①～⑩について概要の抽出を行いテーブル (一覧表) 作成した。このテーブルは研究班の委員会に提示し委員の意見を募り、今後の調査用紙作成にあたり、とりあげるべき内容の検討や栄養管理体制等のあり方についての検討や提言に活用された。

①利用者の要介護度やADLの状況

②利用者の生活行為の自立 (買い物、食事準備、食べることなど) 状況

③摂食・嚥下障害や認知機能の低下に伴う食事時の問題

④低栄養 (低体重や体重減少) の状況

⑤低栄養とリハビリテーションの効果や生活行為の自立の関係について

⑥栄養スクリーニングはしているか

→している場合には、どのように行って、低栄養の場合にはどうしているか

⑦管理栄養士は関わっているか

→関わっている場合には、どのように関わっているか

→関わっていない場合には、栄養・食事の問題にはどのように対応しているか

⑧管理栄養士との関わりがある理由について

また、関わりがない理由にはどのようなことが考えられるか

⑨食事提供や食形態などの変更方法と対応 (個別化を含めて) はどうしているか

⑩今後の栄養管理や栄養相談の在り方について何かご要望があるか

(7) 研究倫理

協力は事業所管理者及びスタッフの自由な意思に任された。録音内容の使用はいつでも撤回でき、その場合はデータが削除されるものとした。インタビュー内容には、個人情報に含まれなかった。なお、録音内容に含まれた場合には、委託会社によって逐語録作成時に全て消去されるよう同社の同意を得た。ICレコーダーの録音内容を電子媒体化する時に、電子媒体に事業所IDを交付し匿名化された。インタビューの時間的負担（2時間程度）以外のリスクはなかった。調査計画は神奈川県立保健福祉大学研究倫理委員会の承認を得た（保大第71-17）。

3. 結果

事業所A～I別インタビューの内容は、インタビューガイドの質問項目別に逐語録に基づいて表に示した。管理栄養士・栄養士が関わっている場合と関わっていない場合に区分し、その事業所別概要は以下のようであった。

(1) 管理栄養士が関わっている場合

○A通所リハ事業所は、併設老健施設の2名の常勤管理栄養士のうち管理者が関わっていた。通所リハ事業所においては、栄養スクリーニング加算から栄養改善加算に繋がっている（表Ⅲ-1）。栄養スクリーニング加算だけでは、介護支援専門員が理解できていないし、利用者も納得しないが、栄養改善加算につなげると介護支援専門員、利用者からも了承される。現在、低栄養者（BMI18.5kg/m²未満）が18%程度であるが、体重減少等の他のリスクを入れると対象者の割合はもっと多い。また、食事中にむせのある者も把握がされるようになれば対応する必要がある。また、栄養改善加算の対象者は、自分で買い物していない者が多い。栄養改善加算において、在宅での食事や食事準備の状況を把握する必要があるので3か月毎に訪問しているが、在宅訪問によるアセスメント・モニタリングは重要な要素である。そのため、アセスメント・モニタリングには、施設の栄養ケア・マネジメントの業務時間より長くかかる。栄養ケア計画はリハビリテーション計画に位置づけられ、計画のためのカンファレンスにも管理栄養士が参加する体制が必要である。施設入所前から通所リハにおいて経口維持や栄養ケア・マネジメントの取り組みが必要である。

○B事業所は、200名以上の大規模な通所リハ事業所。併設病院や老健の管理栄養士が栄養スクリーニング加算（BMI<18.5kg/m²、体重減少が10%以上/6か月、7.5%以上/3か月、5%以上/1か月）によって把握された低栄養リスク者は食事摂取量が少ない者が多く、栄養改善加算によって対応している（表Ⅲ-2）。言語聴覚士による摂食・嚥下機能評価も実施している。管理栄養士は通所事業所での食事の様子や摂取量を確認し栄養ケア計画を作成し利用者家族に報告するとともに、通所事業所を通じて介護支援専門員に連絡している。

○C事業所は、病院・福祉施設併設の通所リハ、通所介護、認知症対応型通所介護がある。いずれの事業所の食事は併設病院からクックチルが届けられ、この食事の提供時に、担当の管理栄養士が通所事業所を巡回している（表Ⅲ-3）。担当管理栄養士は、利用者の栄養の課題の報告を通所事業所から受けたときには、栄養科長に報告し、食形態の変更も含めて担当者と管理者とで関わっている。栄養スクリーニング加算を取得し、低栄養の項目の他に栄養補給内容、口腔内の状態、義歯の有無、食事時の姿勢、皮膚の状態、認知機能、下痢・便秘、食べこぼしなどのチェック項目を入れて、介護職にチェックしてもらっている。これにより、介護職に栄養に対する認識が高まった。栄養スクリーニングの結果は、相談員が介護支援専門員に連絡し、利用者の栄養管理がどこで行われているのかを確認してもらっている。栄養スクリーニングによって把握されても、把握されなくても、栄養の問題がある利用者の担当者と併設病院の管理栄養士に報告・相談し、管理栄養士は相談員、福祉職、看護師等へのコンサルテーションやミールラウンドを行い、利用者・家族に対する相談もしている（報酬外）。在宅訪問に管理栄養士が同行する場合もある。在宅での状況を把握していないと、事業所の食事と在宅の食事ではとろみのつけ方や、調整食のレベルが在宅では異なるので利用者が困っていることが多いので、管理栄養士が在宅を訪問することは大切である。通所利用者の食形態の変更は、作業療法士、看護師、介護職がカンファレンスで話し合い、食事内容や提供方法の変更を管理栄養士に相談・報告し変更してもらっている。栄養状態が良くなると運動する気力や何かしてみようという気力が出てくる。通所での食事によって食べる意欲が出て、生活の自立に繋がることもある。管理栄養士が関わることで食事が増大するが、現在は継続的な関わりにはなっていない。

○D通所介護事業所は、特養（54床）に併設し、通所定員20名/日、登録者は約40名。リハビリテーション・マネジメント(I)(II)加算の取得有り。利用者は食事を自力摂取できるが、一人で買い物や調理ができる者は少ない（表Ⅲ-4）。摂食・嚥下障害を持つ者は殆どいないとされていたが、摂食調整食（きざみ）やとろみの利用者はいらる。栄養スクリーニング加算は取得していない（介護支援専門員への報告ができない）が、体重は毎月計測している。身長記録はない者もいる。食事摂取割合は、毎回記録している。低体重や体重減少率が激しかった利用者は45名中8名(17.8%)であった。併設施設の管理栄養士は、利用者の食事の様子をみたり、介護スタッフに食事・栄養面で気になる利用者がないか尋ねたり、本人にも在宅での食事状況を確認していた。食形態は軟菜食での提供が多く、併設病院の厨房に委託しており、細かい対応ができない。食形態については、自宅での状況や退院時の病院からの情報に基づいて通所管理者からオーダーされることが多い。リハビリテーション職員の行う調理訓練のために食事内容や実施内容を助言しているが、リハビリテーション計画に携わることはない。今後、通所介護では見られない在宅での状況も見られたら良いと考えている。口腔ケアは通所介護スタッフが実施し、歯科医師の訪問はない。

(2) 栄養士が関わっている場合

○E通所リハ事業所においては、体重測定は毎月実施され、食事摂取量の把握もされているが、栄養スクリーニング加算は取得されていない(表Ⅲ-5)。食事での傾眠、食事が認識できない、食欲がないことから、浮腫や褥瘡などが増大しないように対応することが求められる。しかし、常勤栄養士が設置され、食べられない利用者には、通所で食べている料理を家族に伝えたり、通所の食事の食べ方について気になる利用者のことを介護支援専門員に伝えたりしているが適切な対応はできていない。食形態は個々に対応しているが、食事量は一律で提供されており、エネルギーやタンパク質への個別対応は行われていない。管理栄養士が在宅訪問を簡単にできれば、利用者の日常の食事に対応できる。

(3) 管理栄養士・栄養士が関わっていない場合

○F通所リハ事業所は、併設老健に管理栄養士が1名しかいないので、たまの相談程度しか関われないが、施設と同様に経口維持のためのミールランドを施設の管理栄養士や歯科衛生士と一緒にすることは重要と考えている(表Ⅲ-6)。通所事業所に対応する管理栄養士が施設にもう一人ほしい。摂食・嚥下障害ある者は1日30名の利用者中2~3名、多いときで4~5名と多く、胃瘻4名、飲み込みが悪く、とろみ剤やミキサー食の利用者が多い。低栄養ではリハビリテーションの意欲が低下する。栄養スクリーニング加算は算定していないが、体重測定は毎月、食事量(10割チェック)は毎日実施。栄養補助食品やタンパク質食品の追加、食形態への対応(相談員と看護師が相談)、治療食について施設管理栄養士、かかりつけ医に相談することがある。制度化するのであれば、リハビリテーション形面に栄養ケア計画、食事記録が残るようにすること。また、自宅訪問を訪問リハビリテーションと同じように指示があれば行けるようにしないといけないと根本的な解決にならない。

○G通所リハ事業所には、老健併設(要介護度3~5が50%)と病院併設(平均要介護度2.82)とがあり、生活自立度が異なる。要介護度が重症化するにつれて孤食が増えている(表Ⅲ-7)。摂食・嚥下に問題がある者は老健併設事業所の約3割、経管栄養も2割いる。低栄養者は $<18.5\text{kg/m}^2$ で7%程度。低栄養者には、積極的にリハビリテーションの介入をしないようにしているが、管理栄養士の関わりはないが、リハビリテーションより最優先の課題である。栄養スクリーニング加算や栄養改善加算は取得していない。リハビリテーション職員が1か月毎の訪問時に水分量、3食の食事準備や買い物についてどうしているか見ている。併設施設の管理栄養士には、看護師、言語聴覚士から低栄養者についての褥瘡、食欲不振、摂食・嚥下障害などで相談がある。ミールラウンドも月に2回位、3名程度行ったが、通所に関わるシステムがない。居宅療養管理指導は実現していない。食形態の変更は、看護師やリハビリテーション職員が医師に報告して実施している。摂食・嚥下障害が重度の場合には、外来で嚥下造影をして対応し、施設管理栄養士が同行する場合もある。医師は通所利用開始時から関わっているので、そこで低栄養の問題を把握し、管理栄養士に指示

がでて居宅療養管理指導で取り組む体制ができるとうい。生活を含めた多職種支援体制をどう作るかである。

○H通所介護事業所は、併設の管理栄養士は一人のため関わっていない。栄養スクリーニング加算は取得していない(表Ⅲ-8)。要介護1~2の者が多い。個別機能加算(I)(II)を取得している。利用者の低栄養リスクは、IHなど調理器具の使用が分からず調理しなくなるなど、食環境に影響されている。食事の意欲低下や、食事時の傾眠がみられる者もいる。家屋調査では食に対する意欲を把握しているが、食事の意欲が低下するとデイサービスが楽しくなくなり来なくなる。通所の昼食だけで食事の問題を把握することはできない。台所の様子や冷蔵庫、調味料の位置などの食事支援のための具体的なアセスメントが必要である。

○I通所リハビリテーション事業所の登録者は約108~109名で、平均利用者数は57~58名/日である(表Ⅲ-9)。月・火曜日の利用が多い。リハビリテーション職員は理学療法士が1名。利用者には重度の者もいるが、要介護度5の利用者は少ない。相談員がどのような家事をしているか聞き取りをしている。自分で食事の準備をしたり、車いすが入らない台所で無理やり調理したりしている利用者もいる。利用者の殆どが常食で、ソフト食など食形態に工夫が必要な利用者は5~6名程度。体重は毎月計測記録され、看護師が体重記録を見て減少が激しい場合は、介護士に伝え、食事時の様子を観察してもらっている。食事摂取量はバイキング形式なので、いつもこれ位食べているのに最近少ないなという感覚や、家族からの申し送り等で判断している。食事摂取状況が悪いときには、相談員からケアマネージャー・家族へ相談し、病院受診などを打診している。常食の者にはバイキング形式で食事提供を行うが、ソフト食は組み膳して提供している。体調や歯の具合などで、お粥や細かい調整も行っている。相談員が家族から家での食事状況について聴取し、看護師に相談し通所での食形態を決めている。

また、リハビリテーション職員が3か月に1回家屋訪問し、個別機能訓練加算を取得している。栄養スクリーニング加算は今のところ算定していないが、いずれは算定したいと考えている。施設併設であるが管理栄養士の関わりはほとんどなく、ミールラウンドもない。食形態についての調整には対応しているが、併設施設の管理栄養士のため、デイサービス滞在時間内では関わることができていない現状である。

以上の結果は以下のようにまとめられた。

1. 併設介護保険施設(管理栄養士の常勤配置2名)や併設病院から管理栄養士が訪問している事業所においては、管理栄養士によるスタッフへのコンサルテーション、食事時のミールラウンド、利用者・家族への相談、必要に応じて在宅訪問がおこなわれていた。
2. ①の管理栄養士の関わりによって、利用者の食欲の回復、食事量の増大、リハビリテ

ーションへの意欲の増大がみられるとのことであった。

3. 栄養スクリーニング加算の取得の有無に関わらず、管理栄養士が関係していない場合には、相談員が介護支援専門員に情報提供しても認識が薄いとされ、リハビリテーション職による自宅への訪問時に食事のチェック、看護師への食形態に関する相談やかかりつけ医に対する食形態や栄養補助食品の提供の指示の依頼等に留まるということであった。

4. 事業所スタッフによって通所リハビリテーション計画に栄養ケア計画が位置付けられることやその計画の作成にあたっては、必要に応じて在宅訪問が求められた。

表Ⅲ-1 事業所A 訪問インタビュー概要

<p>概要</p>	<p>神奈川県</p> <p>通所リハビリテーション（介護老人保健施設併設；社会福祉法人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設管理栄養士2名、うち1名が通所と関わっている。 ○ 登録者数140名。利用者45名/日（週2～3日利用が多い）。 ○ リハビリテーション職員は理学療法士2名、作業療法士2名。 ○ 訪問リハビリテーションもあり、訪問専属のリハビリテーション職員が2名いる。 ○ 新規利用者には3か月の短期集中リハビリテーションプログラムを提供している。 ○ 希望者には個別のリハビリテーションプログラムを実施する。 ○ 平成22年から管理栄養士の栄養改善サービス（栄養改善加算）を算定しており、平成30年4月以降の算定5名である。
<p>①利用者の要介護度やADLの状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均要介護度3.06、要介護度4の利用者が最も多い。 ○ 男性利用者にはパーキンソン病が多い。 ○ BIの点数には通所リハビリテーションの利用効果がみられる。 ○ FIM（Function Independence Measure：機能的自立度評価表）はケアマネージャーでも知らない人が多く、BIが一番簡単に評価しやすい。介護士が使いやすいので、通所リハビリテーション計画書に取り込んでいる。ADLが高い利用者は、BIやIADLに効果があまりみられない。 ○ iPadの使い方やPASMOのチャージが困難な利用者が多い。 ○ 男性の場合、妻が家事等をしているとIADLが0点になることが多い。
<p>②利用者の生活行為の自立（買い物、食事準備、食べることなど）状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者は、買い物のレクリエーションやお茶入れ、カラオケ、花の水やり等ができています。 ○ 独居の場合の買い物は、別居家族が支援したり、宅配サービスを使ったりしている利用者が多い。 ○ 栄養改善加算の算定者には、買い物に行けない利用者が多い。
<p>③摂食・嚥下障害や認知機能の低下に伴う食事時の問題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食事時にゼーゼーしている者もいる。介護士による口腔嚥下体操として主に対応している。

<p>④低栄養（低体重や体重減少）の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 法人による既存調査では、BMI18.5kg/m²以下の者は 140 名中 18% いたが、体重減少等の経過も含めれば低栄養の者はもっと多い。 ○ 毎月第 1 週の入浴時に体重測定。 ○ 栄養スクリーニング加算をきっかけに、今年から介護士が身長と体重を測定し、栄養ケアシステムに直接入力してもらうようになった。入力すると、中リスク・高リスクに自動で振り分けられる（全員に実施）。 ○ 看護師からも体重の経過について相談があることもある。 ○ 食事の様子は、主食とおかず別に、介護士が記録。施設管理栄養士がミールラウンドをしている。 ○ 体重以外で栄養介入が必要だと思うのは、むせ、転倒が多かったり、入浴中に体重が軽すぎて浮いてしまったり、ふらつきが見られたり、日に日に痩せていたり等である。
<p>⑤低栄養とリハビリテーションの効果や生活行為の自立の関係について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ リハビリテーションと栄養との連携がとれていないのが現状。 ○ 食事で不安な点があった場合は、リハビリテーション職員は管理栄養士に相談するようにしている。 ○ リハビリテーション会議は、利用開始から 3 か月間は月に 1 回、その後は 3 か月に 1 回行っている。リハビリテーション会議には、利用者に関わる全員が出るようになっている。 ○ 実際には自主トレーニングをするようになった等、数字では表せないような部分の改善が多い。そのような内容は電子カルテに書くようにしている。 ○ リハビリテーション計画書は、多職種協働で書くことが大事だと考えている。しかし、リハビリテーション計画書と書いてあるため、リハビリテーション職員が書けば良いというのが施設の総意となってしまう。多職種で協力して書くべきであり、栄養・食事のことも落とし込むべきと考えている。 ○ 飲み込みが悪い等、栄養・食事についてケアプランに上がってこない。歩けるようになることやお手洗いにいけるようになることが優先的目標となることが多い。食事についての問題点がケアプランに上がれば、当然飲み込みのリハビリテーションを行う。 ○ 通所リハビリテーションがないと不安であること、お友達ができて終了したくないと言う利用者が多い。基本的には 3 か月でリハビリテーションは終了となるが、終了できない場合はその理由を医師が書くこととなっている。

<p>⑥栄養スクリーニングはしているか →している場合には、どのように行って、低栄養の場合にはどうしているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養スクリーニング加算は同意をとることが難しいため、栄養改善加算と抱き合わせで行っている。栄養改善加算算定中の3/5名。 ○ 低栄養の利用者に対して、栄養スクリーニング加算だけでは現状の把握が難しく、家族も納得しないため、栄養改善加算も一緒につける必要がある。その中で低栄養の問題がある利用者に対して、後に訪問してアセスメントを行うという手順が必要である。 ○ ケアマネージャーが栄養改善加算も、栄養スクリーニング加算も知らない。 ○ 相談員がケアマネージャーと相談した上でどの加算を算定するか検討している。
<p>⑦管理栄養士は関わっているか →関わっている場合には、どのように関わっているか →関わっていない場合には、栄養・食事の問題にはどのように対応しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設管理栄養士が併任。 ○ 栄養改善加算の算定を行っている分、管理栄養士も在宅訪問、ケアマネージャーや家族との訪問者会議に参加し、家の中の状況を把握した上で、必要な利用者に栄養提供できるよう計画を立てるようにしている。計画の更新が3か月ごとなので、3か月に1回訪問している（栄養改善加算の要件には在宅訪問は含まれていない）。 ○ 通所の食事時にむせ等が見られると、自宅で何を食べているか聞き取りに訪問したいが、併設であるので時間もなく、そこまではできていない。 ○ リハビリテーション職員がリハビリテーション中に聞いた食事の状況等、昼食時のミールラウンドでは得られない情報を提供してくれるので助かっている。
<p>⑧管理栄養士との関わりがある理由について また、関わりがない理由にはどのようなことが考えられるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設に入所する前の、通所に通っている段階で栄養管理をしていくことが重要であるので、関わっている。 ○ 通所利用者は、家での食事状況の把握が重要であるため、入所者の栄養管理や栄養ケア計画作成よりも時間がかかる。
<p>⑨食事提供や食形態などの変更方法と対応（個別化を含めて）はどうしているか</p>	<p>特になし</p>

<p>⑩今後の栄養管理や栄養相談の在り方について何かご要望があるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低栄養のリスクとそのアウトカムについて、他職種が理解していないため、説明が必要である。そうでないと、栄養スクリーニング加算があっても利用してもらえない。 ○ リハビリテーション計画の中に栄養問題がある利用者に対して、個別栄養ケアを行っていく流れにすると、スムーズに動くことができる。 ○ 栄養アセスメントでは、利用者の家に訪問して、利用者本人や家族、ケアマネージャー、他職種との担当者会議に参加することで、どのようなケアを受けているのかが具体的に分かる。栄養相談計画としてではなく、管理栄養士は包括的なケア計画として他職種と一緒に立てることが大事である。 ○ リハビリテーション計画書は、リハビリテーション職員と、居宅のケアプランは通所の相談員が作成している。しかし、管理栄養士はそれを見ていないことが多い。多職種でリハビリテーション計画書を作成する中に管理栄養士が参加して、栄養管理を会わせて導入していく制度化が求められる。 ○ 多職種がリハビリテーションや栄養ケア計画についても、全員が同じように利用者本人や家族に説明できる必要がある。
---------------------------------------	--

表Ⅲ-2 事業所B 訪問インタビュー概要

概要	京都府
	通所リハビリテーション（介護老人保健施設併設；医療法人）
	○ 登録者数 170 名。
①利用者の要介護度やADLの状況	○ 平均要介護度は 1.6（平成 30 年 7 月時点）
②利用者の生活行為の自立（買い物、食事準備、食べることなど）状況	○ FIM の運動項目は、平均 79.4/91 点。 ○ 買い物に自分で行ける利用者は少ない。ヘルパーや家族の支援が必要である。 ○ 買い物に行ける利用者は 15/21 名である。ケースとして隣がスーパー等環境に恵まれている、電動車イス等がある、要支援者でもタクシーなど使えば行ける等がある。 ○ 食事準備については、家族が準備するか、配食弁当を頼むか、生協を利用しているか、ヘルパーの支援を受けている。 ○ 食べる事について、介助が必要な利用者は全体の 1~2 名。
③摂食・嚥下障害や認知機能の低下に伴う食事時の問題	○ 食事時の問題として、つかみにくい、すくみにくい、口まで運びにくい、こぼす、食塊形成が難しい、むせる、誤嚥する、摂取量の低下などがある。その結果として、体重の減少が見られる。 ○ 対応として、姿勢を直す、口に運ぶ道具の検討を行っている。（箸やスプーンの大きさ・重さ・先曲り・先割れ等、フォークの持ち手を太くする、滑り止め、返しの付いた皿等） ○ 認知機能の低下により、白皿の白米が見えないことがあるため、食器の工夫を行っている。
④低栄養（低体重や体重減少）の状況	○ BMI18.5kg/m ² 以下、体重の減少が著しい（半年で 10%、3 か月で 7.5%、1 か月で 5%の減少）でピックアップしている。ピックアップされた利用者の特徴として、食事摂取量が少ない。
⑤低栄養とリハビリテーションの効果や生活行為の自立の関係について	○ 筋力増強のためには栄養改善が必要である。 ○ 運動した後、タンパク質の補給が必要である。 ○ 浮腫、だるさはリハビリの阻害因子になるため、楽しみとなる食事の摂取が減少すると、生活の意欲低下に影響する。
⑥栄養スクリーニングはしているか →している場合には、どのように行って、低栄養の場合にはどうしているか	○ 栄養スクリーニング加算は算定している。 →毎月体重を測定している。体重と身長から BMI を計算し、体重の変化率と合わせてピックアップしている。 →低栄養の場合、順次、栄養改善加算の必要性を声かけ、事業所責任者管と管理栄養士と相談、利用者本人や家族に栄養改善加算の説明を実施、ケアマネージャーに連絡するという流れはある。

<p>⑦管理栄養士は関わっているか →関わっている場合には、どのように関わっているか →関わっていない場合には、栄養・食事の問題にはどのように対応しているか</p>	<p>○ 施設管理栄養士が関わっている。通所リハビリテーションからピックアップした利用者のうち、普段の食事量を確認、栄養改善加算の対象となる場合は、管理栄養士が食事の様子や摂食量の確認をし、書類を作成して家族へ報告している。ケアマネージャーへの連絡は通所事業所から行う。</p>
<p>⑧管理栄養士との関わりがある理由について また、関わりがない理由にはどのようなことが考えられるか</p>	<p>○ 施設内に管理栄養士がいるため、普段の業務の中でも管理栄養士と関わり、通所スタッフとコミュニケーションをとることができている。それにより、スムーズに栄養状態の改善へのアプローチができている。</p>
<p>⑨食事提供や食形態などの変更方法と対応（個別化を含めて）はどのようにしているか</p>	<p>○ 事業所責任者が新規調査で食事内容を確認し、医療情報と照らし合わせている。 ○ 利用者本人・家族からの申し出や、食事量の変化、食事の様子を確認をし、変更の提案を通所スタッフから事業所責任者にしている。 ○ その後、事業所責任者が利用者本人・家族に聞き取りをし、管理栄養士、言語聴覚士に相談、摂食・嚥下機能評価を依頼する事もある。</p>
<p>⑩今後の栄養管理や栄養相談の在り方について何かご要望があるか</p>	<p>特になし</p>

表Ⅲ-3 事業所C 訪問インタビュー概要

<p>概要</p>	<p>福島県</p> <p>通所介護・通所リハビリテーション他（病院併設；一般財団法人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 法人は、通所リハビリテーション施設、通所介護施設、認知症対応型通所介護事業所（以下、認知症対応デイ）を有する。 ○ 栄養スクリーニング加算を取っている。 ○ 居宅訪問をしている。 ○ 通所の利用者数は、グループ全体を合わせて 50 人超。 <p><通所リハビリテーション施設></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 定員は 18 名。14～15 名／日利用。 ○ 利用者の年齢層は 42 歳～93 歳。 ○ 比較的年齢が若い利用者だと、再就労を目指して関わっている人もいる。 ○ お風呂のサービスは行っていない。 ○ 要支援は 6 か月、要介護は 1 年間の利用としている。その期間よりも早くに出て行く利用者もいる。それ以上の期間利用する人は今のところいない。 ○ 歩けるようになって何がしたいか等、利用者と一緒に目標を話し合い、家族やケアマネージャーとの関係も確認しながら関わるようにしている。また、利用者がその人らしい生活をするために、どの機関へつなぐのか、自宅へ帰るのがいいのか、地域活動に参加した方がいいのか等を多職種間で話し合っている。 <p><通所介護施設></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 定員は 30 名。 ○ 看護師が 4 名いる。 <p><認知症対応デイ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 定員は 12 名。 ○ 平成 30 年 10 月の利用者は 37 名。
<p>①利用者の要介護度や ADL の状況</p>	<p><通所リハビリテーション施設></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平均要介護度は 1.78。 ○ 利用者の介護度は支援 1～要介護 5 までいるが、比較的要介護度が低い利用者が多い。 <p><通所介護施設></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者は、支援 1～要介護 5 までいる。そのうち、要介護 3～5 が全体の 30%超で、中重度の体制加算も取っている。ターミナルから ALS、ストーマ、透析等、医療的ニーズの幅は広い。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歩ける人もいれば、寝たきり、ターミナル等、かなり様々な状態の利用者がいる。 <p><認知症対応デイ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 要支援から要介護5までいる。 ○ 平均要介護度は2.5前後。現在の利用者は比較的2が多い。 ○ ストーマをつけている人や、ターミナルの人もいる。
<p>②利用者の生活行為の自立（買い物、食事準備、食べることなど）状況</p>	<p><通所リハビリテーション施設 通所介護施設></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スーパーが遠い、バスの本数が少ない等の理由から、買い物は家族が支援している場合もある。中にはタクシーを利用してスーパーまで行き、店の中では自力でカートを押し、買い物をする人もいる。 ○ 自力で杖歩行ができる、または押し車を押して歩ける場合でも、荷物の運搬が大変なため、重い荷物は家族やヘルパーに頼むという方も多い。 ○ 男性、女性に関わらず、一人暮らしの方も多いが、そういった方は買い物に慣れており、誰かに買い物を頼むときも、「これをこのお店で買って来て」ということを言える方が多い。 ○ 通所リハを始めるときの契約の段階で、利用者の自宅で関係職種（ケアマネージャー、リハビリテーションスタッフ）と家族を含めて会議をしている。その際、買い物はどうしているか等の疑問を投げかけ、今後の支援体制をどうしていくか話し合っている。 ○ 店の中は狭くて歩けないという方もいるため、一人でも買い物ができるように支援している。具体的には、送迎の際にスタッフが一緒にその方の最寄りのスーパーまで同行し、スーパーまでかかる時間や、スーパーまでの道のりで歩きにくい場所があるか等を確認し、特に注意して歩くべき場所や、誰かに見てもらった方がいいのか、暗くなったら行かない方がいい等を利用者と話し合っている。その話を元に買い物の練習をする方や、自立した方も多い。 <p><認知症対応デイ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現在、自分で買い物に行っている利用者は3名。うち、一人暮らしが2名。 ○ 買い物は日中に行くことが多い。買うものはあまり複雑でなく、いつも同じ場所で同じようなものを買ってくるという場合が多い。 ○ 宅食を利用している人もいる。 ○ デイサービスの中で、昼食を利用者自身で作ることもある。 ○ 店に、利用者が買い物をするときあまり買いすぎることがないように、何気なく少し減らしてもらおう等、協力してもらおうこともある。

③摂食・嚥下障害や
認知機能の低下に
伴う食事時の問題

<問題>

- 摂食・嚥下障害がある利用者はたまにおり、脳梗塞の方が特に多い他、既往で肺炎をもっている方や、舌がんの方もいる。
- とろみ対応が必要な方もいるが、とろみが嫌いな利用者も多い。
- 食事時のミールラウンドで、管理栄養士がとろみ等の調整をしている。各々で必要なとろみの程度が違うため、その方に合った程度がわかるまで時間がかかる。栄養士は新しい食材等の知識があるため、そういった部分をととても頼りにした。
- とろみ剤を同じ量入れても、食材によってかたまりやすさに違いがあるため、判断が難しい。
- 認知機能が落ちてきている方だと、なぜ自分がその食形態でなくてはいけないのか、とろみがある方がむせにくいかなど、理解を得られないことも多い。利用者の家族に説明しても、同じく理解を得られないこともある。
- 在宅だと食事時間が長く、1時間程度かかる。ケアマネージャーと家族とで話すと、最終的に「お昼は大変であれば食べなくてもよい」という話になる。施設での食事は把握していても、在宅ではどのようにしているのか心配な方もいるため、施設と在宅の嚥下食がうまくつながっていないと、結局意味がないと思う。
- デイサービスではむせがあったときに、とろみや水分の調整をするが、在宅ではとろみの必要性が認識されていないこともあり、施設と在宅とで、とろみや水分について認識のずれがあると思う。
- 食事時の雰囲気や、音、食感、タイミング等によって、摂食量がかなり変化する。
- 老老介護で嚥下状態が悪い方は、家族が宅配でソフト食を頼んでいる場合もある。通所に来たときは、施設で利用者の状態に合った形態の食事が出るが、自宅で同じような食事を出すとなると難しく、摂食・嚥下に問題のある利用者は、そういった面で困っていることが多いのではないかなと思う。

<対応>

- 通所サービスをはじめたときにおかゆを数口しか食べられなかった利用者に、食べやすい食事について栄養士と相談したり、試したりを繰り返すことで、喫食量が増えた利用者もいる。食べられたものの写真を撮って家族にフィードバックするようにしていた。
- 病院を退院した後、同グループのデイサービスを利用する際、病院と同じ嚥下食を出すように連携を取っている。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設と在宅とで認識のずれが起こらないよう、とろみをつけた食事を家族に持ってきてもらい、調整をしている。そういった介入はケアマネージャーが入って行っているが、施設と在宅の認識がうまくつながれば、誤嚥のリスクが減り、喫食量の増加も臨めるのではないかと思う。 ○ 食べ方で不安があった場合は、訪問した際に家での食べ方を実際に見せてもらうこともある。 ○ 食事介助をするときはこのくらいのとろみをつける等、様子を見ながら調整している。自宅で食べているものを見させてもらい、ある程度の栄養量確保が必要であり、利用者がある程度気持ちよく食べられる場合であれば、自宅の食事より食形態を上げることもある。
④低栄養（低体重や体重減少）の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 常に全体の10%程、痩せすぎだと思う利用者がいる。 ○ もともと痩せている方、疾患が原因で痩せている方もいる。
⑤低栄養とリハビリテーションの効果や生活行為の自立の関係について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養状態が良くなってくると、運動する気力や、「何か作ってみよう」「家族に何かしてみよう」という意欲が出てくるように感じている。そういった様子が見られた際に、栄養状態の改善の必要性を感じる。 ○ 通所サービスに来て、他の利用者と皆で食事をするのが、食事の意欲につながっていると感じる。通所サービスでの1食分の食事が、より「食べる」ことの意欲につながれば良いと思う。 ○ 「食べる」こと中心となり、その部分が良くなると、他の生活行為の自立が良くなってくると思う。
⑥栄養スクリーニングはしているか →している場合には、どのように行って、低栄養の場合にはどうしているか	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養スクリーニングをしている。 ○ 体重を毎月測定し、体重増減の経過を観察している。 ○ 顕著な痩せの場合、体重を毎週測定し、経過を利用者本人やその家族に報告している。より栄養補給できる方法を伝えたり、医者につなげて相談したりしてもらうこともある。 ○ 身長、体重、BMI、体重減少率、アルブミン値、血糖値の他、それだけでは経過を追う際に変化がわかりにくいいため、栄養補給内容や嚥下状態、口腔内の状態、義歯の有無、食事時の姿勢の状態、皮膚の状態、認知機能、下痢や便秘、食べこぼしといった内容をスクリーニング項目に入れている。 ○ 認知症対応デイでは、体重と握力を毎月測定している。口腔内の状態や、むせの有無、摂食量などをスクリーニング項目として半年に1回チェックしている。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低栄養の際は、まずは体重が下がらないよう、食事量調整の他、栄養補助食品をおいしく摂取できる方は栄養補助食品の提供、水分補給の代わりに栄養補助飲料等を提供し、栄養補給をしている。 ○ 個別での栄養指導を行うこともある。男性の場合、家族に来ていただいで一緒に栄養指導を受けてもらう場合もある。 ○ 訪問とかかりつけ医とでのサポート体制がしっかりできていれば、長く在宅生活が継続できるのではないかと考えている。 ○ 介護職が続けて実施できるように、スクリーニングのチェック項目は最低限にしている。 ○ 栄養スクリーニング加算を取るにあたり、介護職にスクリーニング項目をチェックしてもらったことで、栄養の視点でどのような点を見ているのかが理解してもらえようになり、介護職から栄養の点で不安なことがあった際に相談されたり、カンファレンスで議題に挙げてもらえたりするようになった。 ○ まずは相談員に栄養スクリーニング加算について理解してもらい、ケアマネージャーに伝えてもらうようにしている。相談員は、担当者会議でケアマネージャーと連絡を取っているが、その際に、利用者の栄養管理がどこで行われているか必ず確認してもらっている。 ○ スクリーニング内容はケアマネージャーにも共有している。 ○ ケアマネージャーに栄養スクリーニング加算について説明をしているが、ケアマネージャーは「低栄養状態になってから」という考えであり、認識のずれがある。
<p>⑦管理栄養士は関わっているか →関わっている場合には、どのように関わっているか →関わっていない場合には、栄養・食事の問題にはどのように対応しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 管理栄養士はミールラウンド等で関わっている。 ○ スクリーニング内容に関わらず、問題があると感じた利用者の担当者と話し合っている。 ○ 栄養指導をする際は、管理栄養士だけでなく、利用者の背景がわかる事業所のスタッフが入り、普段利用者から聞いていることを代弁することもある。 ○ 在宅での食事で、嚥下食の宅食やレトルトの利用について話してもらうこともある。 ○ 家族会というもので講義をしてもらったこともある。また、月に2回の「料理の日」に、料理と栄養について講義してもらうこともある。 ○ 管理栄養士に年に3～4回、お便りを作ってもらい、家族に配っている。 ○ 訪問の際に、管理栄養士も同行している事業所もある。

<p>⑧管理栄養士との関わりがある理由について また、関わりがない理由にはどのようなことが考えられるか</p>	<p>○ 管理栄養士との関わりはあるが、利用者に対して単発的な関わりでなく、継続的な関わりができると、より良いと考えている。</p>
<p>⑨食事提供や食形態などの変更方法と対応（個別化を含めて）はどのようにしているか</p>	<p>○ 嚥下障害がある利用者に対しては、作業療法士、看護師、介護スタッフ全員で状況を、月に1回、一人ひとりに対してカンファレンスを実施し、検討・変更している。</p> <p>○ 食事内容や提供方法の変更（食事量を減らしたり、食器を小さくしたりなど）について、管理栄養士にその都度相談・報告し、変更している。</p> <p>○ グループ内で同じものを提供（クックチル方式）、その日の利用者の状態に合わせて、食事量や食形態等を随時相談し、調整している。</p> <p>○ 食形態の変更の提案は、利用者から直接言っていただくこともある。</p>
<p>⑩今後の栄養管理や栄養相談の在り方について何かご要望があるか</p>	<p>○ 低栄養だけでなく、肥満や偏食にも対応してもらおうとなると、栄養状態だけでなく、身体的にも効果があると思う。</p> <p>○ 利用者や利用者家族、また職員に対する、必要栄養量、バランスの良い食事、食品のエネルギー量等についての勉強会があると良い。</p> <p>○ 糖尿病をもつ利用者が多いため、疾患に対する指導があると良い。通所は在宅とつながっているため、宅食の弁当の選び方等のアドバイスがあると良いと思う。通所だけでなく、家での食事を含めた全体を見てもらえたらと思う。</p>

表Ⅲ-4 事業所D 訪問インタビュー概要

概要	石川県
	通所介護（介護老人福祉施設併設；社会福祉法人）
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特養 54 床、通所定員 20 名／日。 ○ 登録者は約 40 名。 ○ リハビリテーション・マネジメント加算(I)(II)の取得は有り。 ○ 口腔ケアは通所介護スタッフが実施している。歯科医師の訪問はない。
①利用者の要介護度やADLの状況	○ 平均要介護度は不明。
②利用者の生活行為の自立（買い物、食準備、食することなど）状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食事は自力摂取できる利用者がほとんどである。 ○ 一人で買い物に行ける利用者は少ない（車が必要な距離）。 ○ 家族と同居し、家族が調理しているか、息子が出来合いのものを購入している場合が多い。自分で調理している利用者は少ない印象であり、独居の場合はヘルパーが来ている。
③摂食・嚥下障害や認知機能の低下に伴う食事時の問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 摂食・嚥下障害をもつ利用者はほとんどいない。 ○ 刻んだり、とろみをつけたりという利用者もいる。 ○ 水分にとろみが必要な利用者は2～3名。
④低栄養（低体重や体重減少）の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体重は毎月、体重計で計測記録している。 ○ 身長は他の施設からのデータがある利用者もいたが、測定をしておらず記録がない場合は測定してもらっている。 ○ 食事摂取量は、毎回何割食べたかを記録している。 ○ 低体重や体重減少率が激しかった利用者は8名（4月利用者45名中）。
⑤低栄養とリハビリテーションの効果や生活行為の自立の関係について	<ul style="list-style-type: none"> ○ リハビリテーション職員と管理栄養士の関わりは、調理訓練がある。実施するのはリハビリテーション職員だが、どのような食事（煮物）、どのようなものを用意できるか等の話をしている。 ○ リハビリテーション計画に栄養面で管理栄養士が入っていくことはまだない。
⑥栄養スクリーニングはしているか →している場合には、どのように行って、低栄養の場合にはどうしているか	○ 栄養スクリーニング加算はとっていない。通所管理者とケアマネジャーへの伝達がまだできていない。

<p>⑦管理栄養士は関わっているか →関わっている場合には、どのように関わっているか →関わっていない場合には、栄養・食事の問題にはどのように対応しているか</p>	<p>○ 施設併設の管理栄養士が関わっている。時々、食事の様子を見たり、通所介護スタッフに「最近、食事や栄養面で気になる利用者はいませんか？」と聞いたりしている。本人からご自宅での食事状況を聞き取ったりもしている。 「食欲はあるよ」「食欲はあるし食べているけど、体重は増えないわ」とお話しされる利用者や、独居で夕食だけ配食弁当を食べ、あとはパンや寿司で済ましている利用者もいる。 併設なので、施設のモニタリング業務に時間がかかる。</p>
<p>⑧管理栄養士との関わりがある理由について また、関わりがない理由にはどのようなことが考えられるか</p>	<p>○ 通所に通っている利用者の家族から入院で食事形態が変わった時に家での対応を相談されることがあり、ご家族の聞いて欲しいという気持ちを汲む必要があると感じたため。 ○ 顔を見て、「今日のお食事どうでしたか？」というやり取りは大切である。</p>
<p>⑨食事提供や食形態などの変更方法と対応（個別化を含めて）はどのようにしているか</p>	<p>○ 食事形態は軟菜食での提供が多い（施設での基準の食事が軟菜食であるため）。 ○ 病院から給食を外注しており、細かい対応ができない。 ○ 嚥下調整食は、刻んでとろみをつけたもの。 ○ 食事形態については、自宅での状況や退院時の病院からの情報が通所管理者に来て、オーダーされることが多い。今の食事が食べにくくないか聞き取りもするが、管理栄養士から食事形態の変更を提案することはあまりない。</p>
<p>⑩今後の栄養管理や栄養相談の在り方について何かご要望があるか</p>	<p>○ 通所介護では見られない部分、おうちでの状況も見られたら良いなど思っている。ただ、どのように家族と接したらいいのか、どのようなアドバイスができるのか、今は分からない。</p>

表Ⅲ-5 事業所E 訪問インタビュー概要

概要	愛媛県
	通所リハビリテーション（介護老人保健施設併設；医療法人）
①利用者の要介護度やADLの状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均要介護度は2.74（要支援を除く、平成30年7月時点）。 ○ 要支援を含むと2.18。 ○ 要介護度が重度の利用者は現状維持をし、通所利用の継続を目指すことが多い。 ○ ADL、IADLは通所に来た際にアセスメントしている。 ○ IADLは、BIのスコアに比べて低い利用者が多い。
②利用者の生活行為の自立（買い物、食事準備、食べることなど）状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 買い物を今までと同じように自分で行きたい利用者に対して、何かしらの支援が必要である。 ○ 食事の準備に関して、女性は料理をしたいという希望がある。しかし、自分で実際にやるまでに至るのが難しいことが多い。 ○ 家屋調査の際は、栄養や食事よりも、ADLの問題の方が優先されやすい。食事のことで利用者の家族から相談を受けることが多い。
③摂食・嚥下障害や認知機能の低下に伴う食事時の問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 摂食・嚥下の問題は、要介護度が重度な利用者に関して、介助が必要な場合はあるが、そこまで摂食・嚥下障害が重症なことはなく、介助をすれば食べられる状況が多い。傾眠傾向が見られるケースの方が、食事に時間がかかったり、食事ができなかったりということが多い。 ○ 認知機能の低下に伴い、食べ物が認識できなくなったり、食事という行為ができなくなったりする等の問題がある。また、問題点に気付いたとしても、どうしても食事が進まない、食べられる状態でないこともあるため、浮腫や褥瘡等の二次的な問題が増えないように対応していくようにしている。あらゆる場面でどう対応していくかが大きな課題となっている。
④低栄養（低体重や体重減少）の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月、介護士が体重測定を実施し、体重減少で低栄養をモニタリングしている。 ○ 短時間の利用者や、食事を摂れていない利用者の体重が測れていないこともある。 ○ 体重の変化を把握しているのは、栄養士、部長、看護師である。 ○ 食事摂取量は、通所に来た際に割合で観察しているが、短時間利用で食事をしない者もいる。 ○ 栄養状態が悪くなると、浮腫や褥瘡等の問題が見られやすい。

<p>⑤低栄養とリハビリテーションの効果や生活行為の自立の関係について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6 か月間のリハビリテーションで、ADL について、BI のスコアに変化があまりなくても、日常の生活動作が楽になったという傾向がみられることがある。 ○ 買い物に行く能力があり、リハビリテーションをしても、買い物と一緒に参加するまでにはならないことが多い。 ○ 担当者会議で話題に出るのも、リハビリテーションや身体面、薬のことが多く、食事の優先度が低くなっている。
<p>⑥栄養スクリーニングはしているか →している場合には、どのように行って、低栄養の場合にはどうしているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養スクリーニング加算は算定していない。
<p>⑦管理栄養士は関わっているか →関わっている場合には、どのように関わっているか →関わっていない場合には、栄養・食事の問題にはどのように対応しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設側の管理栄養士の通所事業所との関わりは、行事の際に手伝いをする程度である。 ○ 通所の栄養士が、食べられていない利用者に対して、食べられていない料理を家族にも伝え、家ではどうしているのかを聞くようにしている。その場合、家から食べるものを持参する形になっている。 ○ 通所で迎えに行った際、その家庭の状況等は家族が不在ことが多く、確認できないことも多いため、食事について気になる利用者に関しては、ケアマネージャーに連絡して確認するようにしているが、未だ通所の栄養士として、きちんとした対応はとれていない。
<p>⑧管理栄養士との関わりがある理由について また、関わりがない理由にはどのようなことが考えられるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設配置の管理栄養士、通所配置の栄養士がいる。
<p>⑨食事提供や食形態などの変更方法と対応（個別化を含めて）はどうしているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食事提供や食形態は、入所前に指示されていたものを継続して提供している。ミールラウンドを実施し、そこで食形態を変更することもある。 ○ 在宅から来た利用者に対しては、契約のために一度訪問した際、食事量や食形態、アレルギー等、最低限のことを事前に聞いている。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食形態を上げられそうな場合は、病院で検査を受けてもらってから形態を変更する。 ○ 通所は食形態のみ個々で対応し、全員同じ提供量で出している。主食が米飯ではなく、全粥や水切り粥、半々であっても、エネルギー調整として、プラスで何かをつけることはない。
<p>⑩今後の栄養管理や栄養相談の在り方について何かご要望があるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 管理栄養士が在宅に単発で出て行きやすい状況があれば、日常生活の中での食事に関する援助がもっとしやすくなるのではないか。

表Ⅲ-6 事業所F 訪問インタビュー概要

概要	大阪府
	通所リハビリテーション（老人保健施設併設；社会福祉法人）
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 併設施設は 100 床、施設管理栄養士 1 名。経口維持加算(I)(II)を取得している。 ○ 登録者は約 90 名。利用者 30 名/日。
①利用者の要介護度や ADL の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均要介護度 3、要介護度 2 と 5 の利用者が多い。 ○ 要支援者もいる。重度化した利用者が多い。 ○ 胃瘻 4 名。 ○ 訪問看護も利用している重度者もいる。 ○ 看護師の医療行為を必要とする利用者も多い。
②利用者の生活行為の自立（買い物、食事準備、食することなど）状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分で買い物や食事の準備ができる利用者は少なく、訪問介護のヘルパーや家族が行っている場合が多い。
③摂食・嚥下障害や認知機能の低下に伴う食事時の問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 嚥下障害のある利用者は 1 日 2～3 名、多いときで 4～5 名いる。 ○ 飲み込みが悪く、水分もとろみが必要な利用者、ミキサー食の利用者も多い。 ○ 認知症のある利用者もいる。 ○ 認知機能が低下している利用者だと、声掛けして食事を促さないと食事をしない、介助者がお皿を入れ替えないと目の前のお皿のものしか食べないことがある。 ○ 食事の介助は、看護師と介護士が行っている。 ○ 併設施設に管理栄養士や歯科衛生士が一人しかいないため、ミールラウンドはしていないが、ミールラウンドによって他職種と連携し、情報の共有をすることはとても重要である。
④低栄養（低体重や体重減少）の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月の体重を測定し、グラフ化している。 ○ 食事摂取は、毎食何割と記録している。
⑤低栄養とリハビリテーションの効果や生活行為の自立の関係について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養状態が悪いと、体を動かすことがきつく、リハビリテーションの意欲も低下してしまう。 ○ 通所リハビリテーション加算を算定している。通所リハビリテーション・マネジメント加算のデータは、各月ごとにパソコン上で記録。 ○ ADL 評価は 3 か月毎。 ○ 握力や 10m 歩行時間を毎月測定、口腔ケアの実施。

<p>⑥栄養スクリーニングはしているか →している場合には、どのように行って、低栄養の場合にはどうしているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養スクリーニング加算は取得無し。 ○ 毎月体重測定、食事量（10割を全量摂取として）は、介護士による毎日昼食チェック。 ○ 低栄養の問題がある利用者は、2～3か月に1名程度。その場合は、家族やケアマネージャーに報告し、自宅での様子を聞いている。
<p>⑦管理栄養士は関わっているか →関わっている場合には、どのように関わっているか →関わっていない場合には、栄養・食事の問題にはどのように対応しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 併設施設管理栄養士が関わっている。 →管理栄養士に食事の相談をすることが、たまにある。
<p>⑧管理栄養士との関わりがある理由について また、関わりがない理由にはどのようなことが考えられるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体重減少について、通所利用時に栄養補助食品をつけられないか、タンパク質強化の食品を付けてほしいなどの要望に対応することがある。かかりつけ医に栄養補助食品の提示をする場合もある。しかし、結果を追うことは難しいのが現状である。
<p>⑨食事提供や食形態などの変更方法と対応（個別化を含めて）はどうしているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食事形態に問題を感じた際は、管理栄養士や看護師、家族、ケアマネージャーに相談している。 ○ 食事形態は、書面上のみのやりとりとなっている。相談員と看護師とで相談して、変更されることが多い。 ○ 食事は併設施設と同じものを提供している。糖尿病食や腎臓病食も施設入所者と同じ献立で提供するが、技術料としての加算も何もない。 ○ 栄養補助食品は、少人数であれば委託会社をお願いして付けてもらうが、多人数となると施設負担が増えるので、かかりつけ医にエンシュア処方をお願いしている。

<p>⑩今後の栄養管理や栄養相談の在り方について何かご要望があるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設入所者のミールラウンドをしているが、通所利用者のミールラウンドはできず、食事の様子は見ていない。 ○ 通所においても、他職種と連携してミールラウンドを行い、情報の共有をすることはとても重要である。 ○ 通所を中心にみる管理栄養士がもう一人いれば、より利用者全体を見ることができる。施設管理栄養士は 1 人で、経口維持加算 (I)(II)の両方算定している。入所 100 床とショートステイの管理もあり、全てを把握するのは難しい。通所専任の管理栄養士が人手的にも必要になると思う。 ○ リハビリテーションの計画や記録に栄養ケアや食事の記録を残さないといけない制度にしないとデータは確実に取れないと思う。 ○ 通所利用者は自宅に訪問しないと栄養管理の計画作成や経過は分からないので、訪問ができるようにしてほしい。 ○ 訪問リハビリテーションの指示と同じように訪問栄養ケアの指示があれば、スムーズに訪問に行くことができるのではないかと思う。 ○ 施設では食事を 3 食提供できるが、通所は昼食のみであるので在宅の食事も含めてしっかりみる必要がある。20 人に一人、別で通所専門の管理栄養士がいないと、入所と通所の両方を見ることはできない。 ○ 1 週間のうち、昼食の 2 食程度しか把握できないので、この食事を 1 食としても通所利用者の根本的な解決にはならない。
---------------------------------------	--

表Ⅲ-7 事業所G 訪問インタビュー概要

<p>概要</p>	<p>福岡県</p> <p>通所リハビリテーション（病院および介護保険施設併設；医療法人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 老健併設通所リハビリテーションの利用登録者数は 104 名で、利用時間は 5～6 時間が一番多い。 ○ 病院併設通所リハビリテーションの利用登録者数は 141 名、利用時間は 3～5 時間が多い。 ○ 脳梗塞等の特定疾患の術後、退院直後からリハビリテーションに来ている利用者が多い。 ○ 在宅の場合は、食事よりも ADL の低下がきっかけで来ている者が多い。全体的に問題があると思われた場合は、施設入所を勧めている。
<p>①利用者の要介護度や ADL の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 老健併設通所リハビリテーション利用者の要介護度は 3～5 が 50%を占め、平均要介護度 2.82。平均年齢は約 80 歳。入浴等の ADL 面の支援をしている。 ○ 病院併設通所リハビリテーションの利用者の平均要介護度は 2.06。高齢の方が多いが、トイレ等の生活活動も含め、自立している傾向がある。平均年齢は約 60 歳。入浴の支援はしていない。
<p>②利用者の生活行為の自立（買い物、食事準備、食べることなど）状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 老健と病院の通所リハビリテーションでは、生活行為の自立度が全く異なる。老健の方は車いすで、家族の介助のもと外出しているが、病院の方は自分で公共交通を使って外出できる者もいる。 ○ 食事を用意する者の生活スタイルも様々であり、それぞれの生活スタイルに合わせた介入の仕方がこれから必要になってくると思う。 ○ 利用者のうち、4 割は介護保険サービスだけで生活しており、6 割は同居していない家族から支援を受けている。また、外出やイベントに参加できる者は全体の 2 割程度しかいない。 ○ 障害が重くなるにつれて、孤食が増えている印象がある。
<p>③摂食・嚥下障害や認知機能の低下に伴う食事時の問題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 摂食・嚥下の問題は、老健併設通所リハビリテーションの方が多（約 3 割）。 ○ 経管栄養は 2 名。 ○ 認知症の診断がある者の比率は少なく、一桁くらい。
<p>④低栄養（低体重や体重減少）の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体重は毎月測定している。 ○ 身長はサマリーなどの記載を転記するか、記載がなければ測る。 ○ 体重減少と体重減少率で見ると、（肥満の利用者の体重が減ったのも含まれるが）2～3 割程、栄養改善加算の条件に合う者がいる。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低栄養の割合は、BMI で見ると 7%だったが、栄養改善加算の条件でみると 2 割～3 割が算定基準に該当した。 ○ 低栄養の利用者に対しては、月 1 回だけではなく、毎回体重を測定し、体重変動を確認している。 ○ 栄養補助食品を使って支援している者が 4～5 名いる。 ○ 肥満 (BMI25kg/m²) の利用者も多い。 ○ ダイエット目的で、1 か月間、食事制限と運動をするために入所する利用者もいる。このような者は、家だと食事量のセーブができない、家族関係のストレスを発散するために食べ過ぎている等の問題が見られる。身体のこともあり、好きな場所に行くこともできないため、手軽にストレスを発散する手段が食事になっている。
<p>⑤低栄養とリハビリテーションの効果や生活行為の自立の関係について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ リハビリテーション職員は、定員 40 名に対して 4 名いる。(平成 30 年度に、リハビリテーション提供体制について加算の改定があり、利用者 25 名に対してリハビリテーション職員が 1 名体制になった) ○ リハビリテーション職員は、ほかにも会議や訪問に行くという体制になっている。 ○ 自宅へは利用開始時から、定期的に訪問している (利用開始 1 か月の間に訪問することになっている)。利用者は運動機能の向上を目的に来ているため、栄養管理についてもリハビリテーション職員が見ており、施設の管理栄養士は訪問には関わっていない。リハビリテーション職員が意識して聞いているのは、水分量や、3 食の食事の準備や買い物はどうしているか等で、冷蔵庫の中身などの細かなところはチェックしていない。 ○ 低栄養は、生命維持のリスクとなる要因であり、積極的にリハビリテーションの介入はせず、食事量や家族と話し合いをしながら進めている。低栄養であればその改善が最優先となる。
<p>⑥栄養スクリーニングはしているか →している場合には、どのように行って、低栄養の場合にはどうしているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ スクリーニング加算、栄養改善加算はまだ取得していない。 ○ 過体重や体重減少、摂食・嚥下の問題に対しての介入はしている。

<p>⑦管理栄養士は関わっているか →関わっている場合には、どのように関わっているか →関わっていない場合には、栄養・食事の問題にはどのように対応しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設管理栄養士には、通所リハビリテーションで低栄養の問題があった際、看護師や言語聴覚士が、褥瘡や食欲不振、嚥下問題等に気付き、相談がくる。 ○ 通所のミールラウンドは月に2回行っている。食事について相談を受けるのは、まだ3件ぐらい。
<p>⑧管理栄養士との関わりがある理由について また、関わりがない理由にはどのようなことが考えられるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 居宅療養管理指導までは、やろうと思えばできるかもしれないが、まだできていないのが現状。
<p>⑨食事提供や食形態などの変更方法と対応（個別化を含めて）はどのようにしているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 老健併設通所リハビリテーションは7割が普通食、3割が嚥下調整食（軟菜食、ソフト食、ムース食、ミキサー食）を食べている。病院併設通所リハビリテーションは9割が普通食を食べている。 ○ 言語聴覚士が摂食・嚥下の機能を評価し、その情報から食形態を変更している。言語聴覚士は、在宅部門（訪問と通所）に2名いる。 ○ 食形態の変更の必要を感じた際は、看護師やリハビリテーション職員が医師に報告し、非常に重度な摂食・嚥下障害がある場合は外来で嚥下造影検査をして飲み込みの状況を確認し、食形態を変更する。その際、管理栄養士は場合によっては同行している。 ○ 摂食・嚥下に問題がある利用者家族への指導は、栄養よりも誤嚥の点で行うことが多い。 ○ 施設に入所していた利用者が通所に移行した場合には、同じ食形態、療養食を提供している。しかし現段階では、通所に管理栄養士が関わるタイミングやシステムがないのが現状である。

<p>⑩今後の栄養管理や栄養相談の在り方について何かご要望があるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 管理栄養士が、在宅訪問に必要なときにいつでも行けるような体制があれば、在宅生活を支援する管理栄養士の役割がもっと理解されるのではないかと。 ○ これから管理栄養士がより関われるとしたら、まず訪問に必ず行くという体制が必要だと思う。 ○ 医師は、通所利用者に利用開始時から全員と関わっている。そこで問題がある人に対して管理栄養士が介入する形にすれば、アセスメントもでき、医師からの指示も入るのではないかと。 ○ 生活も含めて、全体的な支援を多職種で行っていくことが大事だと思う。
---------------------------------------	---

表Ⅲ-8 事業所H 訪問インタビュー概要

<p>概要</p>	<p>北海道</p> <p>通所介護（介護老人福祉施設併設；社会福祉法人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 登録者は約 180 名で、平均利用者数は 56 名／日。 ○ 8～9 割の利用者が週 2～3 回、本事業所のみ利用している。 ○ 滞在時間は、7 時間 10 分滞在と、5 時間 10 分滞在の 2 つがある。 ○ 看護師は 2～3 名、介護職員は 12～13 名と管理者・相談員の立場の職員が 1 名、リハビリテーション職員は作業療法士が 1 名。 ○ 個別機能訓練加算(Ⅰ)(Ⅱ)加算の取得は有り。10m 歩行時間や握力、長座体前屈等、身体機能の評価をしている。個別機能訓練加算の評価項目に規定はないが、3 か月に 1 回評価をし、プランの見直しをする。 ○ 個別機能訓練加算要件に 3 か月に 1 回の居宅訪問があり、その中で利用者の社会参加等について聞き取ることが多い。居宅訪問の内容については、記録を残している。 ○ 登録者 180 名中、150～160 名が要介護にあたるため、3 か月に 1 回のモニタリングとなると、1 か月つき 50 名の身体機能評価、居宅訪問をするので、業務量が多いと感じられる。 ○ 看護師は 2～3 名いるが、入浴の際の処置や記録等、業務が多く、訪問看護までは手が回らない状況になっており、看護師が訪問することはほとんどない。 ○ 口腔ケアは実施している。口腔機能向上加算は職員、利用者ともに負担が大きいため取得していない。 ○ デイサービスに楽しく通ってもらうことを大事にしている。利用者のモチベーションも高く、職員も、自分達がやって楽しいものを提供しようという気持ちでレクリエーションを考えている。
<p>①利用者の要介護度や ADL の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均要介護度は約 1.4（要支援 20%を除外した場合） ○ 要介護度 1 か 2 が多い（重症化した利用者はあまり受け入れられない体制になっている）。 ○ 要支援から自立へと改善することはほとんどなく、重症化するケースが多い。重症化した利用者は受け入れていない。
<p>②利用者の生活行為の自立（買い物、食事準備、食べることなど）状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人で買い物に行ける利用者は少ない。 ○ 家族と同居し、家族が働きに出ている日中は、食事を自分で作る利用者もいる。また、IH など調理器具を新しくして使用方法がわからなくなり、調理をしなくなった利用者もいる。身の回りの環境の変化によって左右されている。

③摂食・嚥下障害や認知機能の低下に伴う食事時の問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 摂食・嚥下障害をもつ利用者はほとんどいない。 ○ とろみ剤や食形態に工夫が必要な利用者は約 3%の 5～6 名程度。
④低栄養（低体重や体重減少）の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体重は毎月、月初めに体重計で計測記録する。利用者によっては、2 週間や 1 週間毎に測定している。 ○ 身長は測定をしておらず、記録がない。 ○ 体重が減少していく利用者もいるし、体重が減少してそのままそこで止まる利用者もいる。 ○ 食事摂取量は、全員分は記録しておらず、低栄養の問題がある利用者に関して記録を取っている。 ○ 利用開始時に、栄養状態が悪い状態に入ってくる利用者もいる。ただ、食事の意欲低下や認知機能の低下による日中の傾眠傾向から食事量が低下している等、理由は様々ある。 ○ 食事の意欲が低下するとデイサービスが楽しくなくなり、デイサービスに来たがらなくなってしまうことがある。
⑤低栄養とリハビリテーションの効果や生活行為の自立の関係について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低栄養に関しては、結局、食べるということにつなげていかなければならない（配食の情報等）。 ○ 個別機能訓練加算(I)(II)を取っている。これらの加算を取るにあたり、全員に 10m 歩行時間や握力、長座体前屈等 5～6 項目を測定し、身体機能の評価を行っている（運動が禁止されている人には加算算定は行わない）。 ○ 個別機能訓練加算の評価の項目に規定はないが、3 か月に 1 回評価をし、プランの見直しをするように決められている。 ○ 個別機能訓練加算の加算要件に 3 か月に 1 回の居宅訪問があり、その中で利用者の社会参加等について聞き取ることが多い。居宅訪問の内容については、記録を残している。 ○ 登録者 180 名中、150～160 名が要介護である。3 か月に 1 回のモニタリングとなると、1 か月つき 50 名の身体機能評価、居宅訪問をする形になっており、業務量は多く感じている。 ○ 居宅訪問の様式は、始まった当初から事業所独自のものを使っている。 ○ 興味関心チェックシートは、規定のものより項目を減らし、必ず食に対する意欲も聞き取るようにしているが、継続的な聞き取りは行っていない。

<p>⑥栄養スクリーニングはしているか →している場合には、どのように行って、低栄養の場合にはどうしているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養スクリーニング加算は通所ではとっていない。 ○ 体重が1か月で2kg以上減少していると、要注意として会議の中である。要注意の利用者には、ケアマネージャーがその家族に助言をしている。 ○ 医師から食事の指示があった場合でも、家族の認識が薄かったり、目の届かない所で勝手に食べてしまったりしている。通所時の昼食分だけで食事の問題を把握したり、改善したりするのは難しい。
<p>⑦管理栄養士は関わっているか →関わっている場合には、どのように関わっているか →関わっていない場合には、栄養・食事の問題にはどのように対応しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設併設であるが管理栄養士の関わりはない。 ○ 1週間のうち、通所利用中の昼食4～5食で栄養・食事の問題に対応するのは難しい。
<p>⑧管理栄養士との関わりがある理由について また、関わりがない理由にはどのようなことが考えられるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 併設施設の管理栄養士がデイサービス滞在時間内では関わることができないため、アプローチが難しい。
<p>⑨食事提供や食形態などの変更方法と対応（個別化を含めて）はどうしているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 糖尿病で体重増加があるので、主食を半分にする対応が多い。反動で自宅に戻ったときに食べてしまう者がいる。
<p>⑩今後の栄養管理や栄養相談の在り方について何かご要望があるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 通所介護では見られない部分、在宅での生活部分を家屋調査でみていく必要がある。2年前から少しずつ実施しているが、要支援者には家屋調査はしていない。 ○ 実際に自宅に訪問してみないと、台所の様子や冷蔵庫の中身、調味料の位置等がわからず、利用者の食事支援のための具体的な改善ができない。

	<ul style="list-style-type: none">○ 居宅訪問の様式は、始まった当初から施設独自のものを使っている。興味関心チェックシートは、規定のものより項目を減らし、必ず食に対する意欲（おいしいものを食べに行っていますか？食べに行きたいですか？）も聞き取るようにしている。○ 課題がある場合、ケアマネージャーや家族に報告するようになっている。
--	---

表Ⅲ-9 事業所Ⅰ 訪問インタビュー概要

概要	富山県
	通所リハビリテーション（リハビリテーション病院；医療法人社団） <ul style="list-style-type: none"> ○ 登録者は約 108～109 名で、平均利用者数は 57～58 名／日。 ○ 月・火曜日の人数が多く、水・木・金で減っていく。 ○ リハビリテーション職員は理学療法士が 1 名。 ○ 個別機能訓練加算の取得は有り（Ⅰ）（Ⅱ）かは不明。
①利用者の要介護度や ADL の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均要介護度は不明。 ○ 重度の者もいるが、要介護度 5 の利用者は少ない。
②利用者の生活行為の自立（買い物、食事準備、食べることなど）状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相談員がどのような家事をしているか聞き取りをしている。 ○ 自分で食事の準備をしている利用者もいるし、車いすが入らない台所で無理やり調理している利用者もいる。
③摂食・嚥下障害や認知機能の低下に伴う食事時の問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者のほとんどが常食である。 ○ ソフト食など食形態に工夫が必要な利用者は 5～6 名程度。
④低栄養（低体重や体重減少）の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体重は毎月、月初めに体重計で計測記録する。 ○ 体重は看護師がまとめ、あまりにも減少が激しい場合は、介護士に伝え、食事時の様子を観察してもらっている。 ○ 食事摂取量はバイキング形式なのでいつもこれ位食べているのに最近少ないなという感覚や、家族からの申し送り等で判断している。 ○ 食事摂取状況が悪いときには、相談員からケアマネージャー 家族へ相談し、病院受診などを打診している。
⑤低栄養とリハビリテーションの効果や生活行為の自立の関係について	<ul style="list-style-type: none"> ○ リハビリテーション職員が 3 か月に 1 回家屋訪問している。 ○ 個別機能訓練加算は取っている。 ○ 自分の茶碗や湯呑みをしまうことも訓練の一つとなっている。
⑥栄養スクリーニングはしているか →している場合には、どのように行って、低栄養の場合にはどうしているか	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養スクリーニング加算は今のところ算定していないが、いずれは算定したいと考えている。

<p>⑦管理栄養士は関わっているか →関わっている場合には、どのように関わっているか →関わっていない場合には、栄養・食事の問題にはどのように対応しているか</p>	<p>○ 施設併設であるが管理栄養士の関わりはほとんどなく、ミールラウンドもない。食事をあまり食べていないという利用者がいなかったため、栄養・食事の問題への対応が必要ではなかったためであるが、食事形態についての調整には対応している。</p>
<p>⑧管理栄養士との関わりがある理由について また、関わりがない理由にはどのようなことが考えられるか</p>	<p>○ 併設施設の管理栄養士がデイサービス滞在時間内では関わることはできないため、アプローチが難しい。</p>
<p>⑨食事提供や食形態などの変更方法と対応（個別化を含めて）はどうしているか</p>	<p>○ 常食の者にはバイキング形式で食事提供をしている。九谷焼の食器を使用し、利用者毎にマイ茶碗、マイ湯呑みがある。</p> <p>○ ソフト食は組み膳して提供している。</p> <p>○ 体調や歯の具合などで、お粥や細かい調整も日によって行っている。</p> <p>○ 相談員が家族から家での食事状況について伺い、看護師に相談し通所での食形態を決めている。</p>
<p>⑩今後の栄養管理や栄養相談の在り方について何かご要望があるか</p>	<p>特になし</p>

IV 提言

本研究結果を踏まえて、以下の提言を行うものである。

通所系サービス利用者の低栄養はADLやIADLへのリハビリテーション効果に関連することから、管理栄養士による栄養ケア・マネジメント体制とともに、その背景にある摂食嚥下機能低下に対応したミールラウンド（多職種による食事観察を通じた問題把握）・カンファレンスによる経口維持の取り組みが必要である。さらに、低栄養の背景には個別の家族背景や買い物や食事準備の個別の生活パターンが考えられることから、必要に応じて管理栄養士による在宅訪問が求められる。そこで、通所系サービス利用者に対応したこのような栄養管理(栄養ケア・マネジメント)の体制やあり方について、前向きな介入研究によって、その実施可能性、持続性、成果の観点から検証することが求められる。

なお、以下はその具体的な内容である。

1. 通所事業所における栄養スクリーニング（栄養スクリーニング加算）は、栄養ケア・マネジメントの構造要素における導入に位置づけられ、低栄養リスク者を早期に把握し、その後の栄養アセスメント、個別の栄養ケア計画、実施、モニタリングのPDCAサイクルに繋ぐ重要な役割を担っている。その意義、知識、方法、そして管理栄養士が対応する栄養ケアの内容について事業所管理者やスタッフに啓発し、通所サービス事業所における栄養スクリーニング実施体制を整えていく必要があると考えられる。
2. 栄養スクリーニングは通所サービス利用開始時及びそれらのリスクがない場合にも6か月毎に定期的実施することが求められる。
3. 栄養スクリーニングは、体重の定期的な把握（1か月毎）が基本であり、今後、リハビリテーション等の計画帳票の記載事項に位置付ける必要がある。また、栄養スクリーニングは、低栄養リスクと合わせて摂食・嚥下機能低下の問題についても把握することが望ましい。
4. 低栄養リスクや摂食・嚥下機能低下の問題がある利用者には、介護保険施設等と同様に個別の栄養ケア計画や経口維持計画を作成し、それがリハビリテーション等の計画帳票に位置付けることが望まれ、さらに介護報酬上の評価も併せて検討することが求められる。
5. 経口維持の対応が必要な場合において、管理栄養士のみならず摂食・嚥下の専門家である歯科医師、歯科衛生士、言語聴覚士が加わったミールラウンドが実施される場合には、介護保険施設の経口維持加算と同様に介護報酬上の評価を検討することが求められる。
6. 食事の提供をしている事業所は、通所リハ 82.7%、通所介護 94.9%であり、特に通所介護においては食事の場が管理栄養士の関わることのできる機会であると考えられる。食事が提供される場合には多職種でミールラウンドを実施し、食事を提供していない利用者についても、お茶等へのとろみ剤使用の必要性を把握することにより、栄

養状態や ADL の維持改善、誤嚥の予防に資することができることが考えられる。

7. 低栄養リスクや摂食・嚥下機能低下の問題がある利用者において、個別の栄養ケア計画や経口維持の取り組みを実施するにあたっては、必要に応じて自宅訪問によって低栄養の背景にある個別の家族背景や買い物や食事準備の個別の生活パターンや食事状況のアセスメント、モニタリングができる体制を整備することが求められる。
8. 通所リハにおいて、ADL の不良維持・悪化にはとろみ剤の使用等にみられる摂食・嚥下機能の低下が関連し、通所介護において IADL の悪化には摂食・嚥下機能の低下とともに低 BMI（やせ）が関連していた。ADL/IADL 指標については 6 か月間で大きく変化するものは少なかったが、後ろ向き調査のため状態が悪化したものは施設入所などの理由により対象から外れている可能性がある。したがって、ADL/IADL は現状維持されることも重要なアウトカムであると考え、悪化の要因については今後の 1 年程度の追跡調査により明らかにする必要がある。さらに追跡調査のアウトカムとして意欲・食欲、興味や関心、食事摂取量等を追加して検証することが求められた。

教材

平成30年度老人保健事業推進費等助成金(老人保健推進等事業分)
リハビリテーションを行う通所事業所における栄養管理のあり方に
関する調査研究事業

通所事業所における 高齢者の食べる楽しみを チームで支える

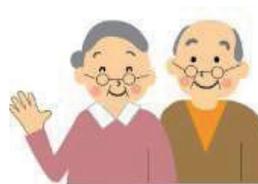


一般社団法人 日本健康・栄養システム学会

1

内容

- ▶ 高齢者の食べる楽しみの支援の充実
- ▶ 管理栄養士による栄養ケア・マネジメント(具体的内容の紹介)
- ▶ 事例紹介
- ▶ 今後に向けて
- ▶ 参考資料



2

高齢者の食べる楽しみの 支援の充実

3

このようなことで 困っていませんか？

困っている項目に チェックを付けてください。

- 食事量が減っている。
- 体重が減っている。
- 食事にかかる時間が長くなった。
- むせやすくなった。
- 食事時の笑顔が減った。

このような場合、どのようにしたらよいのか？

4

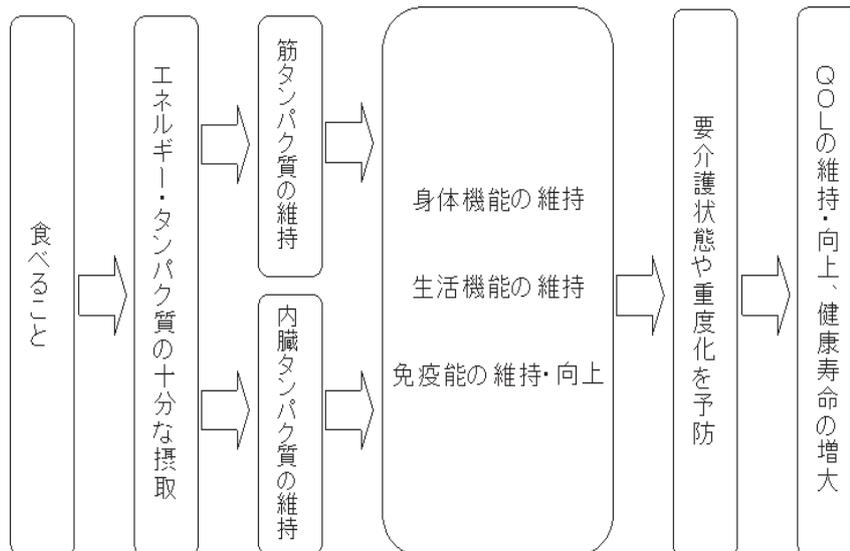
高齢者の食べる楽しみ

食べる楽しみを支援することは、利用者ひとり一人の「大きな喜び」を支える基本です。



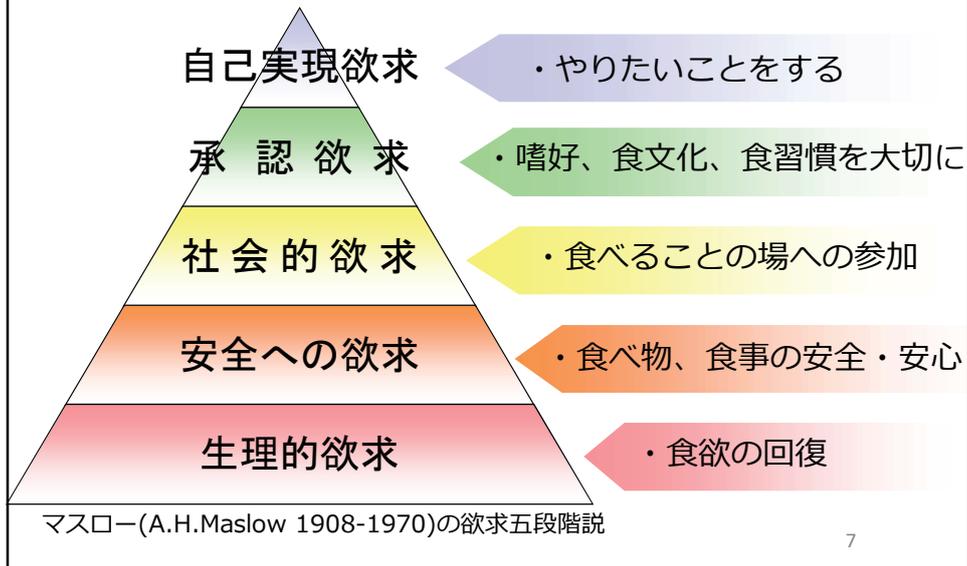
5

食べることの意義



6

なぜ食べる楽しみが重要か



高齢者の食べる機能



高齢になると食べる機能が衰えやすくなり、
食べるのが楽しみににくくなります。

- ・ **かむ力**が衰える。
→食べ物の種類や形態が制限される。
- ・ **飲み込む力**が衰える。
→むせやすくなる。
- ・ 口の中が乾いて**味を感じにくくなる**。
→食べ物がおいしく感じない。

8

栄養が不足すると、どのようなことが起こるのか？

栄養が不足すると、**元気がなくなり**、生活の**質やADLが低下**して、**体重も減り**ます。**病気にかかりやすくなり**、**転倒しやすくなり**ます。要介護状態が**重度化**します。さらに、**入院が長期化**します。



9

栄養不足を早期に見つける

毎月体重計測をしていると、**栄養の不足を早期**に気がつきます。

毎月、体重の減少が
続いている場合には、

注意する必要があります。



10

ADLとは

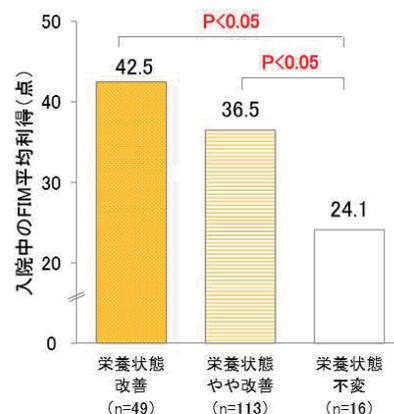
日常生活動作 (ADL)とはActivities of Daily Livingのことです。日常生活を送るために最低限必要な日常的な動作で、「起居動作・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容」動作のことです。



11

栄養状態改善はADLを改善させる

栄養不足が改善すると、ADLが改善し、リハビリテーションの効果も高くなります。



平成29年10月25日
中医協.総-3

図 回復期リハ病院入院中の栄養状態の改善とFIM利得

12

通所事業所における 低栄養の出現率

	通所リハ (N=1,410名)	通所介護 (N=780名)
6か月間に2～3 kgの体重減少	18.8% 有効回答942名中177名	20.0 % 有効回答608名中122名
BMI18.5kg/m ² 未 満	12.4% 有効回答1,291名中160名	19.4 % 有効回答552名中107名

平成30年度老人保健事業推進費等助成金(老人保健健康増進等事業分)リハビリテーションを行う通所事業所における栄養管理のあり方に関する調査研究事業、一般社団法人日本健康・栄養システム学会

13

管理栄養士による 栄養ケア・マネジメント (具体的内容の紹介)

14

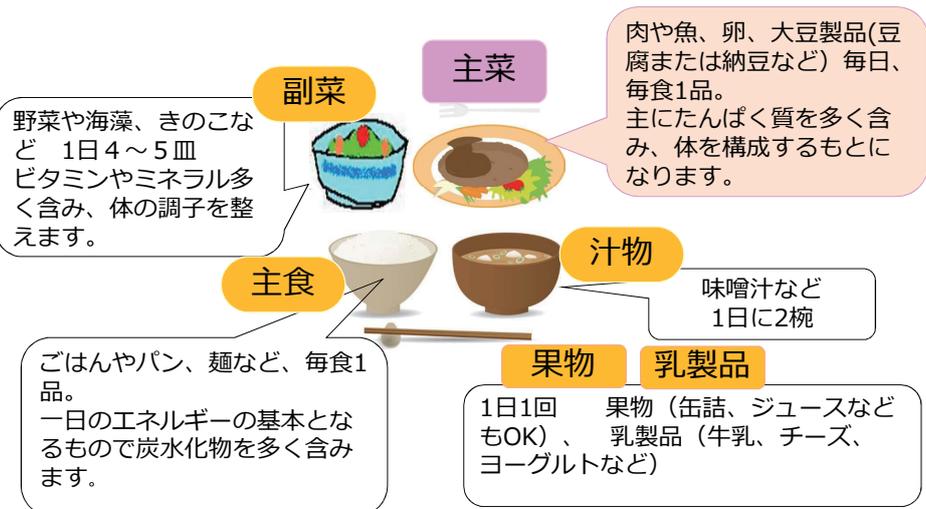
管理栄養士が利用者に適した 食事やおやつを提案します

- 利用者の**状態にあった**食事
- **弱い力**でかめる食事
- **少ない量**でもカロリーやたんぱく質を**しっかりとれる**食事
- カロリーやたんぱく質を**手軽に補える**おやつ



15

一日に何をどれだけ食べればよいか



16

かむ力や飲み込む力を補う工夫

特徴	食材[例]
硬いもの	ひき肉のそぼろ、生野菜、ナッツ
加熱しても柔らかくなりにくい	きのこ、こんにゃく、しらたき、かまぼこ ハム、油揚げ
厚みのないもの	わかめ、レタス、きゅうりのうす切り
繊維の強いもの	青梗菜、ごぼう、たけのこ、 れんこん
パサパサしたもの	パン、ふかし芋、ゆで卵、 焼き魚
パラパラまとまりにくいもの	きざみ食、佃煮、ふりかけ、 長ネギ

調理工夫しても飲み込みにくいときは他の食品に代える、その食品を除く、他の食品と組み合わせて使用するなど工夫してください。

食材の切り方や加熱調理の方法、とろみをつけるなどの工夫で飲み込みやすくすることができます。

出典:在宅生活を支える!これからの新しい嚥下食レシピ(江頭 文江)



17

きざみ食は危険!

きざみ食は、口の中でまとまりにくく、飲み込んでも、のどの奥で残り、気管に食べ物が入る危険もあります。これが、誤嚥(ごえん)の大きな原因の1つです。

たくあん ひじきの煮物



トマト

18

練り製品 さつまいもの甘煮

簡単メニューの紹介

レンジで簡単やわらかご飯

材 料(1人分)
ごはん 120g
水 30cc

(1人分)エネルギー 202kcal タンパク質3.1g 塩分0g

作り方
①ごはん、水をすべて器に入れて混ぜ、ラップをかけて電子レンジで2~3分加熱する。

パン粥

材 料(1人分)
耳なし食パン(8枚切り)25g(1枚)
牛乳 150cc
砂糖 7g

(1人分)エネルギー 194kcal タンパク質7.3g 塩分0.5g

作り方
①食パンを3cm角に切る。
②鍋に牛乳を入れ、人肌程度に温める。
③②に①を加え、ヘラでかき混ぜながら、弱火で煮る。
④③に砂糖を加え沸騰直前に火を止め皿に盛る。

ひとことメモ

塩少々：女性の指3本分、男性の指2本分でつまんだ量が「少々」で、その量は約0.5gです。

しょうゆ 大さじ1杯：大さじ1杯は15ccです。濃い口醤油大さじ1杯の食塩相当量は2.6gです。



19

嚥下に注意が必要な方向けの水分補給ゼリーレシピ

お茶ゼリー

<材料> (2人分)
アガー 3g
麦茶 300ml

<作り方>
①麦茶300mlを90℃以上に加熱し、アガーを溶かす。
②カップや型に流し入れて冷蔵庫で冷やし固める。



アレンジ：コーヒーゼリーや紅茶ゼリーなども同じように作ります。

牛乳ゼリー

<材料> (4人分)
アガー 3g
牛乳(90℃以上) 300ml
砂糖 大さじ3

(1人分)エネルギー 56kcal タンパク質3.7g 塩分0.1g

<作り方>
①鍋に牛乳と砂糖を入れて火にかけ、砂糖を溶かす。
②アガーを振り入れて溶かす。
③②を型に流し入れて冷蔵庫で冷やし固める。

アガーは、カラギーナンという海藻やローカストビーンガムというマメ科の種子の抽出物からできています。常温でも型崩れしない、無味無臭が特徴です。レシピでは90℃以上に加熱していますが、常温でも溶けます。

20

管理栄養士が支援する例



買い物支援



限られた費用(500円)で栄養のバランスを考えて買い物ゲームをします。新聞の折り込みチラシを用いた買い物支援も手軽に行えます。

21

管理栄養士が支援する例

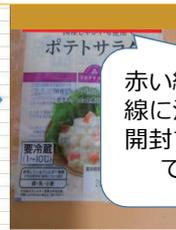


手軽に購入できる惣菜の種類を、購入方法を含め説明しました。その後、摂取栄養量が増加しました。

22

管理栄養士が支援する例

調理済み食品の袋が開封できない理由で、食事量が減少していた。食材の袋には、開封しやすいよう赤線を引く。ペットボトルの蓋に開ける向きを矢印で示すことで、食事や水分が摂れるようになった。



赤い線を引くと線に沿って袋を開封することができた。



ペットボトルに開封する向きを矢印で記載すると、蓋を開けることができ、水分を補給することができた。

食事を楽しむ 楽しんで食べましょう

「食べる」ということは、栄養をとることだけが目的ではありません。
皆で一緒に食べると食事がおいしく感じるもの。もっと食事を楽しんで食べましょう。

「買い物」の楽しみ

「食べたいものを考える」
楽しみ

「つくる」楽しみ



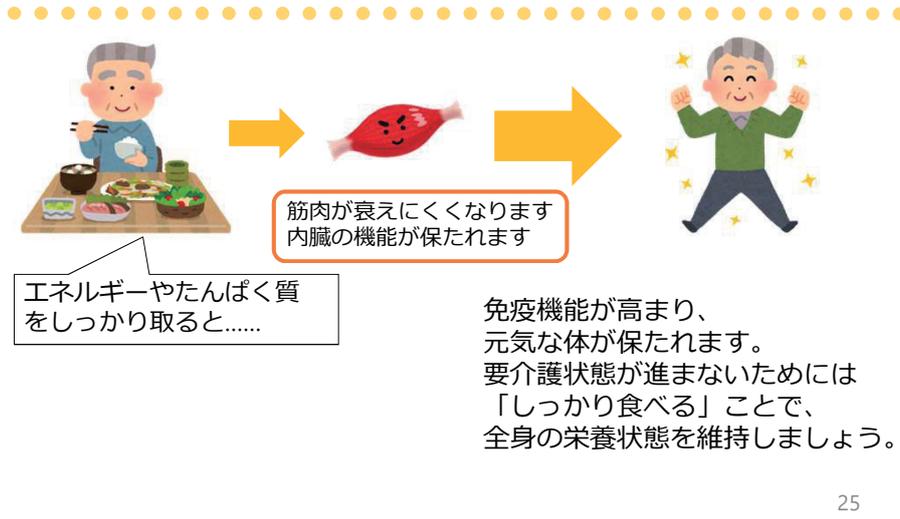
「味わう」楽しみ

「片付け」の楽しみ

「いっしょに食べる」楽しみ

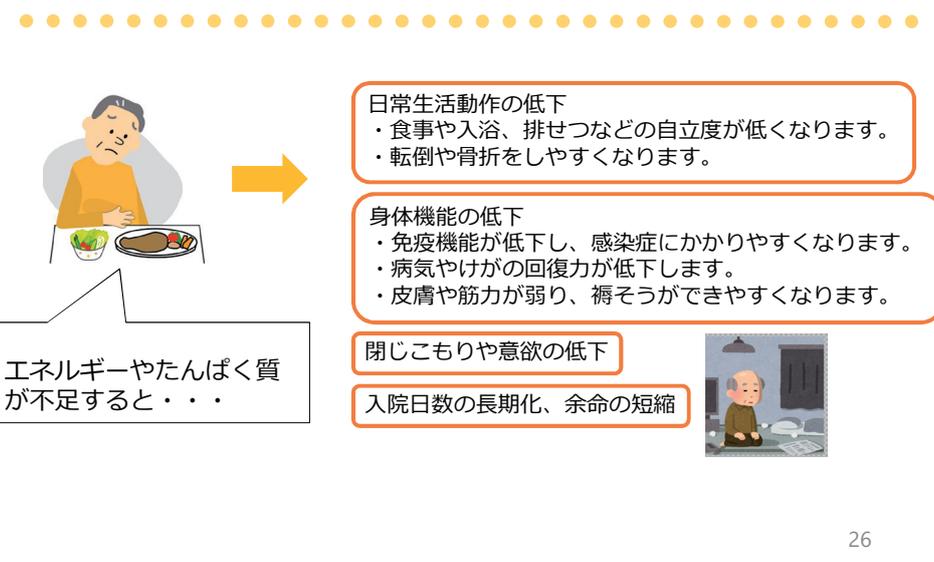
食事はしっかりと食べましょう

高齢者にとって「しっかりと食べる」ことはこんなに大切です



たんぱく質を十分に摂取

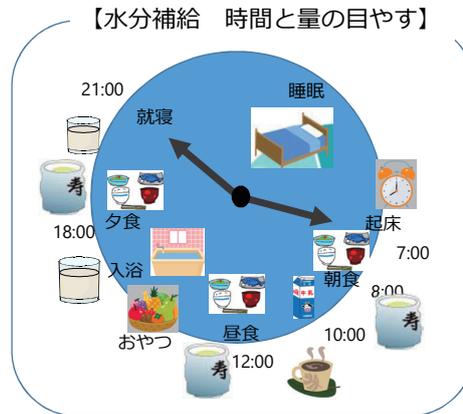
エネルギーやたんぱく質が不足するとどうなるの？



水分をしっかりとりましょう

高齢になると水分をためておく能力が少なくなったり、のどの渇きを感じにくくなっていることから、脱水症を起こしやすくなります。

- ・口が渇く。
 - ・皮膚のシワが戻らない。
 - ・口のまわりがカサカサしている。
 - ・尿の量が少ない。
- などの症状があれば意識して水分をとって頂きましょう。



27

食事にも水分が含まれています。
飲む水分補給だけではなく、
食事が十分に摂れていないと、
脱水症を起こしやすくなります。



1日3食で
水分量/約1000ml

+



1日5~7回
水分補給
1200ml

28

このようなことで 困った時には

困っている項目に 一つでもチェックが付いたら

- 食事量が減っている。
- 体重が減っている。
- 食事にかかる時間が長くなった。
- むせやすくなった。
- 食事時の笑顔が減った。



利用者が美味しく楽しく食べられるように、
管理栄養士がお手伝いします。

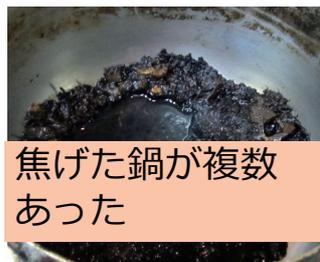
29

事例紹介

30

管理栄養士が支援する例①

通所ご利用時だけでは、低栄養の原因がわからない場合、ご自宅に出向き低栄養の原因を確認します。



焦げた鍋が複数あった

ガス台には焦げた鍋（ボヤ騒ぎ）
認知機能（実行機能障害）に対するアプローチが必要と判断した。

31

管理栄養士が支援する例②

多職種による摂食
嚥下の観察



32

食事の後半でむせ込み、食事摂取量が減ってきた利用者に、多職種で咽喉マイクを使用して、咀嚼・嚥下音・呼吸音を確認しました。

咽喉マイクによる頸部聴診では、味噌汁やお茶を飲む際、嚥下音の前に異音を認めました。嚥下反射がスムーズではないことがわかりました。そこで、中間のとろみをつけると、むせ込みは軽減できました。その日の連絡帳へ評価内容を記載し、家族に報告しました。



33

咽喉マイクとは



良い点

高齢者においても安全に検査が可能。
日常の食事の場面で簡便に実施できる。
誤嚥の有無、及び咽頭運動の開始と終了を特定できる。安価で購入できる。

課題

嚥下音を聞き取る知識と経験が必要。

34

咽喉マイク(機種：咽喉マイク/南豆無線電機ENG-12JK標準サイズ、ソニーICD-X31メモリーカードレコーダー)

今後に向けて

35

体重を計測し、体重減少を 見つけましょう

体重減少は、高齢者の低栄養を発見するために**最も重要な指標**です。

(前回の体重 - 現在の体重) ÷ 前回の体重 × 100
= 体重減少率(%)

例：現在45kgで1か月前の体重が48kgの場合

$$(48 - 45) \div 48 \times 100 = 6.3\%$$

1か月で3%以上の体重減少に該当

36

参考:体重減少(率) 早見表

体重減少が簡単に把握できる表です。
該当した場合は、意図しない体重減少となります。

①もとの 体重(kg)	①に対する1か月間の体重 減少率3%(kg)	体重減少率を体重(kg) で示した場合
40	-1.2	38.8
45	-1.4	43.6
50	-1.5	48.5
55	-1.7	53.3
60	-1.8	58.2

37

BMI(体格)を把握 しましょう

高齢者はBMIが18.5未満(やせ)は、
栄養に問題があると判定されます。

$$\text{BMI} = \text{体重} \div (\text{身長(m)} \times \text{身長(m)})$$

例：45kgで身長が158cmの場合

$$45 \div (1.58 \times 1.58) = 18.02$$

BMI18.0kg/m²で、BMI18.5未満に該当

38

参考:現状ではBMI(体格)が把握されていない

	通所リハ (N=740事業所)	通所介護 (N=683事業所)
BMIを把握していない	52.0%	66.3%
体重減少を把握していない	15.9%	8.5%

平成30年度老人保健事業推進費等助成金(老人保健健康増進等事業分)リハビリテーションを行う通所事業所における栄養管理のあり方に関する調査研究事業、一般社団法人日本健康・栄養システム学会

39

食べる楽しみを チームで支援する



- **食事にお困りのことがあったら、是非、管理栄養士にご連絡ください。**
- **高齢者の食べる楽しみを継続できるように、チームで食べる楽しみを支援しましょう。**

40

参考資料

41

栄養スクリーニング手順

*全てに該当する必要はありません。

①次のイ～ホに該当しているか確認します。

- イ BMIが18.5未満である者
- ロ 1～6月間で3%以上の体重減少
- ハ 6月間で2～3kg以上の体重減少
- ニ 血清アルブミン値3.5 g/dL未満
- ホ 食事摂取量75%以下

②特記事項に、医師、管理栄養士等への連携必要性等を記入します。

③上記①、②について、介護支援専門員に対し、情報を提供します。

42

別紙 1

栄養スクリーニング（通所・居宅）（様式例）

2019年	□男 □女	□明 □大 □他	年	月	日
氏名	受診施設・病名 特記事項等				
					記入者名： 作成年月日： 年 月 日 事業所内の管理栄養士・栄養士 □男 □女

項目	年 月 日 記入者名			
身長 (cm) ^{※1}	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)
体重 (kg)	(kg)	(kg)	(kg)	(kg)
BMI (kg/m ²) ^{※1} 18.5未満	□男 □女 (kg/m ²)			
最近1～6か月間における 3%以上の体重減少	□男 □女 (kg/ 中月)			
最近6か月間における 2～3kg以上の体重減少	□男 □女 (kg/ 6中月)			
血清アルブミン値 (g/dl) ^{※2} 3.5g/dl未満	□男 □女 (g/dl)			
食事摂取量 75%以下 ^{※3}	□男 □女 (%)			
特記事項 (医師、管理栄養士等への 連携の必要性等)				

※1 身長は測定した日付を記入し、測定場所を記入してください。
※2 確認できない場合は、空欄でも差し支えない。
※3 管理栄養士・栄養士がいない事業所の場合は、参考値とする。

(参考) 低栄養状態のリスク分類について

リスク分類	低リスク	中リスク	高リスク
BMI	18.5～24.9	18.5未満	18.5未満
体重減少率	変化なし (減少3%未満)	1か月以内～5%未満 3か月以内～7.5%未満 6か月以内9～10%未満	1か月に8%以上 3か月に7.5%以上 6か月に10%以上
血清アルブミン値	3.5g/dl以上	3.0～3.5g/dl	3.0g/dl未満
食事摂取量	75～100%	75%以下	
栄養補給法		経腸栄養法 経口栄養法	
選 定			選定

特記事項
医師、管理栄養士等への連携の必要性等を記載してください。

例：少量で栄養がとれるものはなにか？
水分量が少なく心配だ。
食事形態のことで相談にのって欲しい。
などを記載してください。

低栄養のリスクありと判定 されたら

低栄養状態のリスクレベルが 中・高リスクに該当した場合はど うするの？

管理栄養士による
栄養改善サービス(栄養改善加算)
に是非つなげてください。

介護支援専門員へ情報を共有

栄養スクリーニング加算は、栄養スクリーニングを行うことに加え、介護支援専門員に栄養状態に係る情報を文書で共有するところまでが評価対象です。

45

栄養スクリーニング加算 算定要件

1. 栄養スクリーニング(手順)に沿い、低栄養を確認します。
2. 栄養スクリーニングの結果を文書で介護支援専門員に報告します。
3. 栄養スクリーニング加算の算定を行う事業所については、サービス担当者会議で決定します。
4. 算定が可能な時期は、「利用開始」と「その後6か月ごと」で、算定は1回5単位です。
5. 栄養スクリーニングの結果、栄養改善サービスの提供が必要と判断された場合は、栄養スクリーニング加算の算定月であれば、算定は可能です。

46

算定可能な事業所

通所介護

地域密着型通所介護

療養通所介護

認知症対応型通所介護

通所リハビリテーション

特定施設入居者生活介護

地域密着型特定施設入居者介護

認知症対応型共同生活介護

小規模多機能型居宅介護

看護小規模多機能型居宅介護



通所事業所における高齢者の食べる楽しみをチームで支える

1. 「通所事業所における 高齢者の食べる楽しみをチームで支える」
2. スライド全般の説明である。高齢者の食べる楽しみの支援の充実の説明、管理栄養士による栄養ケア・マネジメント（具体的内容の紹介）、事例紹介、今後に向けての参考資料であることの説明である。
3. 高齢者の食べる楽しみの支援の充実について
4. 食事で困っていることはないか？このようなときはどうするか説明する。
5. 高齢者にとって食べることは楽しみであり、利用者ひとり一人の「大きな喜び」を支える基本である。
6. 食べることの意義を改めて確認する。
7. 食べることがその人の人生にどのように影響するかについて説明する。マズローの5段階説で説明している。一番基礎的な部分で、例えば食欲の回復等は生理的欲求であり、それが満たされればその後上の段階に移る。一番上は、人間としての自己実現である。食べる楽しみは自己実現に通じる。
8. 高齢者の食べる機能についての説明である。
9. 栄養が不足するとどのようなことが起こるのかの説明である。
10. 栄養の不足を早期に見つけるには、毎月など定期的に体重を量ることが大切である。毎月体重計測をしていると、栄養の不足を早期に気づくため、毎月、体重の減少が続いている場合には、注意する必要がある。
11. 日常生活動作のことを ADL という。日常生活を送るために最低限必要な日常的な動作で、「起居動作・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容」のことである。
12. 栄養状態を改善すると ADL も改善される。棒グラフに示されている通り、リハビリテーションの効果も高くなることの説明である。
13. 通所事業所における低栄養の出現率を調査した結果である。特に、6 か月間に 2～3 kg の体重減少を認めた割合は、通所リハ 18.8%、通所介護では 20%であった。
14. 具体的内容を説明する。
15. 管理栄養士が利用者に適した食事やおやつを提案する。
16. 一日に何をどれだけ食べればよいのかの説明である。主食は一日のエネルギーの基本となる炭水化物を多く含む。主菜は主にタンパク質を多く含み、体を構成するものになる。副菜は野菜や海藻、きのこなどで、ビタミンやミネラルを多く含み、体の調子を整える。汁物は味噌汁など。その他に、1日1回、果物や乳製品をとるよう心掛ける。
17. かむ力や飲み込む力を補う工夫の説明である。かむ力や飲み込む力が必要な特徴と食材の例である。調理を工夫しても飲み込みにくいときには他の食品に代える、その食品を除く、他の食品と組み合わせて使用するなど工夫が必要である。

18. きざみ食が危険な理由を示す。
19. 食べやすく工夫をした主食の簡単メニューの紹介。
20. 飲み込みに注意が必要な方向けの水分補給ゼリーレシピの紹介。
21. 管理栄養士が支援する例。買い物支援についての説明である。
22. 食べる量や品数が少ない方への支援は、手軽に購入できる惣菜の種類や購入方法を提案する。
23. 調理済み食品の袋が開封できない理由で、食事量が減少していた方への支援内容を説明したものである。食材の袋には開封しやすいよう赤線を引き、ペットボトルの蓋には開ける向きを矢印で示すことで、食材や水分が摂れるようになる。
24. 食事を楽しむ、楽しんで食べることの大切さの説明である。「食べる」ということは、栄養をとることだけが目的でなく、一連の食べる生活行為において、「買い物」「食べたいものを考える」「つくる」「味わう」「片付け」「一緒に食べる」楽しみによって食事がおいしく感じられることの説明である。
25. 食事はしっかりと食べることの説明である。
26. たんぱく質を十分に摂取し、エネルギーやたんぱく質が不足するとどうなるかの説明である。
27. 十分な水分の必要性の説明である。
28. 食事にも水分が含まれていて、飲む水分補給だけではなく、食事が十分に摂れていないと、脱水症を起こしやすくなることの説明である。
29. 食事で困った時に、利用者が美味しく食べられるように、管理栄養士がお手伝いする説明である。
30. 事例紹介
31. 事例①通所の利用時だけでは、栄養の不足の原因がわからない場合の対応についての説明である。
32. 事例②飲み込みが難しい方の、多職種で摂食嚥下の観察を行う説明である。
33. 頸部聴診とむせこみ軽減の説明である。
34. 咽喉マイクの説明である。
35. 今後に向けて
36. 体重減少を見つける必要についての説明である。
37. 体重減少が簡単に把握できる早見表の紹介である。
38. BMI(体格)を把握する必要についての説明である。
39. 平成30年の通所事業所における栄養管理のあり方に関する調査研究の説明である。栄養の不足を早期に見つけるためにBMIの把握が重要である。
40. 食べる楽しみをチームで支援することが重要である。

調查票一式

「通所リハビリテーション・通所介護における栄養・食事の実態調査」

- ※ 通所サービス事業所の管理者または担当職員が記入してください。
※ 併設する同一法人の事業所ではなく、本調査票のお送り先の事業所についてのみお答えください。

記入日

2018年（ ）月（ ）日

記入者（あてはまる番号1つに○をつけてください）

① 管理者 ② 管理者以外の職員

I. 概要（記入日時点の状況）

問1 通所サービスの種類について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

① 通所リハビリテーション ② 通所介護

問2 事業主体について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

① 社会福祉法人 ② 医療法人 ③ 営利法人 ④ NPO法人 ⑤ その他

問3 併設施設について、あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

① 介護老人福祉施設 ② 介護老人保健施設 ③ 病院・診療所 ④ その他 ⑤ なし

問4 定員数(名/日)及び、記入日の利用者数を数字で記入してください。

定員数：（ ）名/日 記入日の利用者数：（ ）人

問5 記入日の利用者数のうち、要介護度別の数を数字で記入してください。

要支援1（ ）人 要支援2（ ）人 要介護1（ ）人 要介護2（ ）人
要介護3（ ）人 要介護4（ ）人 要介護5（ ）人

問6 記入日の利用者数のうち、認知症高齢者の日常生活自立度別の数を数字で記入してください。

自立（ ）人 I（ ）人 IIa（ ）人 IIb（ ）人
IIIa（ ）人 IIIb（ ）人 IV（ ）人 M（ ）人 不明（ ）人

次ページへ続きます

問7 通所サービスの常勤スタッフのうち、下記の資格を持つ人数を数字で記入してください。
(いない場合は0人と記入してください)。

- ① 医師 () 人 ② 歯科医師 () 人 ③ 介護福祉士 () 人
④ 看護師 () 人 ⑤ 准看護師 () 人 ⑥ 管理栄養士 () 人
⑦ 栄養士 () 人 ⑧ 理学療法士 () 人 ⑨ 作業療法士 () 人
⑩ 言語聴覚士 () 人 ⑪ 歯科衛生士 () 人 ⑫ その他 () 人

II. サービス提供状況 (記入日時点の状況)

問1 通所リハビリテーション事業所にお伺いします。
リハビリテーションマネジメント加算は算定していますか？
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- ① リハマネ加算Ⅰ ② リハマネ加算Ⅱ ③ リハマネ加算Ⅲ ④ リハマネ加算Ⅳ ⑤ 未算定

問2 通所介護事業所にお伺いします。個別機能訓練加算は算定していますか？
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- ① 個別機能訓練加算Ⅰのみ ② 個別機能訓練加算Ⅱのみ ③ 両方 ④ 未算定

問3 栄養スクリーニング加算、栄養改善加算、口腔機能向上加算を算定していますか？
算定している加算の番号に○をつけてください (複数回答可)。

- ① 栄養スクリーニング加算 ② 栄養改善加算 ③ 口腔機能向上加算 ④ 未算定

III. 通所サービス利用者の栄養状態の把握について (※記入日の利用者について)

問1 記入日の利用者について、体重の記録を、月に1回以上していますか？
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- ① 記録している (最近1か月で1回以上) ② 記録していない

問2 記入日の利用者について、身長記録はありますか？
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- ① 記録がある ② 記録はない

問3 記入日の利用者のうち、BMI18.5kg/m²未満の痩せの方はいますか？
あてはまる番号に1つに○をつけ、いる場合には人数を数字で記入してください。

- ① いる () 人 ② いない ③ 把握していない

※BMI (体格指数) = 体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m)

155cm 50kgの人の場合 : 50(kg) ÷ 1.55(m) ÷ 1.55(m) ≒ 20.8 kg/m²

問4 記入日の利用者のうち、この6ヶ月間に2～3kgの体重減少があった方はいますか？
あてはまる番号に1つに○をつけ、いる場合には人数を数字で記入してください。

① いる () 人 ② いない ③ 把握していない

問5 記入日の利用者のうち、摂食・嚥下機能に問題がある方はいますか？
あてはまる番号に1つに○をつけ、いる場合には人数を数字で記入してください。

① いる () 人 ② いない ③ 把握していない

IV. 通所サービス利用者への食事提供について（※記入日の利用者について）

問1 通所サービスでは食事を提供していますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。

① はい ② いいえ

※「はい」の場合、下記**問2～問6**にお答えください。

問2 記入日の利用者について、栄養状態を考慮した量（エネルギー量）の食事が提供されていますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、行事食は除いて考えてください。

① 提供している ② 提供していない（提供量は個人ごとに設定していなかった）

問3 記入日の利用者について、事業所で提供されている食事の摂取量（何割程度摂取したか。自宅の食事は含みません。）を毎食分記録していますか？

あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、行事食は除いて考えてください。

① 記録している ② 記録していない

問4 記入日の利用者のうち、食事の個別対応として食形態の調整（ミキサー、とろみづけ）が必要な方がいますか？あてはまる番号1つに○をつけ、いる場合は人数を数字で記入してください。

① いる () 人 ② いない ③ わからない

問5 記入日の利用者のうち、食事の個別対応として栄養素の調整（タンパク質・炭水化物・脂質・塩分のいずれかの制限）が必要な方がいますか？

あてはまる番号1つに○をつけ、いる場合は人数を数字で記入してください

① いる () 人 ② いない ③ わからない

次ページへ続きます

問6 記入日の利用者のうち、食事介助が必要となる方がいますか？

あてはまる番号1つに○をつけ、いる場合には人数を数字で記入してください

① いる () 人 ② いない ③ わからない



※いる場合、職員が食事介助の仕方が分からず、不安に思うことがありますか？

① ある ② ない

V. 管理栄養士・栄養士との関わりや相談者について
(この4月以降の事業所としての状況をお伺いします)

問1 平成30年4月以降、通所サービスにおいて、管理栄養士との関わりはありますか？

あてはまる番号1つに○をつけてください。

① あり ② なし



どのような関わりでしたか？あてはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

① 食事時の観察(ミールラウンド) ② 食事の個別調整 ③ 栄養相談
④ 自宅訪問 ⑤ その他

問2 平成30年4月以降、通所サービスにおいて、栄養士との関わりはありますか？

あてはまる番号1つに○をつけてください。

① あり ② なし



どのような関わりでしたか？あてはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

① 食事時の観察(ミールラウンド) ② 食事の個別調整 ③ 栄養相談
④ 自宅訪問 ⑤ その他

問3 職員が、栄養や食事の問題(摂食・嚥下も含む)に関して、専門職に相談をしたことがありますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。

① 相談した ② 相談していない



※相談した場合、どの専門職に相談しましたか？あてはまる番号に○をつけてください。
(複数回答可)

① 医師 () 人 ② 歯科医師 () 人 ③ 介護福祉士 () 人
④ 看護師 () 人 ⑤ 准看護師 () 人 ⑥ 管理栄養士 () 人
⑦ 栄養士 () 人 ⑧ 理学療法士 () 人 ⑨ 作業療法士 () 人
⑩ 言語聴覚士 () 人 ⑪ 歯科衛生士 () 人 ⑫ 調理師 () 人
⑬ その他 () 人

次ページへ続きます

ご協力ありがとうございました。記入もれがないか、いま一度ご確認ください、同封の封筒でご返送頂ければ幸いです。なお集計結果は、報告書としてWebページ（<http://www.j-ncm.com/>）に掲載予定です。

「個別調査」のお願い

今回の調査に加えて、通所サービス利用者の個別調査を11月ごろに予定しております。個別調査は、リハビリテーションマネジメント加算または個別機能訓練加算を算定している事業所にご協力頂きたく存じます。

調査内容は、調査期間中（1か月間）に貴通所サービス事業所を利用した高齢者についてID番号により匿名化したうえで、身長、体重、要介護度、認知症高齢者の日常生活自立度、自宅での生活状況、食事に係わる項目、ADL、IADLの合計点等 39項目程度（調査月の11月と4月およびサービス利用開始時）について、既存の帳票等からお送りする調査票に転記して頂きたいと考えております。調査票への転記にかかるお時間は利用者1人当たり20～30分程度を想定しており、謝金として利用者1人当たり500円を事業所へ御支払いさせて頂きます。

ご協力の同意を頂けましたら、以下をご記入ください。改めてご依頼状、ご協力の同意書、調査票等一式をお送りさせて頂きます。どうぞよろしくお願い致します。

事業所名 _____

〒 _____

住所 _____

※「個別調査」にご協力頂けない場合も（後日同意を撤回する場合も含め）、貴事業所に何ら不利益が生じることはありませんので、ご安心ください。

□お問合せ先□

〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町 1-10-1 神奈川県立保健福祉大学栄養学科内

平成 30 年度老人保健事業推進等補助金（老人保健健康増進等事業分）

「リハビリテーションを行う通所事業所における栄養管理のあり方に関する調査研究事業」事務局

担当：杉山みち子・高田健人・浅見桃子・藤川亜沙美・加納亜紀子

電話：046-828-2663, 046-828-2813

FAX：046-828-2663

以上

ID対照表 ※調査票送付前に切り取り、同封した保管用封筒にて密封して保管してください。		通所リハ・通所介護における栄養・食事の美観調査(個別調査票)										2018年10月1か月間の全利用者のために転記して下さい。(別紙の記入方法を確認ください)	記入者(どちらかに)	管理者・他の職員	事業所ID	次のページへ続きを→			
2018年10月1か月間の全利用者のために転記して下さい。(別紙の記入方法を確認ください)		2018年10月末日時点										2018年10月末日時点	2018年10月末日時点	2018年10月末日時点	2018年10月末日時点	2018年10月末日時点			
ID対照表 ※調査票送付前に切り取り、同封した保管用封筒にて密封して保管してください。		研究発表の告知とご協力をお願いする日	調査票送付前	調査票送付後	調査票送付後	調査票送付後	調査票送付後	調査票送付後	調査票送付後	調査票送付後	調査票送付後								
ID対照表 ※調査票送付前に切り取り、同封した保管用封筒にて密封して保管してください。		研究発表の告知とご協力をお願いする日	調査票送付前	調査票送付後	調査票送付後	調査票送付後	調査票送付後	調査票送付後	調査票送付後	調査票送付後	調査票送付後								
ID対照表 ※調査票送付前に切り取り、同封した保管用封筒にて密封して保管してください。		研究発表の告知とご協力をお願いする日	調査票送付前	調査票送付後	調査票送付後	調査票送付後	調査票送付後	調査票送付後	調査票送付後	調査票送付後	調査票送付後								
1	●●▲▲さん	11月10日																	
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			
20																			

		2018年4月末日時点		2018年4月末日時点		2018年4月～10月の間										
		2018年4月末日時点		2018年4月末日時点		2018年4月～10月の間										
調査用ID	24.サービス利用開始年月日	25.利用開始前の状況	26.サービス利用開始時(前後1か月以内)の体重(kg)	27.サービス利用開始時(前後1か月以内)のADL	28.サービス利用開始時(前後1か月以内)のFIM	29.サービス利用開始時(前後1か月以内)のIADL	30.2018年4月末日時点(前週)のサービス利用していた数	31.2018年4月末日(前後1か月以内)の体重(kg)	32.2018年4月末日(前後1か月以内)のADL	33.2018年4月末日(前後1か月以内)のFIM	34.2018年4月末日(前週)のIADL	35.管理栄養士との間わり	36.管理栄養士との間わり	37.栄養改善加算の判定	38.(通所介護)個別機能訓練加算の判定	39.次のイベントの発生
記入例	2017/12/5	在宅・入居 ・施設入所 ・その他	44	74	38	38	はい いいえ	45	75	40	40	はい いいえ	はい いいえ	あり なし	なし・I・II ・同方	あり なし ・施設入所 ・利用中止 ・特になし
1		在宅・入居 ・施設入所 ・その他					はい いいえ				40	はい いいえ	はい いいえ	あり なし	なし・I・II ・同方	あり なし ・施設入所 ・利用中止 ・特になし
2		在宅・入居 ・施設入所 ・その他					はい いいえ					はい いいえ	はい いいえ	あり なし	なし・I・II ・同方	あり なし ・施設入所 ・利用中止 ・特になし
3		在宅・入居 ・施設入所 ・その他					はい いいえ					はい いいえ	はい いいえ	あり なし	なし・I・II ・同方	あり なし ・施設入所 ・利用中止 ・特になし
4		在宅・入居 ・施設入所 ・その他					はい いいえ					はい いいえ	はい いいえ	あり なし	なし・I・II ・同方	あり なし ・施設入所 ・利用中止 ・特になし
5		在宅・入居 ・施設入所 ・その他					はい いいえ					はい いいえ	はい いいえ	あり なし	なし・I・II ・同方	あり なし ・施設入所 ・利用中止 ・特になし
6		在宅・入居 ・施設入所 ・その他					はい いいえ					はい いいえ	はい いいえ	あり なし	なし・I・II ・同方	あり なし ・施設入所 ・利用中止 ・特になし
7		在宅・入居 ・施設入所 ・その他					はい いいえ					はい いいえ	はい いいえ	あり なし	なし・I・II ・同方	あり なし ・施設入所 ・利用中止 ・特になし
8		在宅・入居 ・施設入所 ・その他					はい いいえ					はい いいえ	はい いいえ	あり なし	なし・I・II ・同方	あり なし ・施設入所 ・利用中止 ・特になし
9		在宅・入居 ・施設入所 ・その他					はい いいえ					はい いいえ	はい いいえ	あり なし	なし・I・II ・同方	あり なし ・施設入所 ・利用中止 ・特になし
10		在宅・入居 ・施設入所 ・その他					はい いいえ					はい いいえ	はい いいえ	あり なし	なし・I・II ・同方	あり なし ・施設入所 ・利用中止 ・特になし
11		在宅・入居 ・施設入所 ・その他					はい いいえ					はい いいえ	はい いいえ	あり なし	なし・I・II ・同方	あり なし ・施設入所 ・利用中止 ・特になし
12		在宅・入居 ・施設入所 ・その他					はい いいえ					はい いいえ	はい いいえ	あり なし	なし・I・II ・同方	あり なし ・施設入所 ・利用中止 ・特になし
13		在宅・入居 ・施設入所 ・その他					はい いいえ					はい いいえ	はい いいえ	あり なし	なし・I・II ・同方	あり なし ・施設入所 ・利用中止 ・特になし
14		在宅・入居 ・施設入所 ・その他					はい いいえ					はい いいえ	はい いいえ	あり なし	なし・I・II ・同方	あり なし ・施設入所 ・利用中止 ・特になし
15		在宅・入居 ・施設入所 ・その他					はい いいえ					はい いいえ	はい いいえ	あり なし	なし・I・II ・同方	あり なし ・施設入所 ・利用中止 ・特になし
16		在宅・入居 ・施設入所 ・その他					はい いいえ					はい いいえ	はい いいえ	あり なし	なし・I・II ・同方	あり なし ・施設入所 ・利用中止 ・特になし
17		在宅・入居 ・施設入所 ・その他					はい いいえ					はい いいえ	はい いいえ	あり なし	なし・I・II ・同方	あり なし ・施設入所 ・利用中止 ・特になし
18		在宅・入居 ・施設入所 ・その他					はい いいえ					はい いいえ	はい いいえ	あり なし	なし・I・II ・同方	あり なし ・施設入所 ・利用中止 ・特になし
19		在宅・入居 ・施設入所 ・その他					はい いいえ					はい いいえ	はい いいえ	あり なし	なし・I・II ・同方	あり なし ・施設入所 ・利用中止 ・特になし
20		在宅・入居 ・施設入所 ・その他					はい いいえ					はい いいえ	はい いいえ	あり なし	なし・I・II ・同方	あり なし ・施設入所 ・利用中止 ・特になし

平成 30 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）
『リハビリテーションを行う通所事業所における栄養管理のあり方に関する
調査研究事業』

2019 年 3 月発行

一般社団法人 日本健康・栄養システム学会

〒111-0053 東京都台東区浅草橋 3-1-1 TJ ビル 3 階

Tel : 03-5829-08590 Fax : 03-5829-6679

e-mail : ncm@j-ncm.com

【不許複製】

